

館山自動車道
大鳥居高架橋耐震補強工事
契約参考図書
(率計上項目及び概算数量、図面)

令和8年9月

東日本高速道路株式会社 関東支社
市原管理事務所

- 契約参考図書は、率計上項目や概算数量等を指示する資料であり、契約書第1条にいう設計図書でない。(請負契約上拘束力はない)
- 当該内容は、受注後に協議を開始する項目であるため、内容に関する質問は受付けない。

図 面 目 次

図 面 名	図 番
1 . 数量総括表(その1～2)	1 ～ 2
2 . 殿台高架橋 (上り線) P3橋脚 下部工検査路撤去・復旧図	3
3 . 殿台高架橋 (下り線) P3橋脚 下部工検査路撤去・復旧図	4
4 . 千葉東IC Cランプ橋 P7, P8橋脚 撤去・設置工 排水管A 詳細図	5
5 . 千葉東IC Cランプ橋 P9, P10橋脚 撤去・設置工 排水管A 詳細図	6
6 . 千葉東IC Cランプ橋 P12橋脚 撤去・設置工 排水管A 詳細図	7
7 . 千葉東IC Cランプ橋 P13L, P14橋脚 撤去・設置工 排水管A 詳細図	8
8 . 千葉東IC Cランプ橋 P8, P10橋脚 撤去・設置工 検査路B 詳細図	9
9 . 千葉東IC Cランプ橋 P9橋脚 撤去・設置工 検査路B 詳細図	10
10 . 千葉東IC Cランプ橋 P13L, P14橋脚 撤去・設置工 検査路B 詳細図	11
11 . 千葉東IC Cランプ橋 P7橋脚 既設落橋防止装置撤去図	12
12 . 千葉東IC Cランプ橋 P9橋脚 既設落橋防止装置撤去図	13
13 . 千葉東IC Cランプ橋 P12橋脚 既設落橋防止装置撤去図(その1～2)	14 ～ 15
14 . 千葉東IC Cランプ橋 P15橋脚 既設落橋防止装置撤去図(その1～2)	16 ～ 17
15 . 千葉東IC Cランプ橋 付帯工撤去・復旧図(参考図)	18
16 . 千葉東IC Cランプ橋 護岸撤去・復旧図(参考図)	19
17 . 市原第三橋 (上下線) P1, P2橋脚 撤去・設置工 排水管A 詳細図	20
18 . 市原第三橋 (上下線) 付帯工撤去・復旧図(参考図)(その1～2)	21 ～ 22
19 . 養老川橋 (上下線) A1橋台 撤去・設置工 検査路B 詳細図(その1～2)	23 ～ 24
20 . 養老川橋 (上下線) A2橋台 撤去・設置工 検査路B 詳細図(その1～2)	25 ～ 26
21 . 養老川橋 (上下線) 付帯工撤去・復旧図(参考図)	27
22 . 養老川橋 (上下線) P2橋脚 土留め施工ステップ図(参考図)	28
23 . 養老川橋 (上下線) P2橋脚 仮設水路工図(参考図)	29
24 . 養老川橋 (上下線) P2橋脚 水路撤去・復旧図(参考図)(その1～2)	30 ～ 31
25 . 町田第三橋 (上り線) 構造物取壊し工 サイドストッパー詳細図	32
26 . 町田第三橋 (上り線) A1橋脚 撤去・設置工 排水管A 詳細図	33
27 . 町田第三橋 (上り線) P1橋脚 撤去・設置工 排水管A 詳細図	34
28 . 町田第三橋 (上り線) A1橋台 撤去・設置工 検査路B 詳細図(その1～3)	35 ～ 37
29 . 町田第三橋 (上り線) A2橋台 撤去・設置工 検査路B 詳細図(その1～3)	38 ～ 40
30 . 町田第三橋 (上り線) P1橋脚 撤去・設置工 検査路B 詳細図(その1～2)	41 ～ 42
31 . 町田第三橋 (上り線) 付帯工撤去・復旧図(参考図)	43
32 . 浮戸川橋 (上り線) 下部工検査路撤去図(その1～2)	44 ～ 45
33 . 浮戸川橋 (上り線) 下部工検査路復旧図(その1～2)	46 ～ 47
34 . 浮戸川橋 (上り線) 排水装置撤去図	48
35 . 浮戸川橋 (上り線) 排水装置復旧図	49
36 . 浮戸川橋 (上り線) P1橋脚 仮排水管設置図(参考図)	50
37 . 浮戸川橋 (上り線) 付帯構造物撤去工図(その1～4)	51 ～ 54
38 . 浮戸川橋 (上り線) 付帯構造物復旧工図(その1～4)	55 ～ 58
39 . 小櫃川大橋 (上下線) 既設落橋防止構造撤去図	59
40 . 小櫃川大橋 (上下線) 下部工検査路撤去図(その1～3)	60 ～ 62
41 . 小櫃川大橋 (上下線) 下部工検査路復旧図(その1～6)	63 ～ 68
42 . 小櫃川大橋 (上下線) 付帯構造物撤去工図	69
43 . 小櫃川大橋 (上下線) 付帯構造物復旧工図	70
44 . 大鳥居高架橋 (上下線) 下部工検査路撤去図(その1～9)	71 ～ 79
45 . 大鳥居高架橋 (上下線) 下部工検査路復旧図(その1～5)	80 ～ 84
46 . 大鳥居高架橋 (上下線) 下部工検査路詳細図(その1～4)	85 ～ 88
47 . 大鳥居高架橋 (上下線) 排水装置撤去図(その1～3)	89 ～ 91
48 . 大鳥居高架橋 (上下線) 排水装置復旧図(その1～7)	92 ～ 98
49 . 大鳥居高架橋 (上下線) 仮排水管設置図(参考図)(その1～6)	99 ～ 104
50 . 大鳥居高架橋 (上下線) 付帯構造物撤去工図(その1～3)	105 ～ 107
51 . 大鳥居高架橋 (上下線) 付帯構造物復旧工図(その1～3)	108 ～ 110
52 . 宮崎高架橋仮置場 立入防止柵撤去設置工	111

数量総括表(その1)

番 号		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
項目名称		コンクリート ブロック張工	裏込め碎石	基礎工	用排水溝	集水ます		排水管	検査路	防護柵撤去設置工		立入防止柵撤去設置工		立入防止柵の出入口 撤去設置工		視線誘導標 撤去設置工	距離標 撤去設置工	縁石工
区 分		コンクリートブロック 張り(空) 控12cm		コンクリート 基礎工 TypeA	Ui-0.60・1.00 (F)	TypeD	TypeE	A	B	ガードレール Gr-A-2E	ガードレール Gr-C-4E	一般型 非積雪地用	一般型 非積雪地用(A)	一般型 非積雪地用	門扉W=3.0m	A2-1	D2	アスファルト 縁石
単 位		m2	m3	m	m	箇所	箇所	m	kg	m	m	m	m	箇所	箇所	基	枚	m
殿台高架橋	上下線	-	-	-	-	-	-	-	14	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉東IC Cランプ橋		-	-	-	-	-	-	2.5	94	82.0	-	7.2	-	-	-	-	-	56.0
市原第三橋	上下線	389.2	11.1	69.0	-	-	-	12.6	-	126.0	-	-	-	-	-	1	4	126.0
養老川橋	上下線	-	-	-	-	-	-	-	202	-	-	35.0	5.0	-	-	-	-	-
町田第三橋	上り線	-	-	-	-	-	-	1.7	622	-	-	39.0	-	-	-	-	-	-
浮戸川橋	上り線	-	-	-	-	-	-	3.0	100	-	54.7	-	-	-	-	-	-	-
小櫃川大橋	上下線	-	-	-	-	-	-	-	1,486	-	28.9	23.8	-	-	1	-	-	-
大鳥居高架橋	上下線	-	-	-	0.7	1	1	20.6	3,203	-	15.2	137.9	-	2	1	-	-	-
笹子橋	上下線	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎高架橋		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	16.0	-	-	-	-	-	-
合 計		389.2	11.1	69.0	0.7	1	1	40.4	5,721	208.0	98.8	258.9	5.0	2	2	1	4	182.0

番 号		18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34
項目名称		コンクリートシール工			構造物等取壊し工						立入禁止板 撤去設置工	連接 ブロック張工	排水樋管 切回復旧工	撤去工				
区 分		t=3cm	t=5cm	t=10cm	コンクリート 構造物取壊し (TypeA)	コンクリート 構造物取壊し (TypeB)	アスファルト 構造物取壊し (TypeA)	アスファルト 舗装版取壊し (TypeA)	アスファルト 舗装版取壊し (TypeB)	アスファルト 舗装版取壊し (TypeC)				PuL・0.30・ 0.30	排水管A	検査路B	落橋防止装置 A	落橋防止装置 B
単 位		m2	m2	m2	m3	m3	m3	m2	m2	m2	枚	m2	m	m	m	kg	箇所	箇所
殿台高架橋	上下線	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	14	-	-
千葉東IC Cランプ橋		14.1	24.2	-	4.6	-	1.2	-	-	-	-	21.0	-	-	5.6	50	14	6
市原第三橋	上下線	-	-	78.6	66.7	-	2.7	126.5	-	-	-	-	-	-	12.9	-	-	-
養老川橋	上下線	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	19.0	-	-	156	-	-
町田第三橋	上り線	-	-	-	0.7	0.9	-	-	-	-	-	-	-	-	1.2	318	-	-
浮戸川橋	上り線	-	-	-	-	-	-	-	36.5	-	-	-	-	0.3	8.2	66	-	-
小櫃川大橋	上下線	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	721	10	-
大鳥居高架橋	上下線	-	-	-	2.3	0.2	-	-	-	1.5	4	-	-	-	21.5	156	-	-
笹子橋	上下線	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎高架橋		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
合 計		14.1	24.2	78.6	74.3	1.1	3.9	126.5	36.5	1.5	4	21.0	19.0	0.3	49.4	1,481	24	6

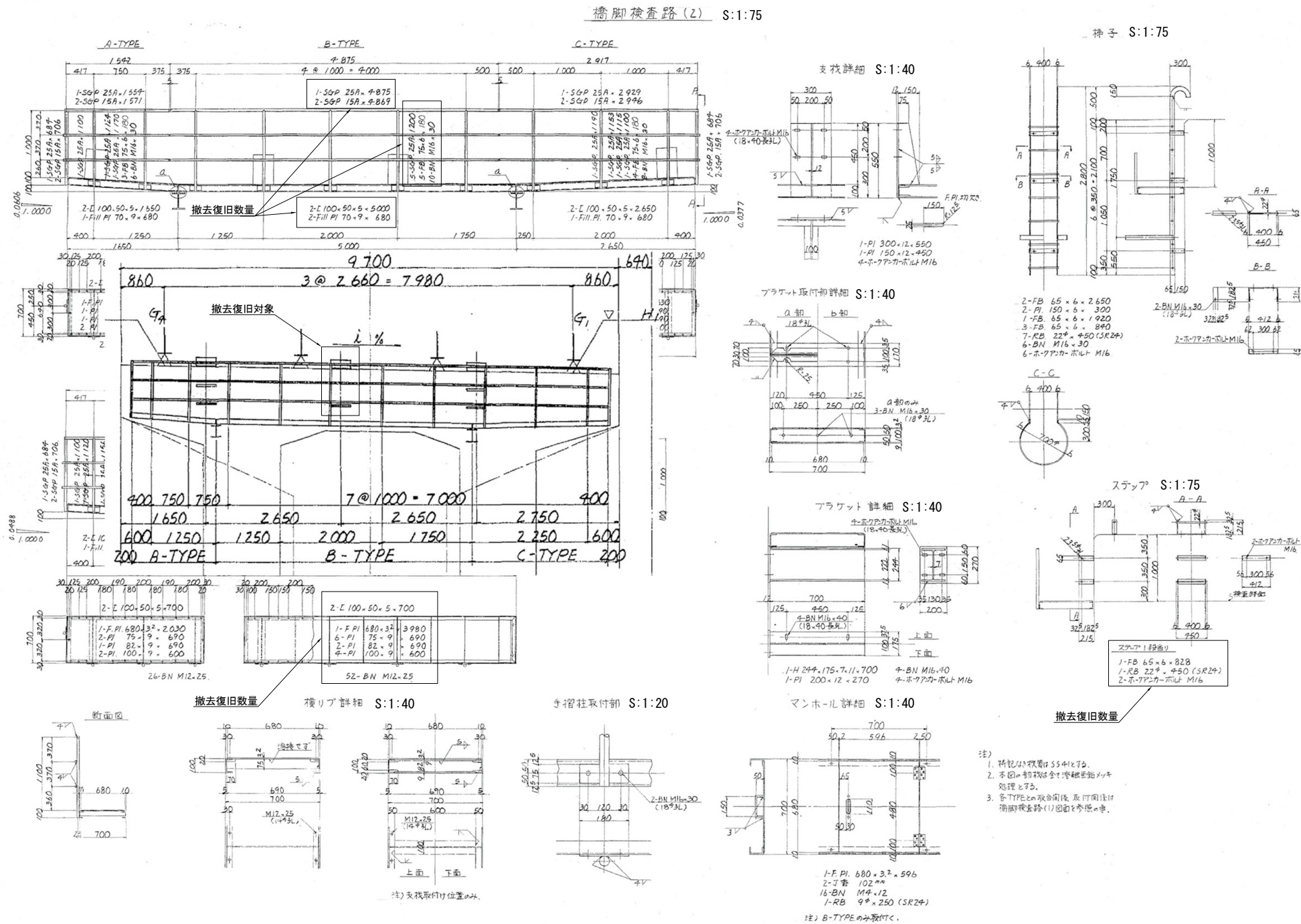
館山自動車道 大鳥居高架橋耐震補強工事			
図面の種類	数量総括表(その1)		
縮 尺	—	図面番号	/
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 市 原 管 理 事 務 所		

数量総括表(その2)

番 号		35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51
項目名称		撤去・設置工														舗装復旧工		
区 分		PuL・0.30・0.30	PuL・0.60・0.60	P-Bx-0.60・0.60	Vu-φ0.45	排水管A	検査路B	転落防止柵	用地境界杭	車止め	標識柱	縞鋼鉄蓋A 900×900	縞鋼鉄蓋B 1000×1000	縞鋼鉄蓋C 1300×1300	防草シート	A 舗装厚45cm	B 舗装厚40cm	C 舗装厚38cm
単 位		m	m	m	m	m	kg	m	本	基	基	枚	枚	枚	m2	m2	m2	m2
殿台高架橋	上下線	-	-	-	-	-	590.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉東IC Cランプ橋		-	18.0	-	-	58.9	1,219.0	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-
市原第三橋	上下線	66.0	-	-	-	19.5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	126.5	-	-
養老川橋	上下線	-	-	-	-	-	3,085.0	-	1	-	-	-	-	-	28.6	-	-	-
町田第三橋	上り線	-	-	-	-	16.4	2,392.0	5.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
浮戸川橋	上り線	4.0	-	-	-	5.2	1,054.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	36.5
小櫃川大橋	上下線	-	-	-	-	-	2,815.0	-	-	-	-	-	-	-	372.0	-	-	-
大鳥居高架橋	上下線	94.5	-	2.7	3.8	126.8	3,581.0	-	2	-	1	1	1	1	-	-	4.6	-
笹子橋	上下線	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎高架橋		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
合 計		164.5	18.0	2.7	3.8	226.8	14,736.0	5.0	3	4	1	1	1	1	400.6	126.5	4.6	36.5

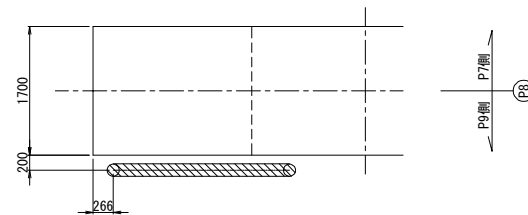
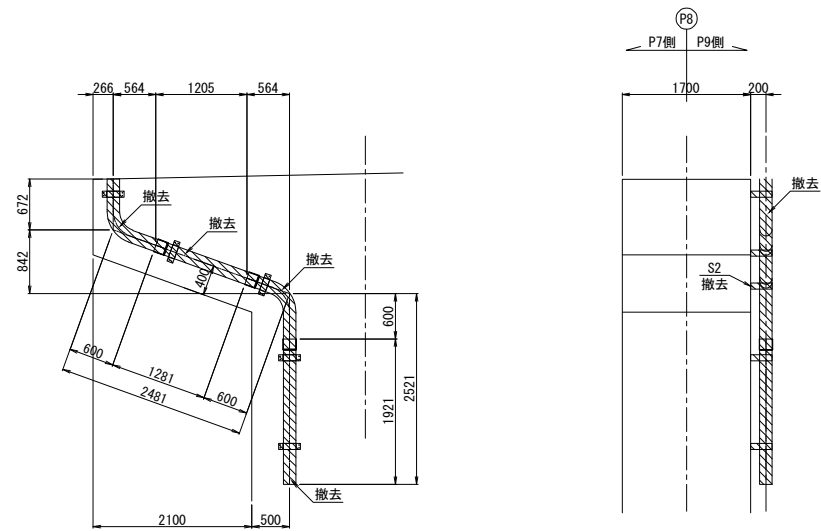
番 号		52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68
項目名称		L型街渠	埋戻し工															
区 分			無収縮モルタル															
単 位		m	m3															
殿台高架橋	上下線	-	-															
千葉東IC Cランプ橋		-	-															
市原第三橋	上下線	-	-															
養老川橋	上下線	-	-															
町田第三橋	上り線	5.0	0.16															
浮戸川橋	上り線	-	-															
小櫃川大橋	上下線	-	-															
大鳥居高架橋	上下線	-	-															
笹子橋	上下線	-	-															
宮崎高架橋		-	-															
合 計		5.0	0.16															

館山自動車道 大鳥居高架橋耐震補強工事			
図面の種類	数量総括表(その2)		
縮 尺	—	図面番号	/
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 市 原 管 理 事 務 所		



館山自動車道 大島居高架橋耐震補強工事			
図面の種類	殿台高架橋(上り線)		
	下部工検査路撤去・復旧図		
縮 尺	図 示	図面番号	/
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 市 原 管 理 事 務 所		

P8橋脚 撤去工



撤去のみ流水線延長
下部工: $L = 1.411 - 0.130 = 1.281 \text{ m}$

撤去のみ数量
直管
1-VP $\phi 150$ L=1411

取付金具
S2 1個

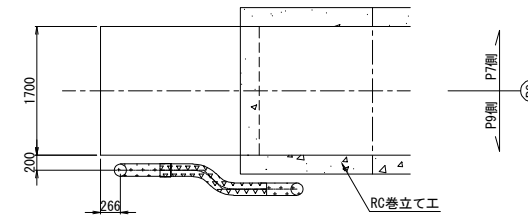
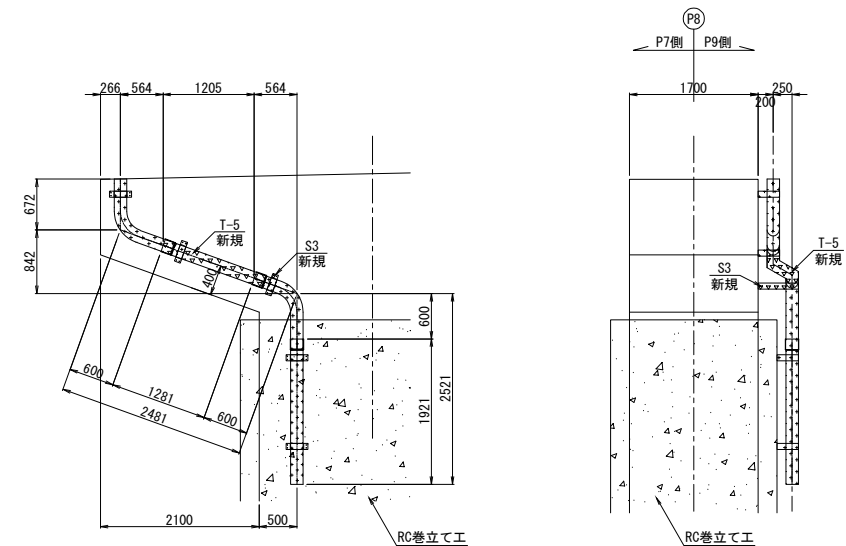
撤去再設置流水線延長
下部工: $L = 1.921 + 1.402 + 1.330 - 0.130 \times 2 = 4.393 \text{ m}$

撤去再設置数量
直管
1-VP $\phi 150$ L=1921

曲管
1-VP $\phi 150$ L=1402
1-VP $\phi 150$ L=1330

取付金具
S2 4個

P8橋脚 設置工

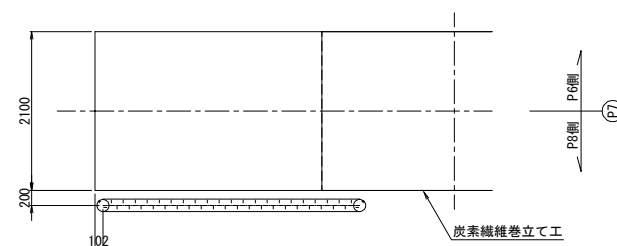
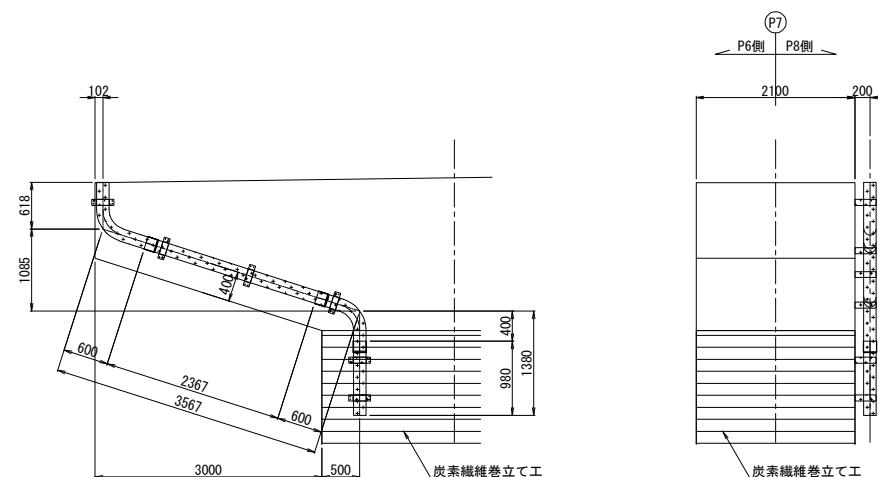


下部工: $L = 1.515 - 0.130 = 1.385 \text{ m}$

新規数量
曲管
1-VP $\phi 150$ L=1515

取付金具
S3 1個

P7橋脚 撤去設置工



撤去再設置流水線延長
下部工: $L = 1.348 + 2.497 + 1.130 + 0.980 - 0.130 \times 3 = 5.565 \text{ m}$

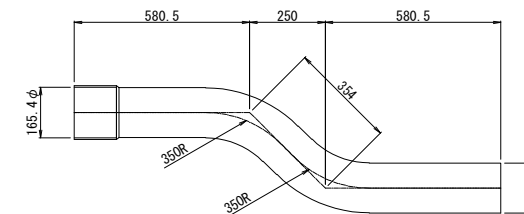
撤去再設置数量
直管
1-VP $\phi 150$ L=2497
1-VP $\phi 150$ L= 980

曲管
1-VP ϕ 150 L=1348
1-VP ϕ 150 L=1130

取付金具	
S1	1個
S2	5個

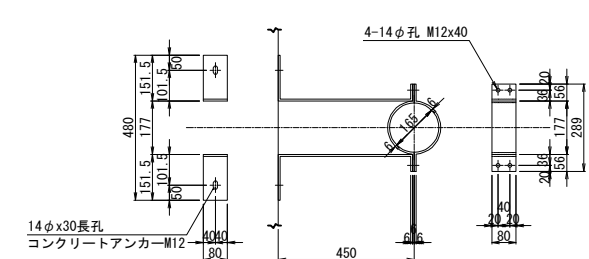
曲 管 S=1:25

T-5



取付金具 S=1:25

S3



2-PL 80x6x646
2-PL 80x6x387
4-BN M12x40 (2-PW, 1-SW付き)
※ 2-コンクリートアンカー M12

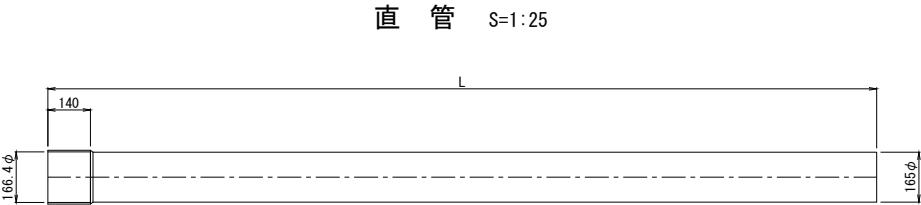
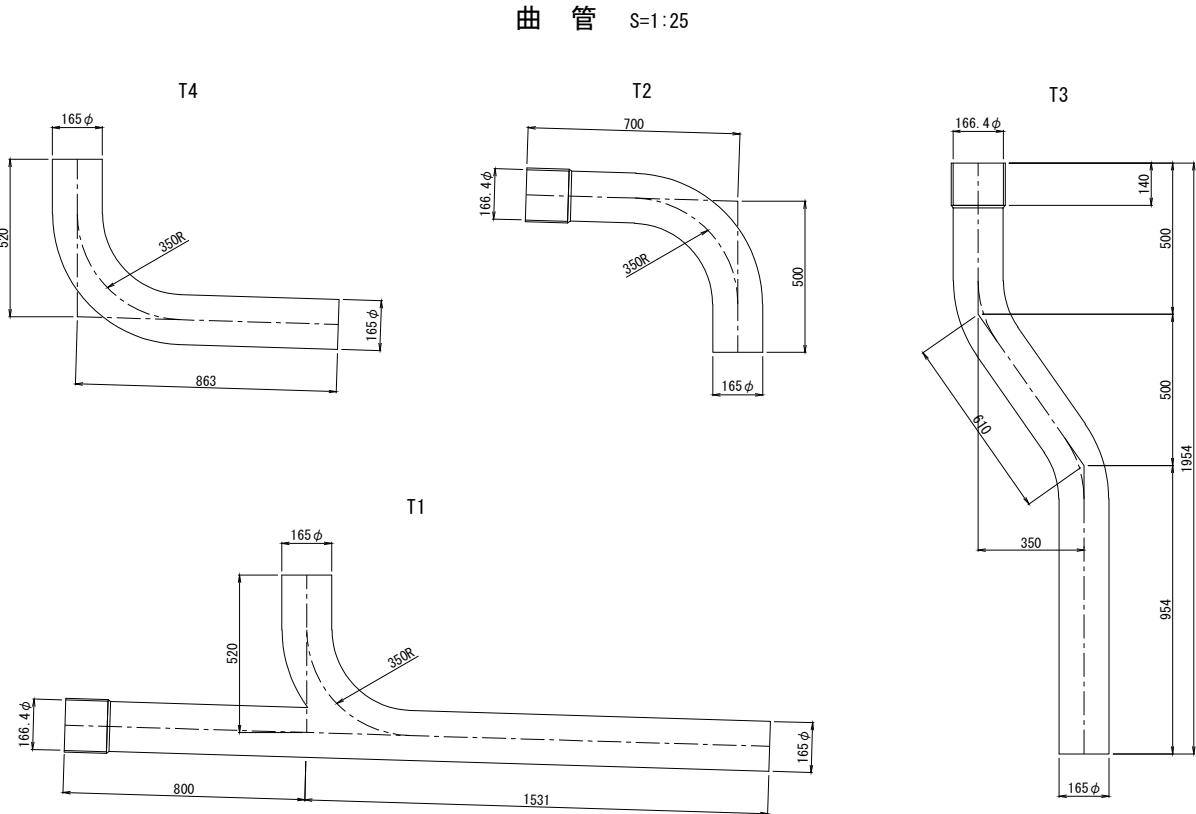
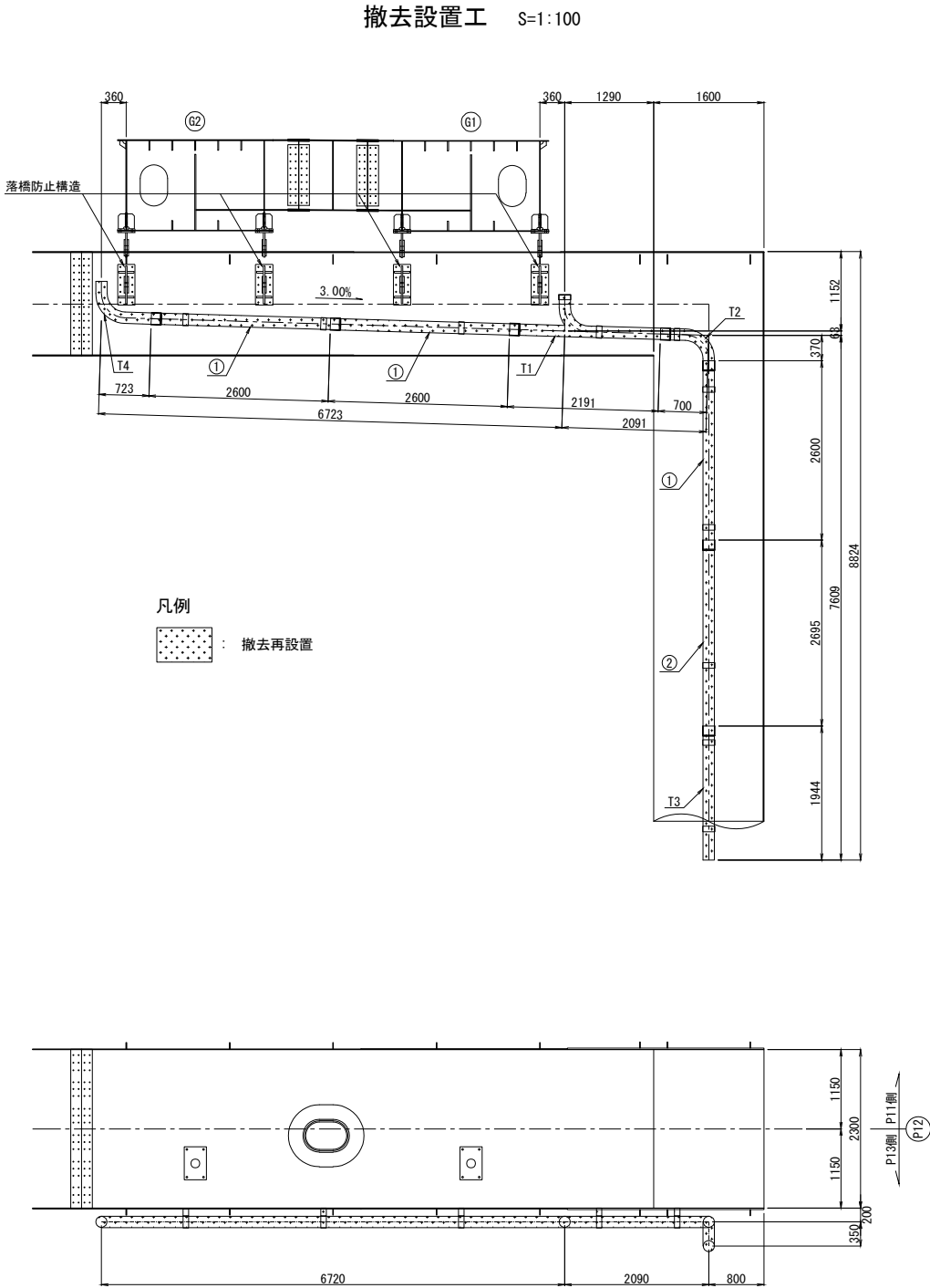
注記)

1. 特記なき材質は、全てSS400とする。
2. ナットは全て緩み止めナットを使用すること。
3. 部材は全て溶融亜鉛めっきを施す。
亜鉛の塗膜は JIS H 8641 HDZ177とする。
但し、厚さ3.2mm未満の鋼材及び
ボルト・ナット類はHDZ149とする。

凡例

 : 撤去
 : 既設再設置
 : 新規製作

館山自動車道 大鳥居高架橋耐震補強工事			
図面の種類	千葉東IC Cランプ橋 P7, P8橋脚 撤去・設置工 排水管A 詳細図		
縮 尺	図 示	図面番号	／
設計会社名	大成エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 市 原 管 理 事 務 所		関東支社



	L
①	2740
②	2835

撤去再設置流水線延長
下部工：L= 2.740×3+2.835+1.383+2.851+1.200+2.064-0.130×7 = 17.643 m

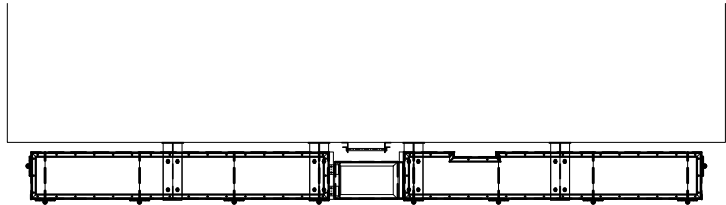
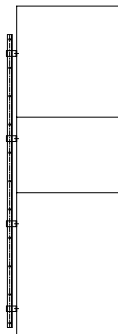
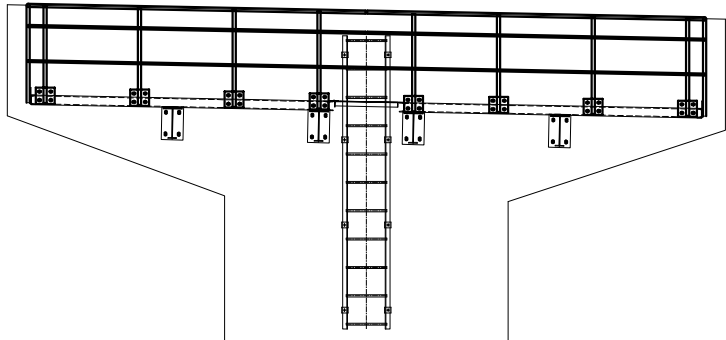
撤去再設置数量
直管
3-VP φ150 L=2740
1-VP φ150 L=2835
曲管
1-VP φ150 L=1383
1-VP φ150 L=2851
1-VP φ150 L=1200
1-VP φ150 L=2064
取付金具
S1 1個
S2 9個
S3 1個

注記)
1. 特記なき材質は、全てSS400とする。
2. ナットは全て緩み止めナットを使用すること。
3. 部材は全て溶融亜鉛めっきを施す。
亜鉛の塗膜は JIS H 8641 HDZ177とする。
但し、厚さ3.2mm未満の鋼材及び
ボルト・ナット類はHDZ149とする。

館山自動車道 大鳥居高架橋耐震補強工事			
図面の種類	千葉東IC Cランプ橋 P12橋脚 撤去・設置工 排水管A 詳細図		
縮 尺	図 示	図面番号	/
設計会社名	大成エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 市 原 管 理 事 務 所		

撤去工

(P8) (P10)



(P8)

撤去数量 (既設図より)

梯子 箇所:N=1
2-L 50×50×6×1900
6-PL 60×6×166
7-RB φ22×430
2-ホールインアンカ M16

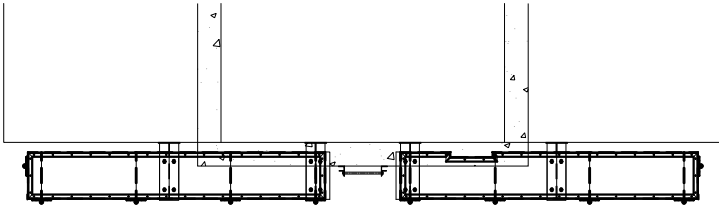
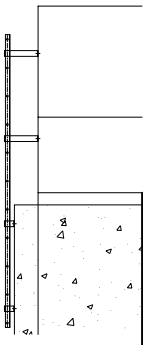
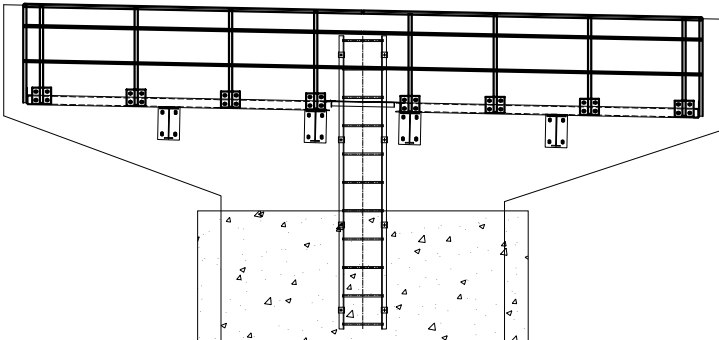
(P10)

撤去数量 (既設図より)

梯子 箇所:N=1
2-L 50×50×6×3100
8-PL 60×6×166
11-RB φ22×430
8-ホールインアンカ M16

設置工

(P8) (P10)



(P8)

検査路改良後再設置数量

梯子 箇所:N=1
2-L 50×50×6×1900
2-PL 60×6×166
7-RB φ22×430
2-ホールインアンカ M16 (新設)

新規数量

梯子 箇所:N=1
4-PL 60×6×416

(P10)

検査路改良後再設置数量

梯子 箇所:N=1
2-L 50×50×6×3100
4-PL 60×6×166
11-RB φ22×430
8-ホールインアンカ M16 (新設)

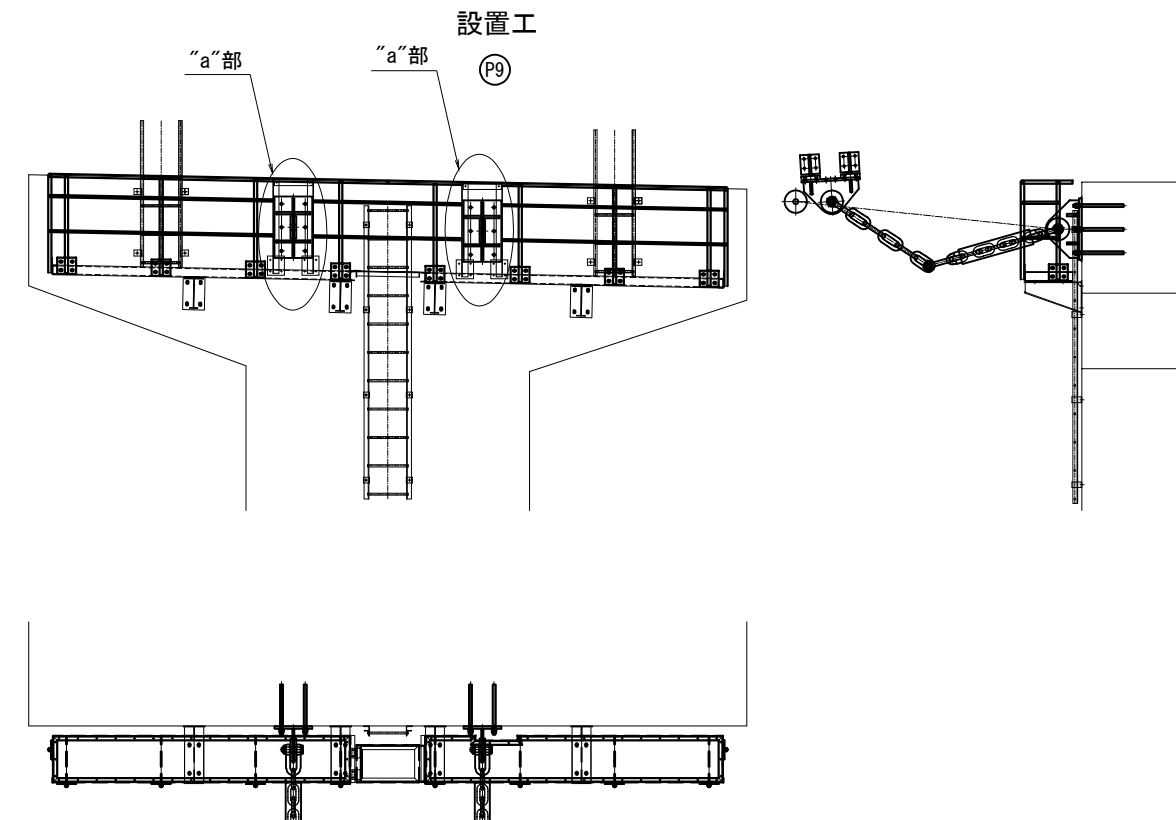
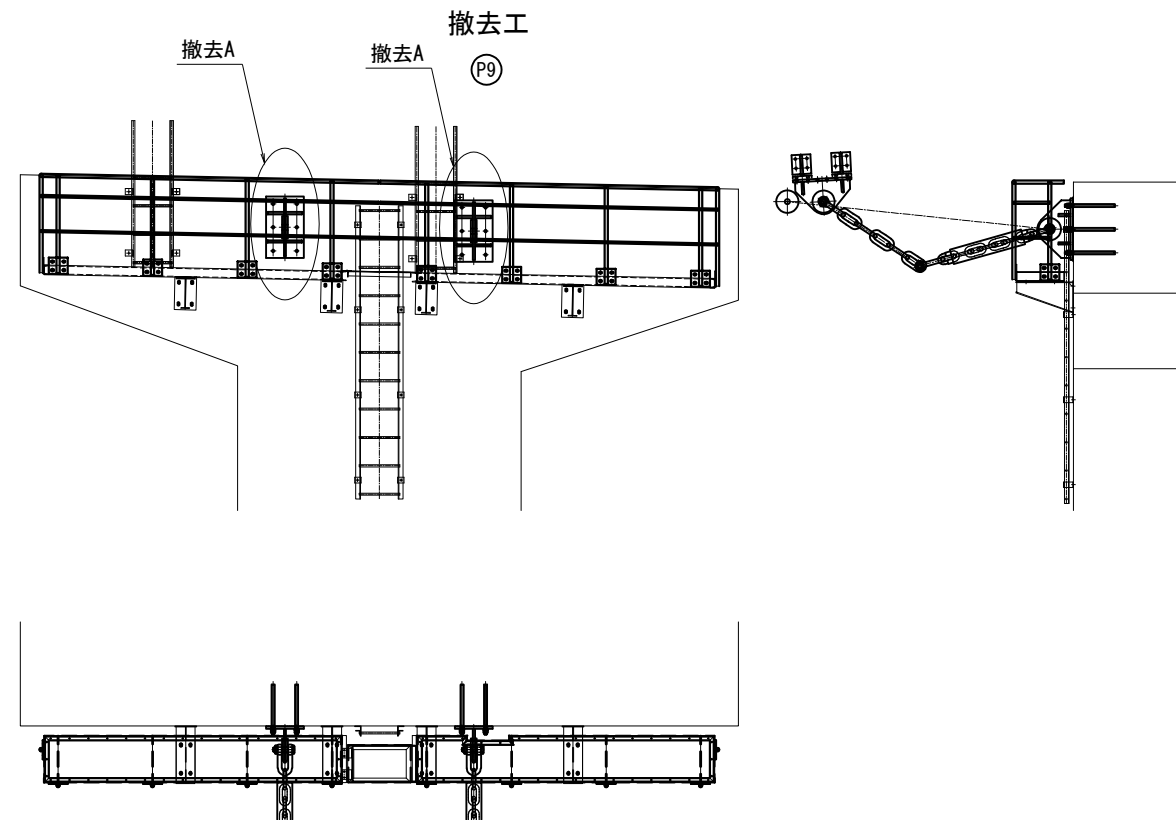
新規数量

梯子 箇所:N=1
4-PL 60×6×416

注記)

- 特記なき材質は、全てSS400とする。
- ナットは全て緩み止めナットを使用すること。
- 部材は全て溶融亜鉛めっきを施す。
亜鉛の塗膜は JIS H 8641 HDZT77とする。
但し、厚さ3.2mm未満の鋼材及び
ボルト・ナット類はHDZT49とする。

館山自動車道 大鳥居高架橋耐震補強工事			
図面の種類	千葉東IC Cランプ橋 P8,P10橋脚		
	撤去・設置工 検査路B 詳細図		
縮 尺	図 示	図面番号	/
設計会社名	大成エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 市 原 管 理 事 務 所		



新設支柱、手摺追加詳細図 S=1:20

手摺撤去詳細図 S=1:20

検査路改良後再設置数量 (既設図より)

梯子 箇所:N=1

2-L 50×50×6×3100
2-PL 60×6×166
11-RB φ22×430
8-ホールインアンカ M16(新設)

TYPE-1

1-Pipe 34Φ×2.3×3558(STK400)
4-Pipe 34Φ×2.3×1030(〃)
2-Pipe 21.7Φ×1.9×155(〃)
4-Pipe 21.7Φ×1.9×988(〃)
2-Pipe 21.7Φ×1.9×888(〃)
2-Pipe 21.7Φ×1.9×484(〃)
8-PL 170×6×200
8-BN M16×40(2-W付)(新設)
8-BN M16×45(2-W付)(新設)

1-Pipe 34Φ×2.3×1030(STK400)
2-Pipe 34Φ×2.3×546(〃)
1-Pipe 21.7Φ×1.9×384(〃)
2-PL 170×6×200
2-BN M16×40(2-W付)(新設)
2-BN M16×45(2-W付)(新設)

1-ChPL 480×3.2×3131
2-[100×50×5×7.5×3151
3-[100×50×5×7.5×500
4-FB 50×6×490
2-PL 200×8×480
38-BN M16×45(2-W, 1-S, W付)(新設)

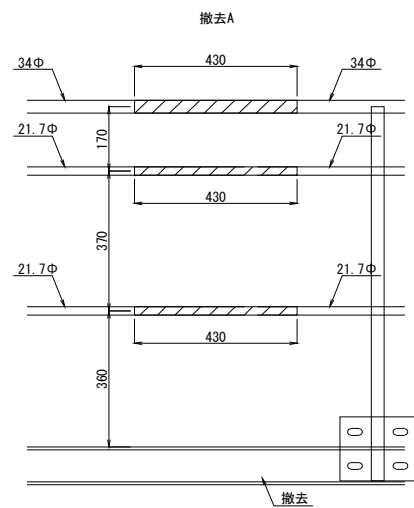
TYPE-1

1-Pipe 34Φ×2.3×3558(STK400)
4-Pipe 34Φ×2.3×1030(〃)
2-Pipe 21.7Φ×1.9×155(〃)
4-Pipe 21.7Φ×1.9×988(〃)
2-Pipe 21.7Φ×1.9×888(〃)
2-Pipe 21.7Φ×1.9×484(〃)
8-PL 170×6×200
8-BN M16×40(2-W付)(新設)
8-BN M16×45(2-W付)(新設)

1-Pipe 34Φ×2.3×1030(STK400)
2-Pipe 34Φ×2.3×546(〃)
1-Pipe 21.7Φ×1.9×384(〃)
2-PL 170×6×200
2-BN M16×40(2-W付)(新設)
2-BN M16×45(2-W付)(新設)

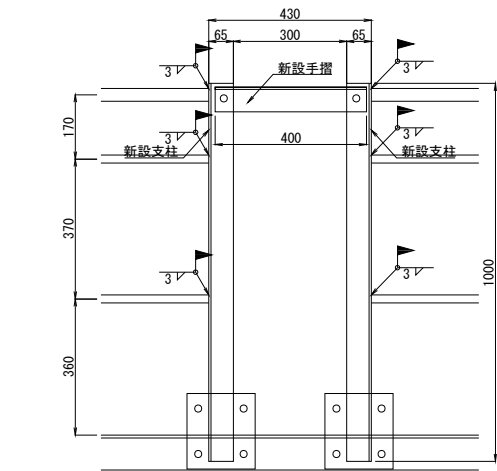
1-ChPL 480×3.2×3141
1-[100×50×5×7.5×3151
1-[100×50×5×7.5×2151
1-[100×50×5×7.5×560
3-[100×50×5×7.5×500
4-FB 50×6×490
2-PL 200×8×480
38-BN M16×45(2-W, 1-S, W付)(新設)

2-[100×50×5×7.5×100
1-[100×50×5×7.5×540



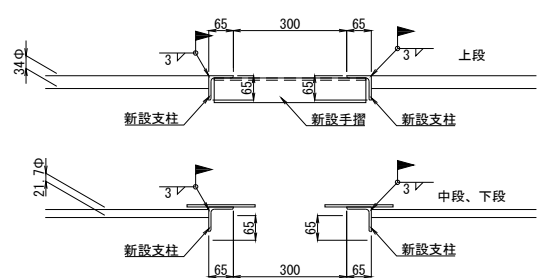
撤去材料
1-Pipe 34Φ×2.3×430(STK41)
2-Pipe 21.7Φ×1.9×430(〃)

"a"部詳細図



新設手摺 箇所:N=2

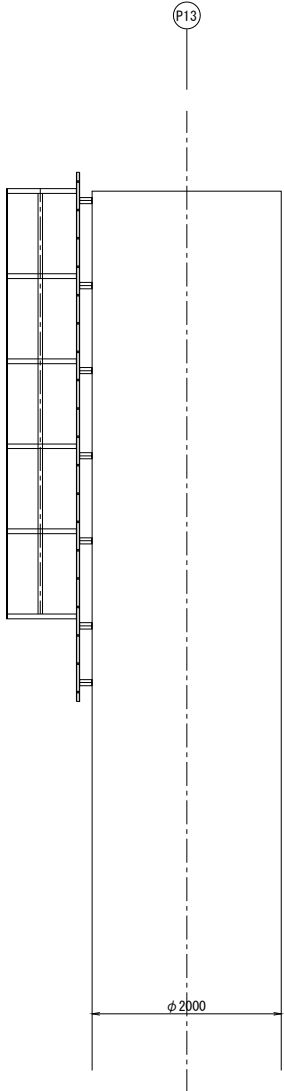
1-L 65×65×6×400
2-L 65×65×6×1000
2-PL 180×6×200
4-BN M16×35(1-W, 1-S, W付)
8-BN M16×45(1-W, 1-S, W付)



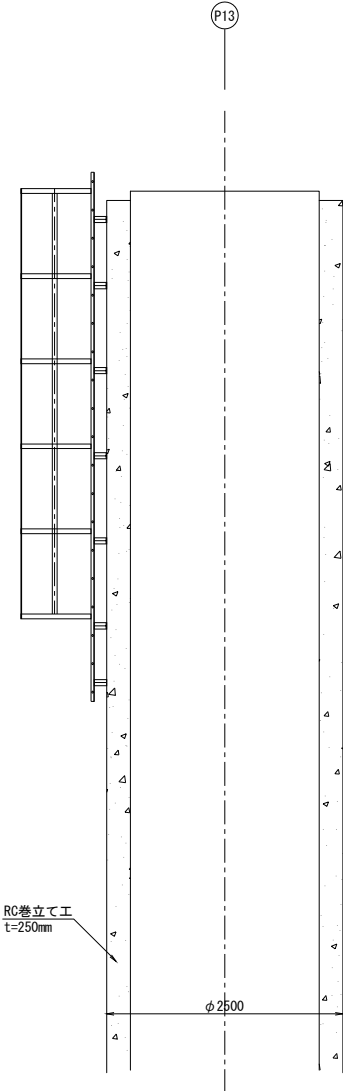
注記)
1. 特記なき材質は、全てSS400とする。
2. ナットは全て緩み止めナットを使用すること。
3. 部材は全て溶融亜鉛めっきを施す。
亜鉛の塗膜は JIS H 8641 HDZ177とする。
但し、厚さ3.2mm未満の鋼材及び
ボルト・ナット類はHDZ149とする。

館山自動車道 大島居高架橋耐震補強工事			
図面の種類	千葉東IC Cランプ橋 P9橋脚 撤去・設置工 検査路B 詳細図		
縮 尺	図 示	図面番号	/
設計会社名	大成エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 市 原 管 理 事 務 所		

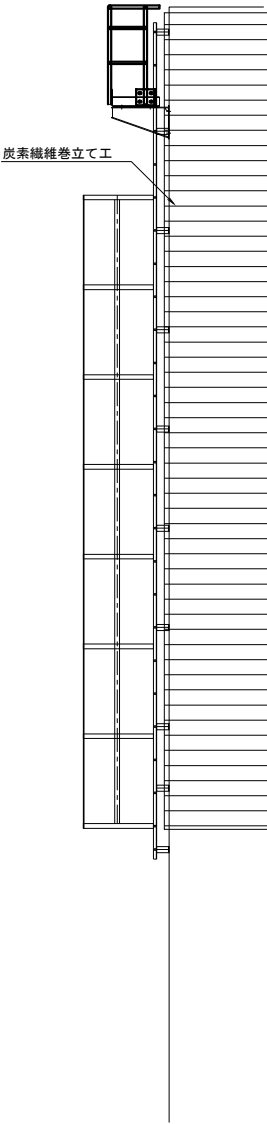
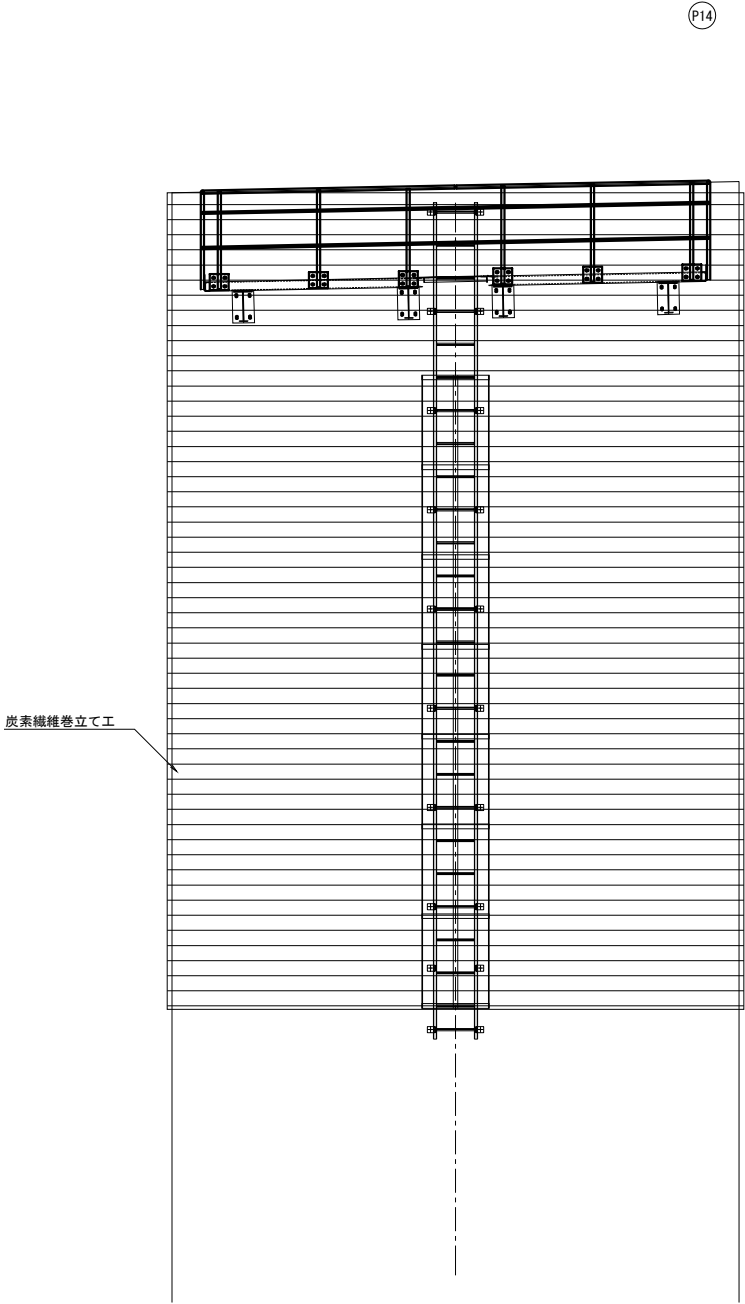
P13L橋脚 撤去工



P13L橋脚 設置工



P14橋脚 撤去設置工



検査路改良後再設置数量
2-L 50×50×6×5600
14-PL 60×6×262
19-RB 22φ×400
14-ホールインアンカー M16(新設)
6-FB 50×6×1925
3-FB 50×6×4560
30-BN M16×45(2-W, 1-S, W付)(新設)

検査路撤去数：1組
1-Pipe 34φ×2.3×1592(STK400)
1-Pipe 34φ×2.3×1646(STK400)
1-Pipe 34φ×2.3×913(STK400)
1-Pipe 34φ×2.3×1160(STK400)
7-Pipe 34φ×2.3×1143(STK400)
4-Pipe 21.7φ×1.9×574(STK400)
4-Pipe 21.7φ×1.9×624(STK400)
2-Pipe 21.7φ×1.9×674(STK400)
8-Pipe 21.7φ×1.9×177(STK400)
8-PL 150×6×220
32-BN M16×40(ZW付)(新設)
2-[100×50×5×7.5×1600
2-[100×50×5×7.5×1500
1-[100×50×5×7.5×1490
2-FB 50×6×765
2-FB 50×6×820
8-PL 150×6×220
2-PL 260×8×1580
1-ChPL 1480×3.2×1580
26-BN M8×30(1TW, 1W付)(新設)
梯子撤去数：1組
2-Pipe 34φ×2.3×8850(STK400)
8-FB 50×6×1971
3-FB 50×6×6700
20-FB 65×6×218
26-RB 22φ×430
20-ホールインアンカー M16×60(新設)
ブラケット撤去数：2組
1-PL 260×9×1691
1-PL 130×9×1721
1-PL 400×9×1691
1-PL 280×9×440
8-BN M16×45(1W付)(新設)
6-ホールインアンカー M16×60(新設)

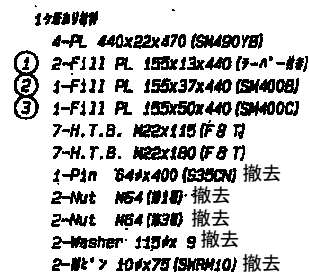
注記)
1. 特記なき材質は、全てSS400とする。
2. ナットは全て緩み止めナットを使用すること。
3. 部材は全て溶融亜鉛めっきを施す。
亜鉛の塗膜は JIS H 8641 HDZT77とする。
但し、厚さ3.2mm未満の鋼材及び
ボルト・ナット類はHDZT49とする。

館山自動車道 大島居高架橋耐震補強工事			
図面の種類	千葉東IC Cランプ橋 P13L, P14橋脚 撤去・設置工 検査路B 詳細図		
縮 尺	図 示	図面番号	/
設計会社名	大成エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 市 原 管 理 事 務 所		

⑨ 上脚橋

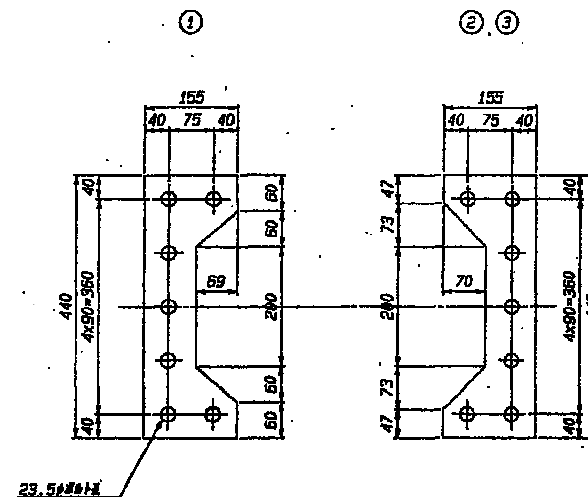
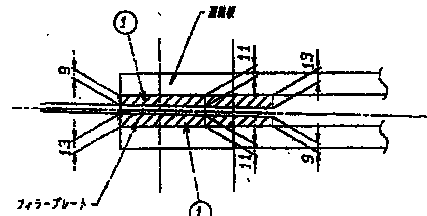
フィルター・レート詳細

竣工位置图 S=1:75

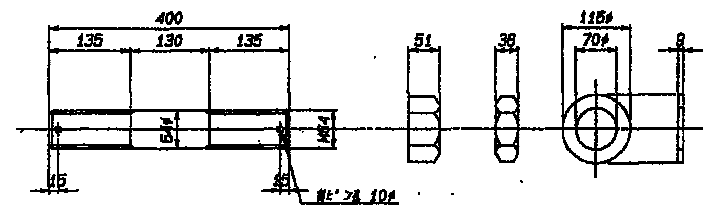


	A	B
#1	58°20'42"	
#2	121°39'18"	
#3	59°46'05"	
#4	120°13'55"	

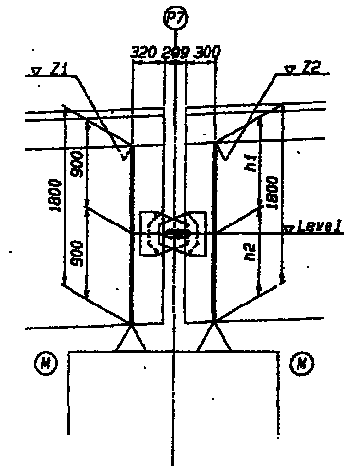
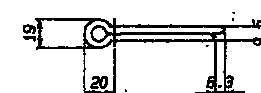
"a" 部詳見 S=1:7.5



撤去

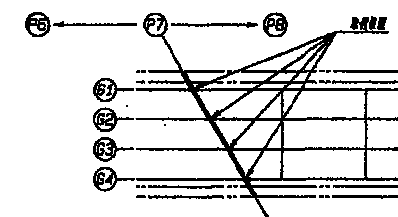


靴・ソ撤去 S=1:5



G_1	Z_1	Z_2	n_1	n_2
G_1	12460	12484	934	866
G_2	12426	12461	935	865
G_3	12394	12430	936	864
G_4	12364	12401	937	863

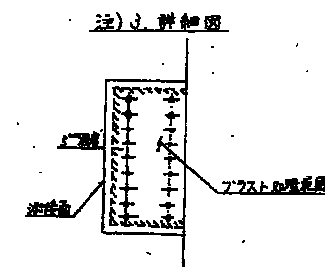
S=1:500



2) 1. 骨板を材料はSS400とする。
2. 材料は全て増強合金メッキとし、
鋼板は JIS N44H 鋼板とする。
ただし、ボルト、ナット類は F42B5 とする。

3. 高力ベルト取組組合は、すべり部盤が
6以上となるように強くプラスチック部
を造るものとし、表面粗度はR1.6程度とする

4. 造り手は、現行使用機製作のこと。



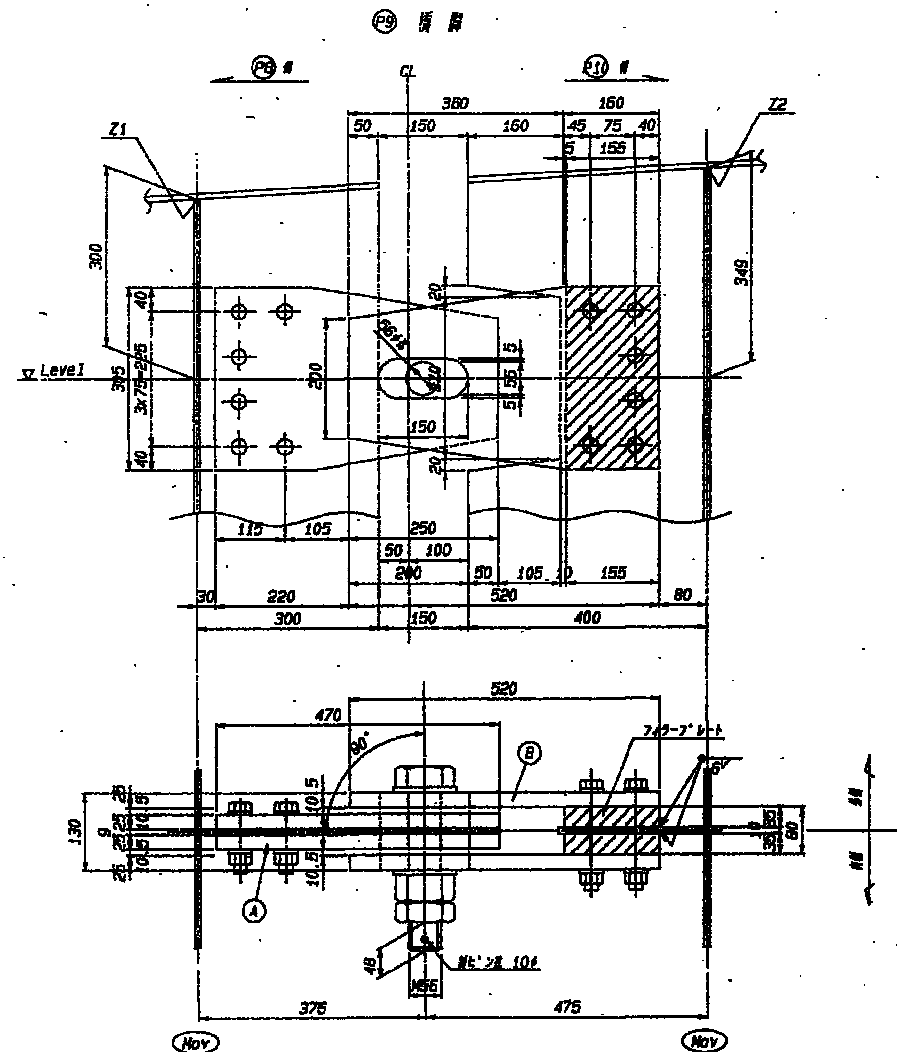
名 称	規格・寸法	材 質	数 量
ピン	64φ×400	S35CN	1
ナット	1種		2
	3種		2
座金	115φ×9		2
割ピン	10φ×75	SWRM10	2

館山自動車道 大鳥居高架橋耐震補強工事				
図面の種類	千葉東IC クランプ橋 P7橋脚 既設落橋防止装置撤去図			
縮 尺	図 示	図面番号	/	
設計会社名	大成エンジニアリング株式会社			
施工会社名				
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 市 原 管 理 事 務 所			

PG 清輝上

ヒ・ソホ・ルト・ナット撤去

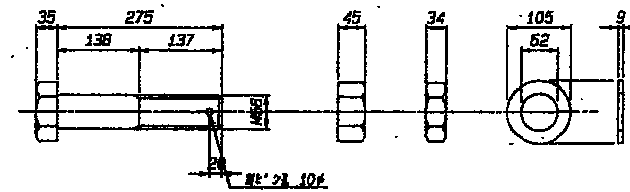
連結板詳細
①、②



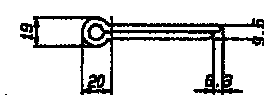
- # 2-PL 305x25x520 (SM400A)
- # 2-PL 305x25x470 (SM400A)
- 2-PL 153x35x305 (SM00B)
- ※ 6-H.T.B. M22x100 (F 8 T)
- ※ 6-H.T.B. M22x170 (F 8 T)
- # 1-Bolt Nut 56x275 (38x18) (S3BC) 撤去
- 1-#12x100x100 (SNFM) 撤去

撤去材料表

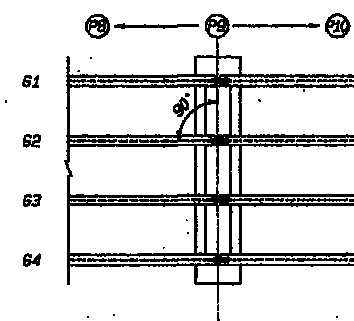
名 称	規格・寸法	材 質	数 量
ボルト	56φ×275	S35C	1
ナット	3種		1
割ピン	10φ×100	SWRM	1



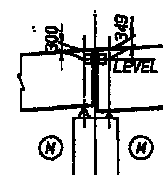
毒土の撤去 S=1:5



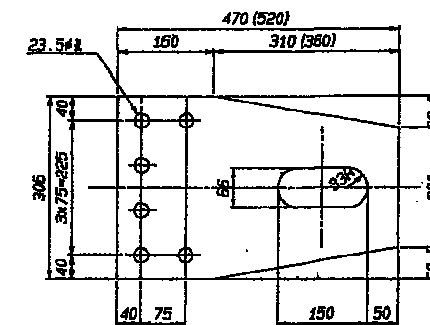
三 三 三



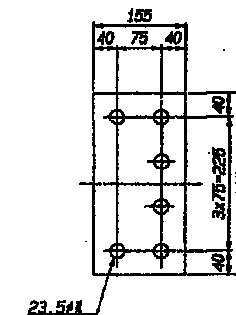
取付け位置図



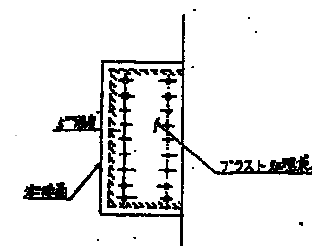
	Z1	Z2
G1	14427	14476
G2	14367	14436
G3	14347	14396
G4	14307	14356



フィルター・レート詳細



注) 3. 詳細図



1. 新車は約¥850,000とする。
2. 中古車の場合は新車減価償却額 (¥727,551) 相当とする。
ただし、5年10万キロ、中古車は ¥700,000 とする。
3. 中古車は新車減価償却額より、すべて償却が
完了したと仮定する。償却完了後はプラス20%増
加するものとし、売却額を売却価格とする。
4. 運転手は、現行乗客制の乗客とする。

館山自動車道 大鳥居高架橋耐震補強工事			
図面の種類	千葉葉ⅢCランプ橋 P9橋脚 既設落橋防止装置撤去図		
縮 尺	図 示	図面番号	/
設計会社名	大成エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 市原 管 理 事 務 所		

置 裝 結 連 震 耐

上脚標 ㊦

ヒ'ンホ'ルト・ナット 撤去

連結表詳解
①, ② 是題

フィルター・レート詳細

割合の除去 S=1:5

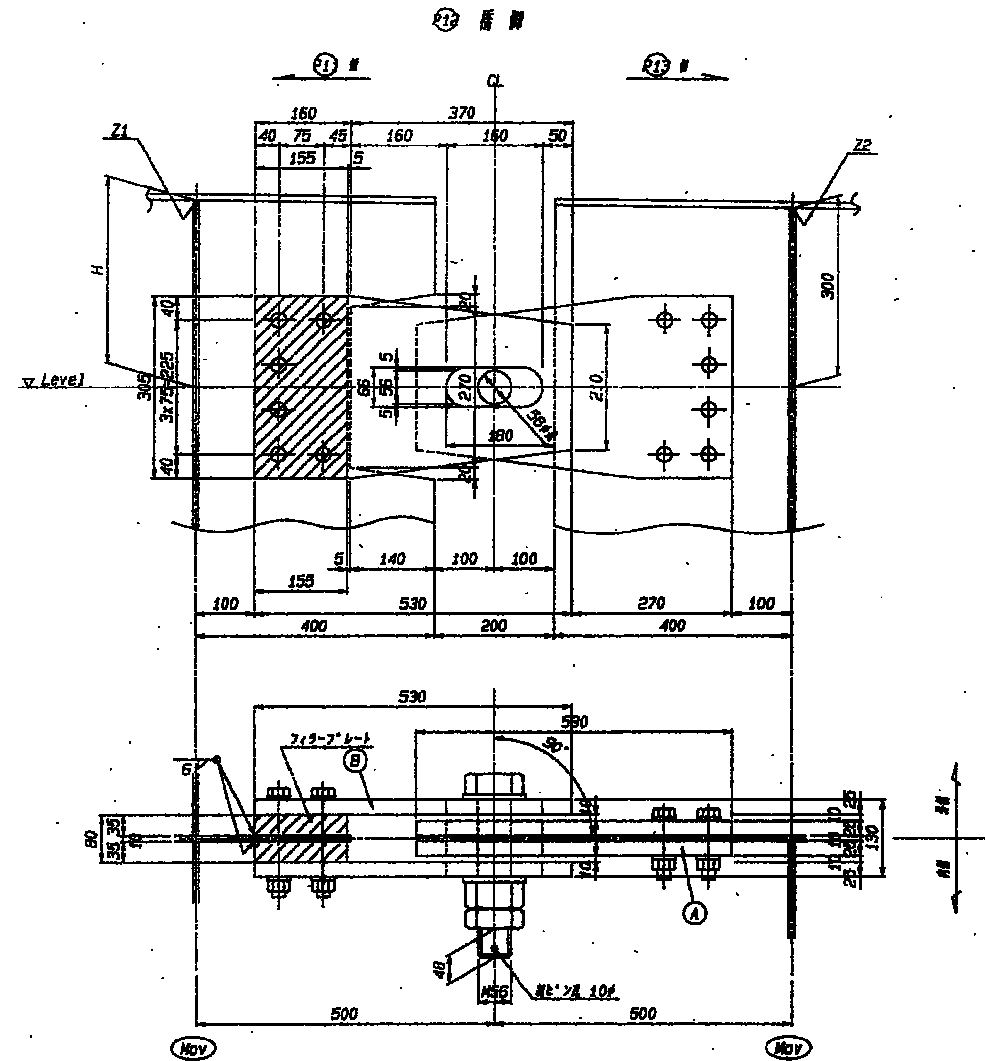
起 飛 圖

取付位置図

注) 3. 詳細図

1. 特許なを特許第255400とする。
2. 五項の特許は特許第10255 (10255) 特許とする。
3. 高力バレット製造会社は、すべての銃弾が
4.4口径となるように強くプラスチック
を造るものとし、表面は硝子と硝子とする。
4. 硝子硝子は、硝子硝子製造会社のこと。

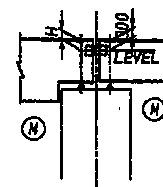
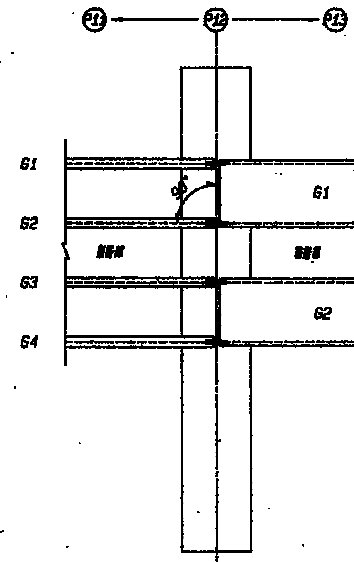
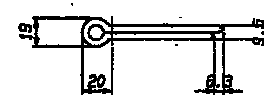
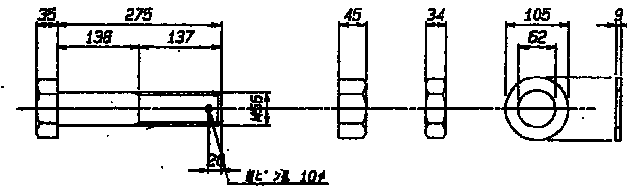
館山自動車道 大鳥居高架橋耐震補強工事			
図面の種類	千栗東IC C ランプ橋 P12橋脚 既設落橋防止装置撤去図(その1)		
縮 尺	図 示	図面番号	/
設計会社名	大成エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 市原管理事務所		



※ 4-PL 303x275x530 (SM400A)
2-PL 155x35x305 (SM400B)
※ 5-H.T.B M22x100 (F&T)
※ 5-H.T.B M22x170 (F&T)
※ 1-Bolt Nut 55x275 (3本ナット) (S35C) 撤去
※ 1-ボルト 105x100 (SWRM) 撤去

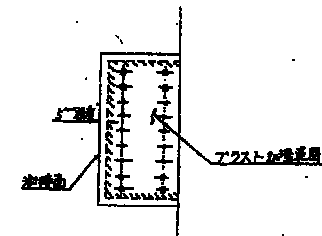
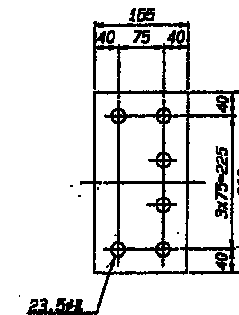
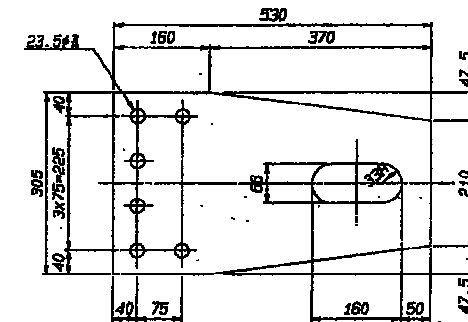
撤去材料表

名 称	規格・寸法	材 質	数 量
ボルト	56φ×275	S35C	1
ナット	3種		1
割ピン	10φ×100	SWRM	1

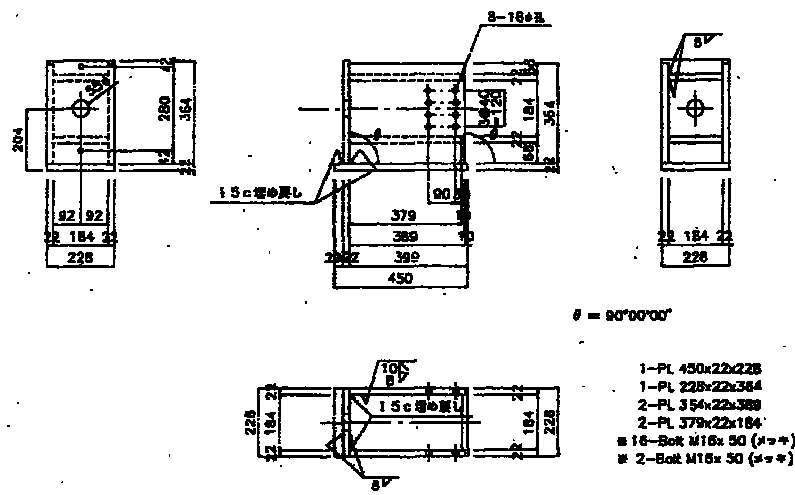


	H	Z1	Z2
G1 (G1L)	315	18544.8	18529.7
G2 (G1R)	318	18547.8	18529.7
G3 (G2L)	311	18550.8	18539.7
G4 (G2R)	314	18553.8	18539.7

注 () 为比游部各示才。

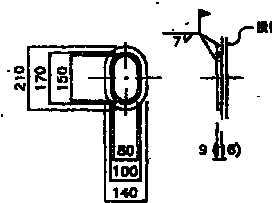


ブラケット詳細 S=1:25



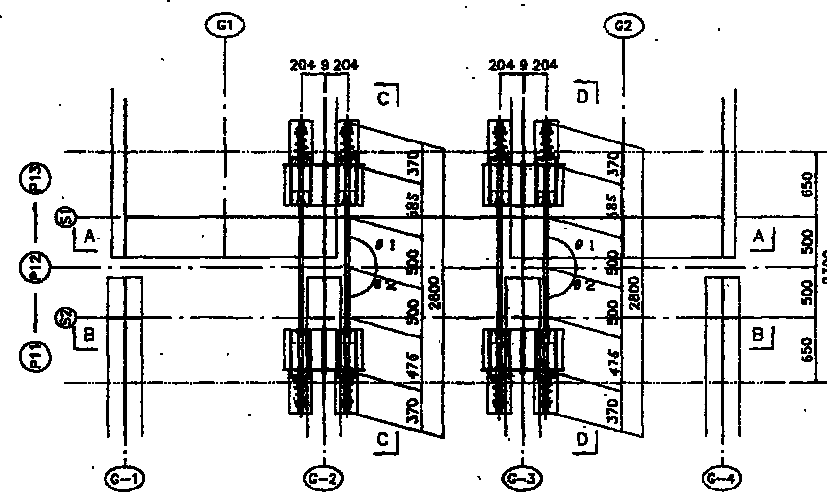
ダブリング詳細 S=1:25

() 内寸法は、G1、G2の橋桁内寸法を示す。



撤去材料表

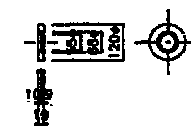
名称	規格・寸法	材質	数量
ナット		S45C	2
スプリング	L=250	SW-C	2



※ 1 83°28'01"
※ 2 86°33'56"
※ 3 83°23'10"
※ 4 86°38'56"

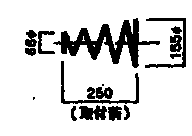
※ 支圧板(A) S=1:25

亜鉛メッキ仕様



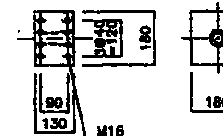
※ スプリング撤去 S=1:25

亜鉛メッキ仕様 (SW-C)



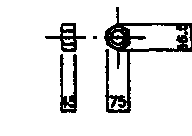
※ 偏向具詳細 S=1:25

(ポリエチレン)



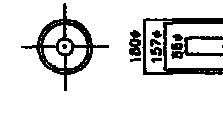
※ ナット撤去 S=1:25

亜鉛メッキ仕様 (S45C)



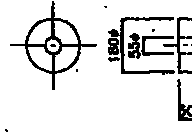
※ 支圧板(B) S=1:25

亜鉛メッキ仕様

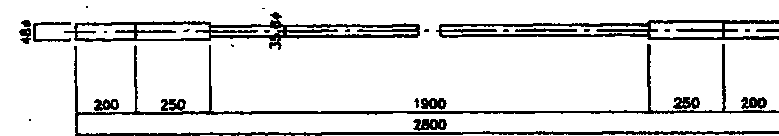


※ 緩衝パッキン詳細 S=1:25

(CR)



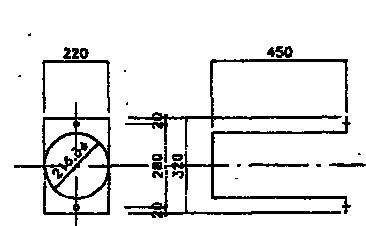
※ PCケーブル(F50T) S=1/10



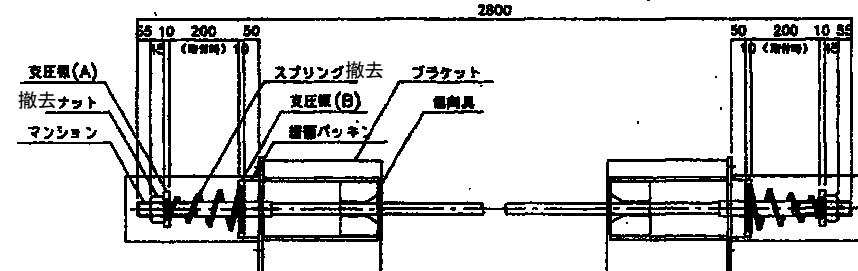
※ キャップ詳細 S=1:25

(STK)

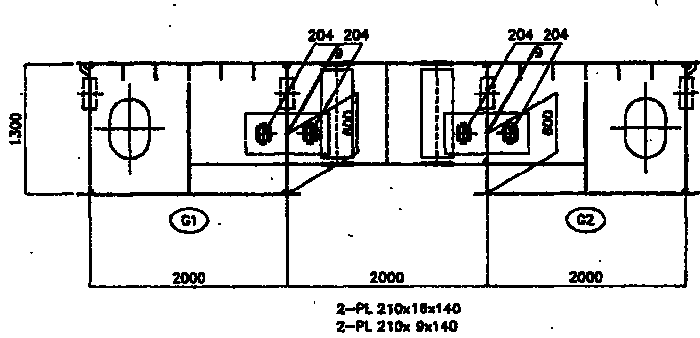
亜鉛メッキ仕様



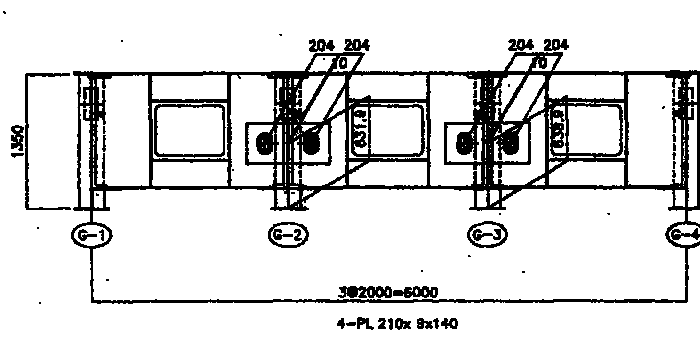
平面図 S=1:25



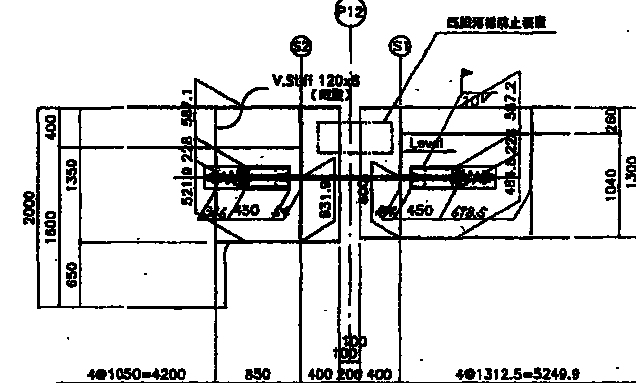
A-A



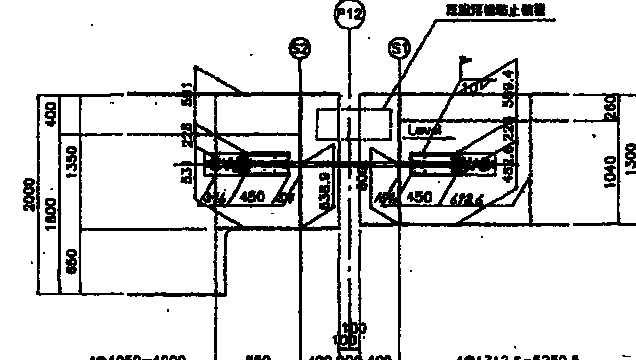
B-B



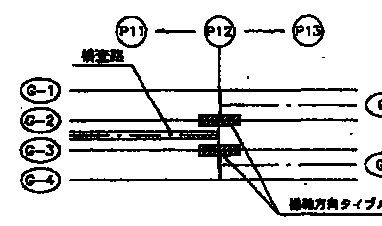
C-C



D-D



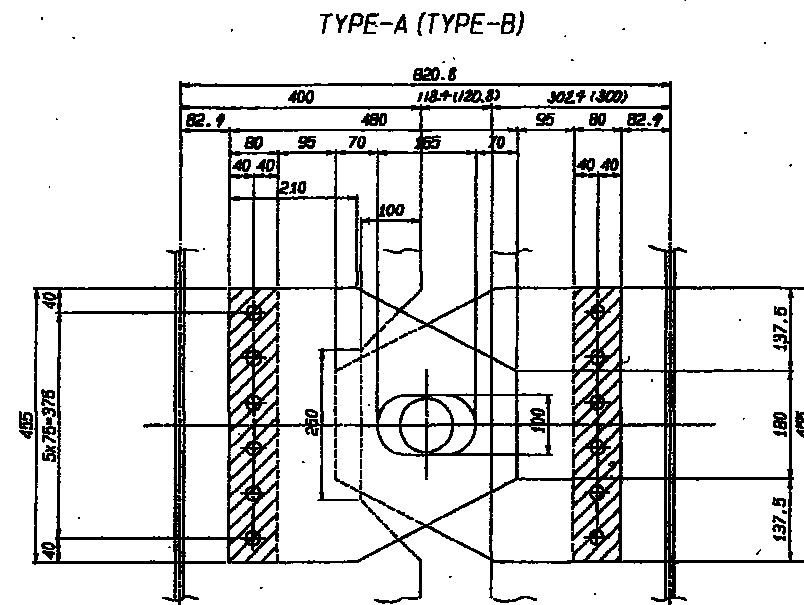
配置図



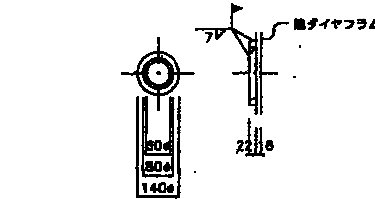
- 注 記
1. 特記なき材質は全てSS400とする。
 2. 取付け部材は鋼材を示す。
 3. ブラケット溶接部
溶接方向については、水分の侵入を防ぐために溶接するものとし、溶接用の溶接としない。
 4. タイプルキャップが既設補材と交差する箇所は現場にて加工のこと。

館山自動車道 大島居高架橋耐震補強工事				
図面の種類	千葉東IC Cランプ橋 P12橋脚 既設落橋防止装置撤去図(その2)			
縮 尺	図 示	図面番号	/	
設計会社名	大成エンジニアリング株式会社			
施工会社名				
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 市 原 管 理 事 務 所			

工 農 運 紅 壯 衛

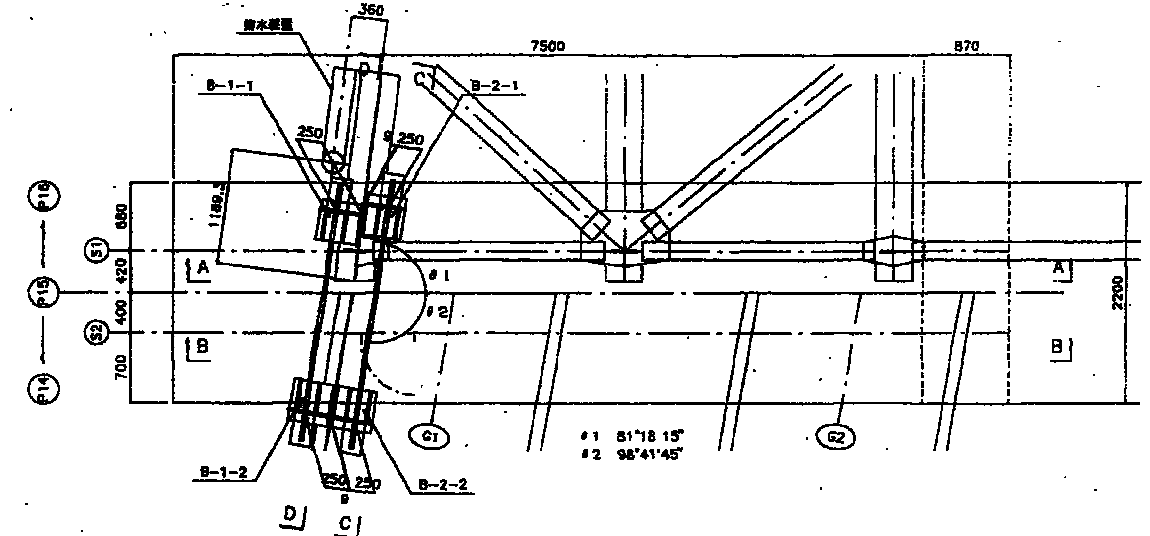


ダブリング詳細 S=1:25

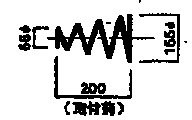
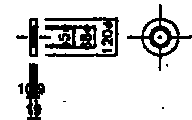


	θ
B-1-1	81°32'02"
B-1-2	80°38'03"
B-2-1	85°27'58"
B-2-2	89°01'57"

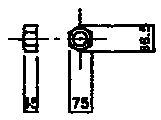
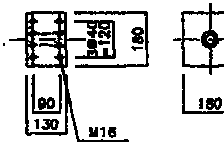
撤去材料表			
名 称	規格・寸法	材 質	数 量
ナット		S45C	2
スプリング	L=200	SW-C	2



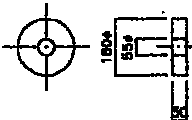
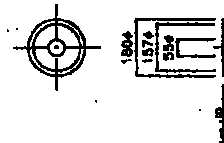
※ スプリング撤去 S=1:25
亜鉛メッキ仕様 (SW-C)



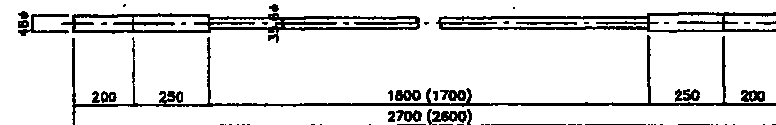
※ ナット撤去 S=1:25
亜鉛メッキ仕様 (S45C)



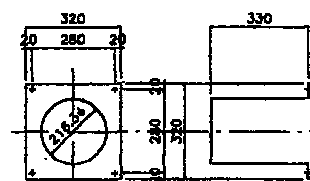
※ 緩衝パッキン詳細 S=1:25
(CR)



・（ ）内寸法はG2規格値を示す。

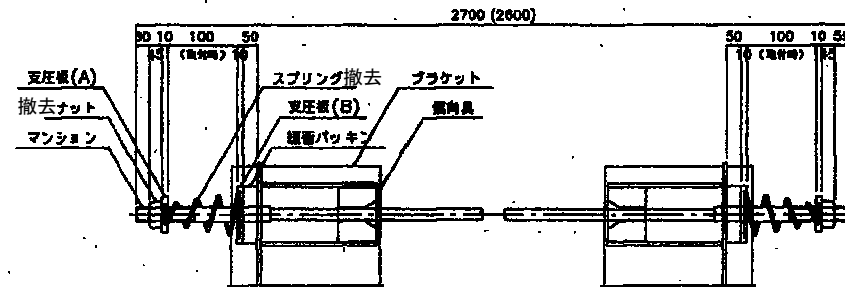


〈STK〉
亜鉛メッキ仕様



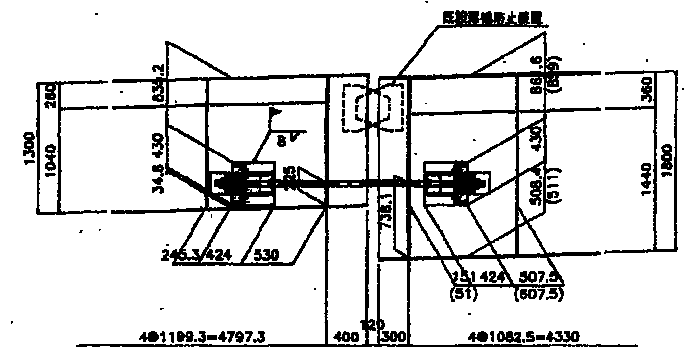
※ キャップサイズを加工のこと。

半圆图 S=1:25

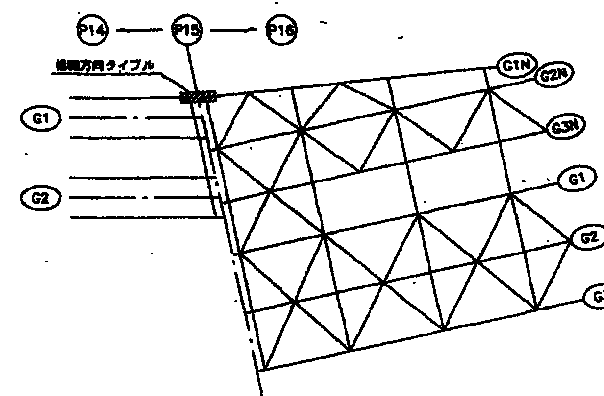


B - B

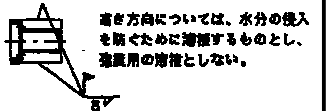
C - C (D - D)



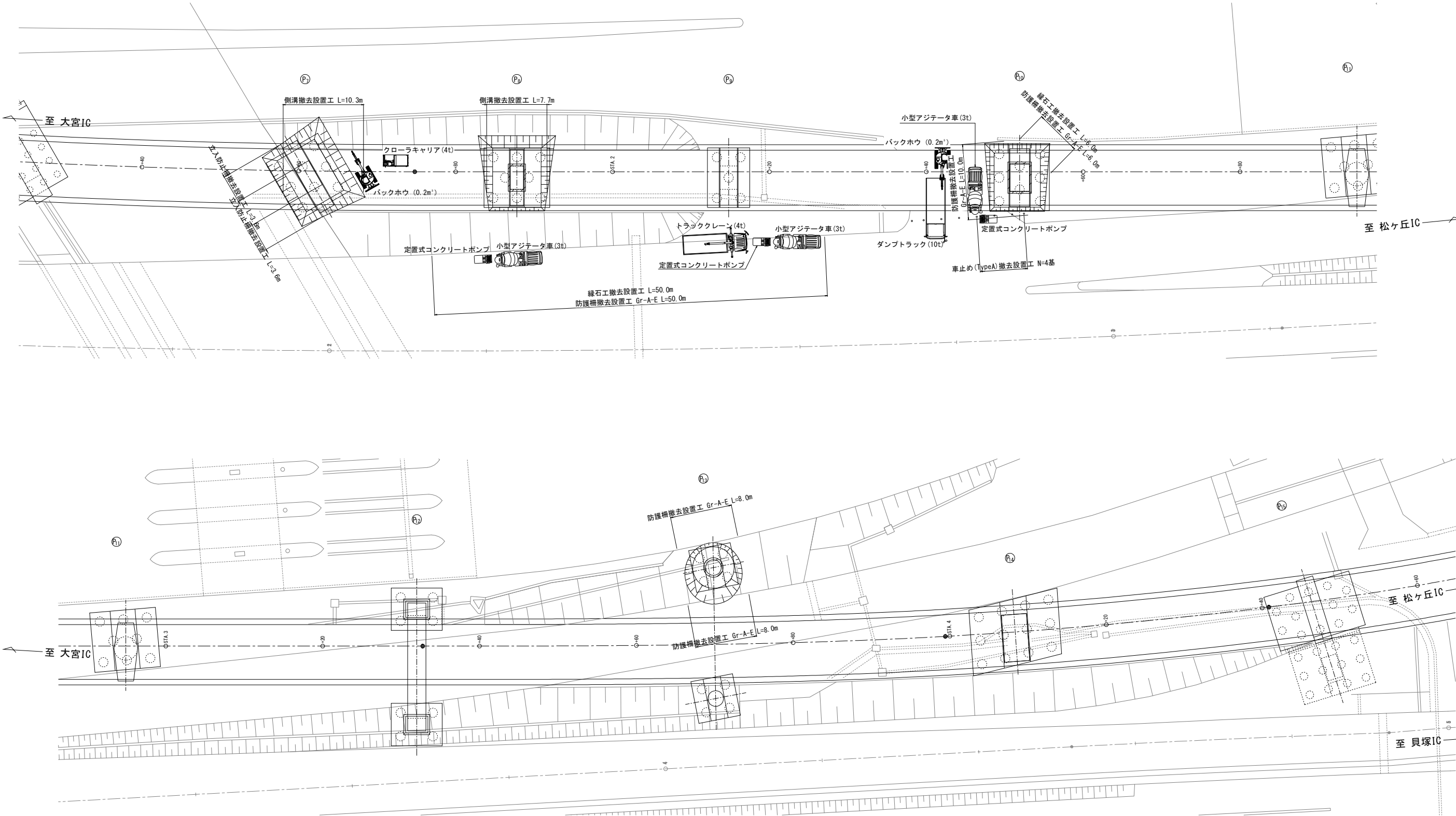
配置図



- 注 記
1. 特記なき材質は全てSS400とする。
 2. 車印付き部材は舶入品を示す。
 3. ブラケット溶接部



館山自動車道 大鳥居高架橋耐震補強工事			
図面の種類	千葉東IC Cランプ橋 P15橋脚 既設落橋防止装置撤去図(その2)		
縮 尺	図 示	図面番号	/
設計会社名	大成エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 市 原 管 理 事 務 所		

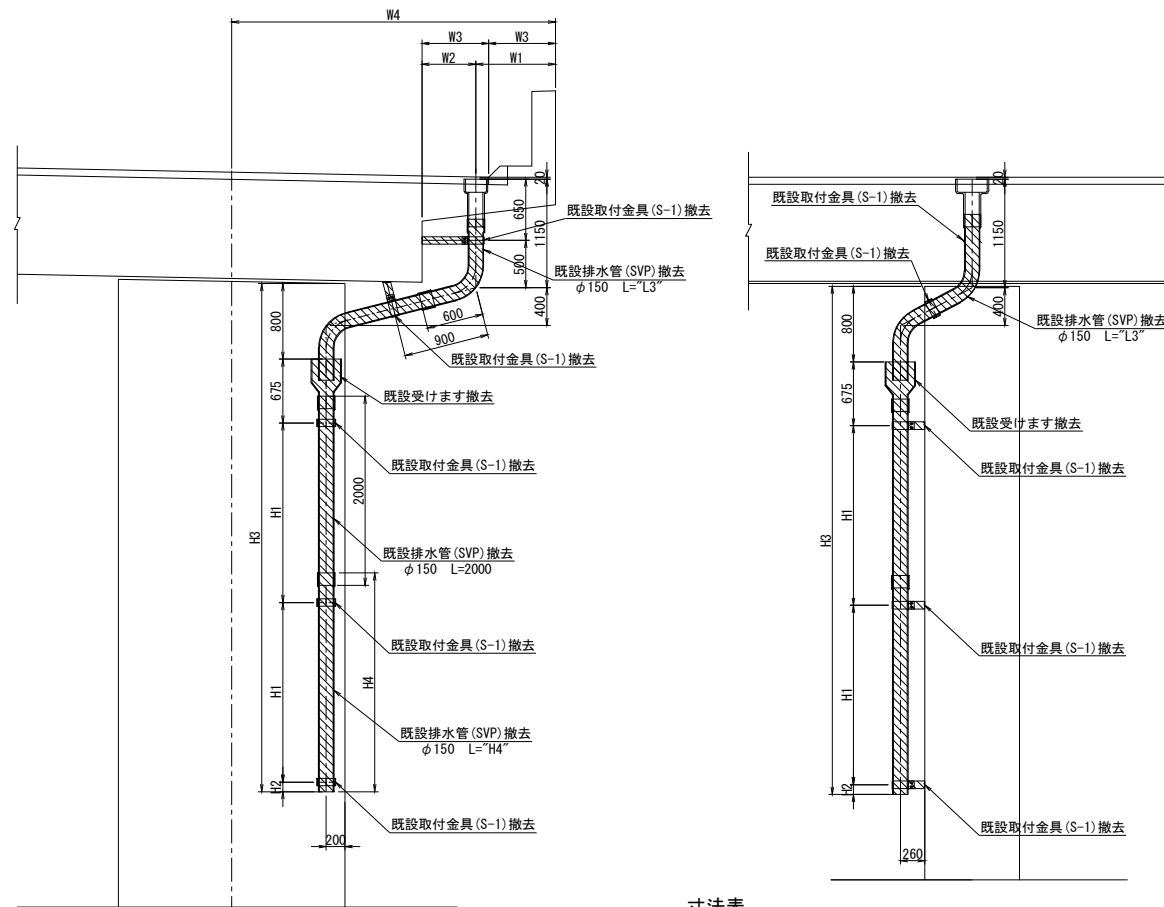


撤去工

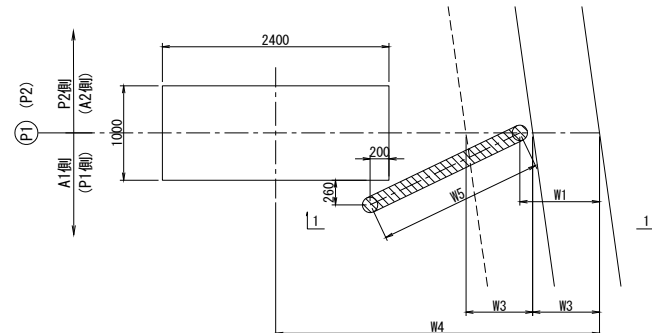
設置工

正面図

側面図

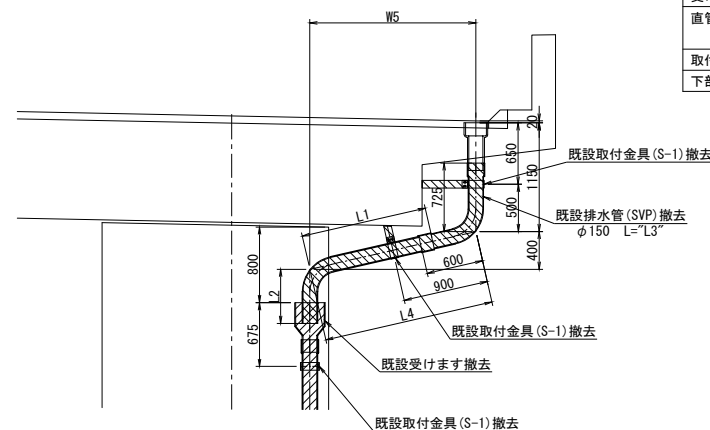


平面図

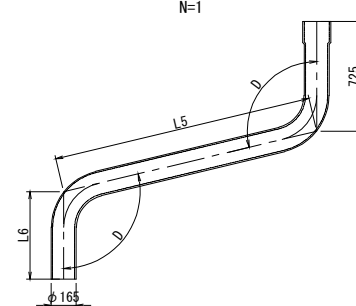


※ ()は、P2を示す。

1 - 1



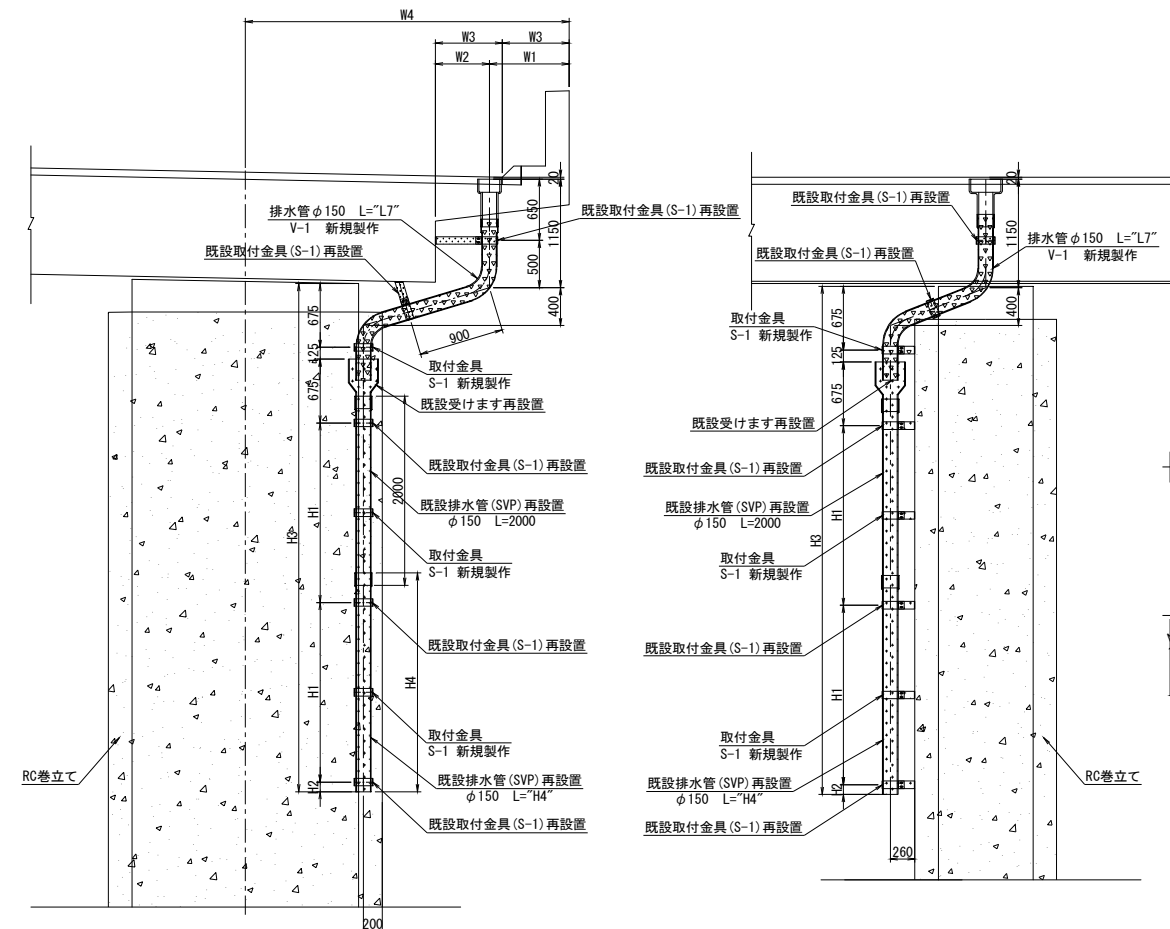
新規製作 V-1 S=1:50



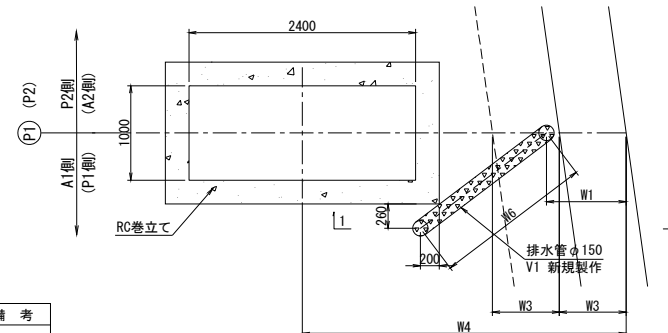
1-SVP ϕ 150 x L7

正面図

側面図

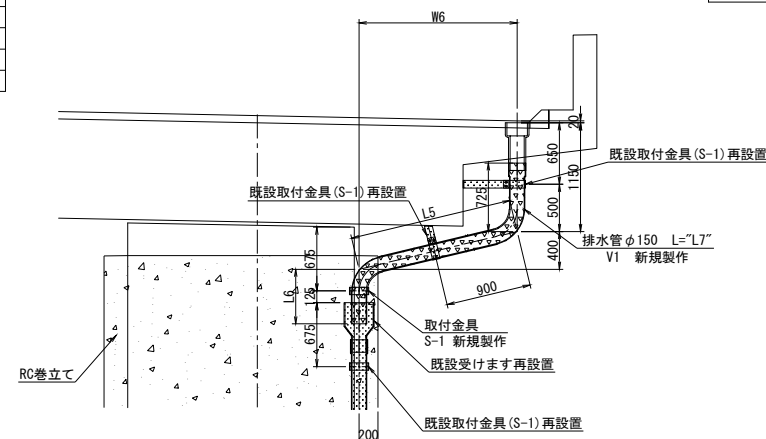


平面图



※ () は、P2を示す。

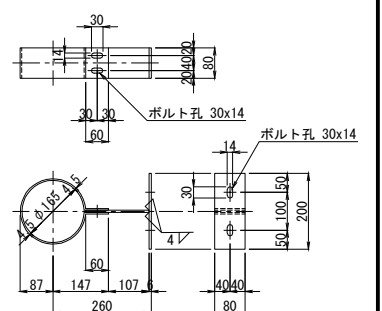
1 - 1



凡例

-  : 撤去
 : 既設再設置
 : 新規製作

新規製作 取付金具 S-1 S=1:20



- 1-PL 80x6x200
1-PL 80x6x167
1-PL 80x4.5x647
2-BN M12x40
2-ホールインアンカー M12

寸法表

	上り線		下り線	
	P1	P2	P1	P2
W6	1673	1673	1916	1921
L5	1720	1720	1957	1961
L6	578	580	580	586
L7	3023	3025	3262	3266
D	103° 26' 48"	103° 26' 48"	101° 47' 32"	101° 46' 1"

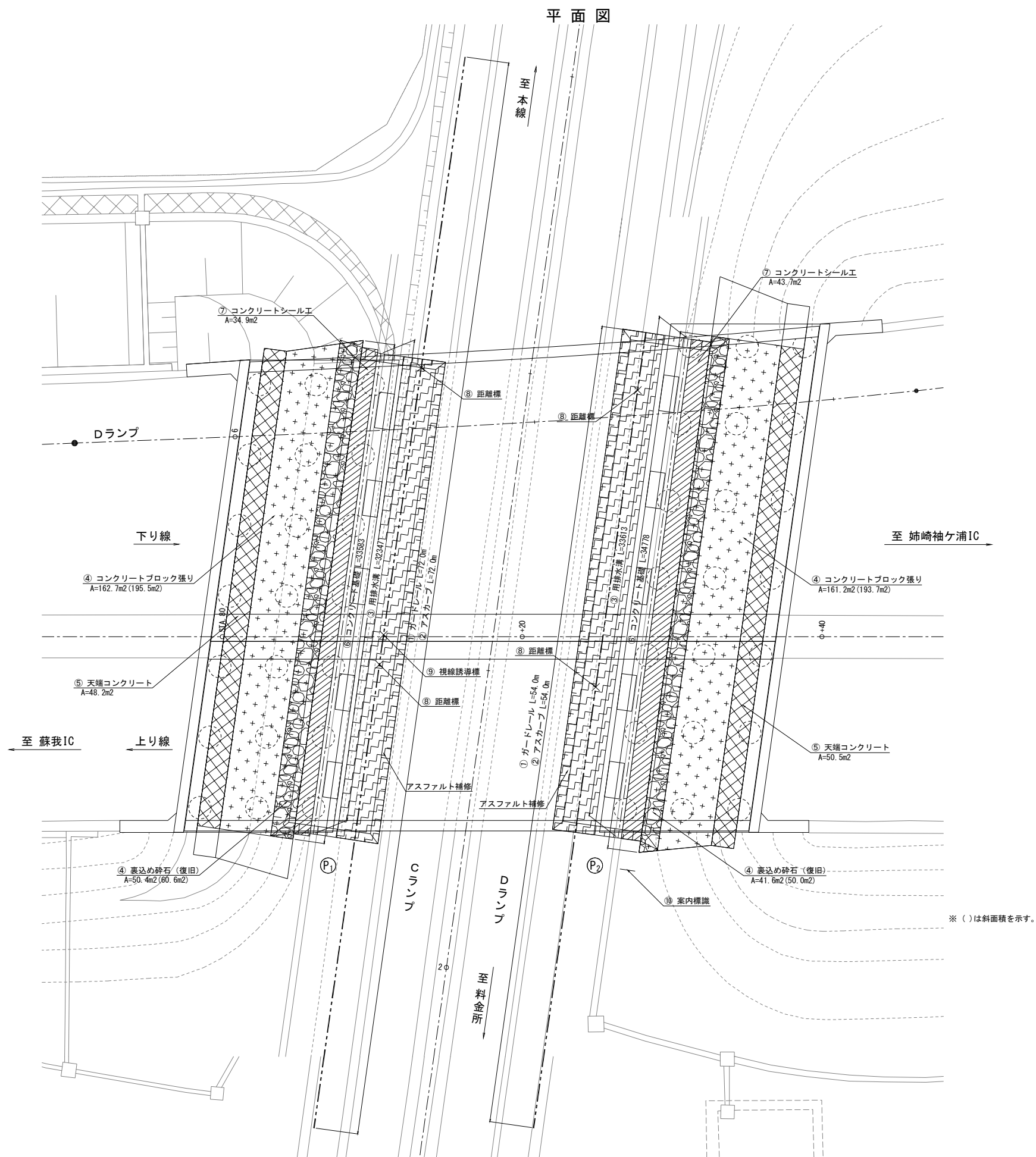
設置工数量表

項 目	規格・寸法	単位	上り線		下り線		備 考
			P1	P2	P1	P2	
曲管	V-1 φ150 L="L7"	個	1	1	1	1	
取付金具	S-1	個	2	2	2	2	※再設置
	S-1 新規製作	個	1	1	1	1	
上部工流水延長		m	3.023	3.025	3.262	3.266	
受けます		個	1	1	1	1	※再設置
直管	φ150	m	2.000	2.000	2.000	2.000	※再設置
	φ150	m	2.316	2.380	2.868	2.880	※再設置
取付金具	S-1	個	3	3	3	3	※再設置
	S-1 新規製作	個	2	2	2	2	
下部工流水延長		m	4.577	4.461	5.129	5.141	

注記)

1. 特記なき材質は、全てSS400とする。
2. ナットは全て緩み止めナットを使用すること。
3. 部材は全て溶融亜鉛めっきを施す。
亜鉛の塗膜は JIS H 8641 HDZT77とする。
但し、厚さ3.2mm未満の鋼材及び
ボルト・ナット類はHDZT49とする。

館山自動車道 大鳥居高架橋耐震補強工事				
図面の種類	市原第三橋（上下線）P1、P2橋脚 撤去・設置工 排水管A 詳細図			
縮 尺	図 示	図面番号	/	
設計会社名	大成エンジニアリング株式会社			
施工会社名				
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 市 原 管 理 事 務 所			



撤去数量表

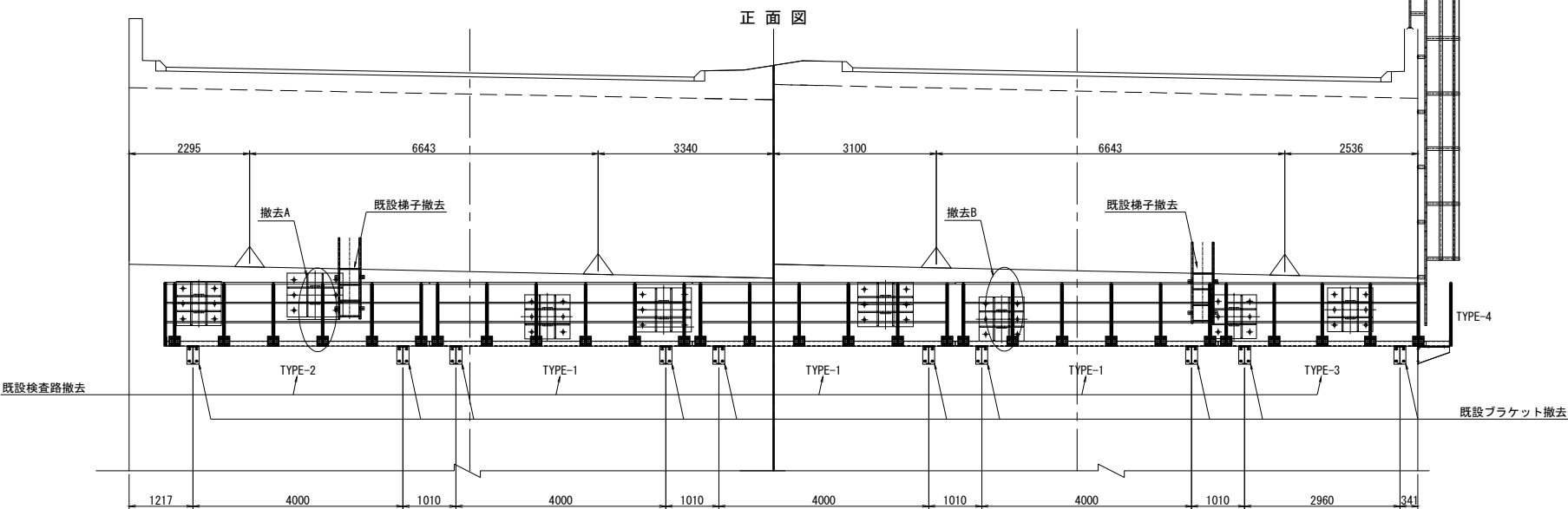
No.	項 目	規 格	単 位	数 量		備 考
				P1橋脚	P2橋脚	
①	ガードレール	Gr-A-2E	m	72.0	54.0	
②	アスカープ	As-C	m	72.0	54.0	
③	用排水溝	Ds-PuL-0.30-0.30	m	32.0	34.0	
④	コンクリートブロック張り	(空) 控12cm	m2	195.5	193.7	
⑤	天端コンクリート	D1-1	m2	48.2	50.5	
⑥	コンクリート基礎工	TypeA	m	34.0	35.0	
⑦	コンクリートシール工	C1-1	m2	34.9	43.7	
⑧	距離標	D2	枚	2	2	
⑨	視線誘導標	A2-1	基	1	—	
⑩	案内標識	—	基	—	1	
	セメント安定処理路盤工	下層路盤 t=210	m2	78.4	81.2	
	加熱アスファルト安定処理混合物	t=140	m2	67.9	70.2	
	アスファルトコンクリート基層混合物	t=60	m2	63.0	65.2	
	高機能舗装Ⅱ型	t=40	m2	62.2	64.3	

復旧数量表

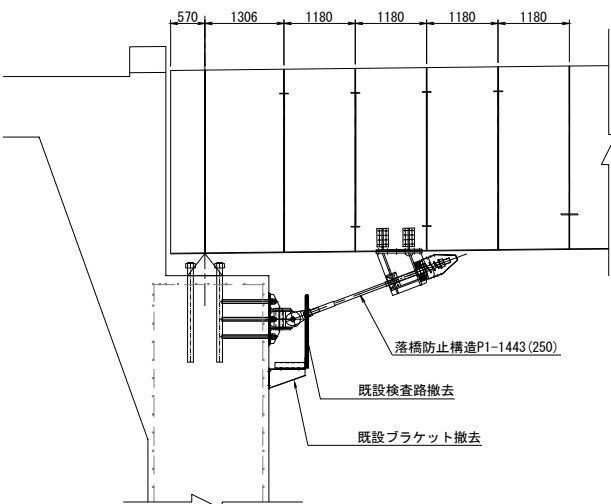
No.	項 目	規 格	単 位	数 量		備 考
				P1橋脚	P2橋脚	
①	ガードレール	Gr-A-2E	m	72.0	54.0	
②	アスカープ	As-C	m	72.0	54.0	
③	用排水溝	Ds-PuL-0.30-0.30	m	32.0	34.0	
④	コンクリートブロック張り	(空) 控12cm	m2	195.5	193.7	
⑤	裏込め砕石	RC-40	m3	6.1	5.0	
⑥	天端コンクリート	D1-1	m2	48.2	50.5	
⑦	コンクリート基礎工	TypeA	m	34.0	35.0	
⑧	コンクリートシール工	C1-1	m2	34.9	43.7	
⑨	距離標	D2	枚	2	2	
⑩	視線誘導標	A2-1	基	1	—	
⑪	案内標識	—	基	—	1	
	セメント安定処理路盤工	下層路盤 t=210	m2	78.4	81.2	
	加熱アスファルト安定処理混合物	t=140	m2	67.9	70.2	
	アスファルトコンクリート基層混合物	t=60	m2	63.0	65.2	
	高機能舗装Ⅱ型	t=40	m2	62.2	64.3	

館山自動車道 大島居高架橋耐震補強工事			
図面の種類	市原第三橋（上下線） 付帯工撤去・復旧図(参考図)(その1)		
縮 尺	図 示	図面番号	/
設計会社名	大成エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 市 原 管 理 事 務 所		

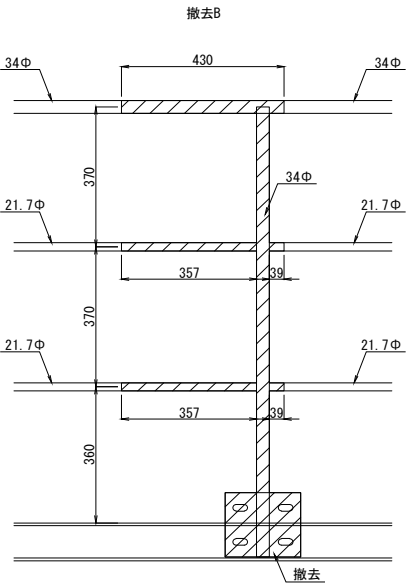
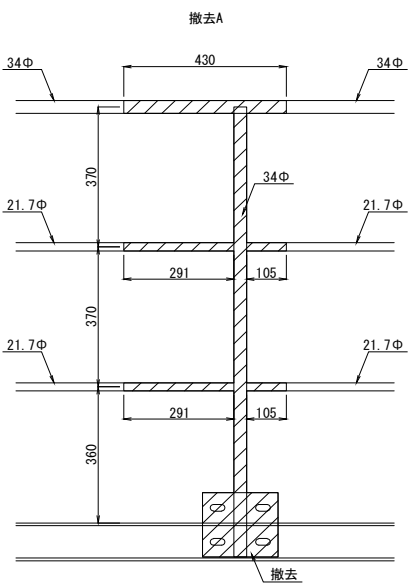
撤去工



側面図



手摺撤去詳細図 S=1:20



撤去材料
1-Pipe 34Φ×2.3×430(STK41)
1-Pipe 34Φ×2.3×1190(〃)
2-Pipe 21.7Φ×1.9×291(〃)
2-Pipe 21.7Φ×1.9×105(〃)
2-PL 170×6×200
4-BN M16×45(1-W, 1-S, W付)

撤去材料
1-Pipe 34Φ×2.3×430(STK41)
1-Pipe 34Φ×2.3×1190(〃)
2-Pipe 21.7Φ×1.9×357(〃)
2-Pipe 21.7Φ×1.9×39(〃)
2-PL 170×6×200
4-BN M16×45(1-W, 1-S, W付)

撤去数量（既設図より）

TYPE-1 箇所:N=3

1-Pipe 34Φ×2.3×5000(STK41)
6-Pipe 34Φ×2.3×1190(〃)
10-Pipe 21.7Φ×1.9×914(〃)
12-PL 170×6×200
24-BN M16×45(1-W, 1-S, W付)

2-[100×50×5×7.5×5000
2-[100×50×5×7.5×490
6-FB 50×6×490
1-ChPL 480×3.2×4980
46-BN M10×30(1-T, W付)

2-PL 200×8×480
8-BN M16×45(1-W, 1-S, W付)

TYPE-2

1-Pipe 34Φ×2.3×5046(STK41)
1-Pipe 34Φ×2.3×546(〃)
7-Pipe 34Φ×2.3×1190(〃)
10-Pipe 21.7Φ×1.9×914(〃)
2-Pipe 21.7Φ×1.9×177(〃)
2-Pipe 21.7Φ×1.9×377(〃)

14-PL 170×6×200
28-BN M16×45(1-W, 1-S, W付)
2-[100×50×5×7.5×5000
2-[100×50×5×7.5×490
6-FB 50×6×490
1-ChPL 480×3.2×4980
46-BN M10×30(1-T, W付)

2-PL 200×8×480
8-BN M16×45(1-W, 1-S, W付)

TYPE-3

1-Pipe 34Φ×2.3×3960(STK41)
5-Pipe 34Φ×2.3×1190(〃)
8-Pipe 21.7Φ×1.9×889(〃)
10-PL 170×6×200
20-BN M16×45(1-W, 1-S, W付)

1-[100×50×5×7.5×3960
1-[100×50×5×7.5×3909
1-[100×50×5×7.5×490
1-[100×50×5×7.5×493
5-FB 50×6×490
1-ChPL 480×3.2×3940
38-BN M10×30(1-T, W付)

2-PL 200×8×480
8-BN M16×45(1-W, 1-S, W付)

上下部連絡用梯子 箇所:N=2

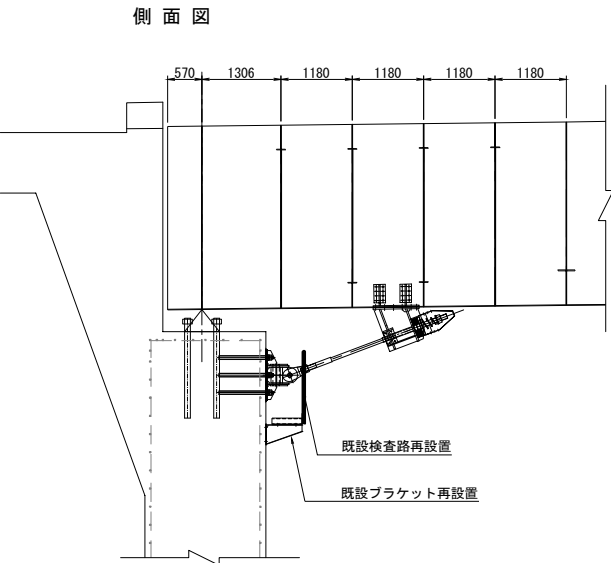
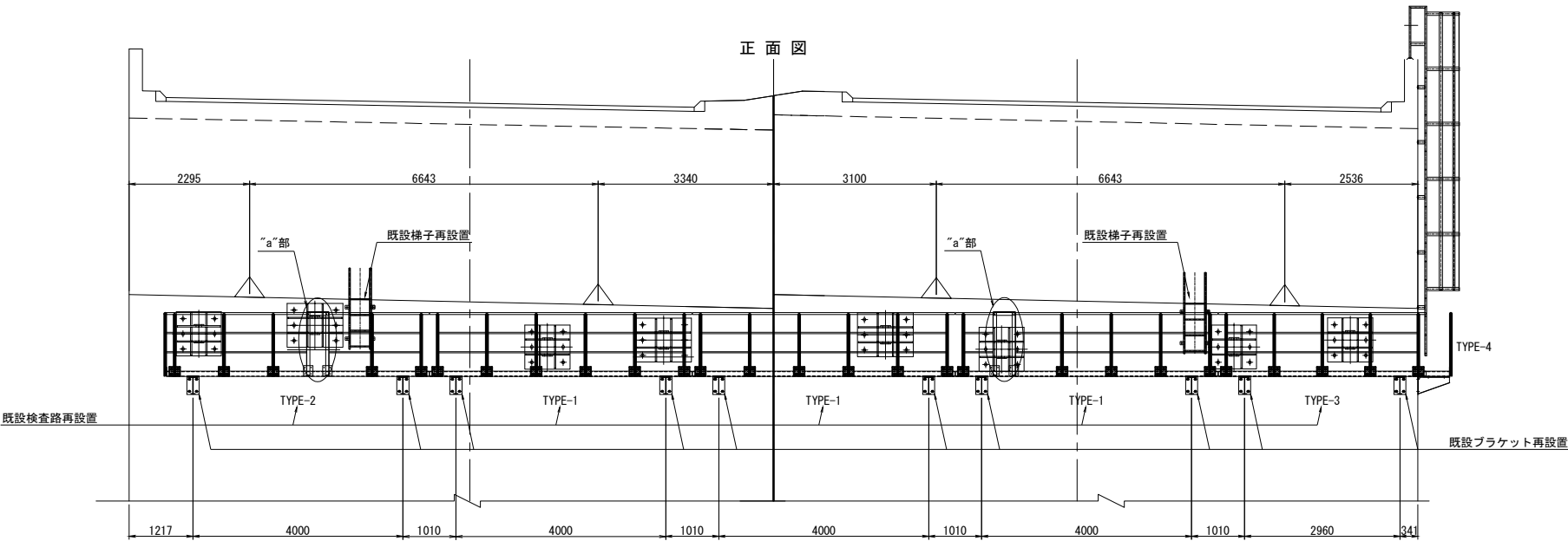
2-Pipe 34Φ×2.3×1567(STK41)
2-Pipe 34Φ×2.3×334(〃)
2-Pipe 34Φ×2.3×581(〃)
4-RB 22Φ×400
2-FB 65×6×266
2-FB 65×6×130
4-FB 65×6×215
6-ホールインアンカー M16

ブラケット 箇所:N=10

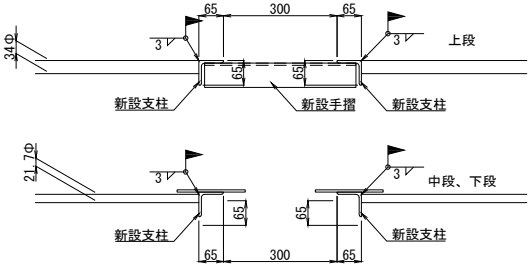
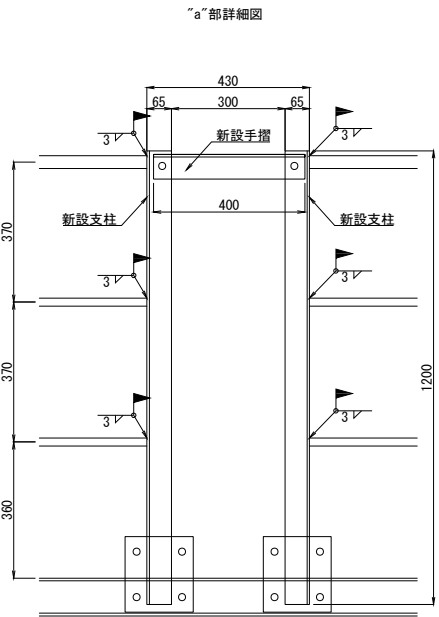
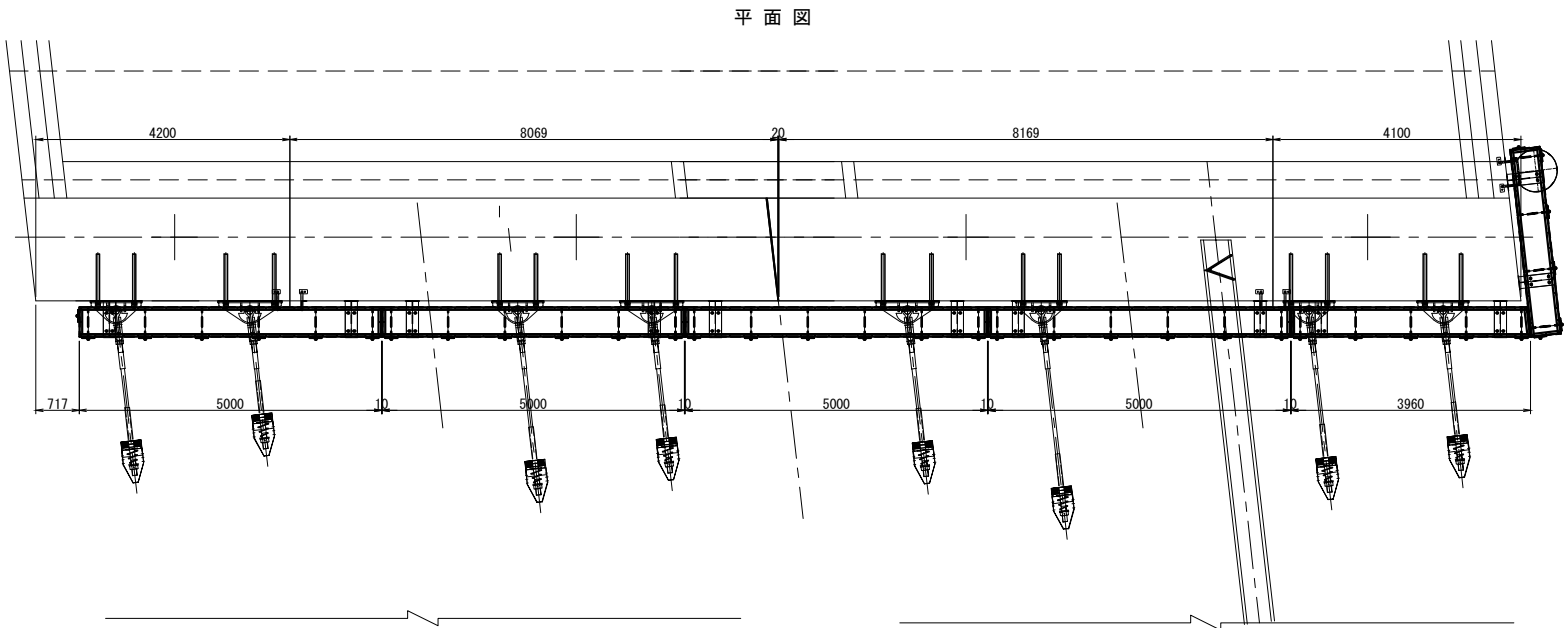
1-PL 230×8×350
1-PL 200×8×602
1-PL 309×8×592
1-PL 90×8×628

館山自動車道 大島居高架橋耐震補強工事			
図面の種類	養老川橋（上下線）A1橋台 撤去・設置工 検査路B 詳細図（その1）		
縮 尺	図 示	図面番号	／
設計会社名	大成エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 市 原 管 理 事 務 所		

設 置 工



新設支柱、手摺追加詳細図 S=1:20



検査路改良後再設置数量（既設図より）

TYPE-1 箇所:N=3

- 1-Pipe 34Φ×2.3×5000(STK41)
- 6-Pipe 34Φ×2.3×1190(〃)
- 10-Pipe 21.7Φ×1.9×914(〃)
- 12-PL 170×6×200
- 24-BN M16×45(1-W, 1-S, W付)(新設)

- 2-[100×50×5×7.5×5000
- 2-[100×50×5×7.5× 490
- 6-FB 50×6×490
- 1-ChPL 480×3.2×4980
- 46-BN M10×30(1-T, W付)(新設)

- 2-PL 200×8×480
- 8-BN M16×45(1-W, 1-S, W付)(新設)

TYPE-2

- 1-Pipe 34Φ×2.3×5046(STK41)
- 1-Pipe 34Φ×2.3× 546(〃)
- 7-Pipe 34Φ×2.3×1190(〃)
- 10-Pipe 21.7Φ×1.9×914(〃)
- 2-Pipe 21.7Φ×1.9×177(〃)
- 2-Pipe 21.7Φ×1.9×377(〃)

- 14-PL 170×6×200
- 28-BN M16×45(1-W, 1-S, W付)(新設)
- 2-[100×50×5×7.5×5000
- 2-[100×50×5×7.5× 490
- 6-FB 50×6×490
- 1-ChPL 480×3.2×4980
- 46-BN M10×30(1-T, W付)(新設)

- 2-PL 200×8×480
- 8-BN M16×45(1-W, 1-S, W付)(新設)

TYPE-3

- 1-Pipe 34Φ×2.3×3960(STK41)
- 5-Pipe 34Φ×2.3×1190(〃)
- 8-Pipe 21.7Φ×1.9×889(〃)
- 10-PL 170×6×200
- 20-BN M16×45(1-W, 1-S, W付)(新設)

- 1-[100×50×5×7.5×3960
- 1-[100×50×5×7.5×3909
- 1-[100×50×5×7.5× 490
- 1-[100×50×5×7.5× 493
- 5-FB 50×6×490
- 1-ChPL 480×3.2×3940
- 38-BN M10×30(1-T, W付)(新設)

- 2-PL 200×8×480
- 8-BN M16×45(1-W, 1-S, W付)(新設)

上下部連絡用梯子 箇所:N=2

- 2-Pipe 34Φ×2.3×1567(STK41)
- 2-Pipe 34Φ×2.3× 334(〃)
- 2-Pipe 34Φ×2.3× 581(〃)
- 4-RB 22Φ×400
- 2-FB 65×6×266
- 2-FB 65×6×130
- 4-FB 65×6×215
- 6-ホールインアンカー M16(新設)

ブラケット 箇所:N=10

- 1-PL 230×8×350
- 1-PL 200×8×602
- 1-PL 309×8×592
- 1-PL 90×8×628

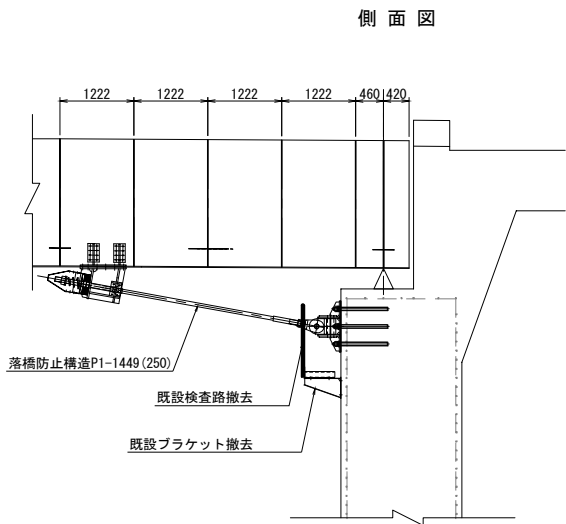
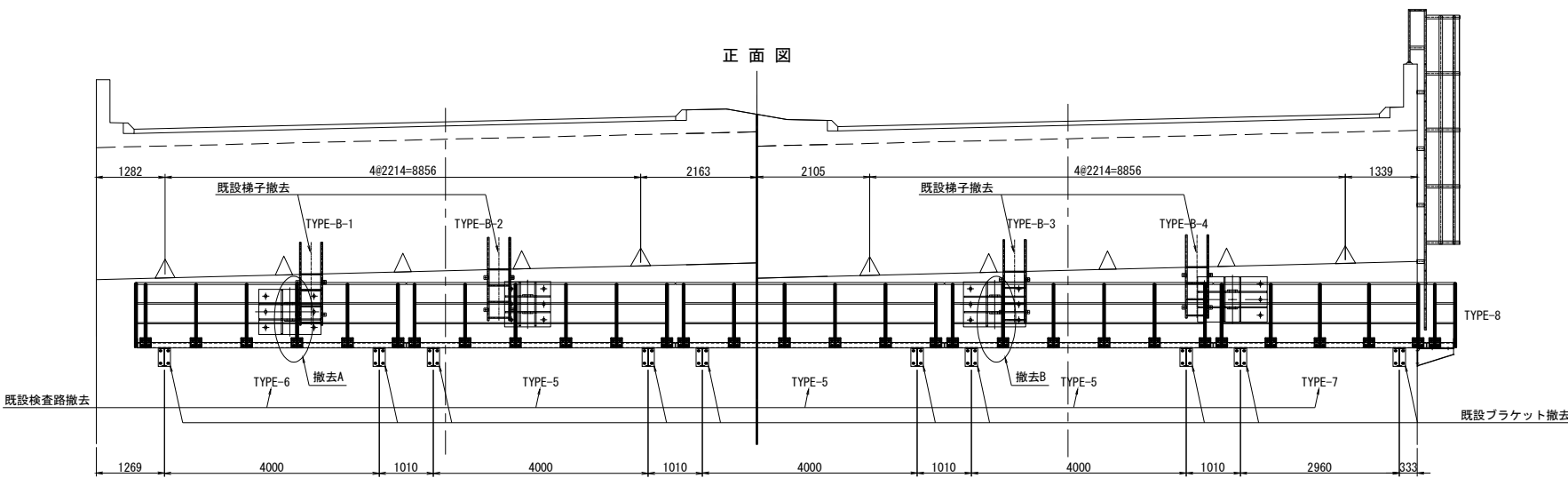
新設手摺 箇所:N=2

- 1-L 65×65×6×400
- 2-L 65×65×6×1200
- 2-PL 180×6×200
- 4-BN M16×35(1-W, 1-S, W付)
- 8-BN M16×45(1-W, 1-S, W付)

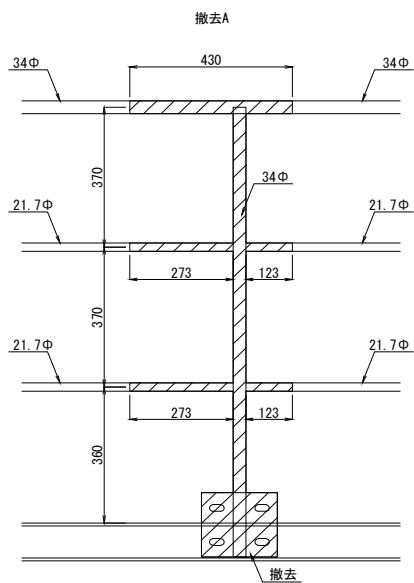
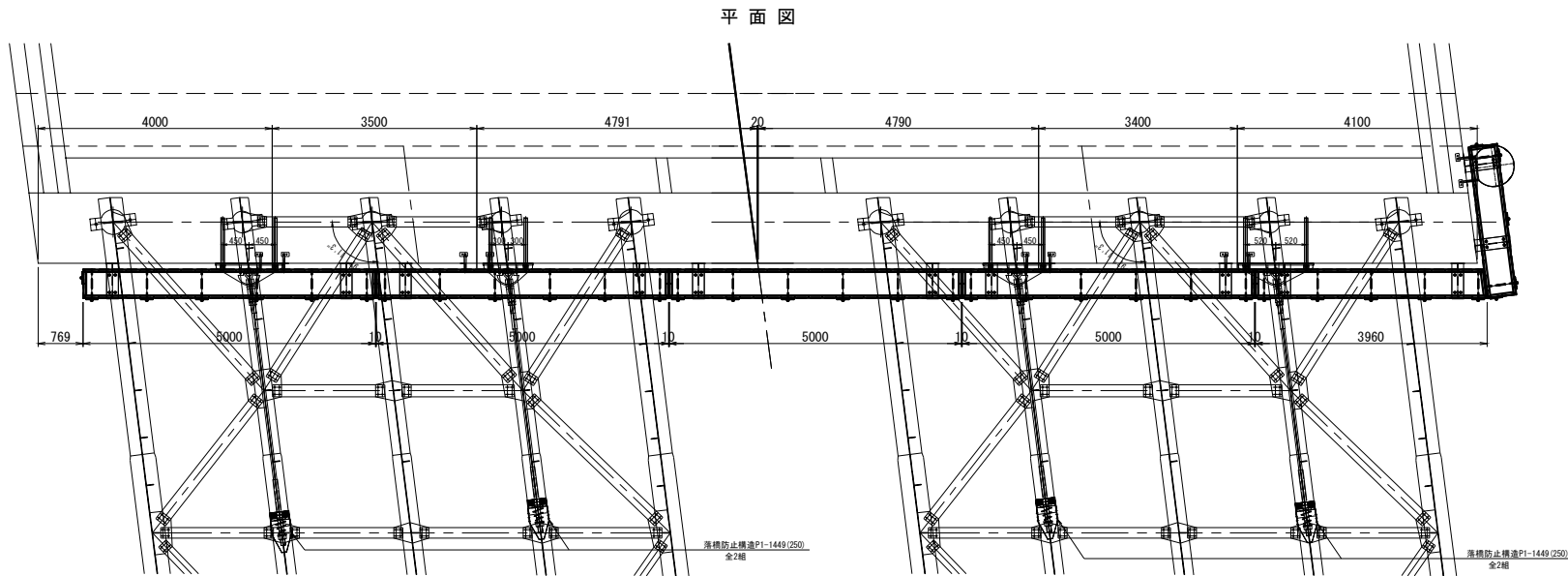
- 1. 特記なき材質は、全てSS400とする。
- 2. ナットは全て緩み止めナットを使用すること。
- 3. 部材は全て溶融亜鉛めっきを施す。
- 4. ボルト孔はめっき付着量を考慮し、ボルト径+3mmを標準とする。

館山自動車道 大鳥居高架橋耐震補強工事			
図面の種類	養老川橋（上下線）A1橋台 撤去・設置工 検査路B 詳細図（その2）		
縮 尺	図 示	図面番号	／
設計会社名	大成エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 市 原 管 理 事 務 所		

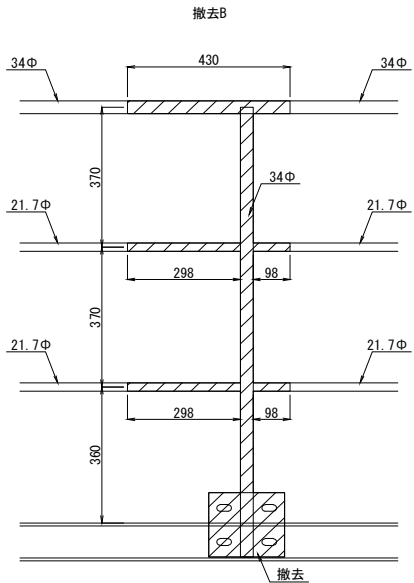
撤去工



手摺撤去詳細図 S=1:20



撤去材料
1-Pipe 34Φ×2.3×430(STK41)
1-Pipe 34Φ×2.3×1190(〃)
2-Pipe 21.7Φ×1.9×273(〃)
2-Pipe 21.7Φ×1.9×123(〃)
2-PL 170×6×200
4-BN M16×45(1-W, 1-S, W付)



撤去材料
1-Pipe 34Φ×2.3×430(STK41)
1-Pipe 34Φ×2.3×1190(〃)
2-Pipe 21.7Φ×1.9×273(〃)
2-Pipe 21.7Φ×1.9×98(〃)
2-PL 170×6×200
4-BN M16×45(1-W, 1-S, W付)

撤去数量（既設図より）

TYPE-5 箇所:N=3

1-Pipe 34Φ×2.3×5000(STK41)
6-Pipe 34Φ×2.3×1190(〃)
10-Pipe 21.7Φ×1.9×914(〃)
12-PL 170×6×200
24-BN M16×45(1-W, 1-S, W付)

2-[100×50×5×7.5×5000
2-[100×50×5×7.5×490
6-FB 50×6×490
1-ChPL 480×3.2×4980
46-BN M10×30(1-T, W付)

2-PL 200×8×480
8-BN M16×45(1-W, 1-S, W付)

TYPE-6

1-Pipe 34Φ×2.3×5046(STK41)
1-Pipe 34Φ×2.3×546(〃)
7-Pipe 34Φ×2.3×1190(〃)
10-Pipe 21.7Φ×1.9×914(〃)
2-Pipe 21.7Φ×1.9×177(〃)
2-Pipe 21.7Φ×1.9×377(〃)

14-PL 170×6×200
28-BN M16×45(1-W, 1-S, W付)
2-[100×50×5×7.5×5000
2-[100×50×5×7.5×490
6-FB 50×6×490
1-ChPL 480×3.2×4980
46-BN M10×30(1-T, W付)

2-PL 200×8×480
8-BN M16×45(1-W, 1-S, W付)

TYPE-7

1-Pipe 34Φ×2.3×3960(STK41)
5-Pipe 34Φ×2.3×1190(〃)
8-Pipe 21.7Φ×1.9×889(〃)
10-PL 170×6×200
20-BN M16×45(1-W, 1-S, W付)

1-[100×50×5×7.5×3960
1-[100×50×5×7.5×3902
1-[100×50×5×7.5×490
5-FB 50×6×490
1-ChPL 480×3.2×3940
38-BN M10×30(1-T, W付)

2-PL 200×8×480
8-BN M16×45(1-W, 1-S, W付)

上下部連絡用梯子 TYPE-B-1~B-4

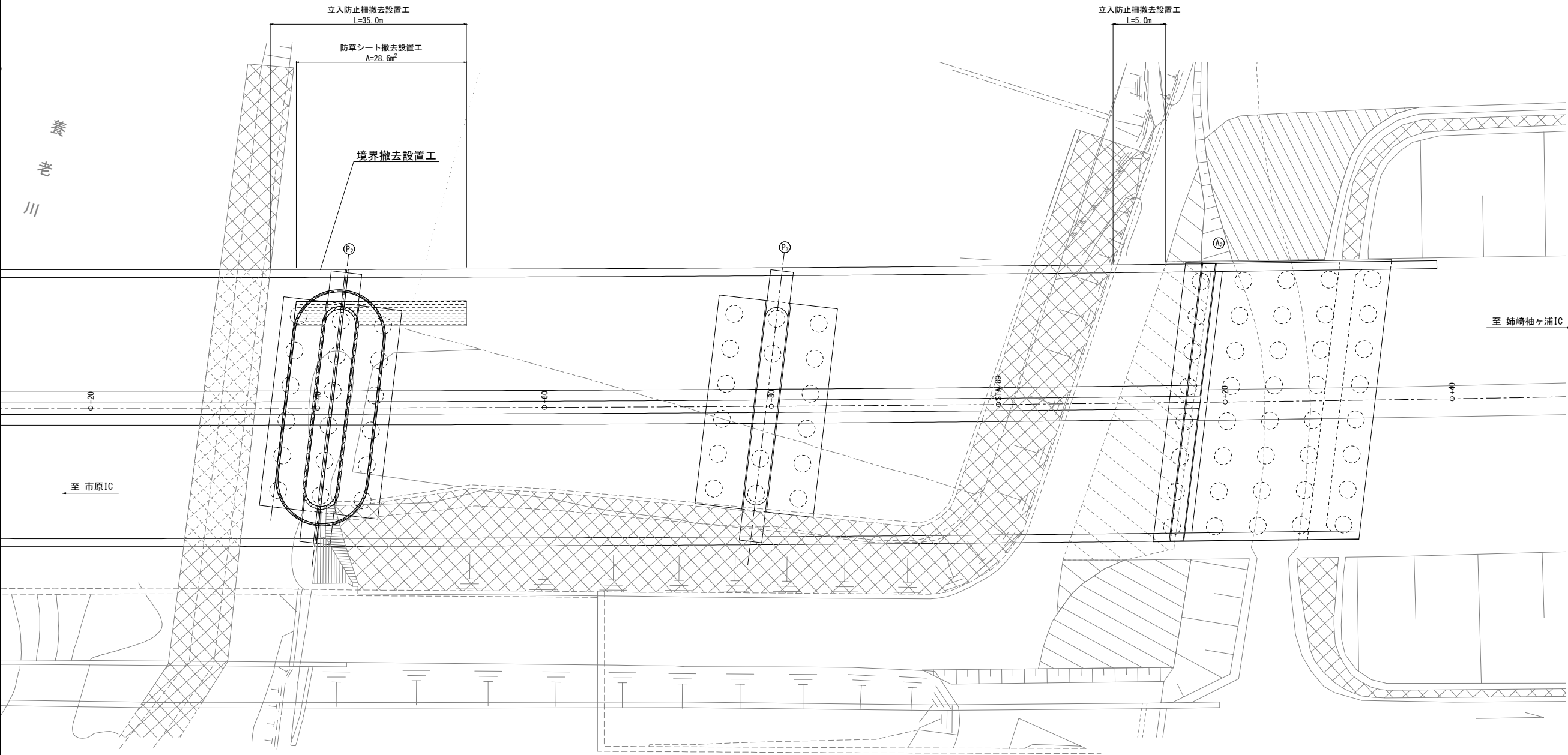
2-Pipe 34Φ×2.3×1717(STK41)
2-Pipe 34Φ×2.3×334(〃)
1-Pipe 34Φ×2.3×581(〃)
1-Pipe 34Φ×2.3×L(〃)
4-RB 22Φ×400
2-FB 65×6×266
2-FB 65×6×130
4-FB 65×6×215
6-ホールインアンカー M16

	B-1	B-2	B-3	B-4
L	491	468	490	465

ブラケット 箇所:N=10

1-PL 230×8×350
1-PL 200×8×602
1-PL 309×8×592
1-PL 90×8×628

館山自動車道 大島居高架橋耐震補強工事			
図面の種類	養老川橋（上下線）A2橋台 撤去・設置工 検査路B 詳細図（その1）		
縮 尺	図 示	図面番号	／
設計会社名	大成エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 市 原 管 理 事 務 所		

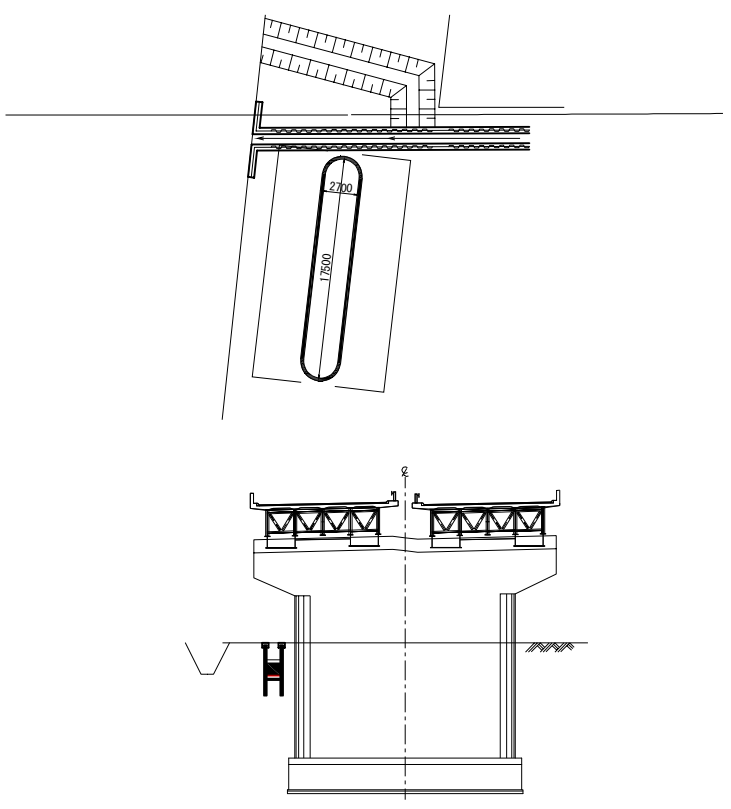


撤去・設置工数量表

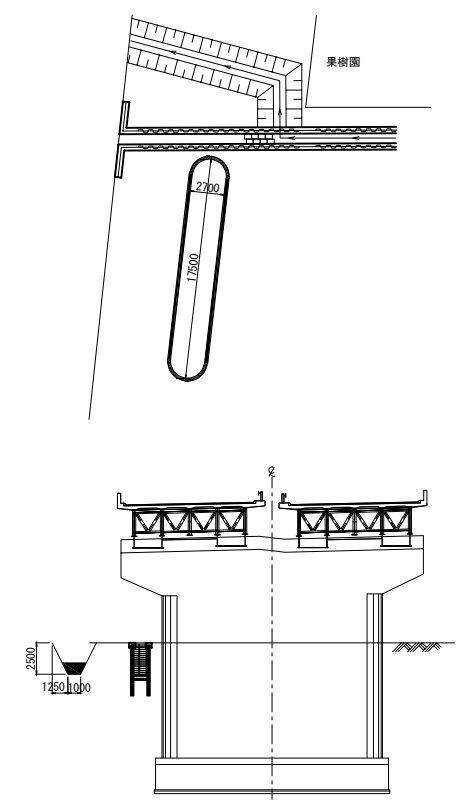
細 目	規格・仕様	単位	数量	備 考
立入防止柵	一般型非積雪地用	m	40.0	
防草シート		m ²	28.6	
境界杭	コンクリート杭	本	1	

館山自動車道 大鳥居高架橋耐震補強工事			
図面の種類	養老川橋（上下線） 付帯工撤去・復旧図(参考図)		
縮 尺	図 示	図面番号	/
設計会社名	大成エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 市 原 管 理 事 務 所		

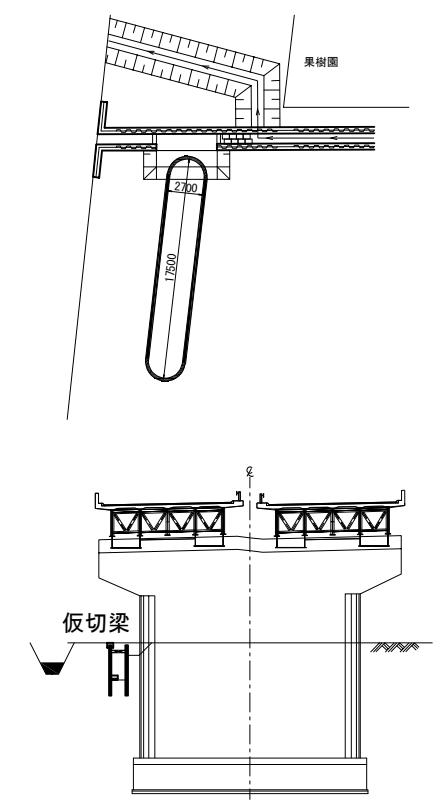
1. う回路を設置



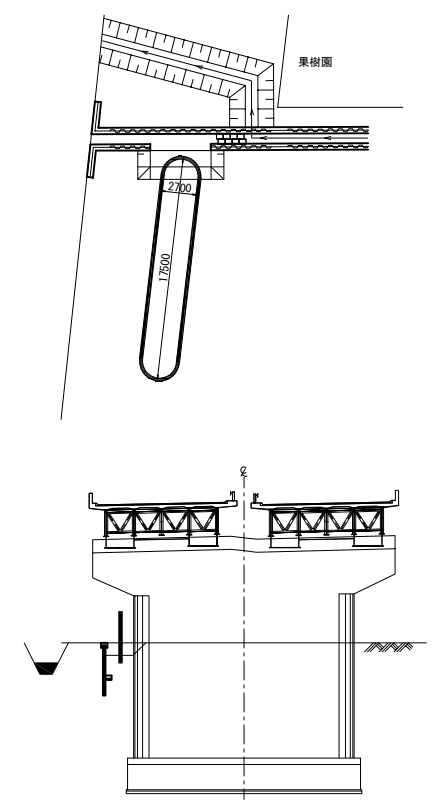
2. 水路をう回路に切替え



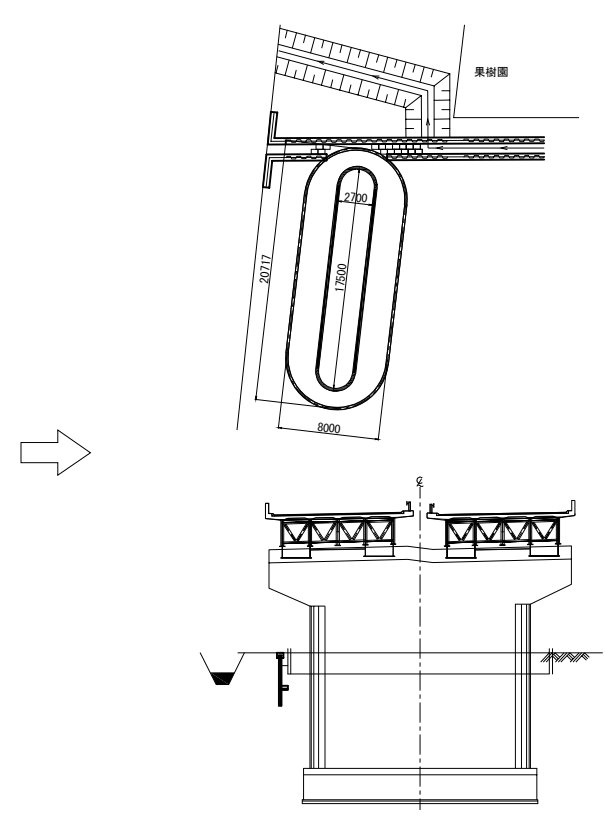
3. 底版と笠コンを部分撤去



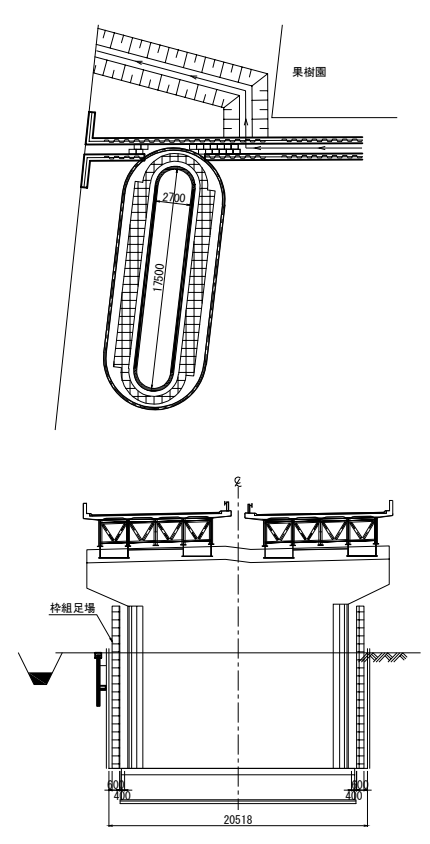
4. 内部埋戻し後、鋼矢板を引抜き



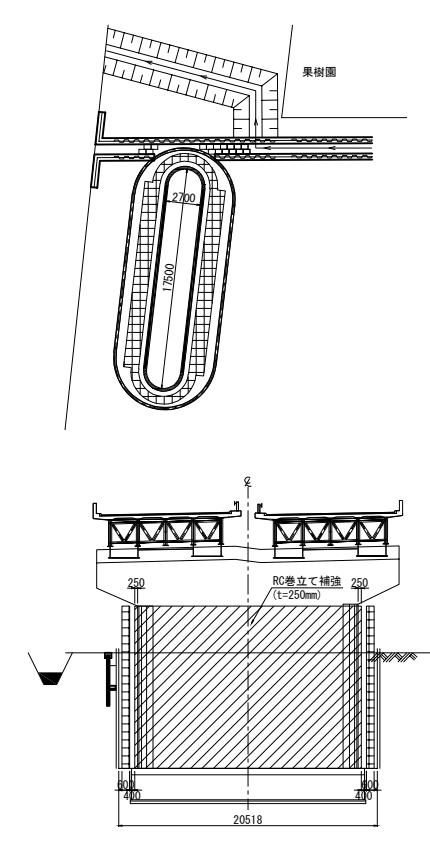
5. 掘削と並行してLP組立



6. 足場設置

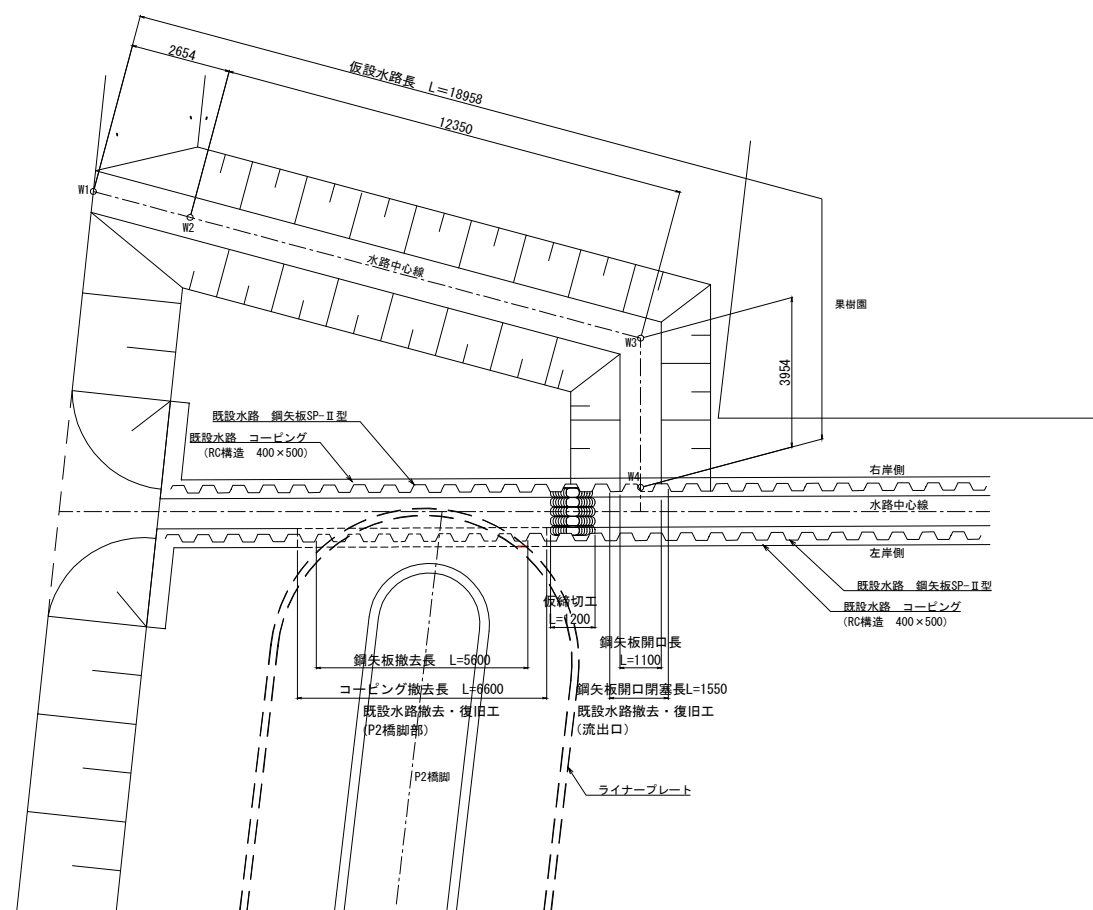


7. RC巻立て施工

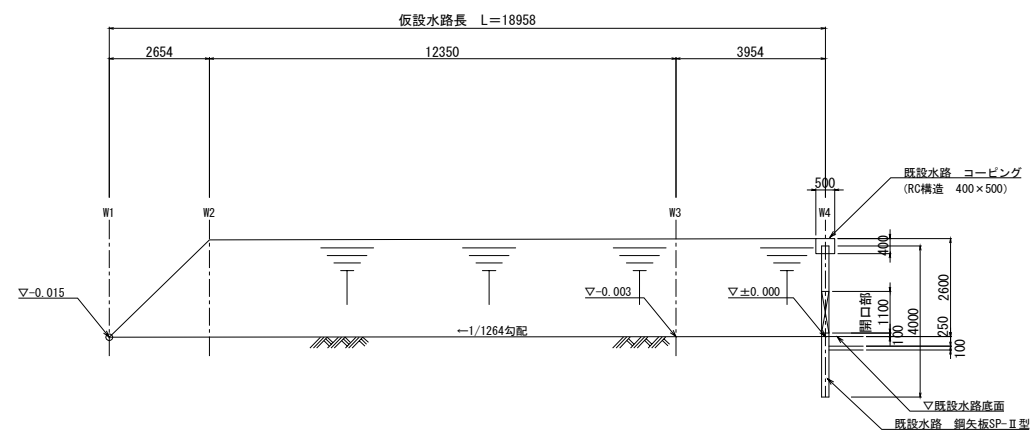


館山自動車道 大鳥居高架橋耐震補強工事			
図面の種類	養老川橋 P2橋脚 土留め施工ステップ図(参考図)		
縮 尺	図 示	図面番号	/
設計会社名	大成エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 市 原 管 理 事 務 所		

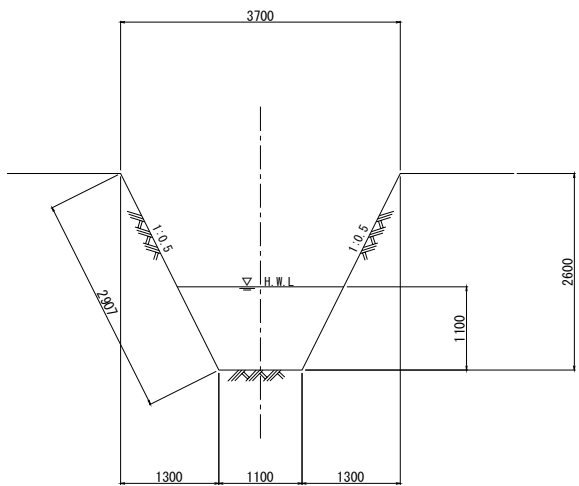
平面図 S=1:200



仮設水路 縦断面図 S=1:200

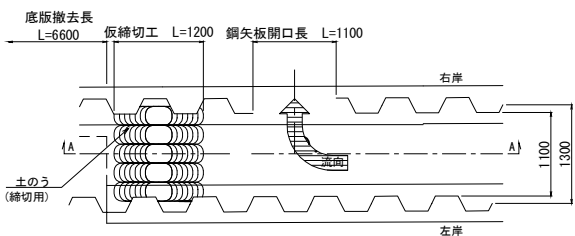


仮設水路 標準断面図 S=1:100

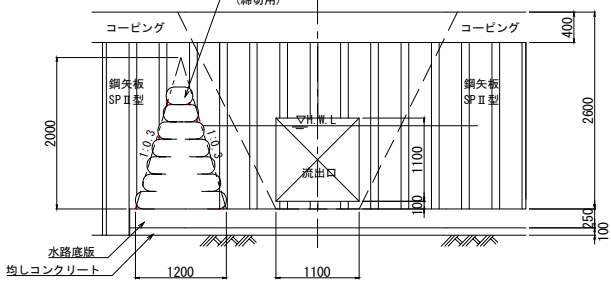


既設水路 仮締切図 (P2橋脚施工時) S=1:100

平面



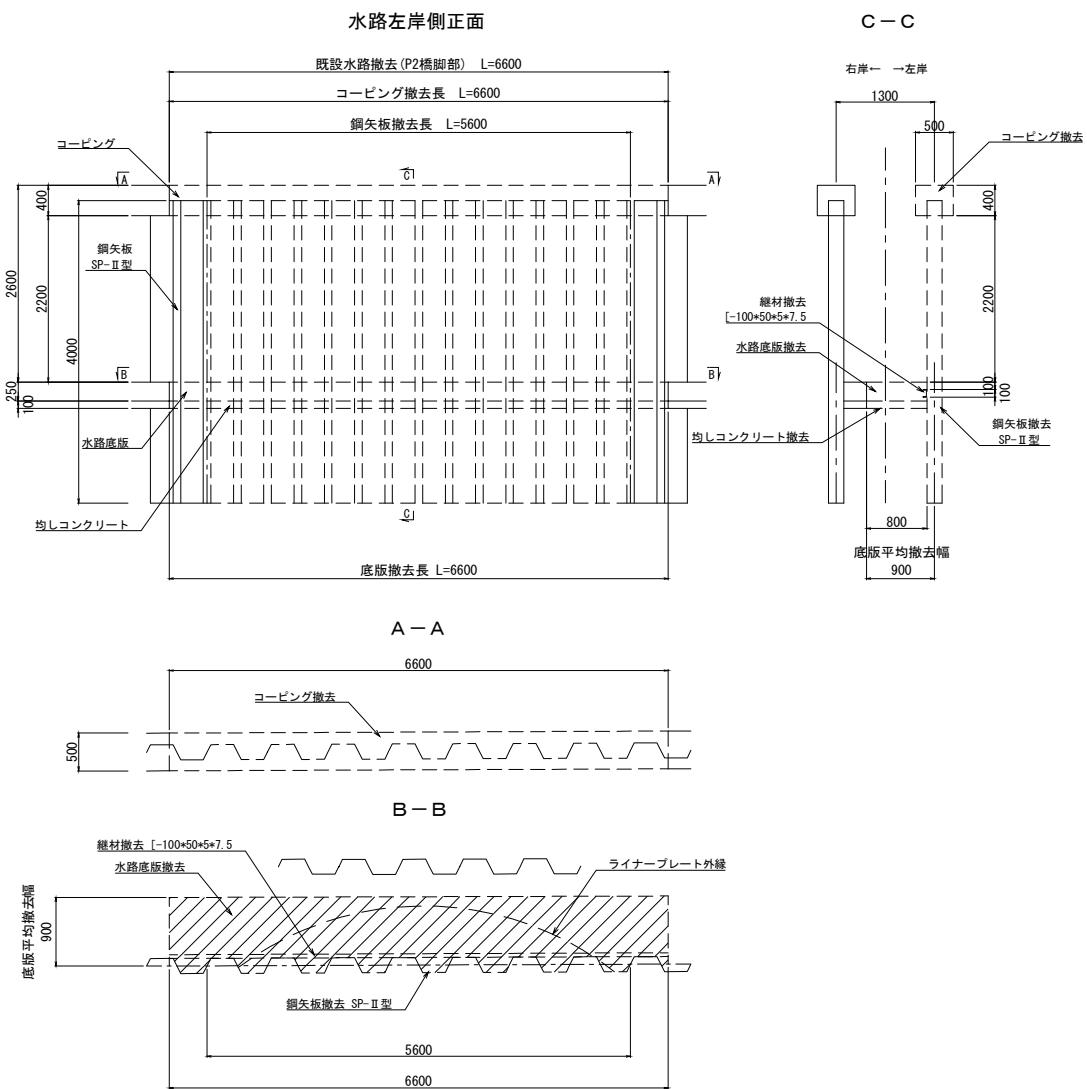
A-A



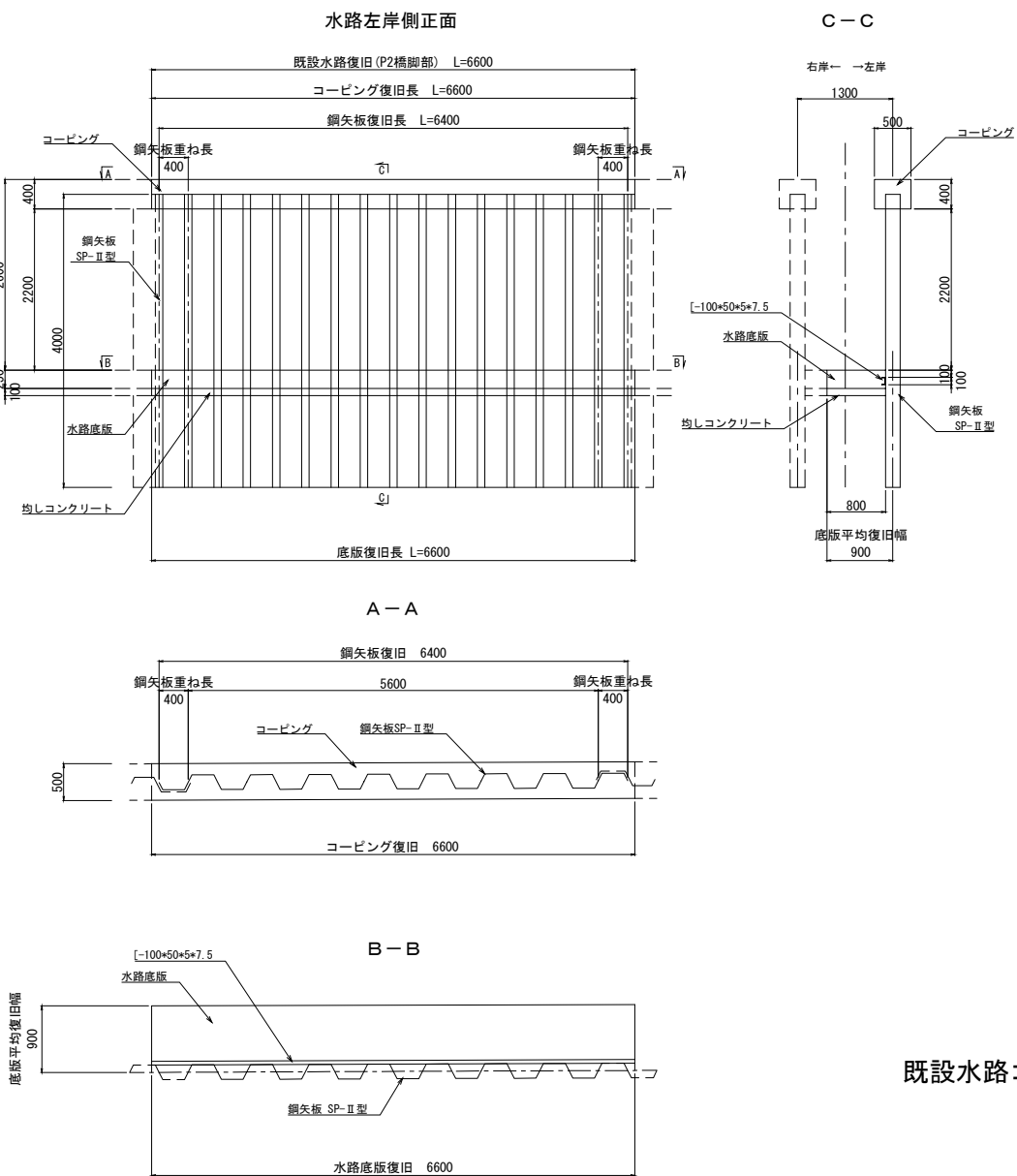
注 記)
1. 工事に際しては施工範囲に埋設物等がある可能性を考慮し、事前に調査を行ったうえで施工すること。

館山自動車道 大島居高架橋耐震補強工事			
図面の種類	養老川橋（上下線）P2橋脚 仮設水路工図(参考図)		
縮 尺	図 示	図面番号	/
設計会社名	大成エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 市 原 管 理 事 務 所		

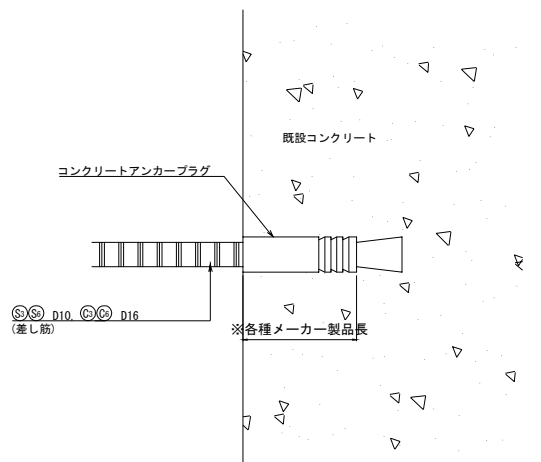
既設水路撤去 (P2橋脚部) 詳細図 S=1:100



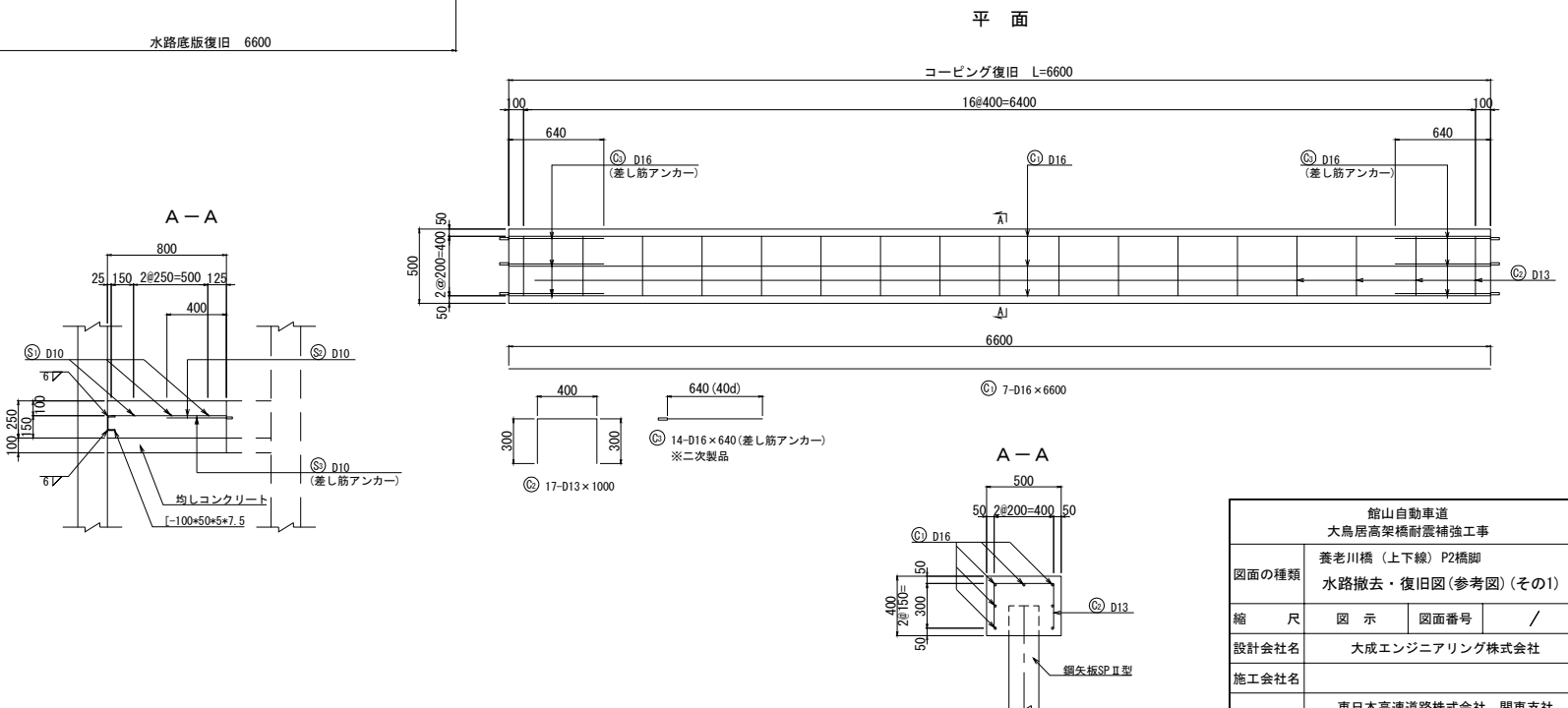
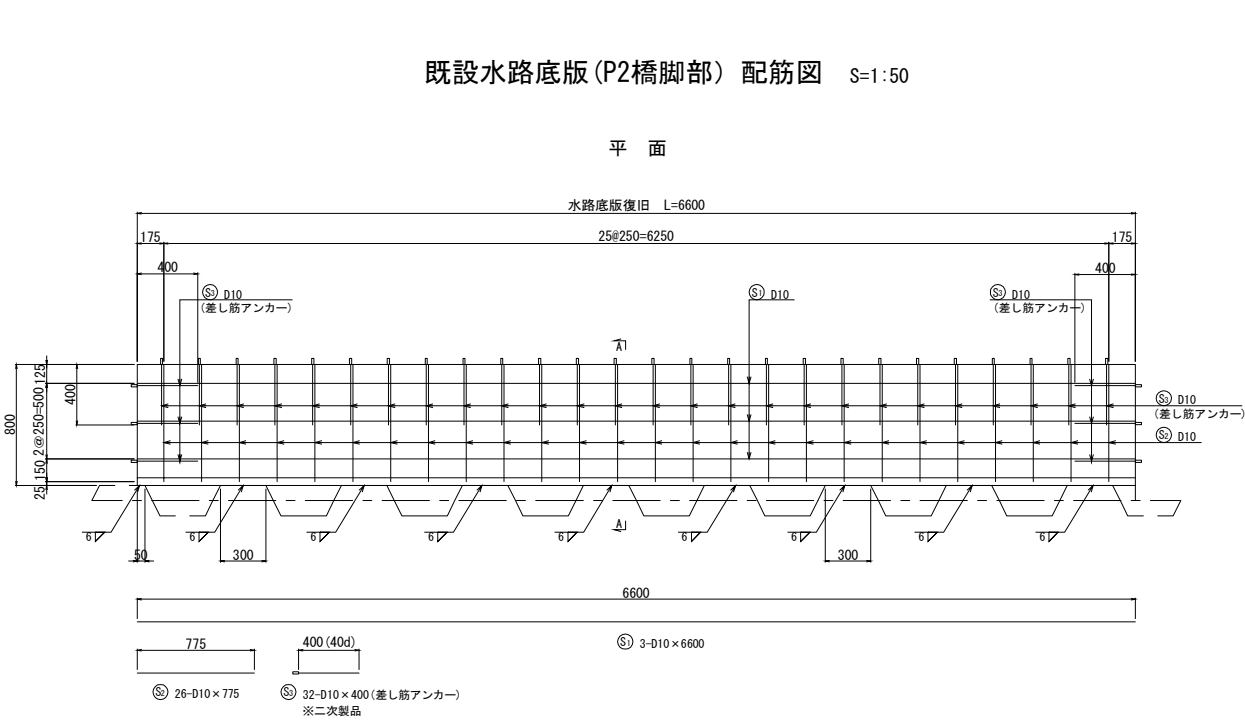
既設水路復旧 (P2橋脚部) 詳細図 S=1:100



差し筋アンカー詳細図 NON SCALE

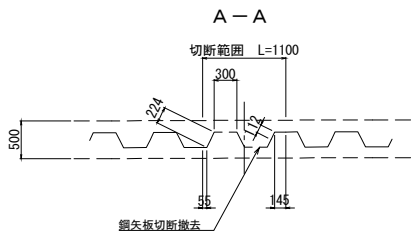
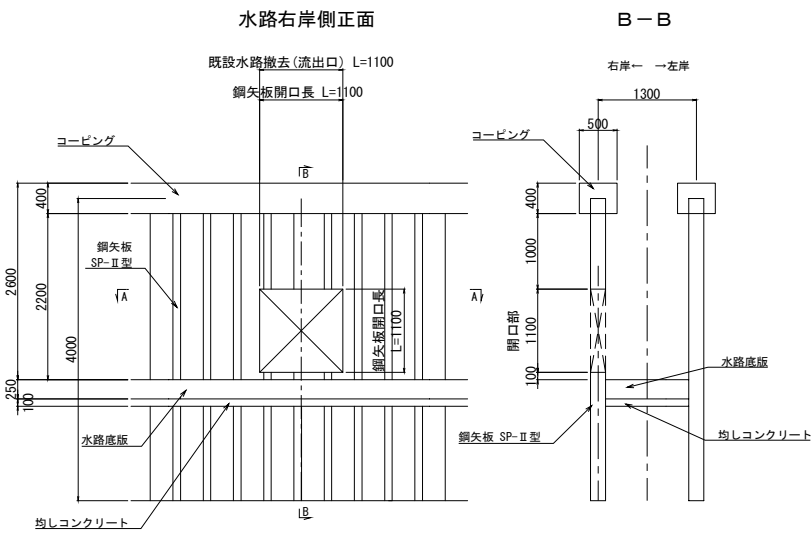


既設水路コーピング (P2橋脚部) 配筋図 S=1:50

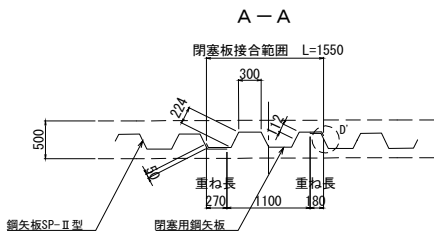
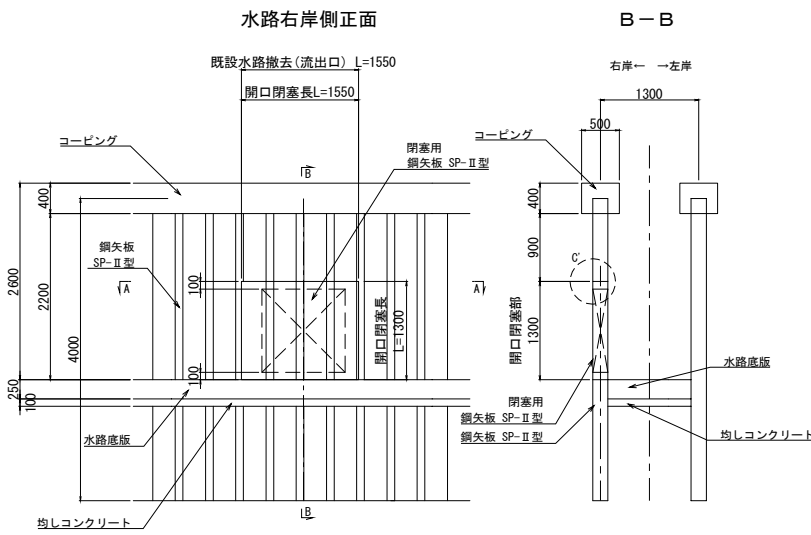


館山自動車道 大島居高架橋耐震補強工事			
図面の種類	養老川橋（上下線）P2橋脚 水路撤去・復旧図(参考図)（その1）		
縮尺	図示	図面番号	/
設計会社名	大成エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 市原管理事務所		

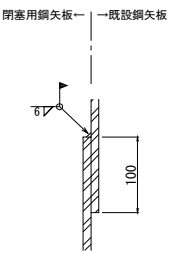
既設水路撤去（流出口）詳細図 S=1:100



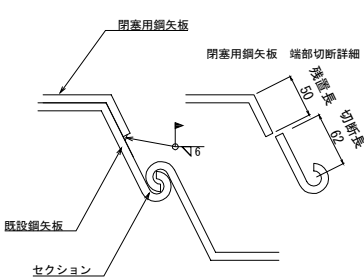
既設水路復旧（流出口）詳細図 S=1:100



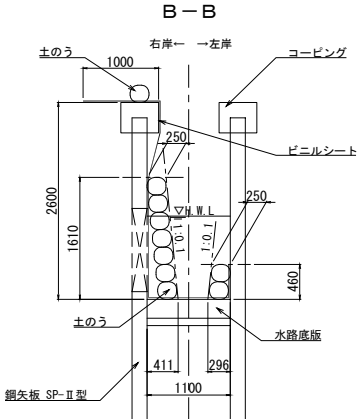
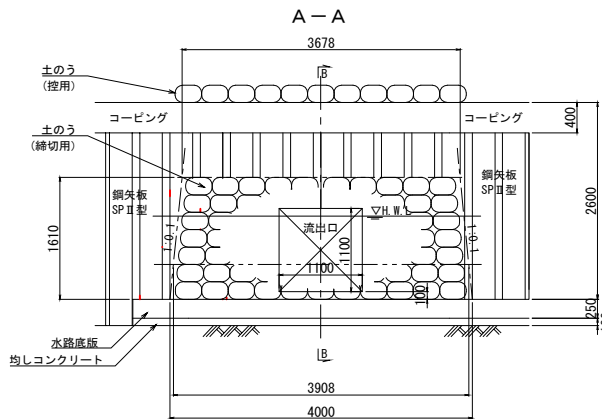
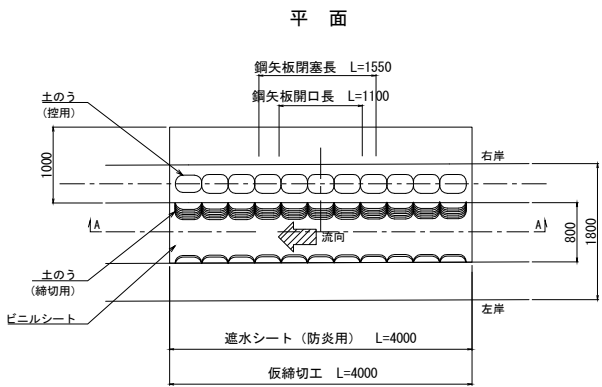
C'部詳細図 S=1:10



D'部詳細図 S=1:10

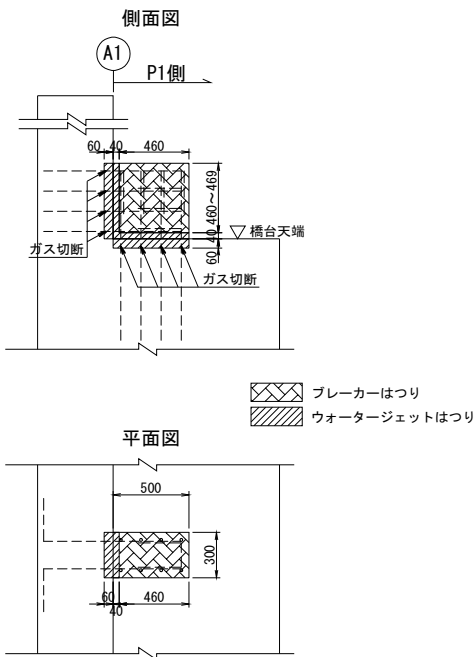


既設水路 仮締切図(流出口施工時) S=1:100



館山自動車道 大島居高架橋耐震補強工事			
図面の種類	養老川橋（上下線）P2橋脚 水路撤去・復旧図(参考図)（その2）		
縮 尺	図 示	図面番号	/
設計会社名	大成エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 市 原 管 理 事 務 所		

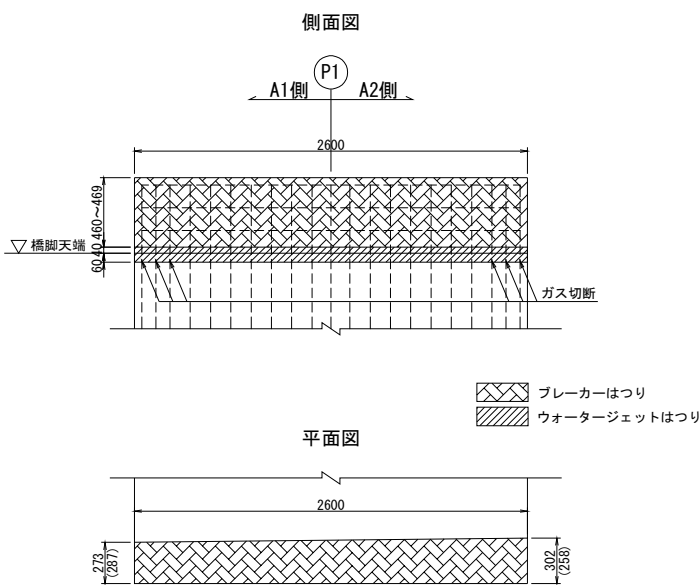
上り線A1橋台外側, 中分側
コンクリートはつり工



はつり数量表(箇所当たり)

項目	単位	橋脚部 (寄座)	摘要
コンクリート構造物取り壊し (TypeB)	m ²	0.064	ブレーカーはつり (有筋) 率計上項目
コンクリートはつり工	m ³	0.030	ウォータージェット

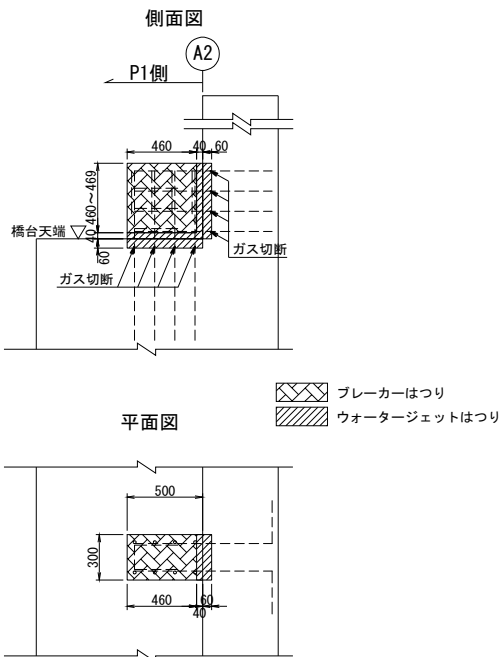
上り線P1橋脚外側(中分側)
コンクリートはつり工



はつり数量表

項目	単位	橋脚部 (寄座)	摘要
コンクリート構造物取り壊し (TypeB)	m ²	0.347 (0.329)	ブレーカーはつり (有筋) 率計上項目
コンクリートはつり工	m ³	0.075 (0.071)	ウォータージェット

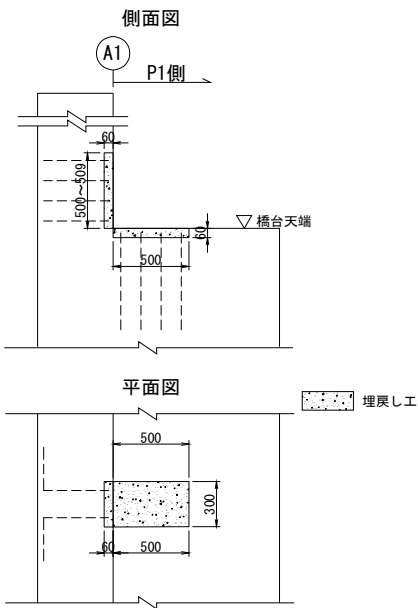
上り線A2橋台外側, 中分側
コンクリートはつり工



はつり数量表(箇所当たり)

項目	単位	橋脚部 (寄座)	摘要
コンクリート構造物取り壊し (TypeB)	m ²	0.064	ブレーカーはつり (有筋) 率計上項目
コンクリートはつり工	m ³	0.030	ウォータージェット

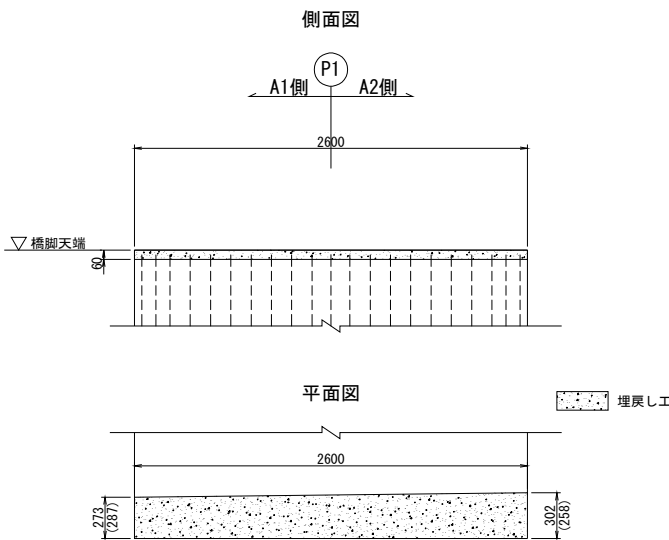
埋戻し工



埋戻し数量表(箇所当たり)

項目	単位	橋脚部 (寄座)	備考
埋戻し工	m ³	0.018	無収縮モルタル 率計上項目

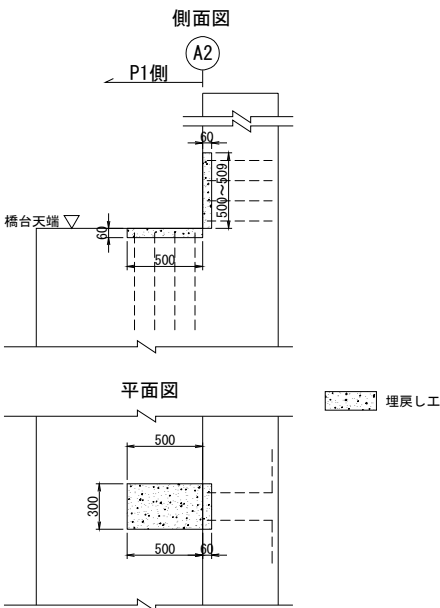
埋戻し工



埋戻し数量表

項目	単位	橋脚部 (寄座)	備考
埋戻し工	m ³	0.045 (0.043)	無収縮モルタル 率計上項目

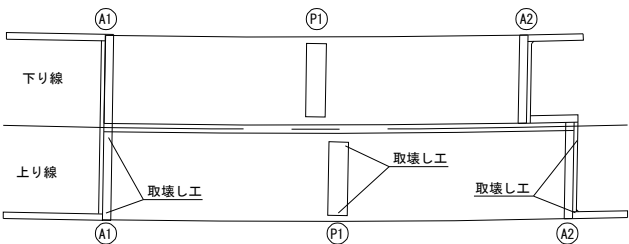
埋戻し工



埋戻し数量表(箇所当たり)

項目	単位	橋脚部 (寄座)	備考
埋戻し工	m ³	0.018	無収縮モルタル 率計上項目

位置図



注記)

1. 施工に際しては現場計測を行い、実測結果を反映のこと。
2. はつりに伴い不要となる鉄筋以外は、切断しないよう留意のこと。

館山自動車道 大島居高架橋耐震補強工事				
図面の種類	町田第三橋（上り線） 構造物取壊し工 サイドストッパー 詳細図			
縮 尺	図 示	図面番号	/	
設計会社名	大成エンジニアリング株式会社			
施工会社名				
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 市 原 管 理 事 務 所			

撤去工

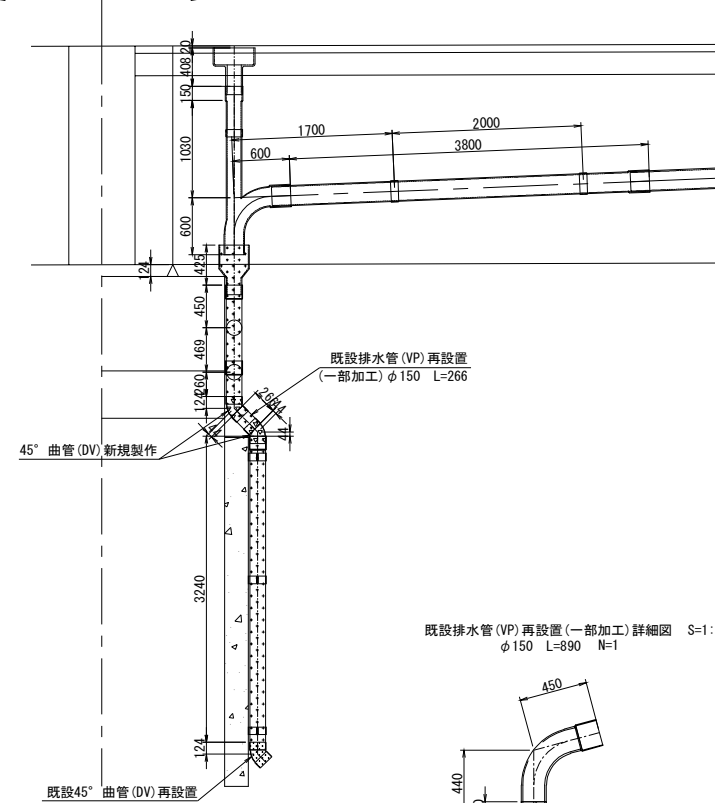
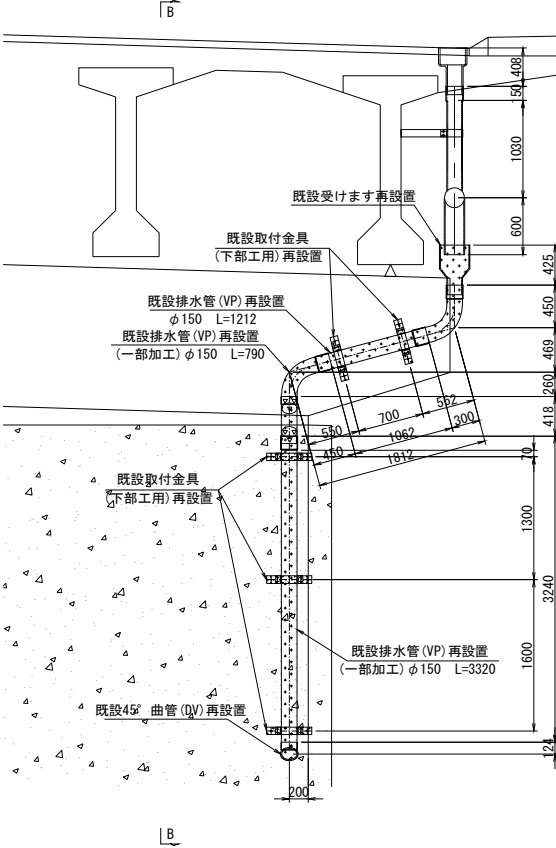
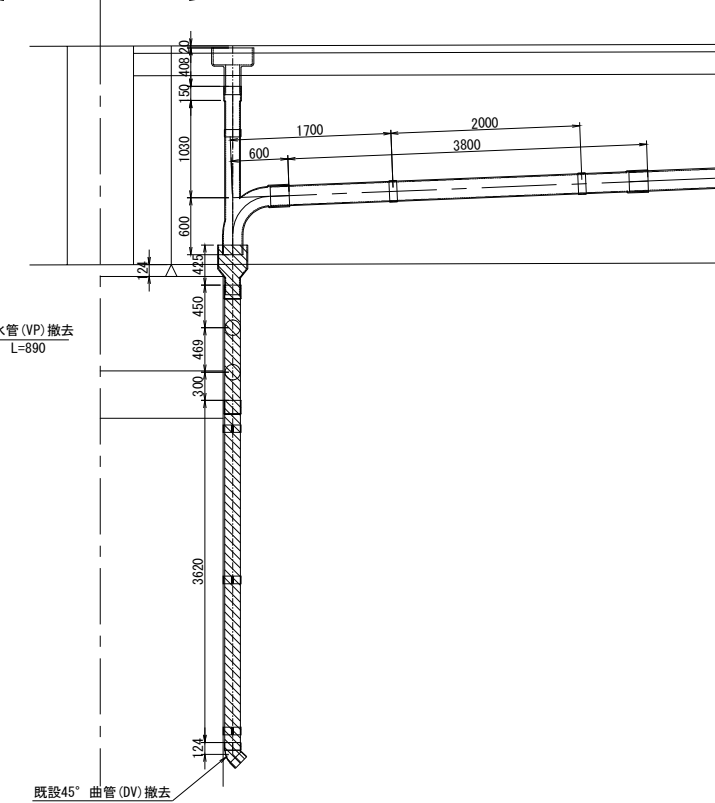
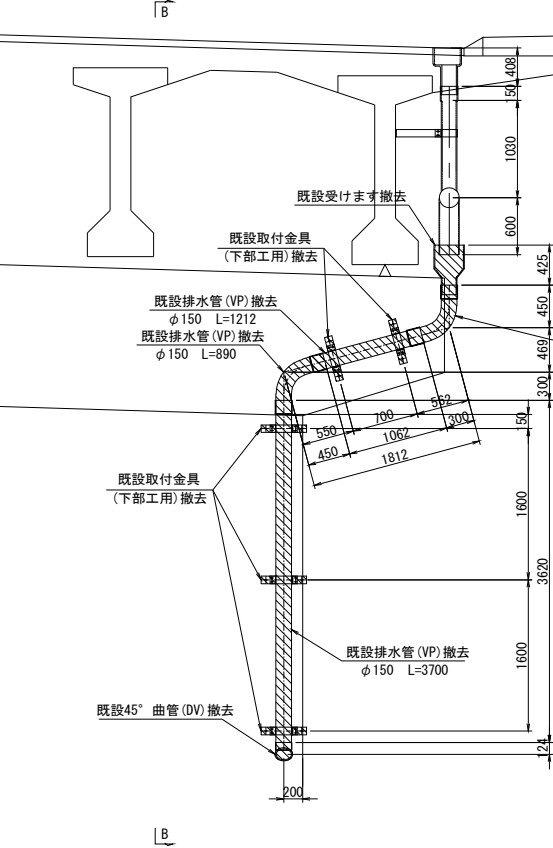
設置工

断面図
A-A

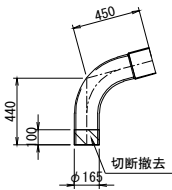
側面図
B-B

断面図
A-A

側面図
B-B



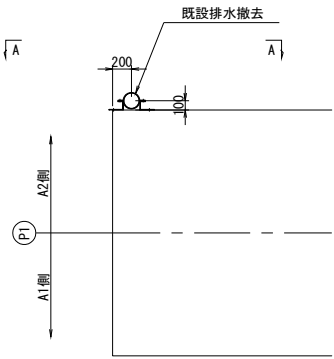
既設排水管 (VP) 再設置 (一部加工) 詳細図 S=1:50
φ150 L=890 N=1



1-VP φ150 x 790

平面図

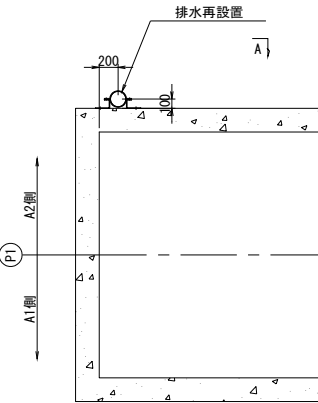
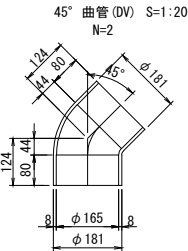
平面図



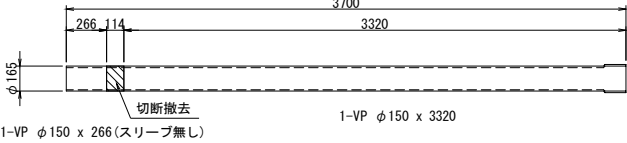
撤去流水線延長
下部工: L= 0.425+0.45+0.3+1.062+0.45+0.3+3.620+0.124= 6.731 m

撤去数量 (既設図より)
直管
1-VP φ150 L=1212
1-VP φ150 L=3700
曲管
2-VP φ150 L= 890

受けます 1個
45° 曲管 (DV) 1個
取付金具 (下部工用) 5個



既設排水管 (VP) 再設置 (一部加工) 詳細図 S=1:50
φ150 L=3700 N=1



1-VP φ150 x 266 (スリーブ無し)

1-VP φ150 x 3320

新規流水線延長
下部工: L= 0.425+0.45+0.3+1.062+0.45+0.26+0.124+0.044+0.266+0.044+0.044+3.240+0.124= 6.833 m

検査路改良後再設置数量
直管
1-VP φ150 L=1212
1-VP φ150 L=3320
1-VP φ150 L= 266
曲管
1-VP φ150 L= 890
1-VP φ150 L= 790

受けます 1個
45° 曲管 (DV) 1個
取付金具 (下部工用) 5個

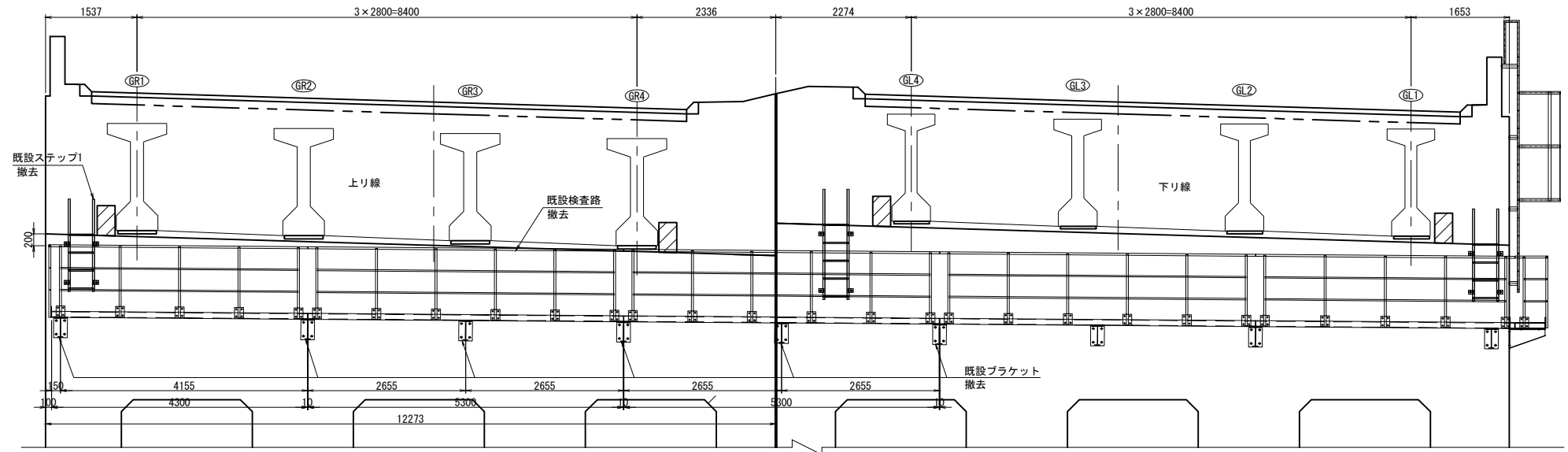
凡例

- 撤去
- 既設再設置
- 新規製作

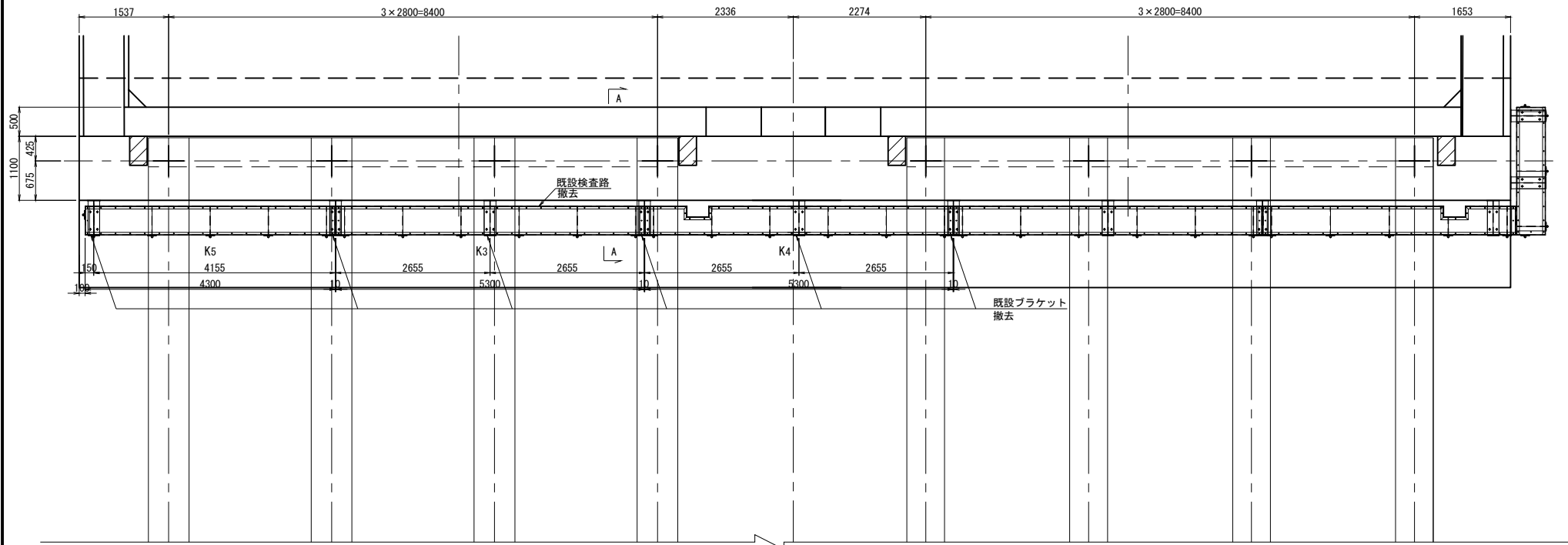
注記)
1. 特記なき材質は、全てSS400とする。
2. ナットは全て緩み止めナットを使用すること。
3. 部材は全て溶融亜鉛めっきを施す。
亜鉛の塗膜は JIS H 8641 HDZT77とする。
但し、厚さ3.2mm未満の鋼材及び
ボルト・ナット類はHDZT49とする。

館山自動車道 大鳥居高架橋耐震補強工事			
図面の種類	町田第三橋（上り線）P1橋脚 撤去・設置工 排水管A 詳細図		
縮 尺	図 示	図面番号	/
設計会社名	大成エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 市 原 管 理 事 務 所		

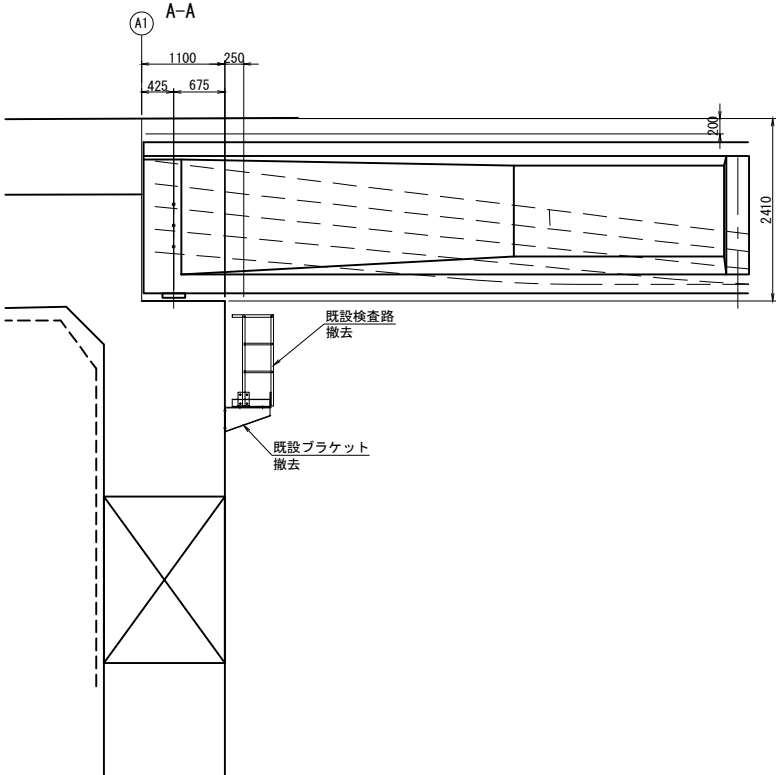
撤去工
正面図



平面図



側面図



撤去数量（既設図より）

K3
2-[100×50×5×7.5×5300
2-L 75×75×6×490
1-F. PL 480×3.2×5280
6-FB 50×6×490
1-PL 200×8×480
2-PL 90×8×480
46-BN M10×30
1-Pipe 25A×5300 (SGP)
6-Pipe 25A×1190 (SGP)
10-Pipe 15A×974 (SGP)
12-PL 150×6×180
24-BN M16×35 (座金付)

K4
1-[100×50×5×7.5×5300
1-[100×50×5×7.5×730
1-[100×50×5×7.5×470
1-[100×50×5×7.5×4200
2-[100×50×5×7.5×235
2-L 75×75×6×490
1-F. PL 480×3.2×5280
6-FB 50×6×990
1-PL 200×8×480
2-PL 90×8×480
48-BN M10×30
1-Pipe 25A×5300 (SGP)
6-Pipe 25A×1190 (SGP)
10-Pipe 15A×974 (SGP)
12-PL 150×6×180
24-BN M16×35 (座金付)

K5
2-[100×50×5×7.5×4300
2-L 75×75×6×490
1-F. PL 480×3.2×4280
5-FB 50×6×490
1-PL 200×8×480
1-PL 90×8×480
38-BN M10×30
1-Pipe 25A×4346 (SGP)
1-Pipe 25A×546 (SGP)
6-Pipe 25A×1190 (SGP)
8-Pipe 15A×974 (SGP)
2-Pipe 15A×177 (SGP)
2-Pipe 15A×377 (SGP)
12-PL 150×6×180
24-BN M16×35 (座金付)

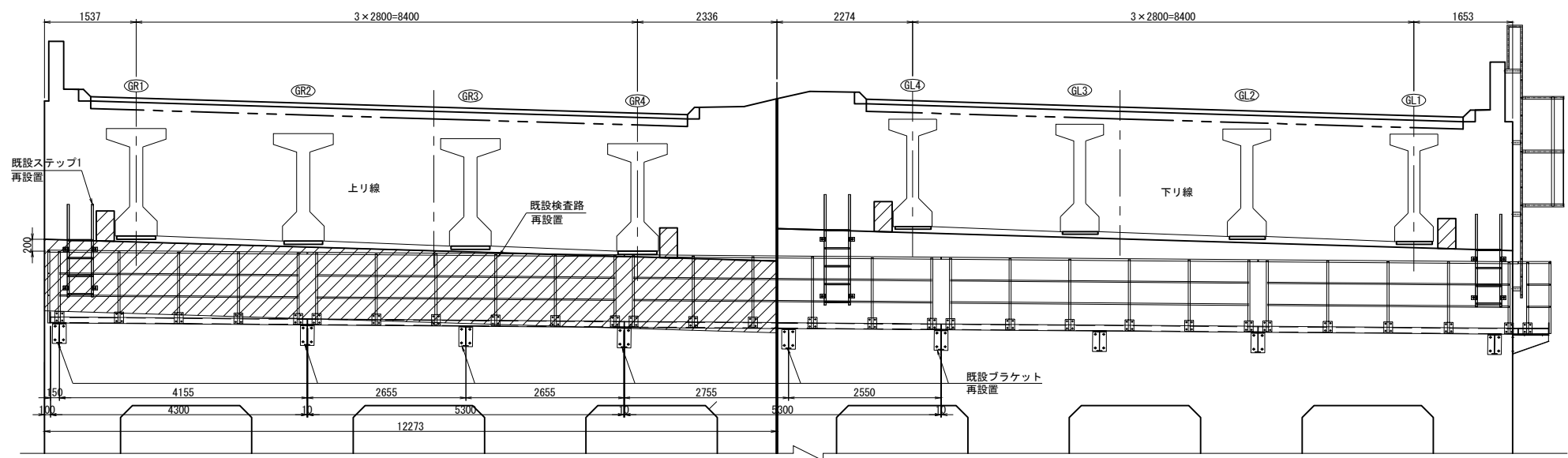
ステップ1
2-Pipe 25A×1567 (SGP)
2-Pipe 25A×334 (SGP)
2-Pipe 25A×581 (SGP)
4-RB 22Φ×410 (SR24)
4-FB 65×6×218
2-FB 65×6×130
6-ホールインアンカ M16
6-コンクリートアンカー M16×30

ブラケット 箇所:N=6
1-PL 200×8×602
1-PL 309×8×592
1-PL 90×8×637
1-PL 230×8×350
4-BN M16×40 (2-座金付) (SUS304)
4-ホールインアンカ M16
4-コンクリートアンカー M16×60

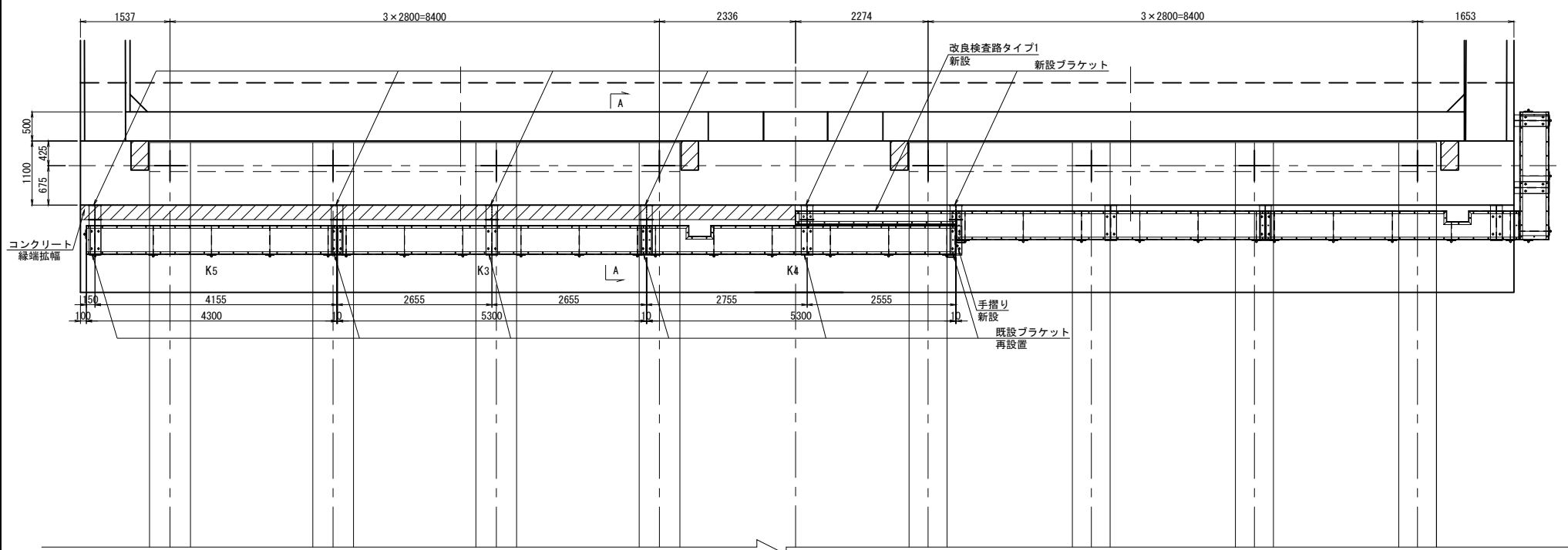
注記
1. 特記なき材質は、全てSS400とする。

館山自動車道 大島居高架橋耐震補強工事			
図面の種類	町田第三橋（上り線）A1橋台 撤去・設置工 検査路B 詳細図（その1）		
縮 尺	図 示	図面番号	／
設計会社名	大成エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 市 原 管 理 事 務 所		

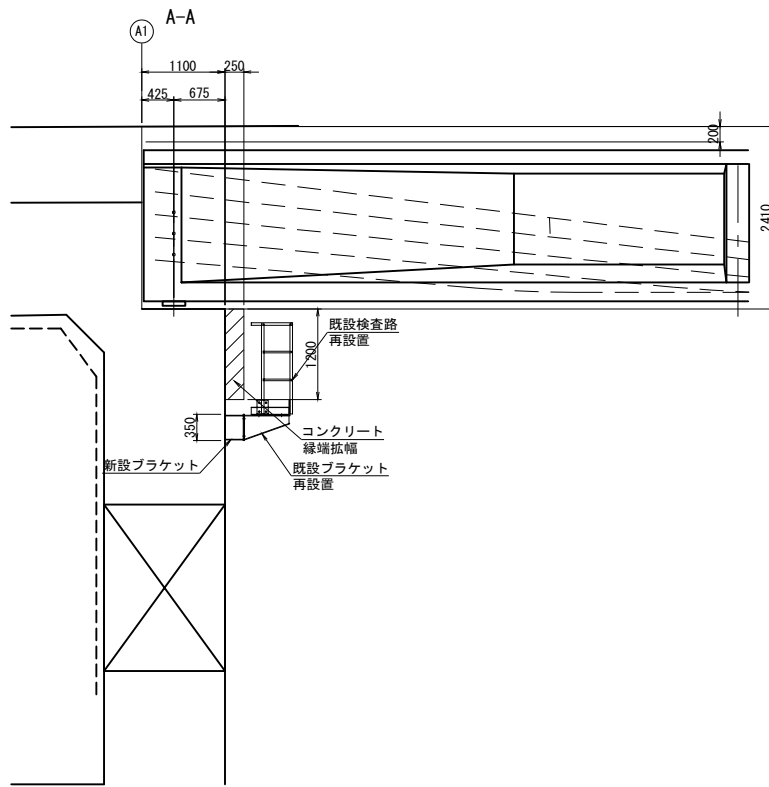
設置工
正面図



平面図



側面図



検査路改良後再設置数量

K3
2- [100×50×5×7.5×5300
2-L 75×75×6×490
1-F-PL 480×3.2×5280
6-FB 50×6×490
1-PL 200×8×480
2-PL 90×8×480
46-BN M10×30(新設)
1-Pipe 25A×5300(SGP)
6-Pipe 25A×1190(SGP)
6-Pipe 15A×974(SGP)
12-PL 150×6×180
24-BN M16×35(座金付)(新設)

K4
1- [100×50×5×7.5×5300
1- [100×50×5×7.5×730
1- [100×50×5×7.5×470
1- [100×50×5×7.5×4200
2- [100×50×5×7.5×235
2-L 75×75×6×490
1-F-PL 480×3.2×5280
6-FB 50×6×990
1-PL 200×8×480
2-PL 90×8×480
46-BN M10×30(新設)
1-Pipe 25A×5300(SGP)
6-Pipe 25A×1190(SGP)
10-Pipe 15A×974(SGP)
12-PL 150×6×180
24-BN M16×35(座金付)(新設)

K5
2- [100×50×5×7.5×4300
2-L 75×75×6×490
1-F-PL 480×3.2×4280
5-FB 50×6×490
1-PL 200×8×480
1-PL 90×8×480
38-BN M10×30(新設)
1-Pipe 25A×4346(SGP)
1-Pipe 25A×546(SGP)
6-Pipe 25A×1190(SGP)
8-Pipe 15A×974(SGP)
2-Pipe 15A×177(SGP)
2-Pipe 15A×377(SGP)
10-Pipe 15A×974(SGP)
12-PL 150×6×180
24-BN M16×35(座金付)(新設)

ステップ1
2-Pipe 25A×1567(SGP)
2-Pipe 25A×334(SGP)
2-Pipe 25A×581(SGP)
4-RB 22Φ×410(SR24)
4-FB 65×6×218
2-FB 65×6×130
6-ホールインアンカ M16(新設)
6-コンクリートアンカー M16×30(新設)

ブラケット 箇所:N=6
1-PL 200×8×602
1-PL 309×8×592
1-PL 90×8×637
1-PL 230×8×350
4-BN M16×40(2-座金付)(新設)
4-ホールインアンカ M16(新設)
4-コンクリートアンカー M16×60(新設)

新設検査路タイプ1 数量
2- [100×50×5×7.5×2750
2-L 65×65×6×230
1-ChPL 275×3.2×2750
3-FB 50×6×220
24-BN M10×30
2-PL 200×8×152
4-BN M16×40

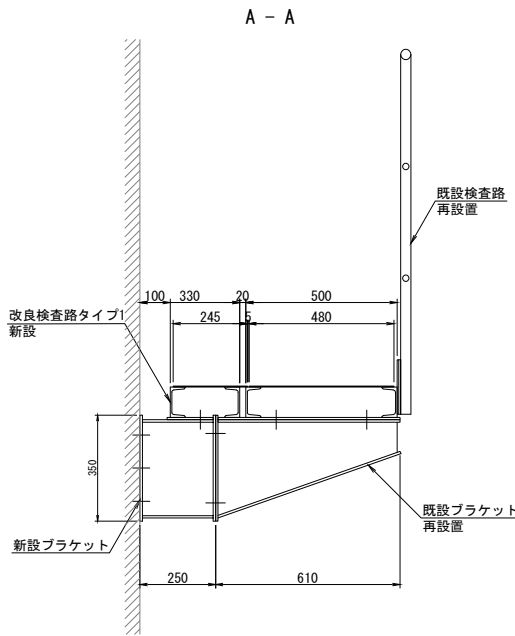
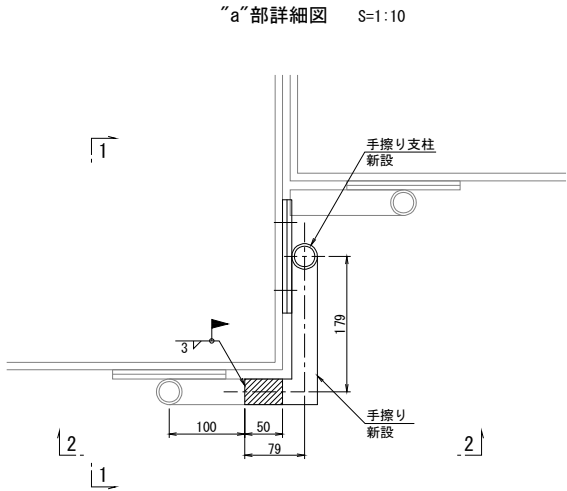
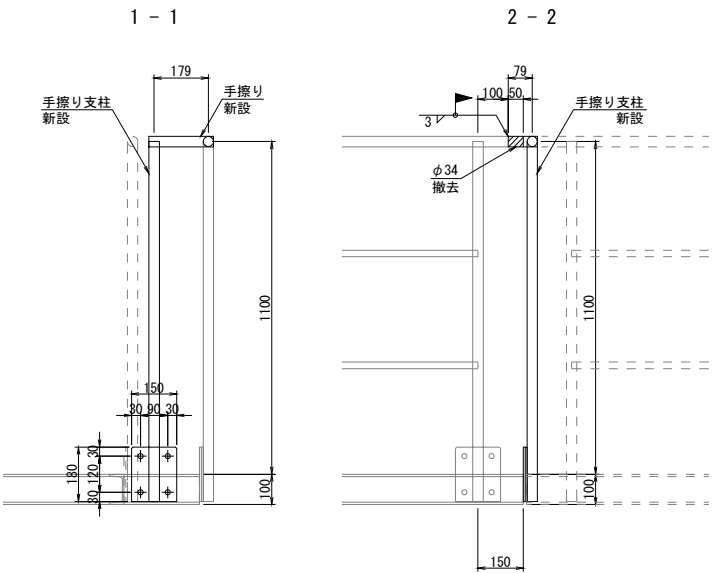
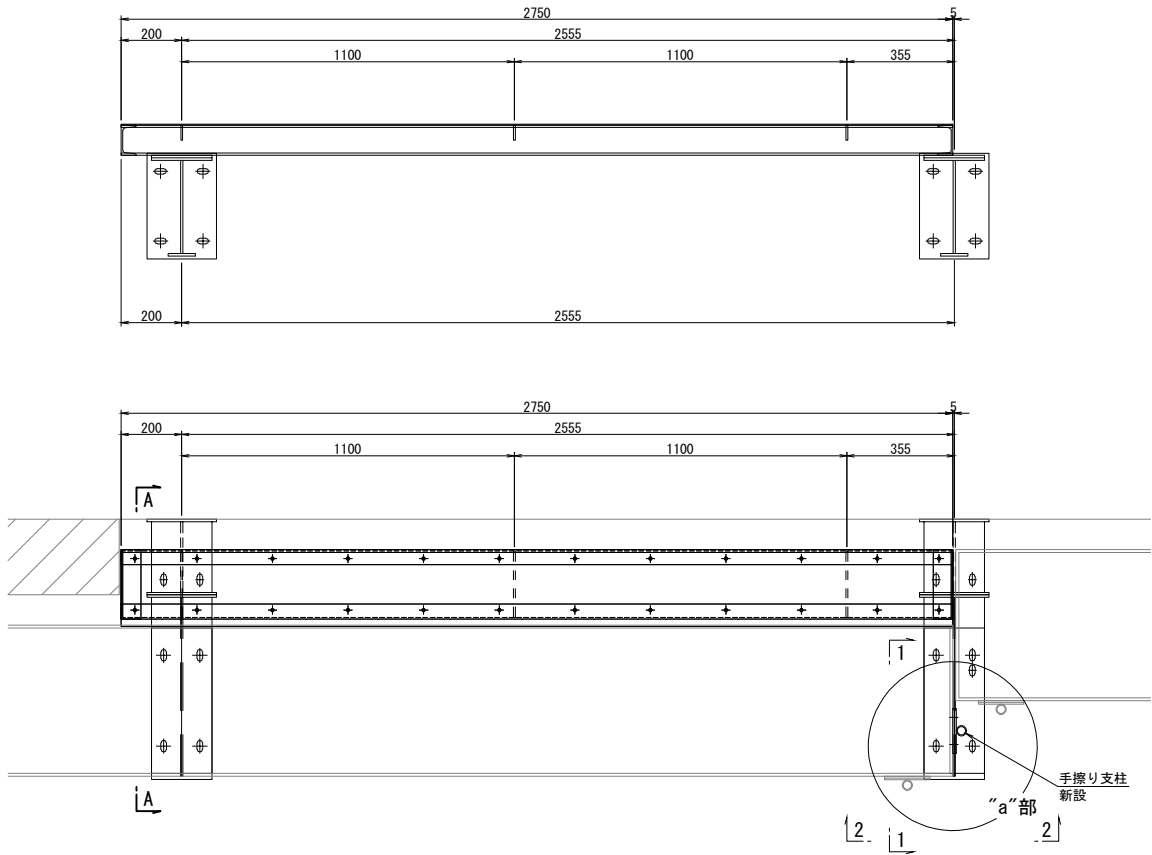
新設ブラケット 箇所:N=6
2-PL 230×8×350
2-PL 200×8×234
1-PL 309×8×234
4-BN M16×60
6-コンクリートアンカー M16×120

新設手すり数量
1-Pipe 25A×258
1-Pipe 25A×1190
2-PL 150×6×180
4-BN M16×35(座金付)

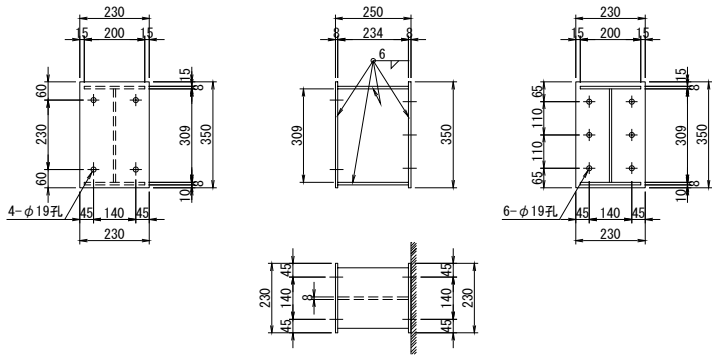
- 注記)
- 特記なき材質は、全てSS400とする。
 - ナットは全て緩み止めナットを使用すること。
 - 部材は全て溶融亜鉛めっきを施す。
亜鉛の塗膜は JIS H 8641 HDZT77とする。
但し、厚さ3.2mm未満の鋼材及び
ボルト・ナット類はHDZT49とする。
 - ボルト孔は、メッキ付着量を考慮し、
ボルト径+3mmを標準とする。
 - 床材に編鋼板を使用する場合は、直径10mmの排水孔
を間隔1m(0.7m2)程度に1箇所程度設けること。

館山自動車道 大島居高架橋耐震補強工事				
図面の種類	町田第三橋（上り線）A1橋台 撤去・設置工 検査路B 詳細図（その2）			
縮 尺	図 示	図面番号	／	
設計会社名	大成エンジニアリング株式会社			
施工会社名				
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 市 原 管 理 事 務 所			

改良検査路タイプ1 詳細図



新設ブラケット 詳細図

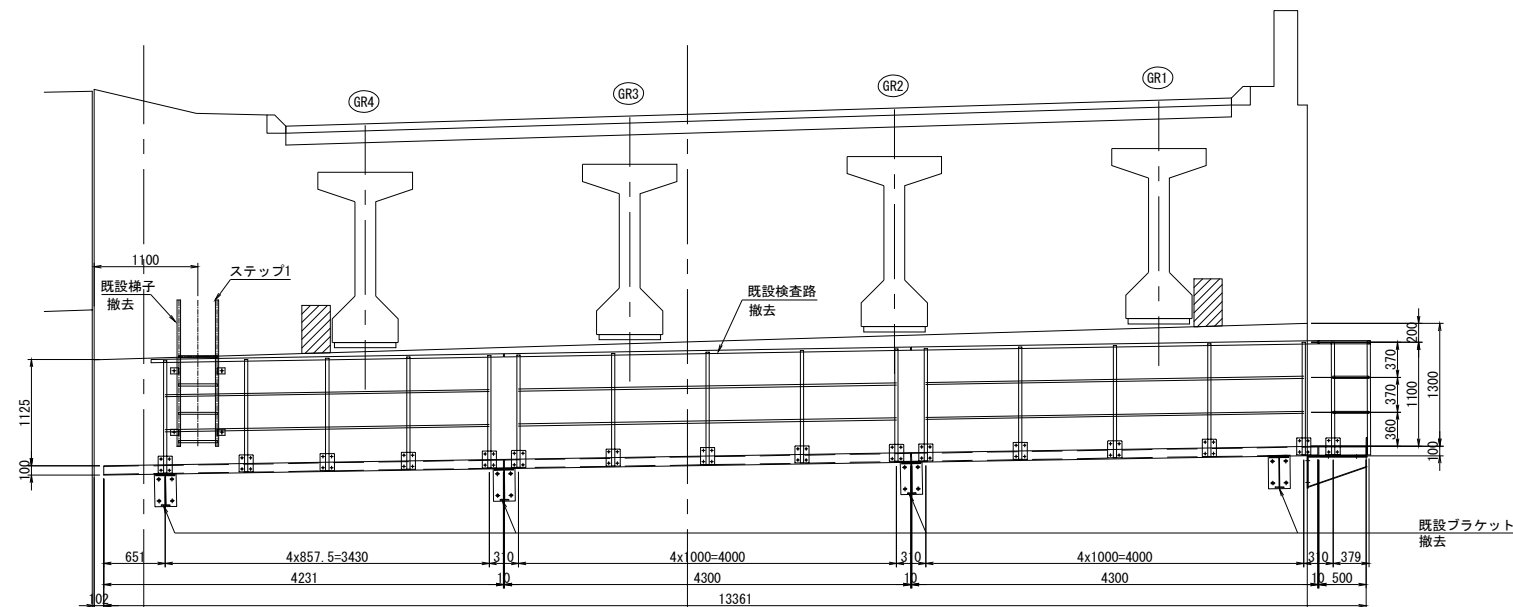


注記)
1. 特記なき材質は、全てSS400とする。
2. ナットは全て緩み止めナットを使用すること。
3. 部材は全て溶融亜鉛めっきを施す。
垂鉛の塗膜は JIS H 8641 HDZT77とする。
但し、厚さ3.2mm未満の鋼材及び
ボルト・ナット類はHDZT49とする。
4. ボルト孔は、メッキ付着量を考慮し、
ボルト径+3mmを標準とする。
5. 床材に鋼鋼板を使用する場合は、直径10mmの排水孔
を間隔1m(0.7m2)程度に1箇所程度設けること。

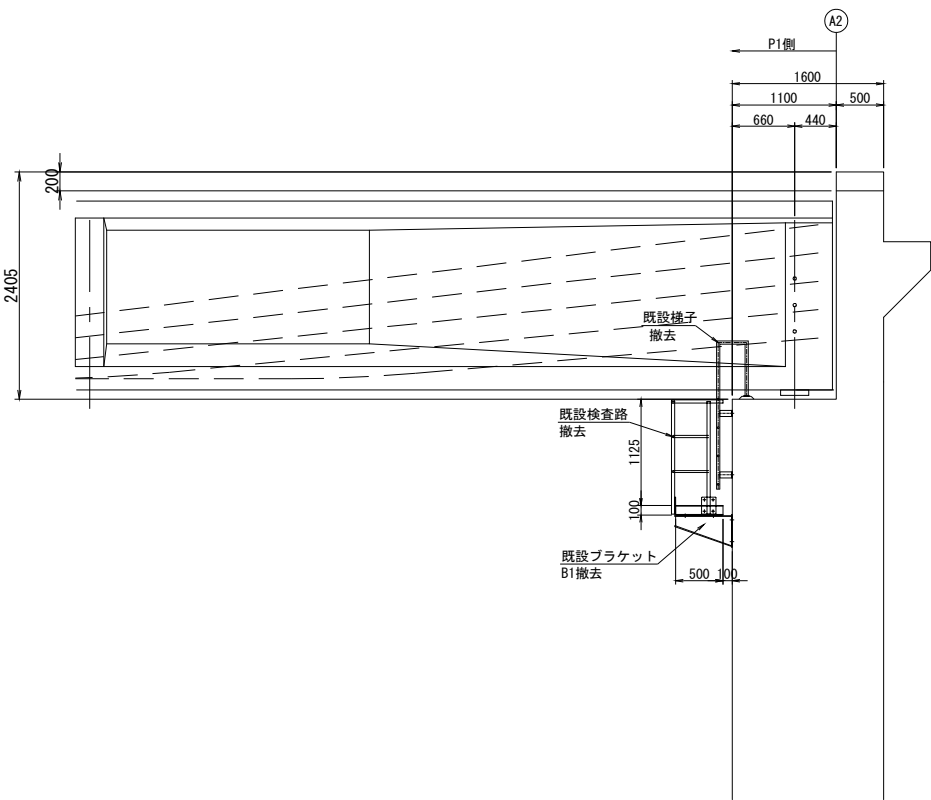
館山自動車道 大島居高架橋耐震補強工事			
図面の種類	町田第三橋（上り線）A1橋台 撤去・設置工 検査路B 詳細図（その3）		
縮 尺	図 示	図面番号	／
設計会社名	大成エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 市 原 管 理 事 務 所		

撤去工

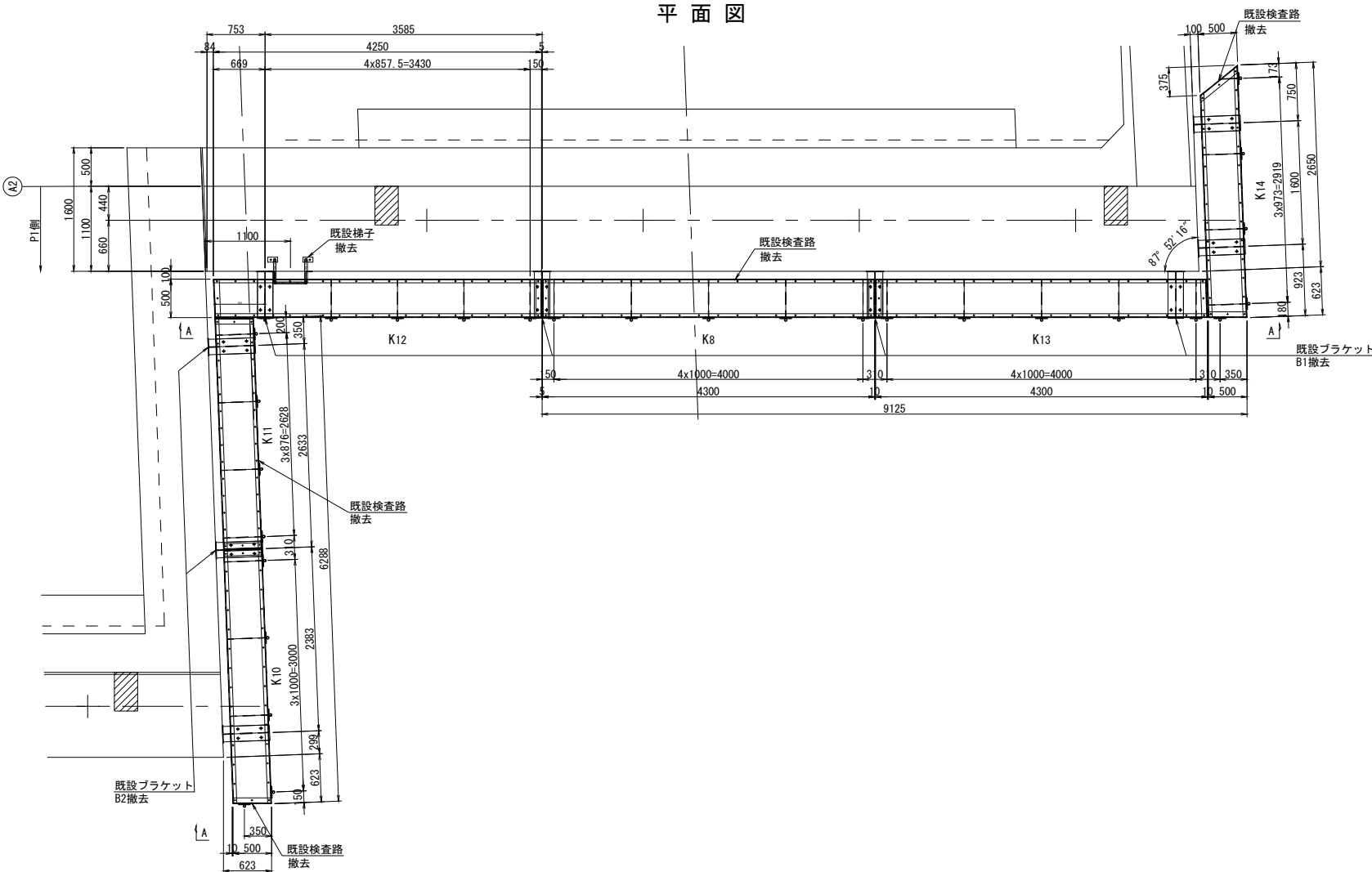
正面図
A-A



側面図



平面図



撤去数量（既設図より）

K10

- 1- [100×50×5×7.5×3300
- 1- [100×50×5×7.5×3283
- 2-L 75×75×6×490
- 1-ChPL 480×3.2×3280
- 4-FB 50×6×490
- 1-PL 200×8×480
- 1-PL 90×8×480
- 30-BN M10×30
- 1-Pipe 25A×3497
- 1-Pipe 25A×547
- 5-Pipe 25A×1190
- 6-Pipe 15A×974
- 2-Pipe 15A×178
- 2-Pipe 15A×378
- 10-PL 150×6×180
- 20-BN M16×35(座金付)

K11

- 1- [100×50×5×7.5×2980
- 1- [100×50×5×7.5×2997
- 2-L 75×75×6×490
- 1-ChPL 480×3.2×2977
- 4-FB 50×6×490
- 1-PL 200×8×480
- 1-PL 90×8×480
- 30-BN M10×30
- 1-Pipe 25A×2928
- 4-Pipe 25A×1190
- 6-Pipe 15A×250
- 8-PL 150×6×180
- 16-BN M16×35(座金付)

K12

- 1- [100×50×5×7.5×4249
- 1- [100×50×5×7.5×4231
- 2-L 75×75×6×490
- 1-ChPL 480×3.2×4229
- 5-FB 50×6×490
- 1-PL 200×8×480
- 1-PL 90×8×480
- 42-BN M10×30
- 1-Pipe 25A×3730
- 5-Pipe 25A×1190
- 8-Pipe 15A×832
- 10-PL 150×6×180
- 20-BN M16×35(座金付)

K8

- 2- [100×50×5×7.5×4300
- 2-L 75×75×6×490
- 1-ChPL 480×3.2×4280
- 5-FB 50×6×490
- 2-PL 90×8×480
- 38-BN M10×30
- 1-Pipe 25A×4300
- 5-Pipe 25A×1190
- 8-Pipe 15A×974
- 10-PL 150×6×180
- 20-BN M16×35(座金付)

K13

- 1- [100×50×5×7.5×4300
- 1- [100×50×5×7.5×4283
- 2-L 75×75×6×490
- 1-ChPL 480×3.2×4280
- 5-FB 50×6×490
- 1-PL 200×8×480
- 1-PL 90×8×480
- 38-BN M10×30
- 1-Pipe 25A×4300
- 5-Pipe 25A×1190
- 8-Pipe 15A×974
- 10-PL 150×6×180
- 20-BN M16×35(座金付)

K14

- 1- [100×50×5×7.5×3272
- 1- [100×50×5×7.5×2880
- 2-L 75×75×6×490
- 1-ChPL 480×3.2×4172
- 5-FB 50×6×490
- 2-PL 200×8×480
- 38-BN M10×30
- 1-Pipe 25A×4239
- 1-Pipe 25A×547
- 5-Pipe 25A×1190
- 6-Pipe 15A×947
- 2-Pipe 15A×178
- 2-Pipe 15A×378
- 10-PL 150×6×180
- 20-BN M16×35(座金付)

ブラケットB1 箇所:N=4

- 1-PL 200×8×602
- 1-PL 309×8×592
- 1-PL 90×8×637
- 1-PL 230×8×350
- 4-BN M16×40(2座金付)
- 4-ホールインアンカ M16
- 4-BN M16×30

ブラケットB2 箇所:N=2

- 1-PL 200×8×602
- 1-PL 309×8×592
- 1-PL 90×8×637
- 1-PL 230×8×350
- 4-BN M16×40(2座金付)
- 4-ホールインアンカ M16
- 4-BN M16×30

梯子(ステップ1)

- 2-Pipe 25A×1567
- 2-Pipe 25A×334
- 2-Pipe 25A×581
- 4-RB Φ22×410(SR24)
- 4-FB 65×6×218
- 2-FB 65×6×130
- 6-ホールインアンカ M16
- 6-BN M16×30

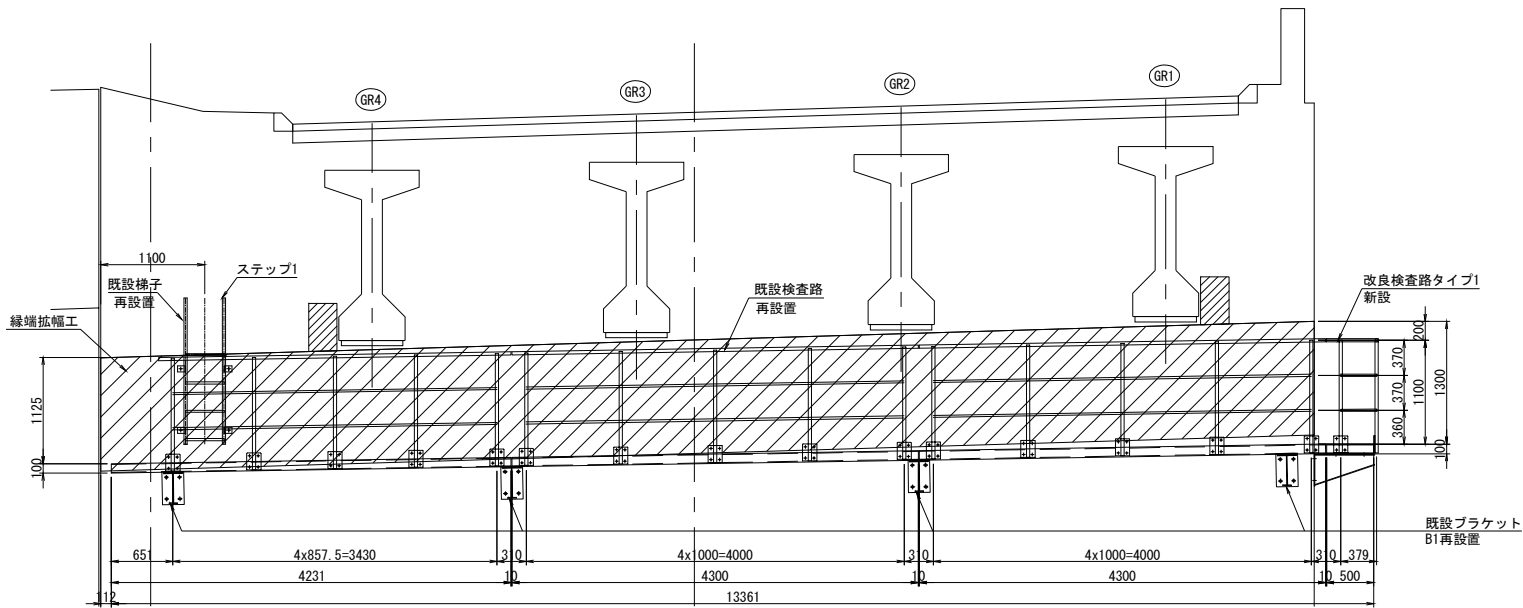
注記

- 1. 特記なき材質は、全てSS400とする。
- 2. パイプの材質は、全てSGPとする。

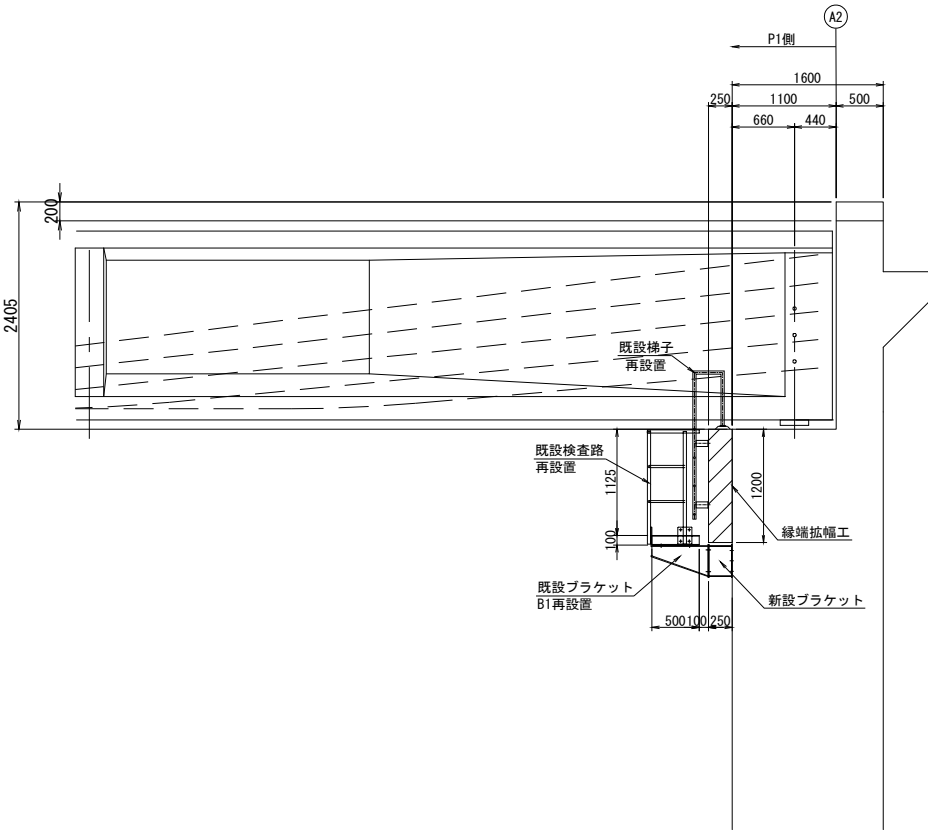
館山自動車道			
大島居高架橋耐震補強工事			
図面の種類	町田第三橋（上り線）A2橋台 撤去・設置工 検査路B 詳細図(その1)		
縮 尺	図 示	図面番号	/
設計会社名	大成エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 市 原 管 理 事 務 所		

設置工

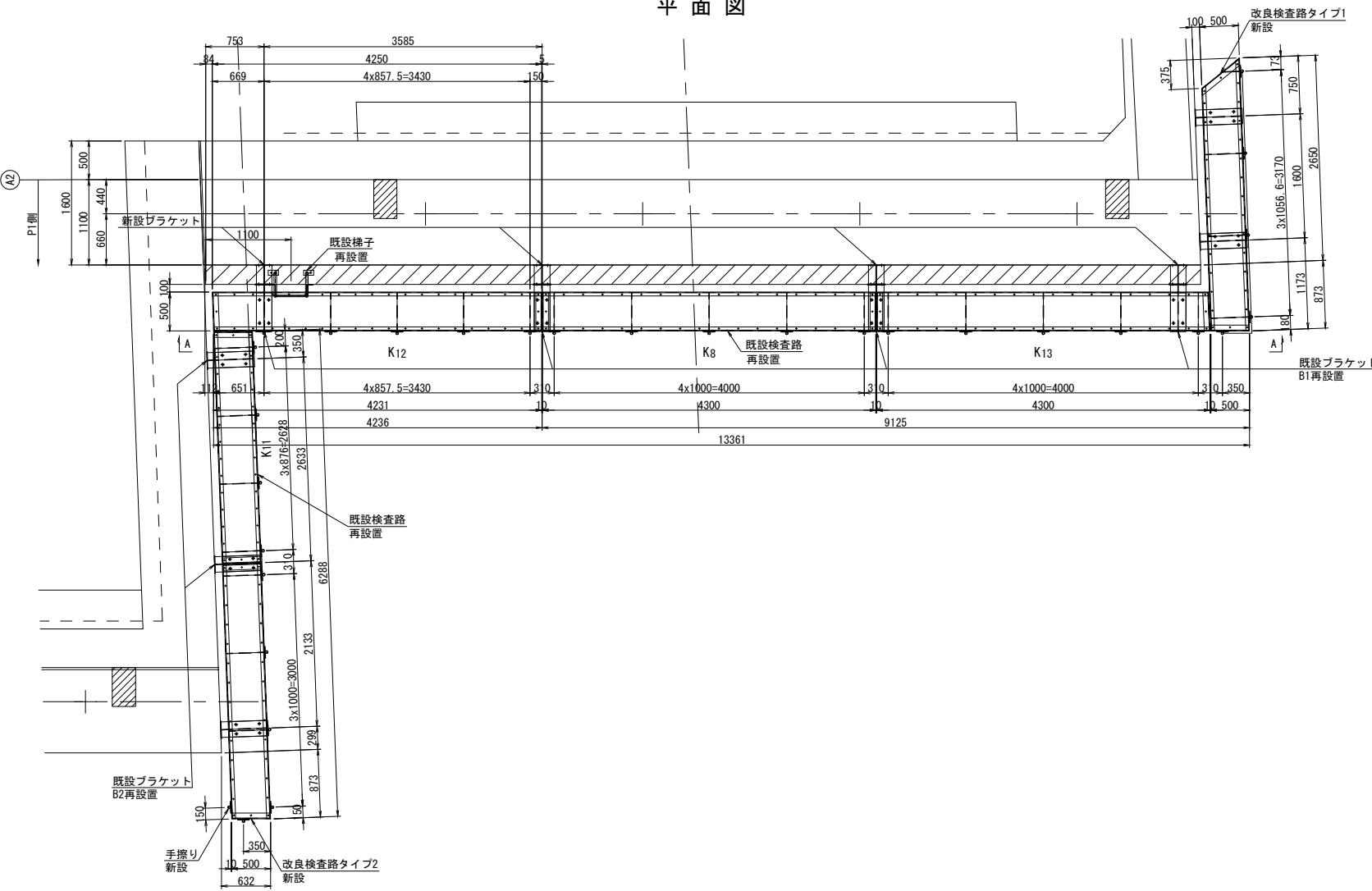
正面図
A-A



側面図



平面図



検査路改良後再設置数量

K11
1-[100×50×5×7.5×2980
1-[100×50×5×7.5×2997
2-L 75×75×6×490
1-ChPL 480×3.2×2977
4-FB 50×6×490

1-PL 90×8×480
30-BN M10×30(新設)
1-Pipe 25A×2928
4-Pipe 25A×1190
6-Pipe 15A×250
8-PL 150×6×180
16-BN M16×35(座金付)(新設)

K12
1-[100×50×5×7.5×4249
1-[100×50×5×7.5×4231
2-L 75×75×6×490
1-ChPL 480×3.2×4229
5-FB 50×6×490
1-PL 200×8×480
1-PL 90×8×480
42-BN M10×30(新設)
1-Pipe 25A×3730
5-Pipe 25A×1190
8-Pipe 15A×832
10-PL 150×6×180
20-BN M16×35(座金付)(新設)

K8
2-[100×50×5×7.5×4300
2-L 75×75×6×490
1-ChPL 480×3.2×4280
5-FB 50×6×490
2-PL 90×8×480
38-BN M10×30(新設)
1-Pipe 25A×4300
5-Pipe 25A×1190
8-Pipe 15A×974
10-PL 150×6×180
20-BN M16×35(座金付)(新設)

K13
1-[100×50×5×7.5×4300
1-[100×50×5×7.5×4283
2-L 75×75×6×490
1-ChPL 480×3.2×4280
5-FB 50×6×490
1-PL 200×8×480
1-PL 90×8×480
38-BN M10×30(新設)
1-Pipe 25A×4300
5-Pipe 25A×1190
8-Pipe 15A×974
10-PL 150×6×180
20-BN M16×35(座金付)(新設)

ブラケットB1 箇所:N=4

1-PL 200×8×602
1-PL 309×8×592
1-PL 90×8×637
1-PL 230×8×350
4-BN M16×40(2座金付)(新設)
4-BN M16×30(新設)

ブラケットB2 箇所:N=2

1-PL 200×8×602
1-PL 309×8×592
1-PL 90×8×637
1-PL 230×8×350
4-BN M16×40(2座金付)(新設)
4-BN M16×30(新設)
4-ホールインアンカ M16(新設)

梯子(ステップ1)

2-Pipe 25A×1567
2-Pipe 25A×334
2-Pipe 25A×581
4-RB Φ22×410(SR24)
4-FB 65×6×218
2-FB 65×6×130
6-BN M16×30(新設)

改良検査路タイプ1 数量

1-[100×50×5×7.5×3523
1-[100×50×5×7.5×3130
1-PL 75×75×6×490
1-L 75×75×6×613
1-ChPL 480×3.2×3492
3-FB 50×6×490
1-FB 50×6×220
2-PL 200×8×480
31-BN M10×30(新設)
1-Pipe 25A×3553
1-Pipe 25A×529
5-Pipe 25A×1190
6-Pipe 15A×1031
2-Pipe 15A×197
2-Pipe 15A×367
2-Pipe 15A×160
10-PL 150×6×180
20-BN M16×35(座金付)(新設)

改良検査路タイプ2 数量

1-[100×50×5×7.5×3300
1-[100×50×5×7.5×3283
2-L 75×75×6×490
1-ChPL 480×3.2×3280
4-FB 50×6×490
1-PL 200×8×480
1-PL 90×8×480
30-BN M10×30(新設)
1-Pipe 25A×3497
1-Pipe 25A×547
5-Pipe 25A×1190
6-Pipe 15A×974
2-Pipe 15A×178
2-Pipe 15A×378
10-PL 150×6×180
20-BN M16×35(座金付)(新設)

新設手すり数量

1-Pipe 25A×256
1-Pipe 25A×1190
2-PL 150×6×180
4-BN M16×35(座金付)

新設ブラケット 箇所:N=4

2-PL 200×8×234
1-PL 309×8×234
1-PL 230×8×350
4-BN M16×60
6-ホールインアンカ M16x125

梯子

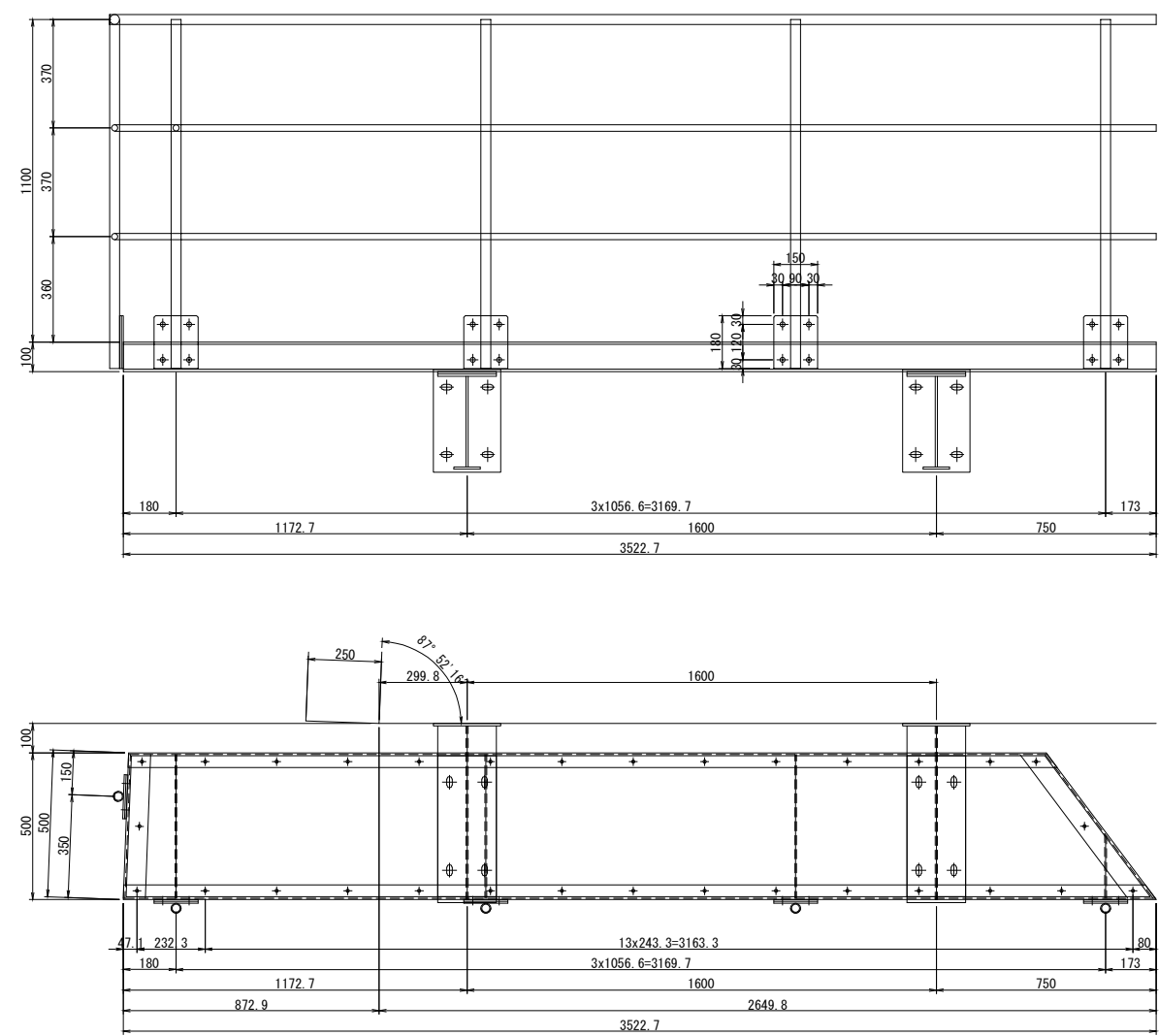
6-ホールインアンカ M16x125

注記

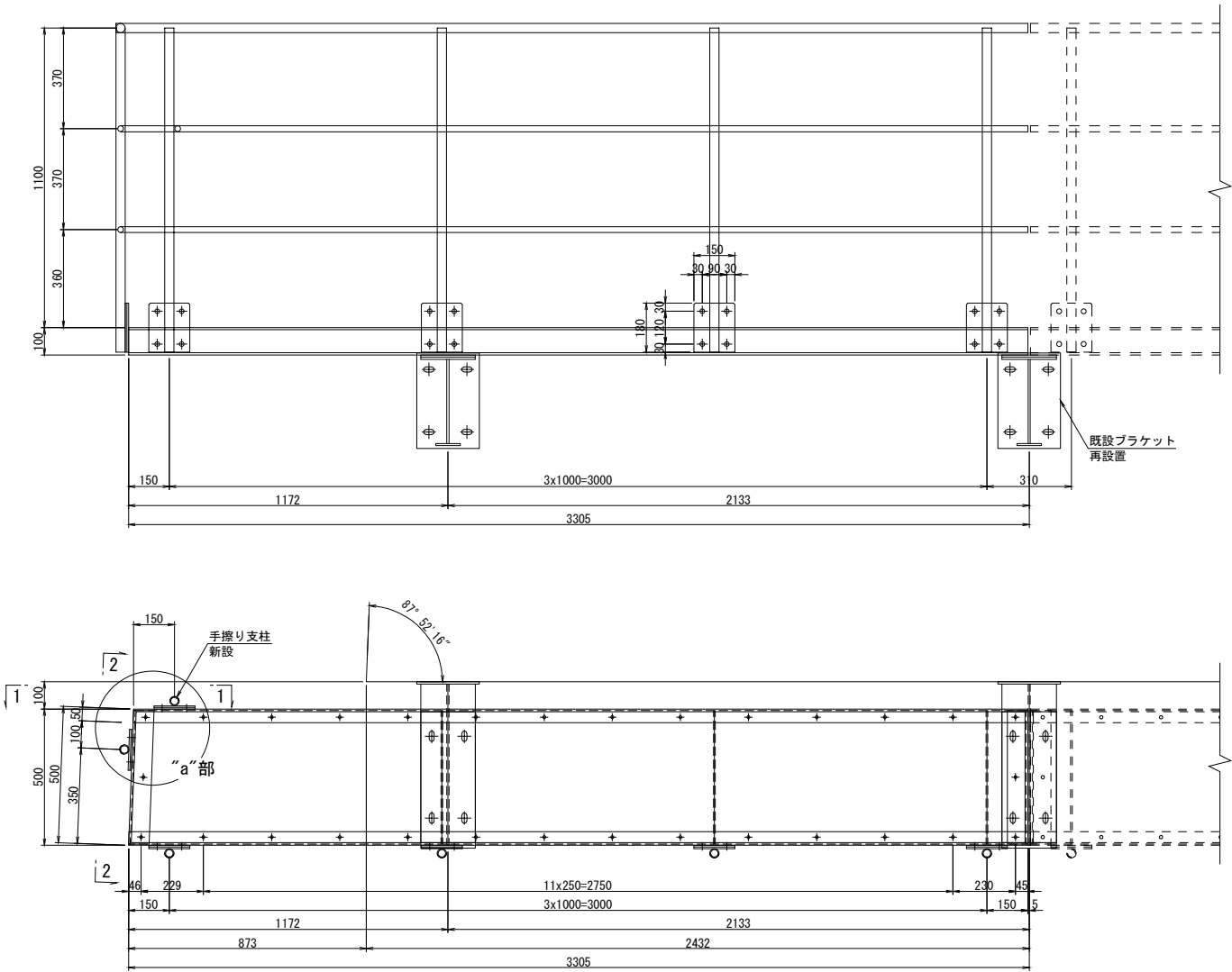
- 特記なき材質は、全てSS400とする。
- パイプの材質は、全てSGPとする。

館山自動車道 大島居高架橋耐震補強工事			
図面の種類	町田第三橋（上り線）A2橋台 撤去・設置工 検査路B 詳細図(その2)		
縮 尺	図 示	図面番号	/
設計会社名	大成エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 市 原 管 理 事 務 所		

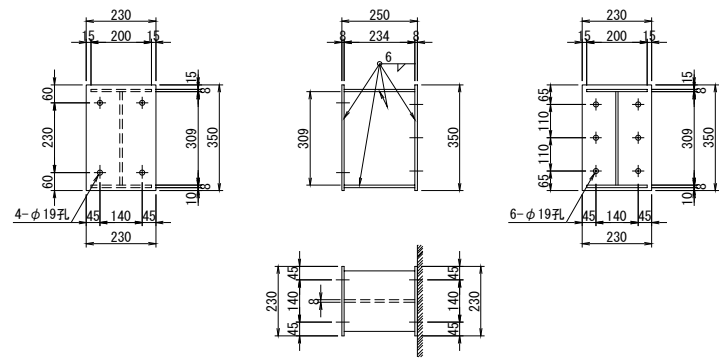
改良検査路タイプ1 詳細図



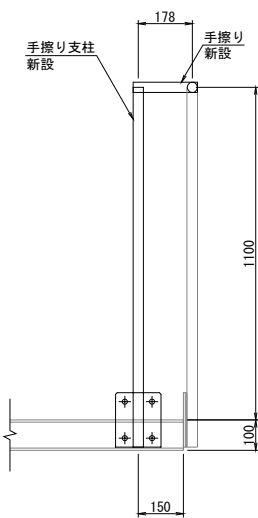
改良検査路タイプ2 詳細図



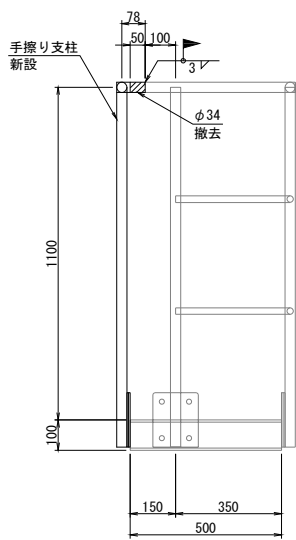
新設ブラケット 詳細図



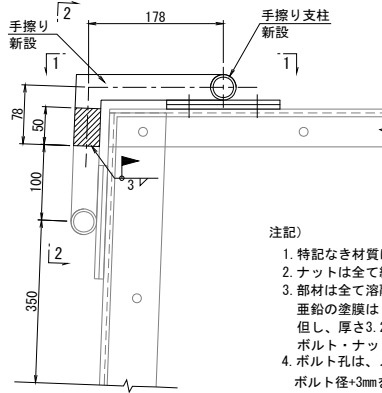
1 - 1



2 - 2



“a”部詳細図 S=1:10



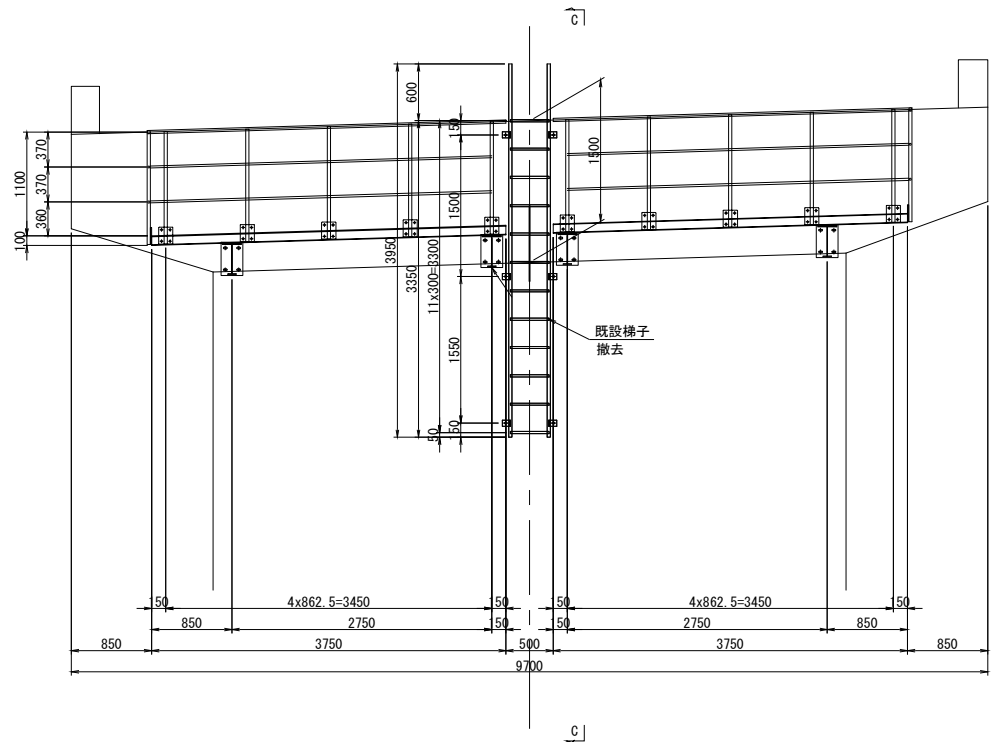
- 注記)
1. 特記なき材質は、全てSS400とする。
 2. ナットは全て緩み止めナットを使用すること。
 3. 部材は全て溶融亜鉛めっきを施す。
垂鉛の塗膜は JIS H 8641 HDZT77とする。
但し、厚さ3.2mm未満の鋼材及び
ボルト・ナット類はHDZT49とする。
 4. ボルト孔は、メッキ付着量を考慮し、
ボルト径+3mmを標準とする。
 5. 床材に鋼鋼板を使用する場合は、直径10mmの排水孔
を間隔1m(0.7m2)程度に1箇所程度設けること。

館山自動車道 大鳥居高架橋耐震補強工事			
図面の種類	町田第三橋（上り線）A2橋台 撤去・設置工 検査路B 詳細図（その3）	図示	図面番号 /
縮 尺	図 示	図面番号	/
設計会社名	大成エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 市 原 管 理 事 務 所		

撤去工

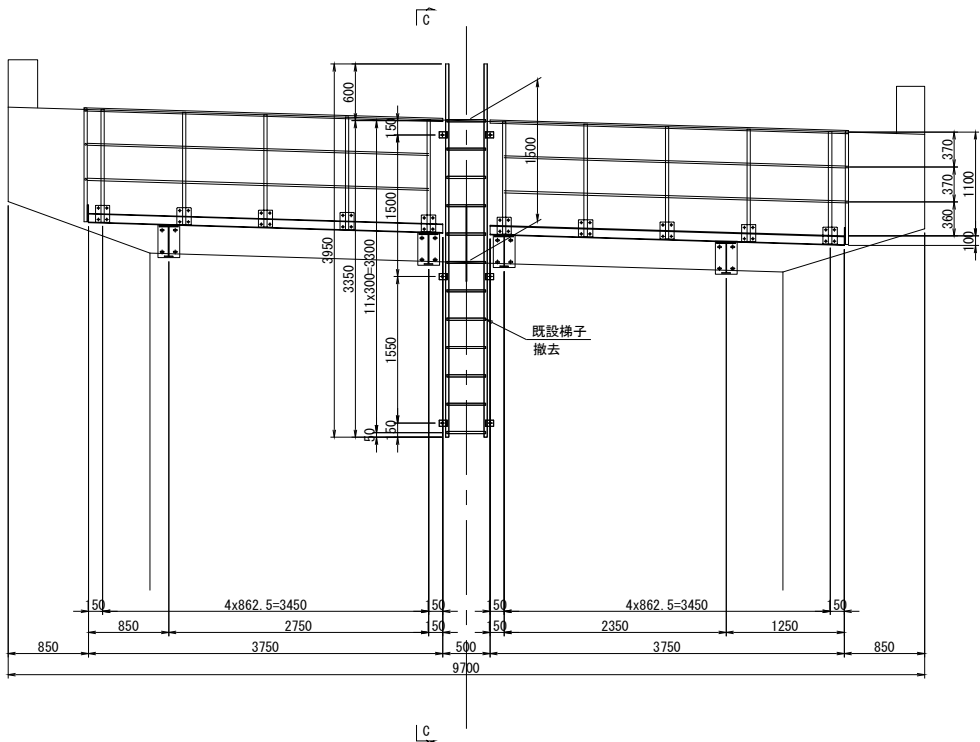
断面図

A - A

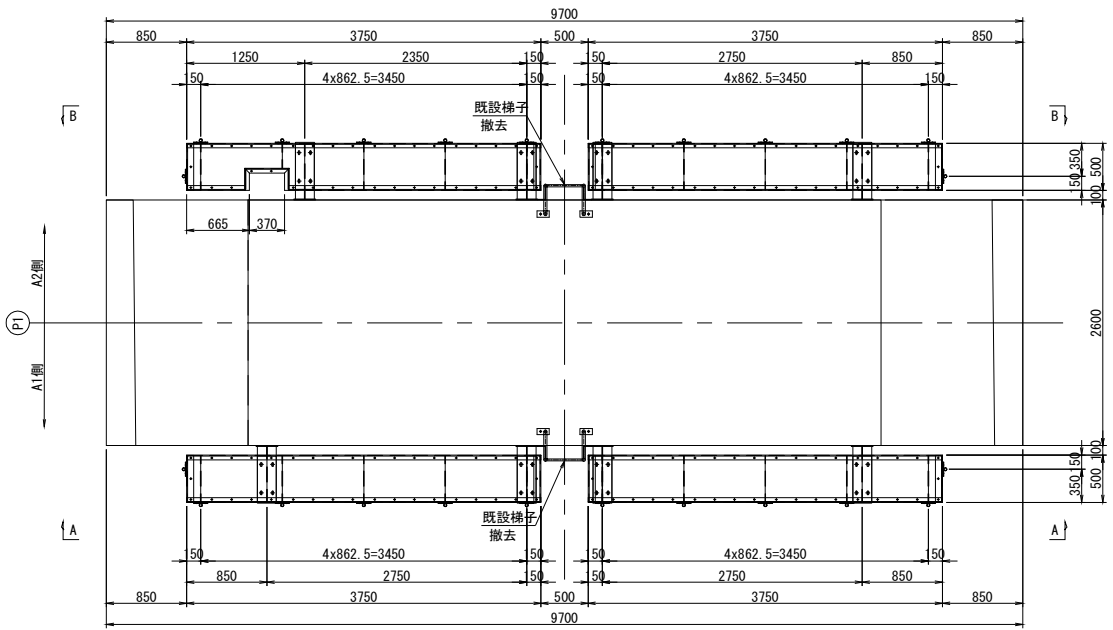


断面図

B - B

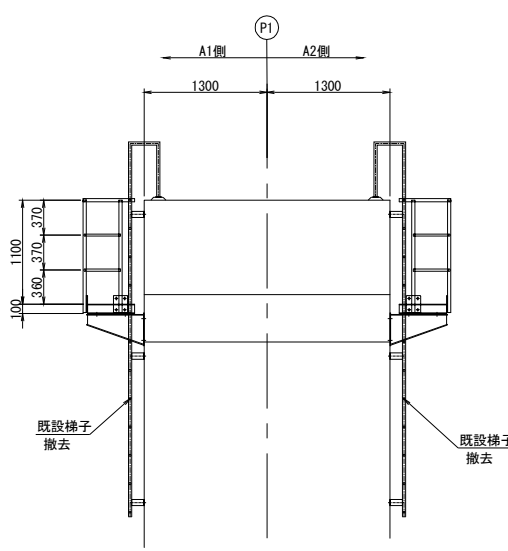


平面図



側面図

C - C

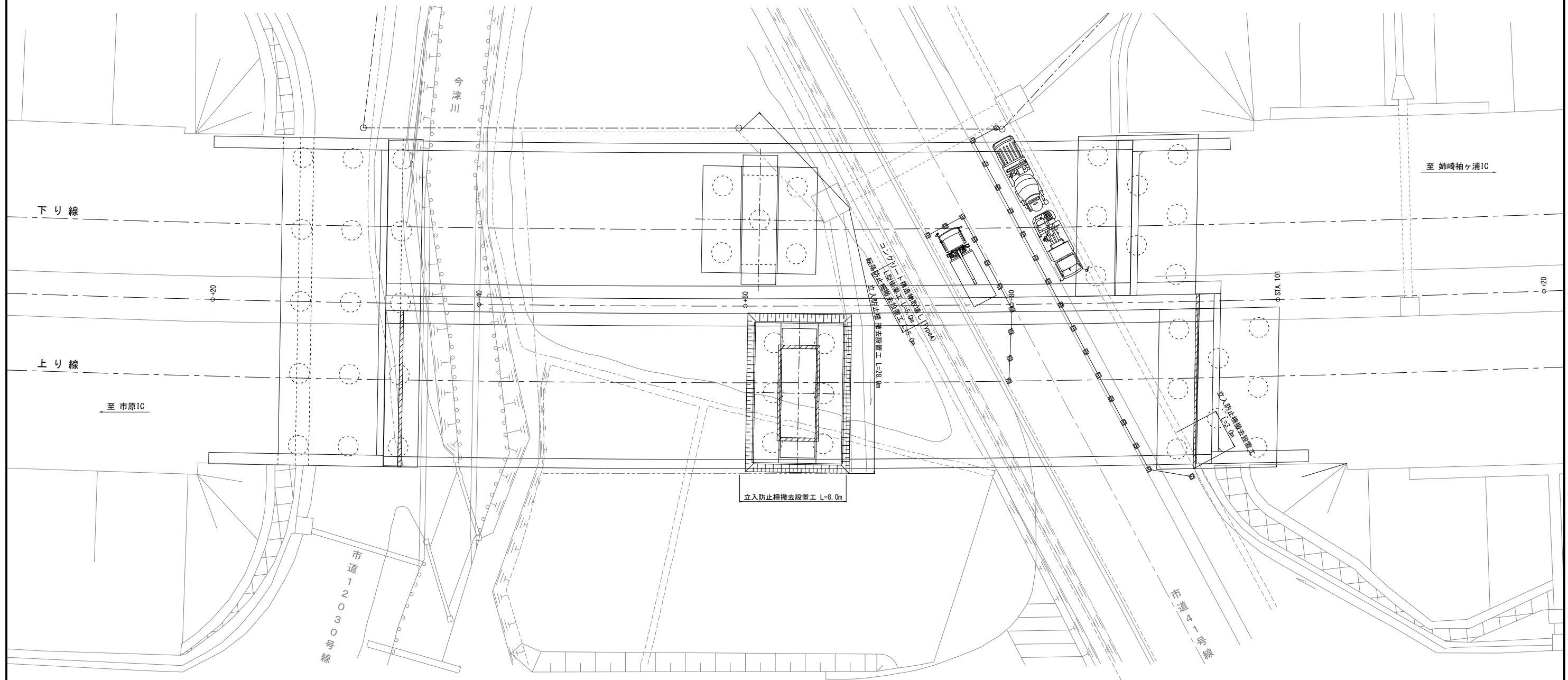


撤去数量（既設図より）

- 梯子 箇所:N=2
- 2-Pipe 25A×3967
- 2-Pipe 25A×334
- 2-Pipe 25A×581
- 12-RB Φ22×410(SR24)
- 2-FB 65×6×130
- 6-FB 65×6×218
- 2-ホールインアンカ M16
- 8-BN M16×30

- 注記
- 特記なき材質は、全てSS400とする。
 - パイプの材質は、全てSGPとする。

館山自動車道 大鳥居高架橋耐震補強工事			
図面の種類	町田第三橋（上り線）P1橋脚		
	撤去・設置工 検査路B 詳細図(その1)		
縮 尺	図 示	図面番号	/
設計会社名	大成エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 市 原 管 理 事 務 所		



数量表

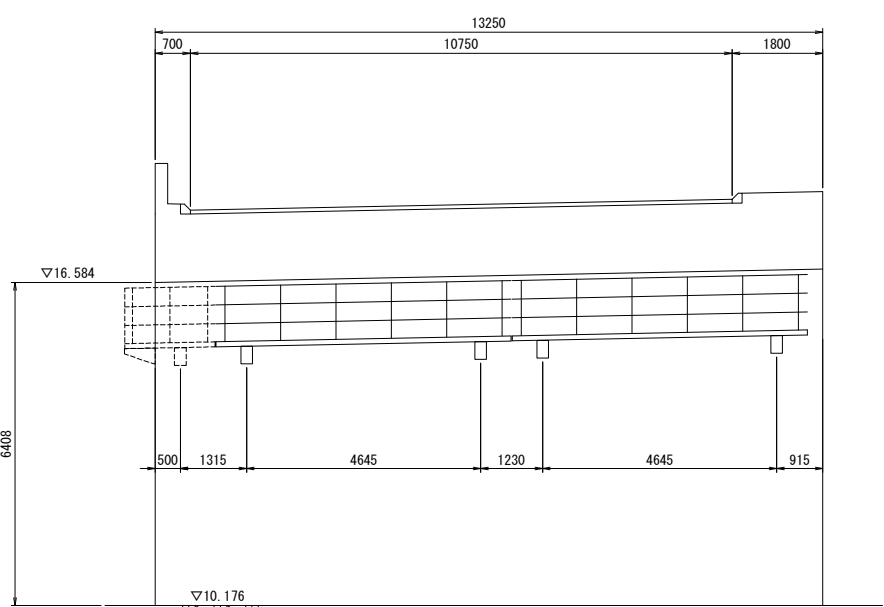
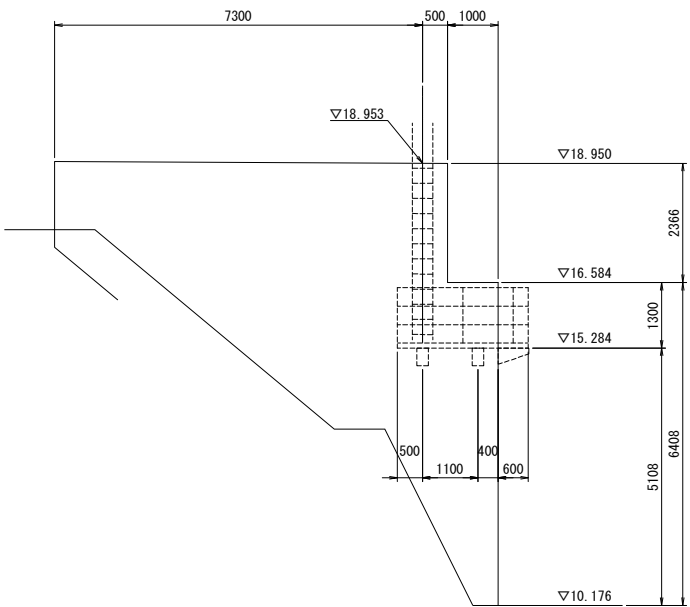
細 目	規格・仕様	単位	数 量	備 考
立入防止柵撤去設置工	一般型非積雪地用	m	39.0	
転落防止柵撤去設置工	-	m	5.0	
Ｌ型街渠工	570・一般部	m	5.0	
コンクリート構造物取壊し (TypeA)	-	m3	0.68	

館山自動車道 大鳥居高架橋耐震補強工事				
図面の種類	町田第三橋（上り線） 付帯工撤去・復旧図（参考図）			
縮 尺	図 示	図面番号	/	
設計会社名	大成エンジニアリング株式会社			
施工会社名				
事務所名	東日本高速道路株式会社 市 原 管 理 事 務 所		関東支社	

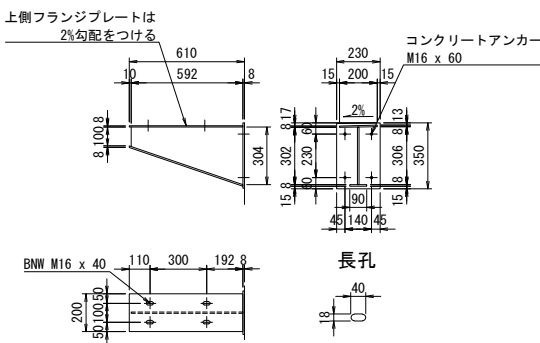
A1橋台

正面図

側面図



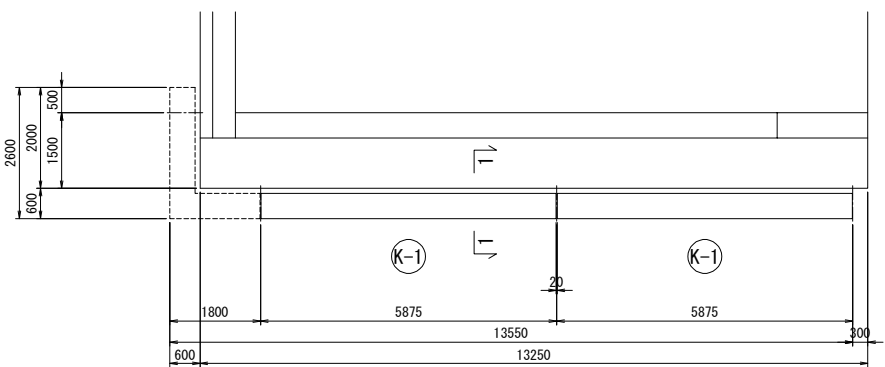
ブラケット詳細 S=1:40



1ヶ所当り (4ヶ所)

- 1 - PL 230 x 8 x 350
- 1 - PL 200 x 8 x 602
- 1 - PL 304 x 8 x 592
- 1 - PL 90 x 8 x 636
- 4 - B. N. W M16 x 40
- 4 - コンクリートアンカー M16 x 60

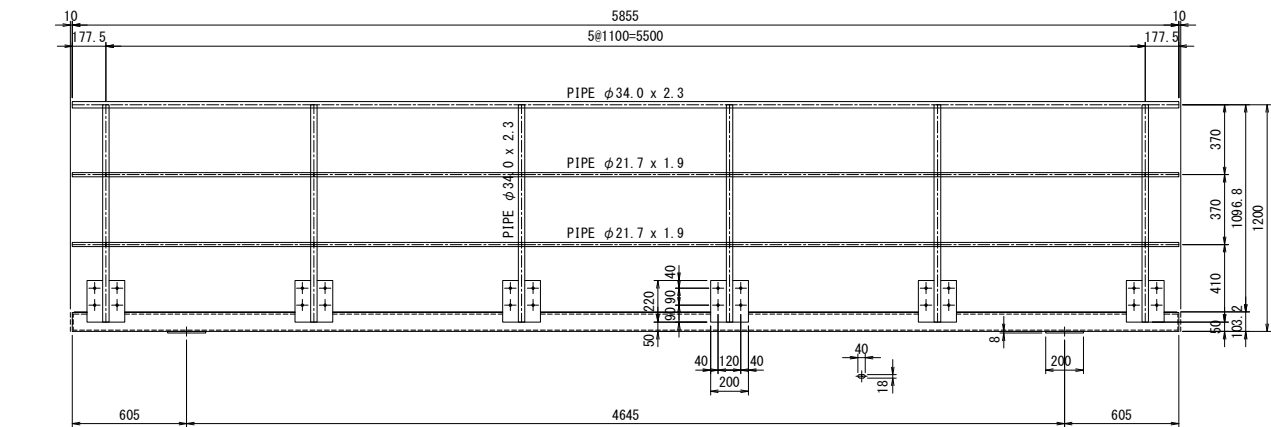
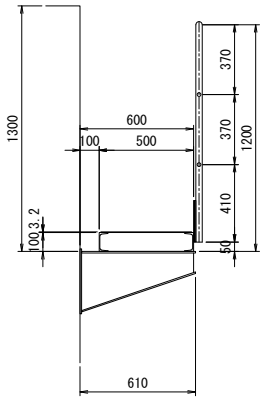
平面図



(K-1)

S=1:40

1 - 1



(K-1) 1ヶ所当り (2ヶ所)

- 1 - PIPE $\phi 34.0 \times 2.3 \times 5855$ (STK41)
- 6 - PIPE $\phi 34.0 \times 2.3 \times 1150$ (STK41)
- 10 - PIPE $\phi 21.7 \times 1.9 \times 1074$ (STK41)
- 4 - PIPE $\phi 21.7 \times 1.9 \times 164$ (STK41)
- 12 - PL - 220 x 6 x 200
- 24 - B. N. W M16 x 40

(K-1) 1ヶ所当り (2ヶ所)

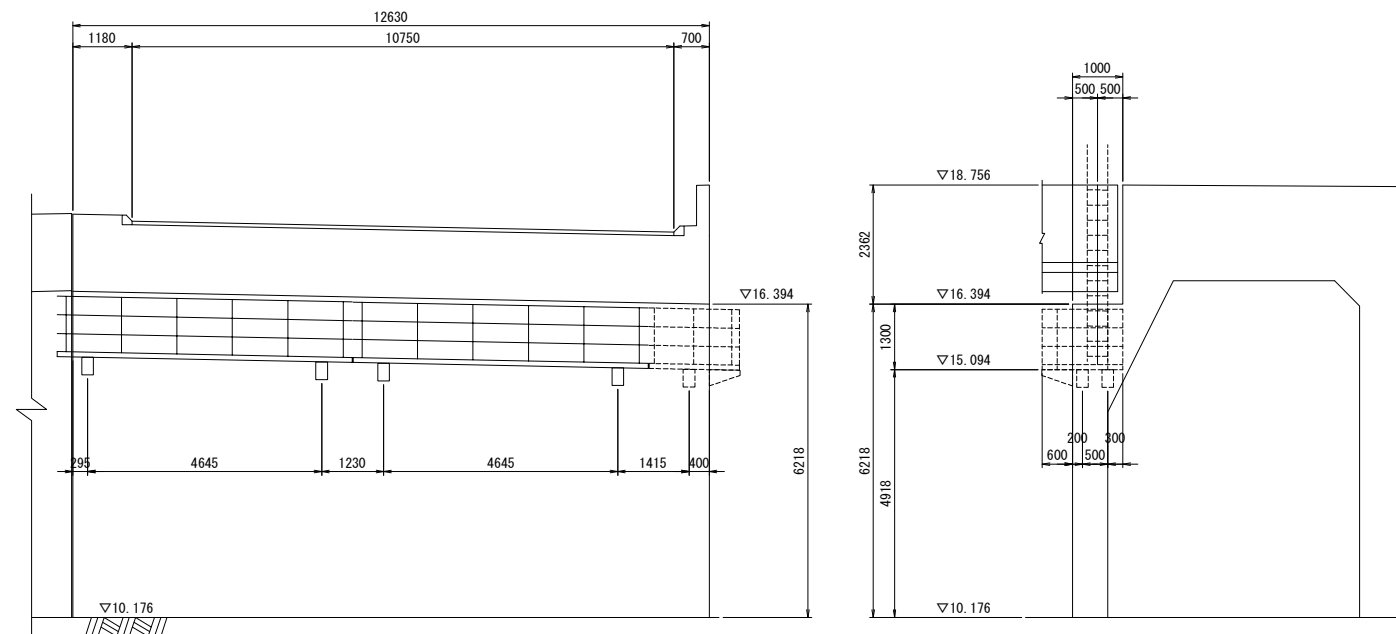
- 2 - [100 x 50 x 5 x 7.5 x 5855
- 2 - L 65 x 65 x 6 x 490
- 6 - FB 50 x 6 x 490
- 2 - PL 200 x 8 x 520
- 1 - CKPL 480 x 3.2 x 5855
- 50 - B. N. W M16 x 40

館山自動車道 大鳥居高架橋耐震補強工事			
図面の種類	浮戸川橋(上り線)		
	下部工検査路撤去図(その1)		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 市 原 管 理 事 務 所		

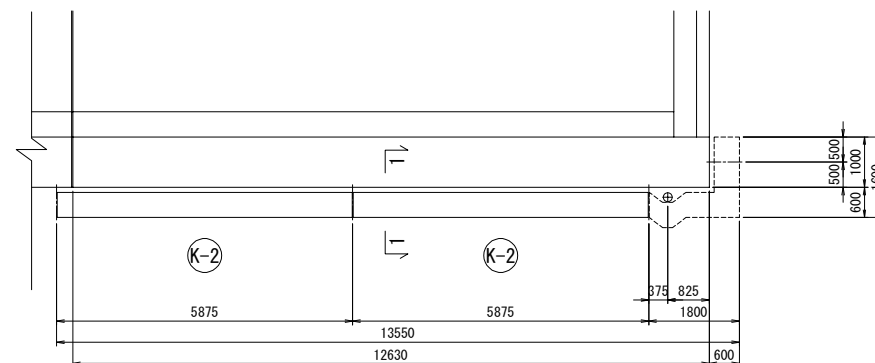
A2橋台

正面図

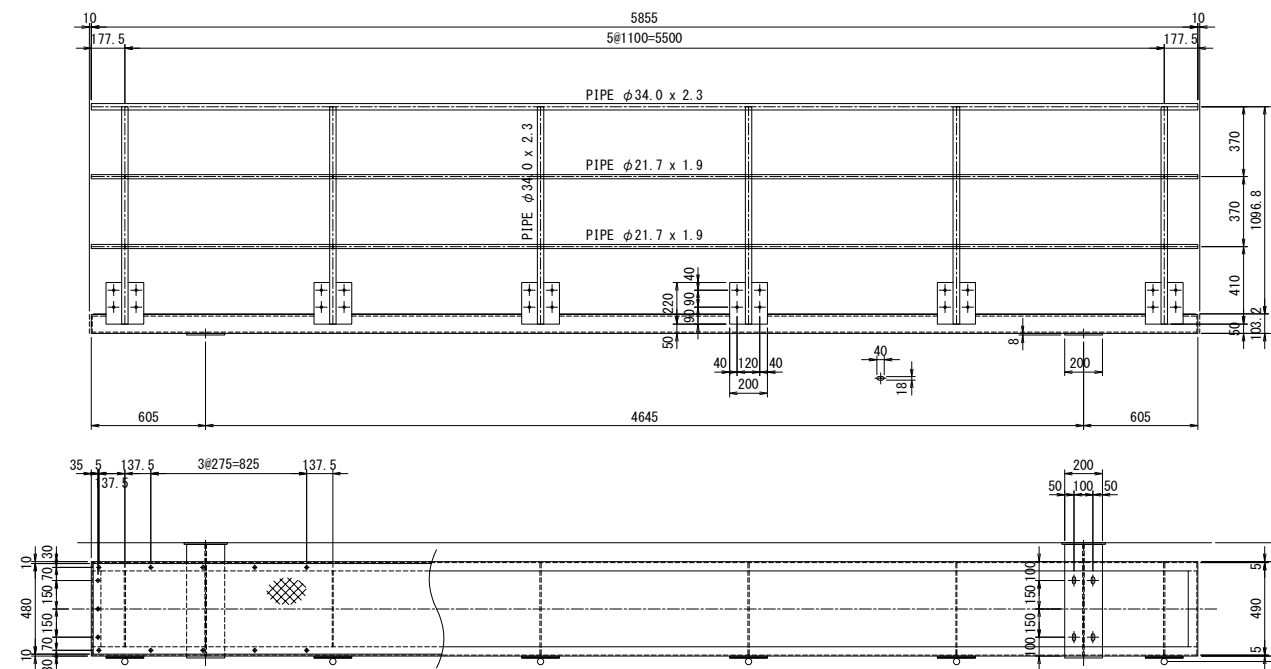
側面図



平面图



K-2
詳細図
S=1:40



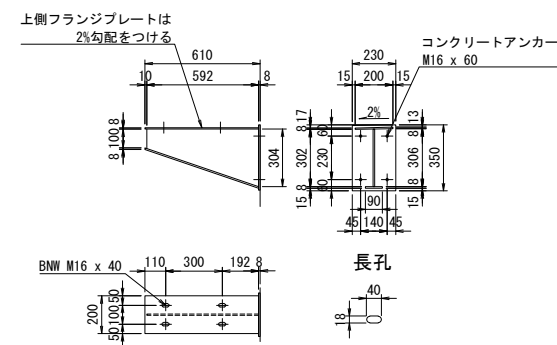
① K-2 1ヶ所当り(2ヶ所)

- 1 - PIPE $\phi 34.0 \times 2.3 \times 5855$ (STK41)
6 - PIPE $\phi 34.0 \times 2.3 \times 1150$ (STK41)
10 - PIPE $\phi 21.7 \times 1.9 \times 1074$ (STK41)
4 - PIPE $\phi 21.7 \times 1.9 \times 164$ (STK41)
12 - PL - 220 x 6 x 200
24 - B. N. W M16 x 40

(K-2) 1ヶ所当り(2ヶ所)

- | | |
|--------------|---------------------------|
| 2 - [| 100 x 50 x 5 x 7.5 x 5855 |
| 2 - L | 65 x 65 x 6 x 490 |
| 6 - FB | 50 x 6 x 490 |
| 2 - PL | 200 x 8 x 520 |
| 1 - CKPL | 480 x 3.2 x 5855 |
| 50 - B. N. W | M16 x 40 |

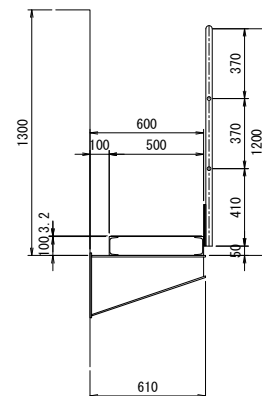
ブラケット詳細 S=1:40



1ヶ所当り(4ヶ所)

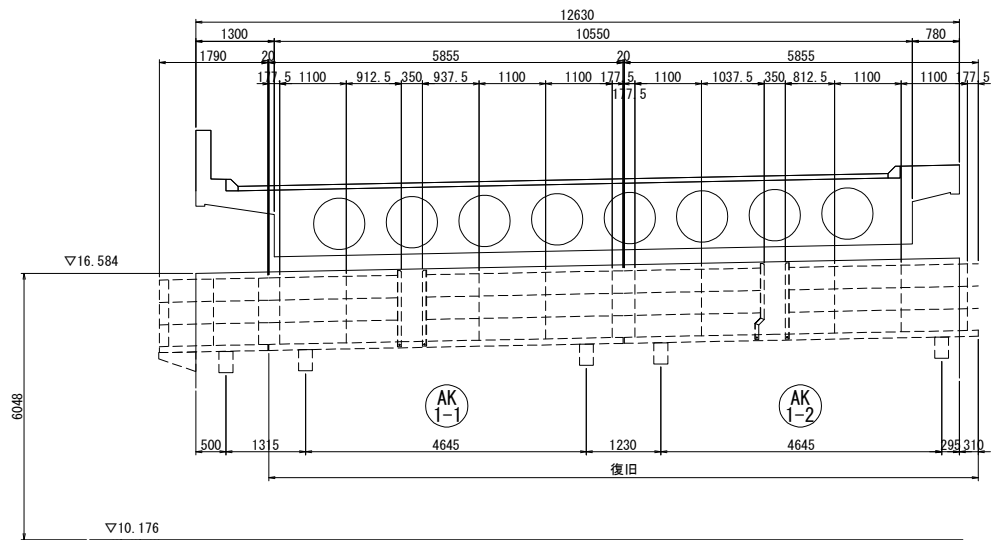
- 1 - PL 230 x 8 x 350
1 - PL 200 x 8 x 602
1 - PL 304 x 8 x 592
1 - PL 90 x 8 x 636
4 - B. N. W M16 x 40
4 - コンクリートアンカー M16 x 60

1 - 1



A1橋台

正面図



AK1-1 1ヶ所当り(1ヶ所)

- 1-PIPE φ34.0×2.3×2125(STK400)(加工)
- 1-PIPE φ34.0×2.3×3250(STK400)(加工)
- 5-PIPE φ34.0×2.3×1150(STK400)(復旧)
- 2-L65×65×6×1255(新設)
- 6-PIPE φ21.7×1.9×1074(STK400)(復旧)
- 2-PIPE φ21.7×1.9×835(STK400)(加工)
- 2-PIPE φ21.7×1.9×860(STK400)(加工)
- 4-PIPE φ21.7×1.9×164(STK400)(復旧)
- 10-PL220×6×200(復旧)
- ※ 1-PL50×6×200(加工)
- 22-BN M16×40(新設)

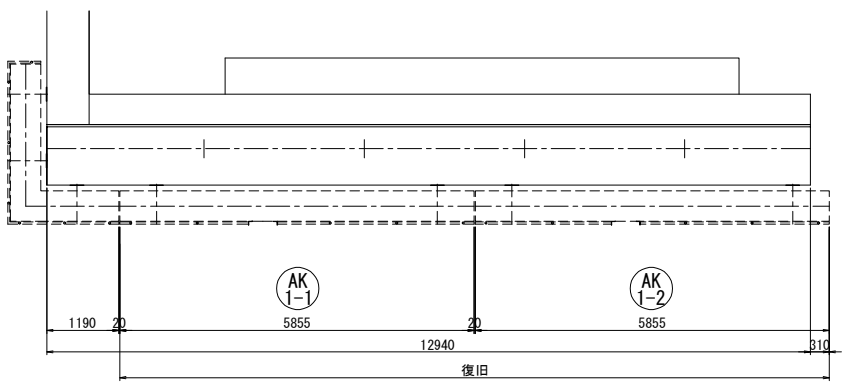
※ はガス切断を行う。

AK1-2 1ヶ所当り(1ヶ所)

- 1-PIPE φ34.0×2.3×2250(STK400)(加工)
- 1-PIPE φ34.0×2.3×3125(STK400)(加工)
- 5-PIPE φ34.0×2.3×1150(STK400)(復旧)
- 1-L65×65×6×1255(新設)
- 1-L65×65×6×928(新設)
- 1-L65×65×6×154(新設)
- 1-L65×65×6×263(新設)
- 6-PIPE φ21.7×1.9×1074(STK400)(復旧)
- 2-PIPE φ21.7×1.9×960(STK400)(加工)
- 2-PIPE φ21.7×1.9×735(STK400)(加工)
- 4-PIPE φ21.7×1.9×164(STK400)(復旧)
- 10-PL220×6×200(復旧)
- ※ 1-PL50×6×200(加工)
- 22-BN M16×40(新設)

※ はガス切断を行う。

平面図



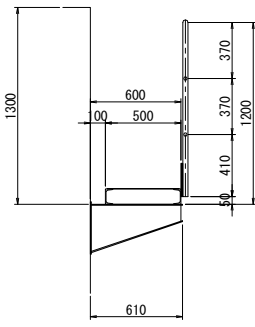
AK1-1 1ヶ所当り(1ヶ所)

- 2-[100×50×5×7.5×5855(復旧)
- 2-L65×65×6×490(復旧)
- 6-FB50×6×490(復旧)
- 1-CKPL480×3.2×5855(復旧)
- 2-PL200×8×520(復旧)
- 50-BN M16×40(新設)

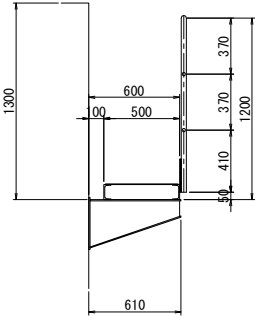
AK1-2 1ヶ所当り(1ヶ所)

- 2-[100×50×5×7.5×5855(復旧)
- 2-L65×65×6×490(復旧)
- 6-FB50×6×490(復旧)
- 1-CKPL480×3.2×5855(復旧)
- 2-PL200×8×520(復旧)
- 50-BN M16×40(新設)

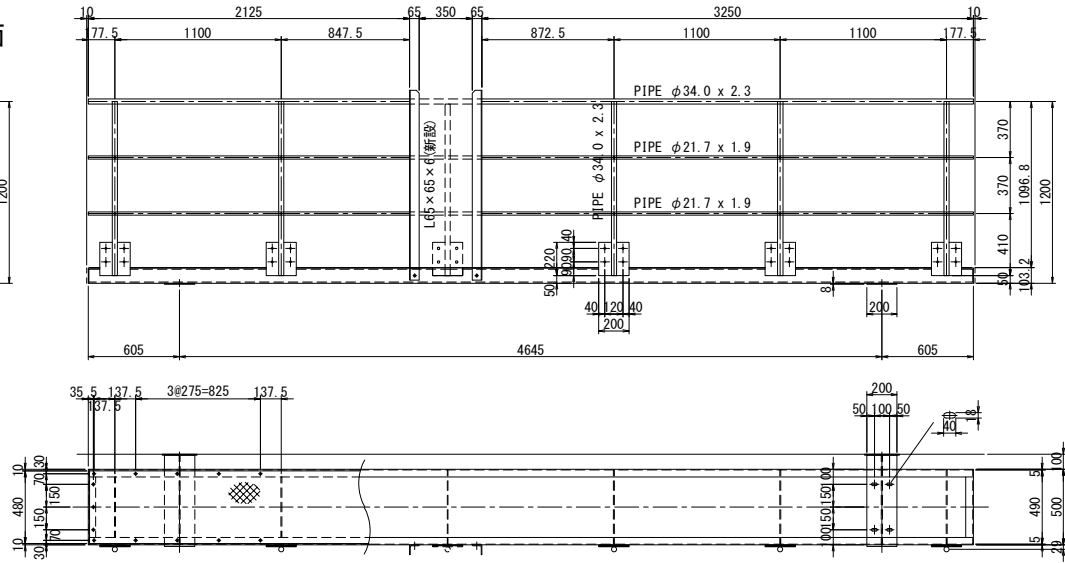
受け台位置断面



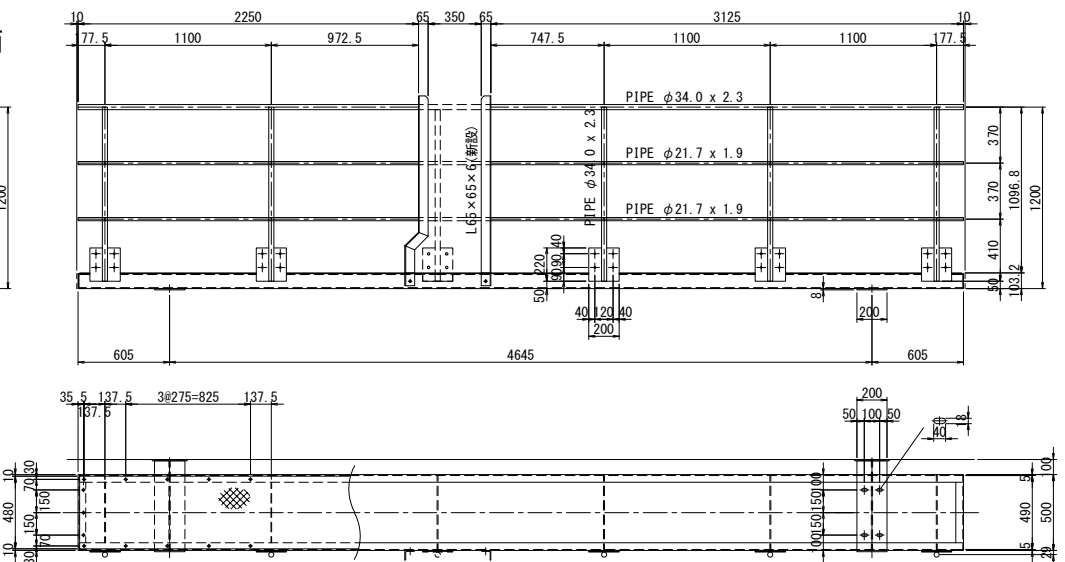
受け台位置断面



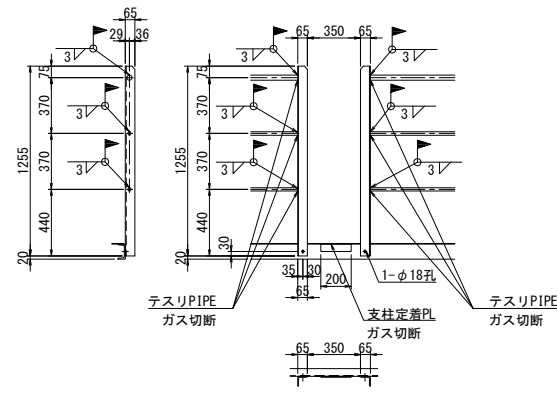
AK1-1 詳細図 S=1:50



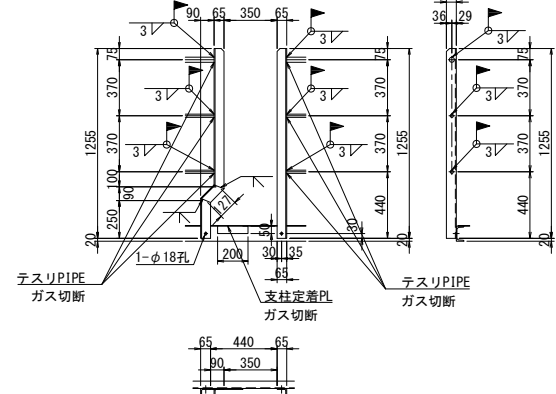
AK1-2 詳細図 S=1:50



AK1-1加工詳細図 S=1:50



AK1-2加工詳細図 S=1:50

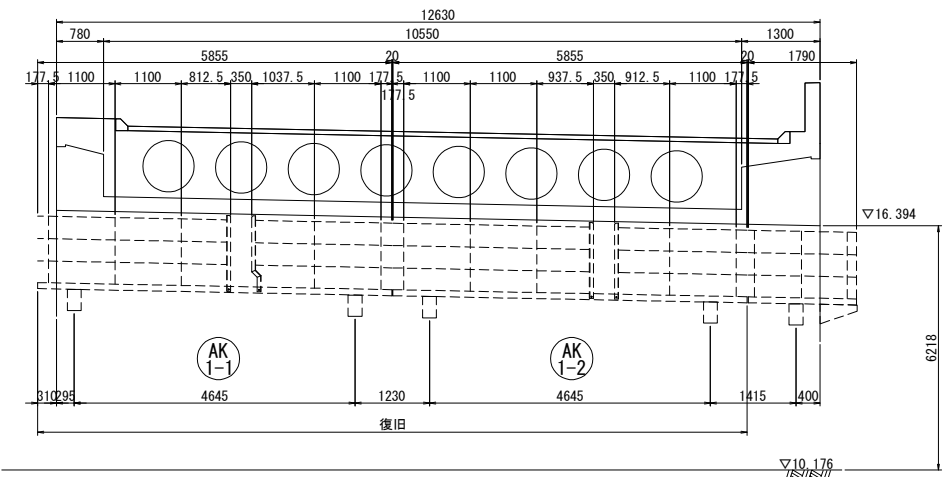


注記)
1. 特記なき材質は全てSS400とする。
2. ナットは全て緩み止めナットを使用すること。
3. 部材は全て溶融亜鉛めっきを施す。
垂鉛の差膜は JIS H 8641 HDZT77とする。
但し、厚さ3.2mm未満の鋼材及び
ボルト・ナット類はHDZT49とする。

館山自動車道 大鳥居高架橋耐震補強工事			
図面の種類	浮戸川橋(上り線) 下部工検査路復旧図(その1)		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 市 原 管 理 事 務 所		

A2橋台

正面図



AK1-1

1ヶ所当り(1ヶ所)

- 1-PIPE $\phi 34.0 \times 2.3 \times 2250$ (STK400) (加工)
- 1-PIPE $\phi 34.0 \times 2.3 \times 3125$ (STK400) (加工)
- 5-PIPE $\phi 34.0 \times 2.3 \times 1150$ (STK400) (復旧)
- 1-L65 $\times 65 \times 6 \times 1255$ (新設)
- 1-L65 $\times 65 \times 6 \times 928$ (新設)
- 1-L65 $\times 65 \times 6 \times 154$ (新設)
- 1-L65 $\times 65 \times 6 \times 263$ (新設)
- 6-PIPE $\phi 21.7 \times 1.9 \times 1074$ (STK400) (復旧)
- 2-PIPE $\phi 21.7 \times 1.9 \times 960$ (STK400) (加工)
- 2-PIPE $\phi 21.7 \times 1.9 \times 735$ (STK400) (加工)
- 4-PIPE $\phi 21.7 \times 1.9 \times 164$ (STK400) (復旧)
- 10-PL220 $\times 6 \times 200$ (復旧)
- ※ 1-PL50 $\times 6 \times 200$ (加工)
- 22-BN M16 $\times 40$ (新設)

※ はガス切断を行う。

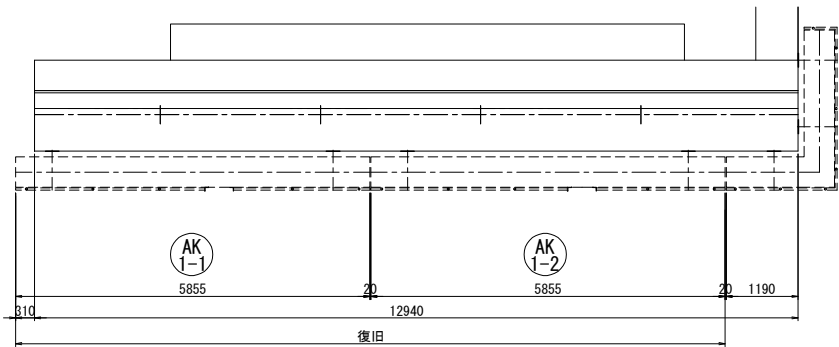
AK1-2

1ヶ所当り(1ヶ所)

- 1-PIPE $\phi 34.0 \times 2.3 \times 2125$ (STK400) (加工)
- 1-PIPE $\phi 34.0 \times 2.3 \times 3250$ (STK400) (加工)
- 5-PIPE $\phi 34.0 \times 2.3 \times 1150$ (STK400) (復旧)
- 2-L65 $\times 65 \times 6 \times 1255$ (新設)
- 6-PIPE $\phi 21.7 \times 1.9 \times 1074$ (STK400) (復旧)
- 2-PIPE $\phi 21.7 \times 1.9 \times 835$ (STK400) (加工)
- 2-PIPE $\phi 21.7 \times 1.9 \times 880$ (STK400) (加工)
- 4-PIPE $\phi 21.7 \times 1.9 \times 164$ (STK400) (復旧)
- 10-PL220 $\times 6 \times 200$ (復旧)
- ※ 1-PL50 $\times 6 \times 200$ (加工)
- 22-BN M16 $\times 40$ (新設)

※ はガス切断を行う。

平面図



AK1-1

1ヶ所当り(1ヶ所)

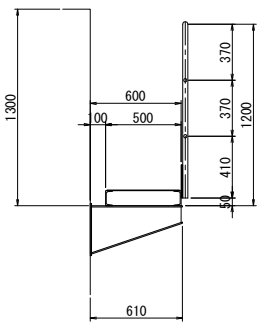
- 2-[100 $\times 50 \times 5 \times 7.5 \times 5855$ (復旧)
- 2-L65 $\times 65 \times 6 \times 490$ (復旧)
- 6-FB50 $\times 6 \times 490$ (復旧)
- 1-CKPL480 $\times 3.2 \times 5855$ (復旧)
- 2-PL200 $\times 8 \times 520$ (復旧)
- 50-BN M16 $\times 40$ (新設)

AK1-2

1ヶ所当り(1ヶ所)

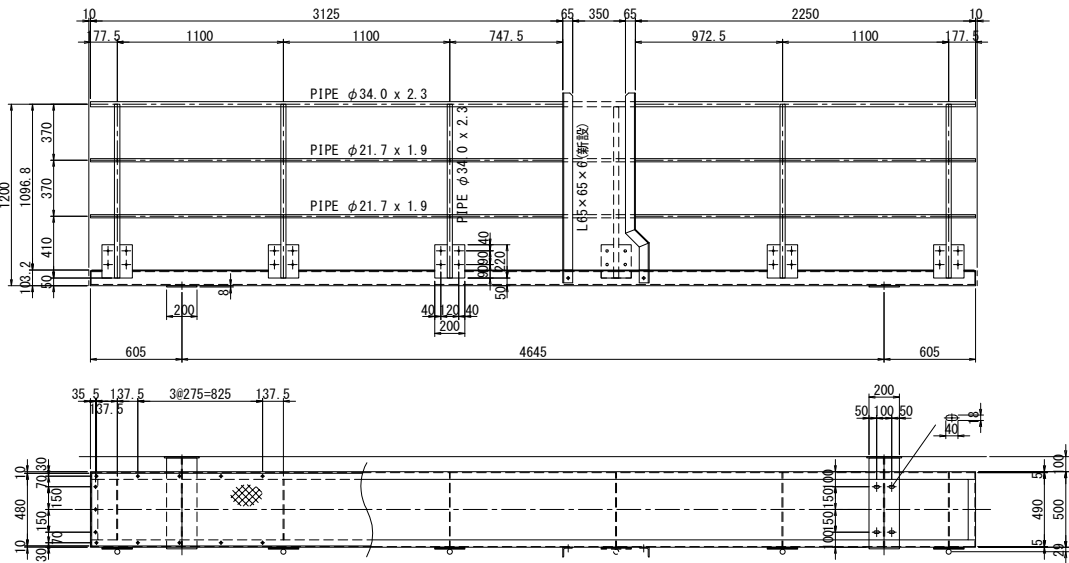
- 2-[100 $\times 50 \times 5 \times 7.5 \times 5855$ (復旧)
- 2-L65 $\times 65 \times 6 \times 490$ (復旧)
- 6-FB50 $\times 6 \times 490$ (復旧)
- 1-CKPL480 $\times 3.2 \times 5855$ (復旧)
- 2-PL200 $\times 8 \times 520$ (復旧)
- 50-BN M16 $\times 40$ (新設)

受け台位置断面



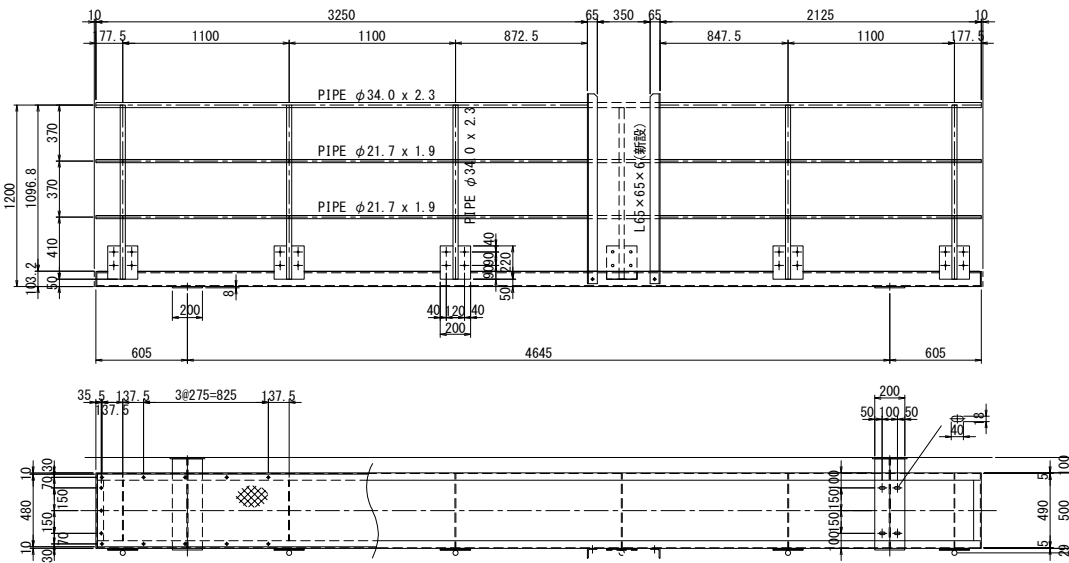
AK1-1

詳細図 S=1:50

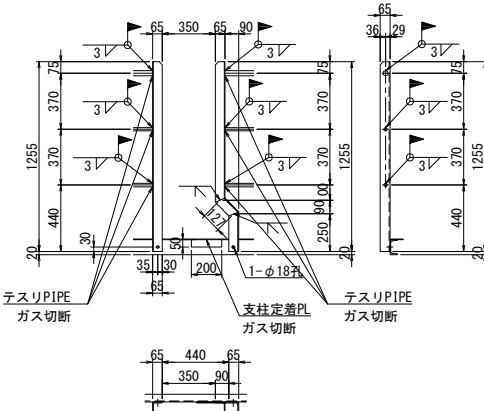


AK1-2

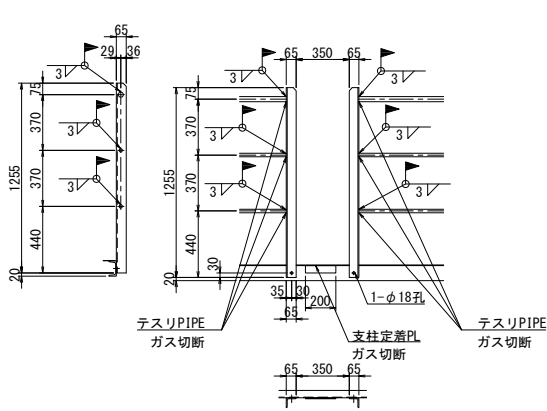
詳細図 S=1:50



AK1-1加工詳細図 S=1:50



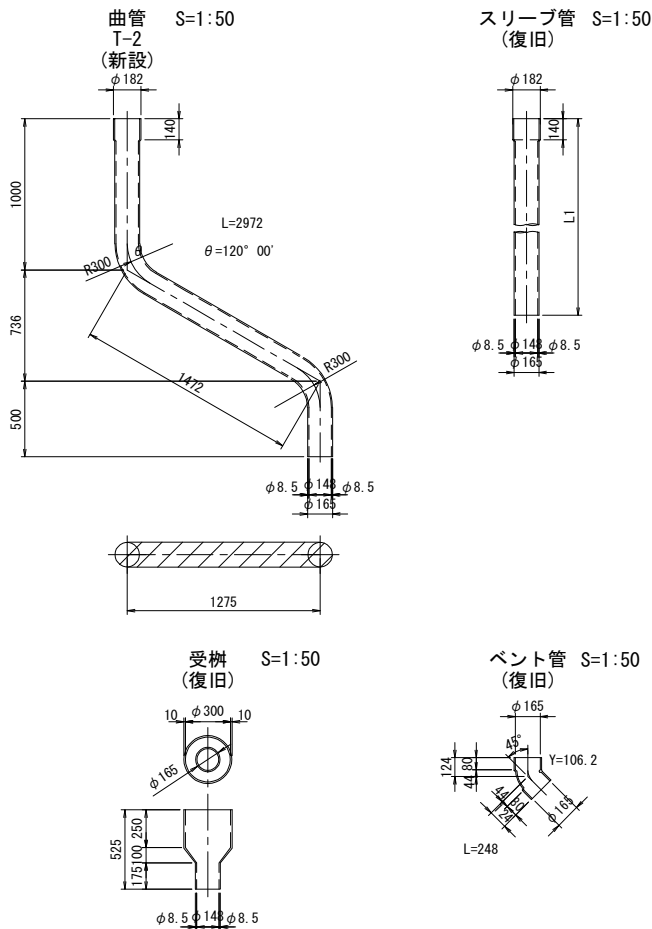
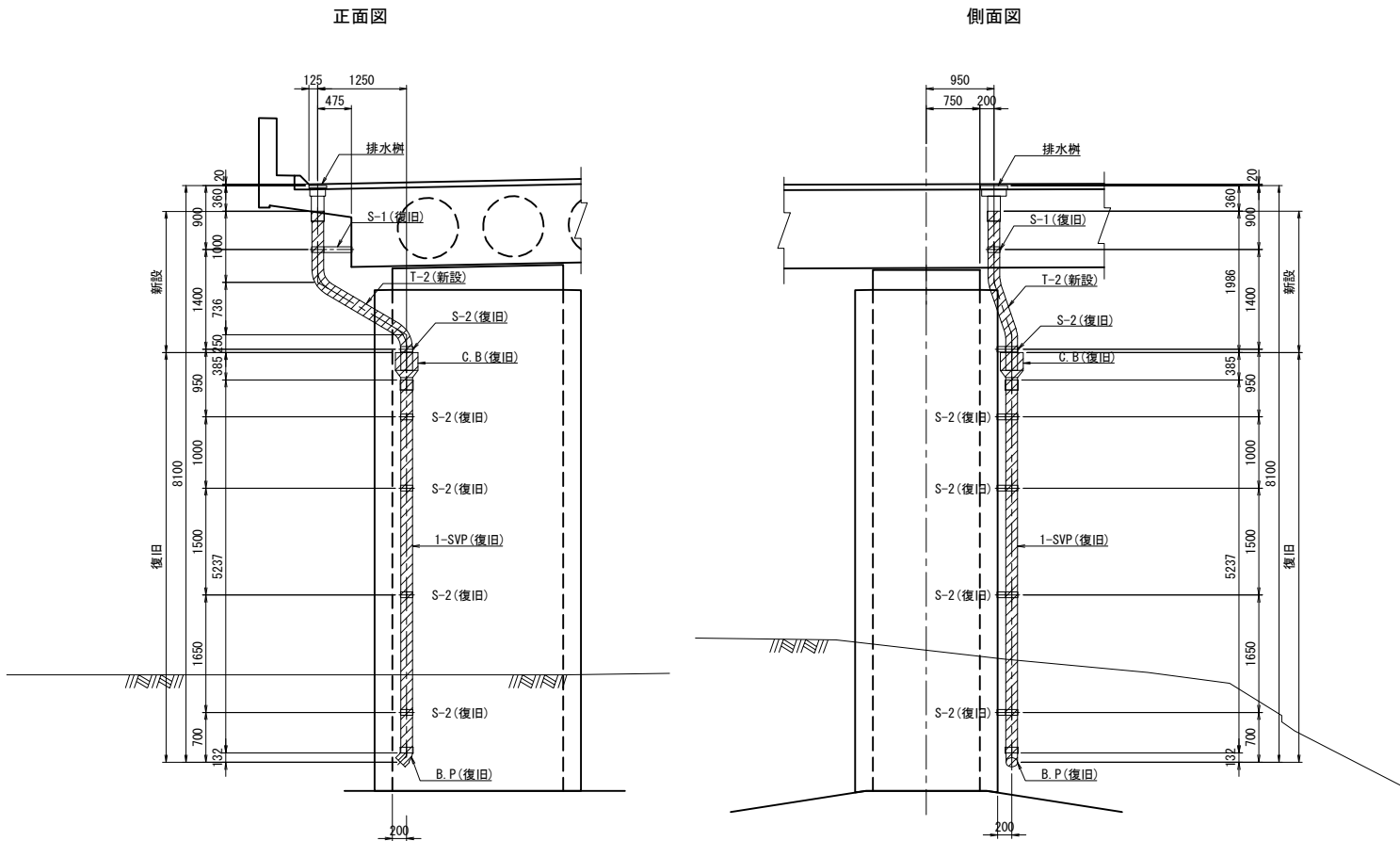
AK1-2加工詳細図 S=1:50



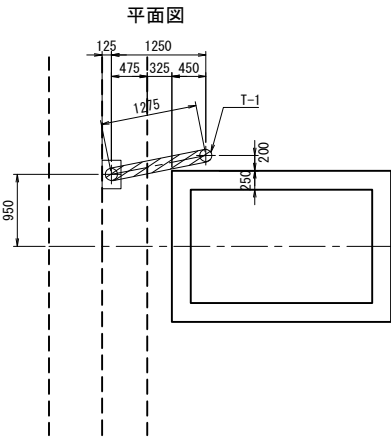
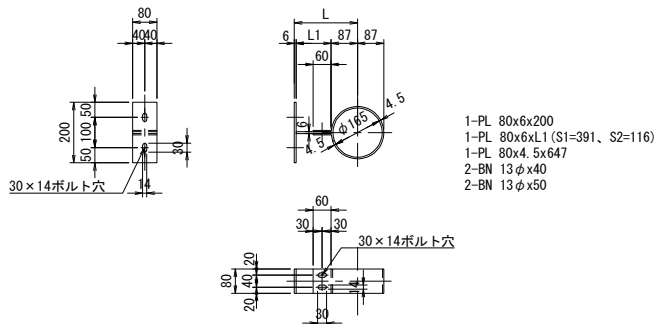
- 注記)
- 特記なき材質は全てSS400とする。
 - ナットは全て緩み止めナットを使用すること。
 - 部材は全て溶融亜鉛めっきを施す。
垂鉛の塗膜は JIS H 8641 HDZT77とする。
但し、厚さ3.2mm未満の鋼材及び
ボルト・ナット類はHDZT49とする。

館山自動車道 大島居高架橋耐震補強工事			
図面の種類	浮戸川橋(上り線)		
	下部工検査路復旧図(その2)		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 市 原 管 理 事 務 所		

P1橋脚



サポート S-1 (S-2) S=1:25 (復旧)



寸法表

橋脚	スリーブ管長 (m)		流水線延長 (m)
	加工前	加工後	
P1	5.251	(5.237)	8.512
合計	5.251	(5.237)	8.512

※流水線延長 (m)
・ (橋脚) 2.972 - 0.250 + 0.385 + 5.237 + 0.248 - 0.080
(曲管-2長) (受樹内曲管-2長) (受樹) (スリーブ管長) (B.P長) (B.P内スリーブ管長)

※ () は、復旧管長を示す。

復旧数量

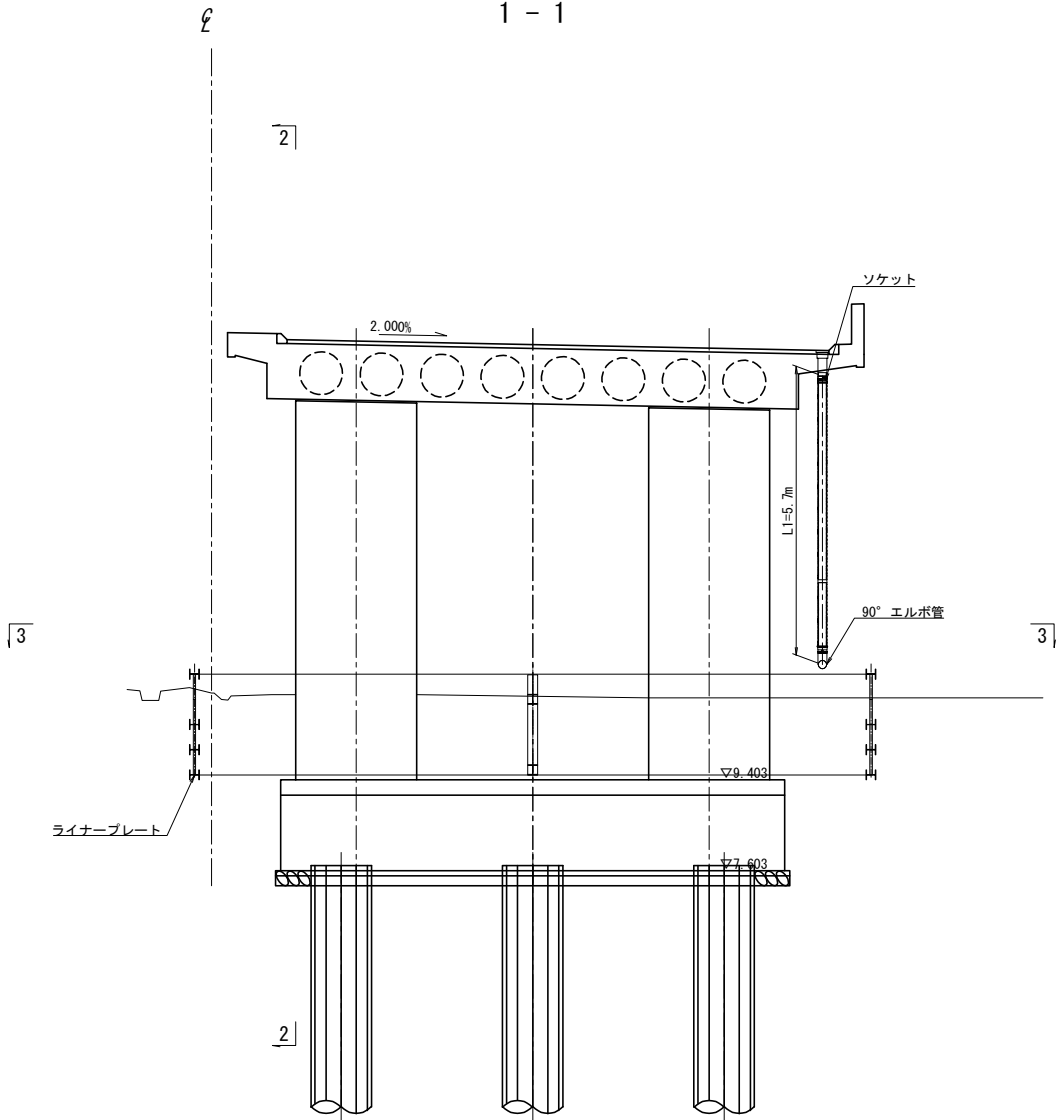
名称	形状	単位	数 量		摘要
			P1	合計	
受樹	C.B	〃	1	1	
スリーブ管	V.P φ150	〃	1	1	
取付金具	S-1	〃	1	1	
	S-2	〃	5	5	
ベント管	B.P	〃	1	1	

新設数量

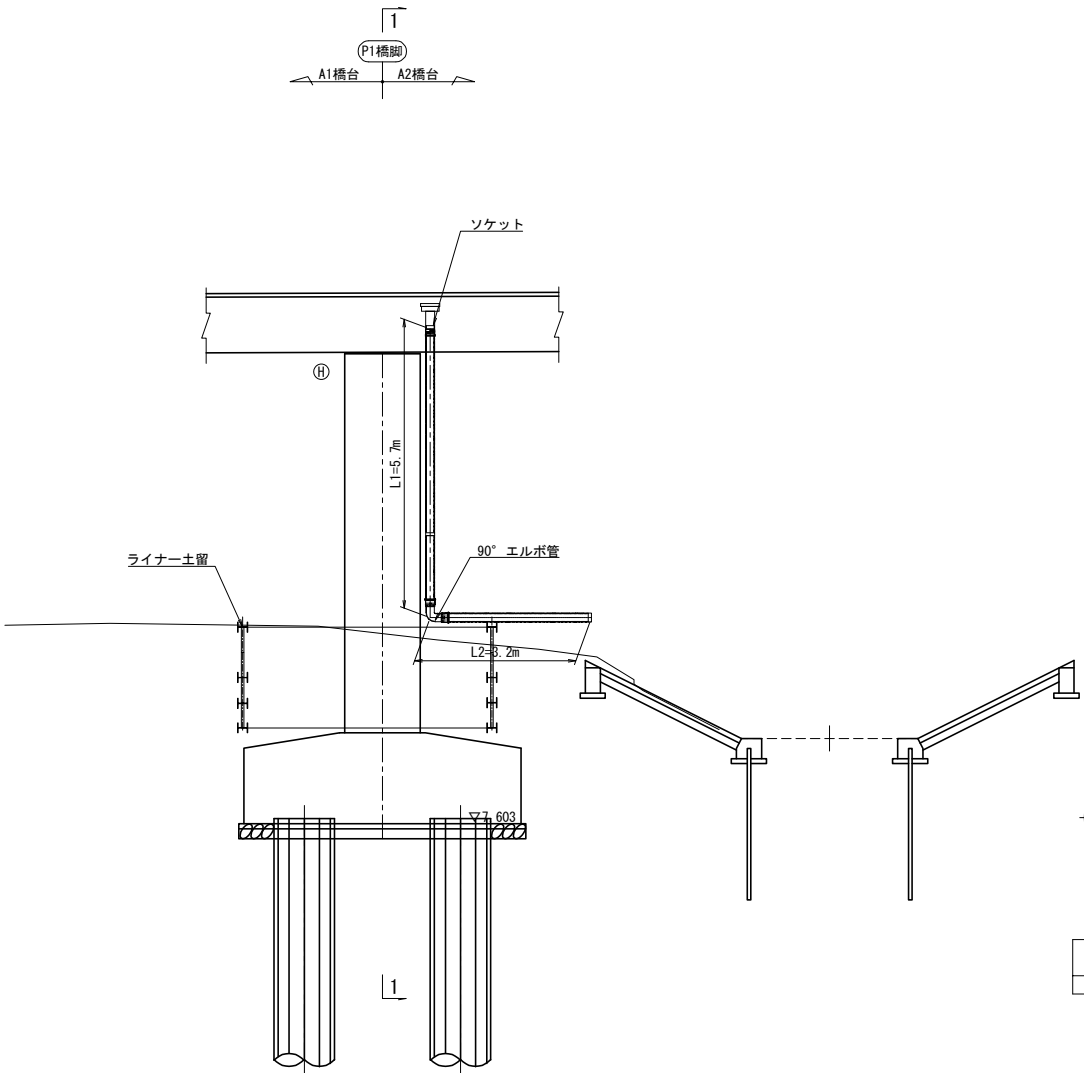
名称	形状	単位	数 量		摘要
			P1	合計	
曲管	T-2	個	1	1	流水線延長 2.972m
コンクリートアンカー	M12×50	〃	12	12	S-1, S-2 1個当り2個

館山自動車道 大鳥居高架橋耐震補強工事			
図面の種類	浮戸川橋(上り線) 排水装置復旧図		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 市 原 管 理 事 務 所		

正面図
1 - 1

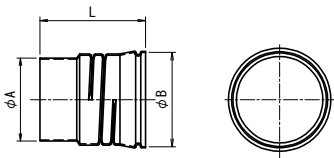


側面図
2 - 2



仮設排水管詳細図

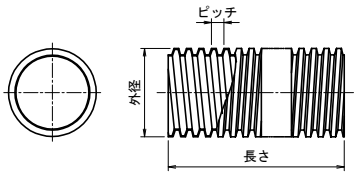
DV用ソケット



規格	φA	φB	L
φ200	165	182	183

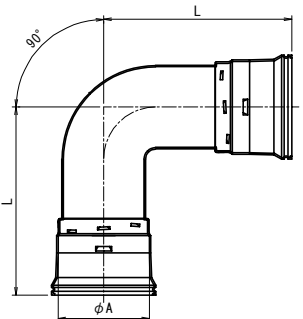
(mm)

高密度ポリエチレン管



規格	外径 (mm)	呼称径 (mm)	ピッチ (mm)	長さ (m)
φ150	175	150	25	4

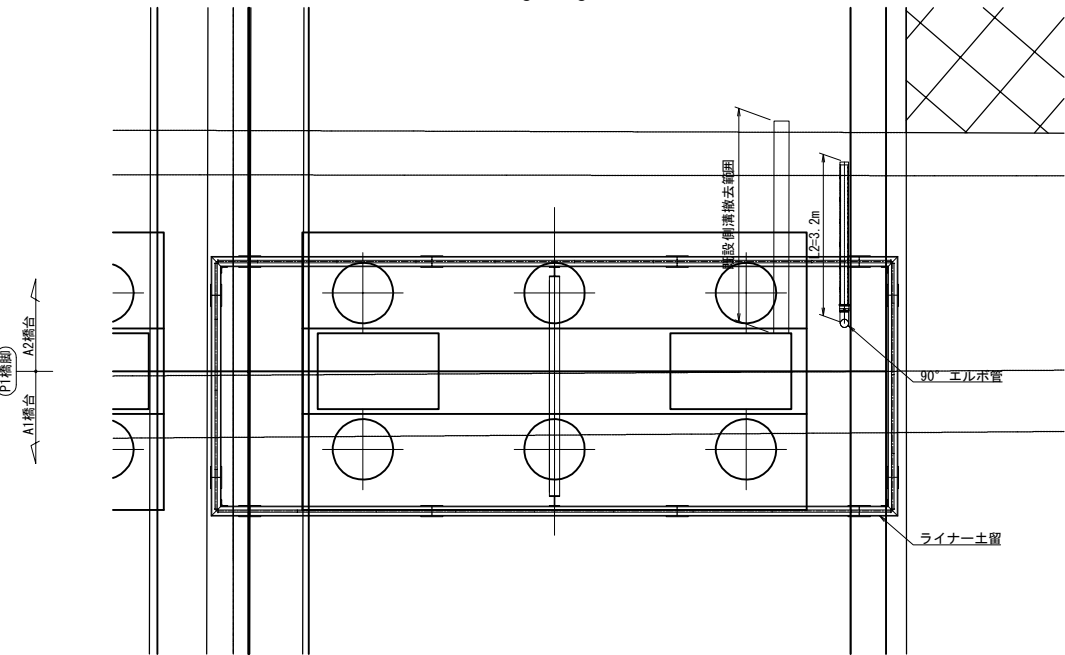
90° エルボ管



規格	φA	L
φ150	181	373

(mm)

平面図
3 - 3

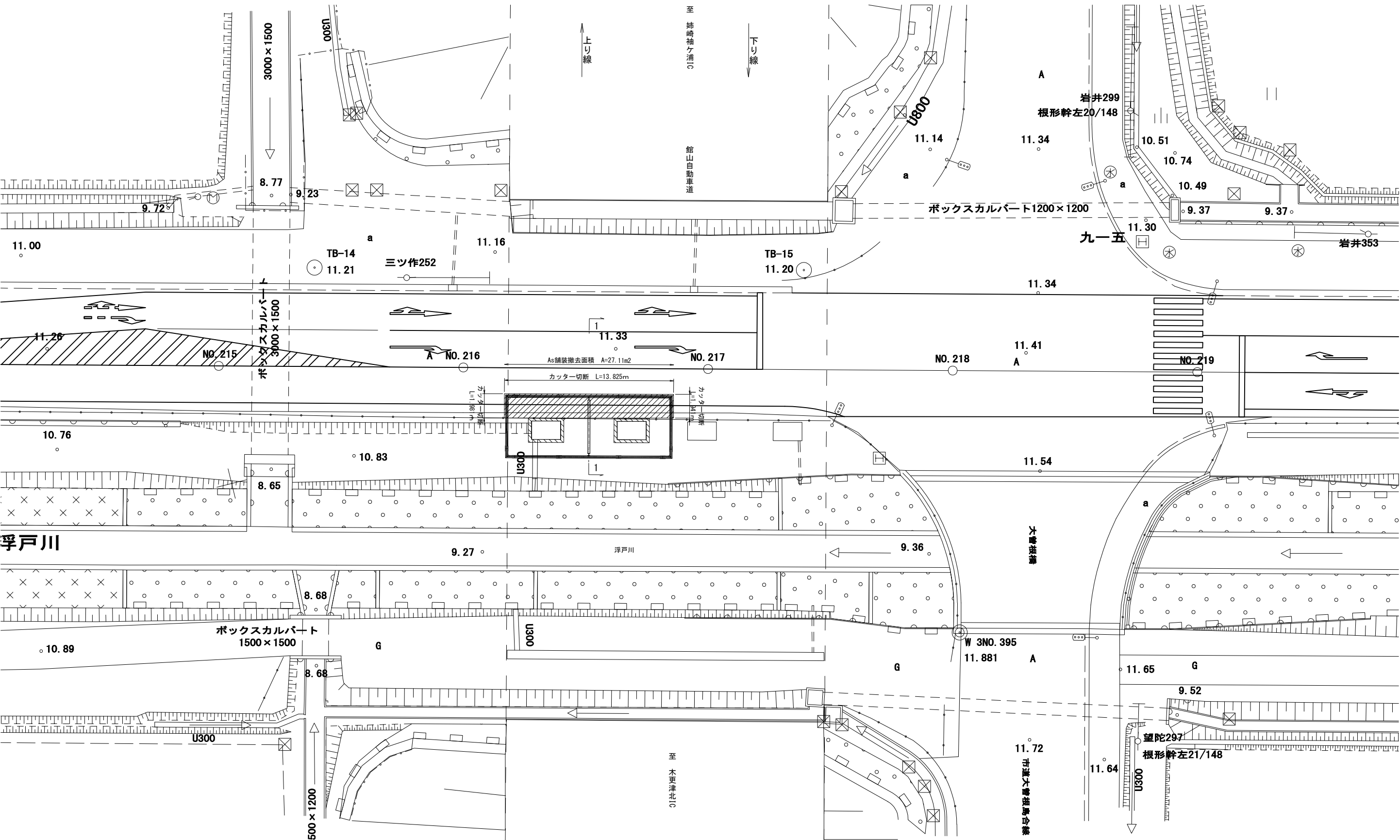


仮設排水管数量表

L1 (m)	L2 (m)	ΣL (m)	90° エルボ管 (個)	ソケット (個)
5.7	3.2	8.9	1	1

館山自動車道 大島居高架橋耐震補強工事			
図面の種類	浮戸川橋(上り線)		
	P1橋脚 仮排水管設置図 (参考図)		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 市 原 管 理 事 務 所		

平面図

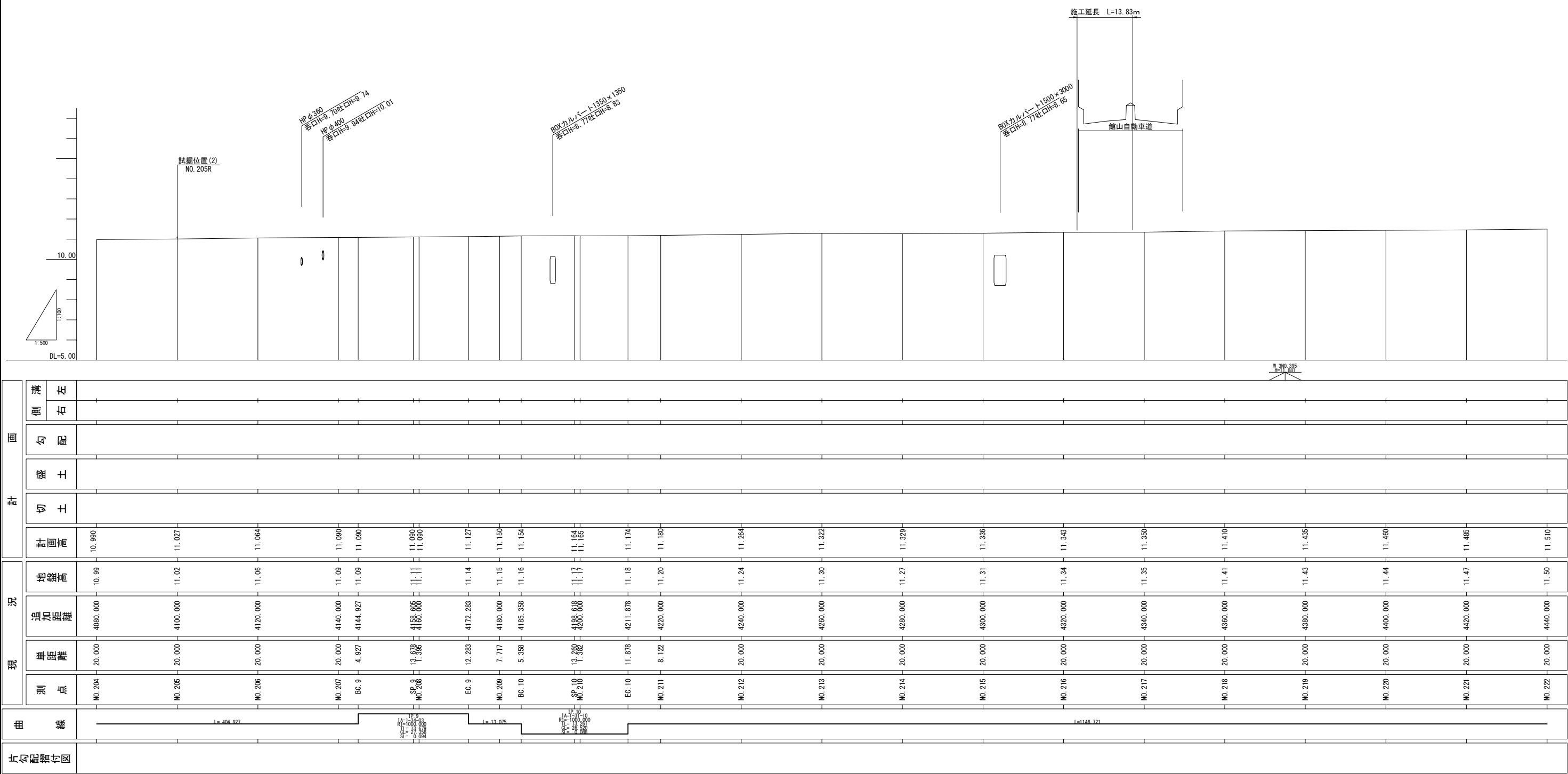


撤去工数量表(構造物等取壊し工 アスファルト舗装版取壊し)

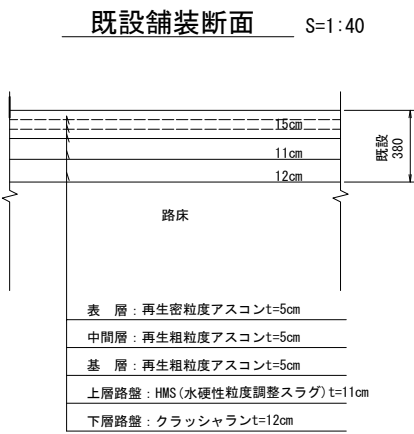
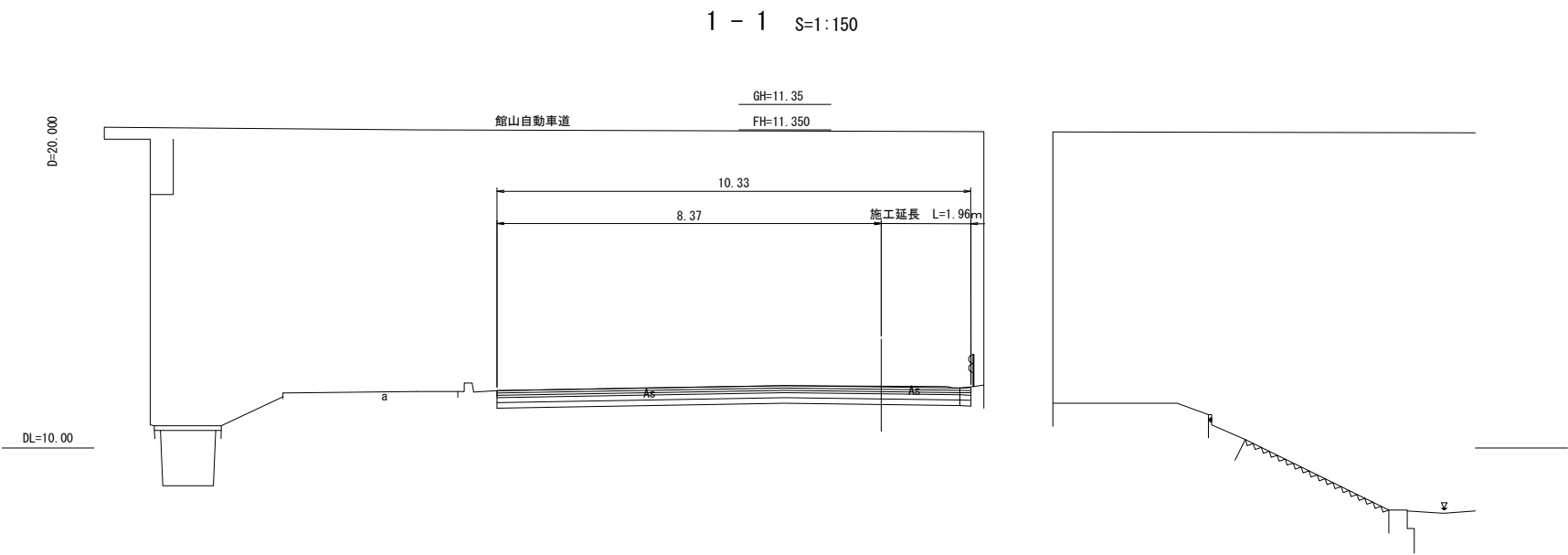
項目	単位	数量	備考
As舗装	m2	27.11	撤去(t=15cm)
カッター切断	m	17.75	撤去(t=15cm)

館山自動車道 大鳥居高架橋耐震補強工事			
図面の種類	浮戸川橋(上り線) 付帯構造物撤去工図(その2)		
縮尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名	東日本高速道路株式会社 関東支社		
事務所名	市原管理事務所		

浮戸川橋(上り線) 付帯構造物撤去工図(その3) S=1:1000
縦断面図

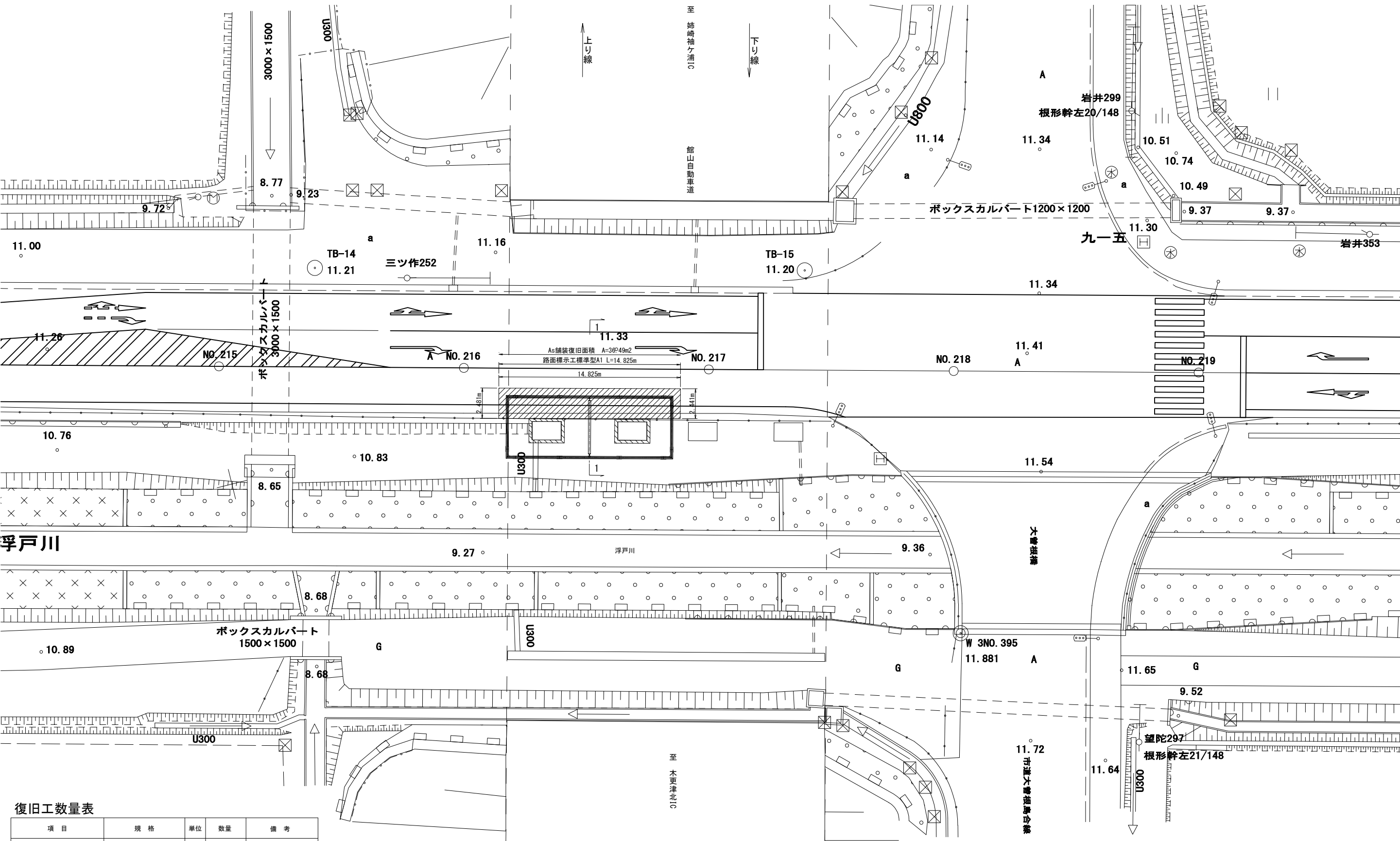


館山自動車道 大鳥居高架橋耐震補強工事			
図面の種類	浮戸川橋(上り線) 付帯構造物撤去工図(その3)		
縮尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 市原管理事務所		



館山自動車道 大鳥居高架橋耐震補強工事			
図面の種類	浮戸川橋(上り線)		
	付帯構造物撤去工図(その4)		
縮尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 市原管理事務所		

平面図

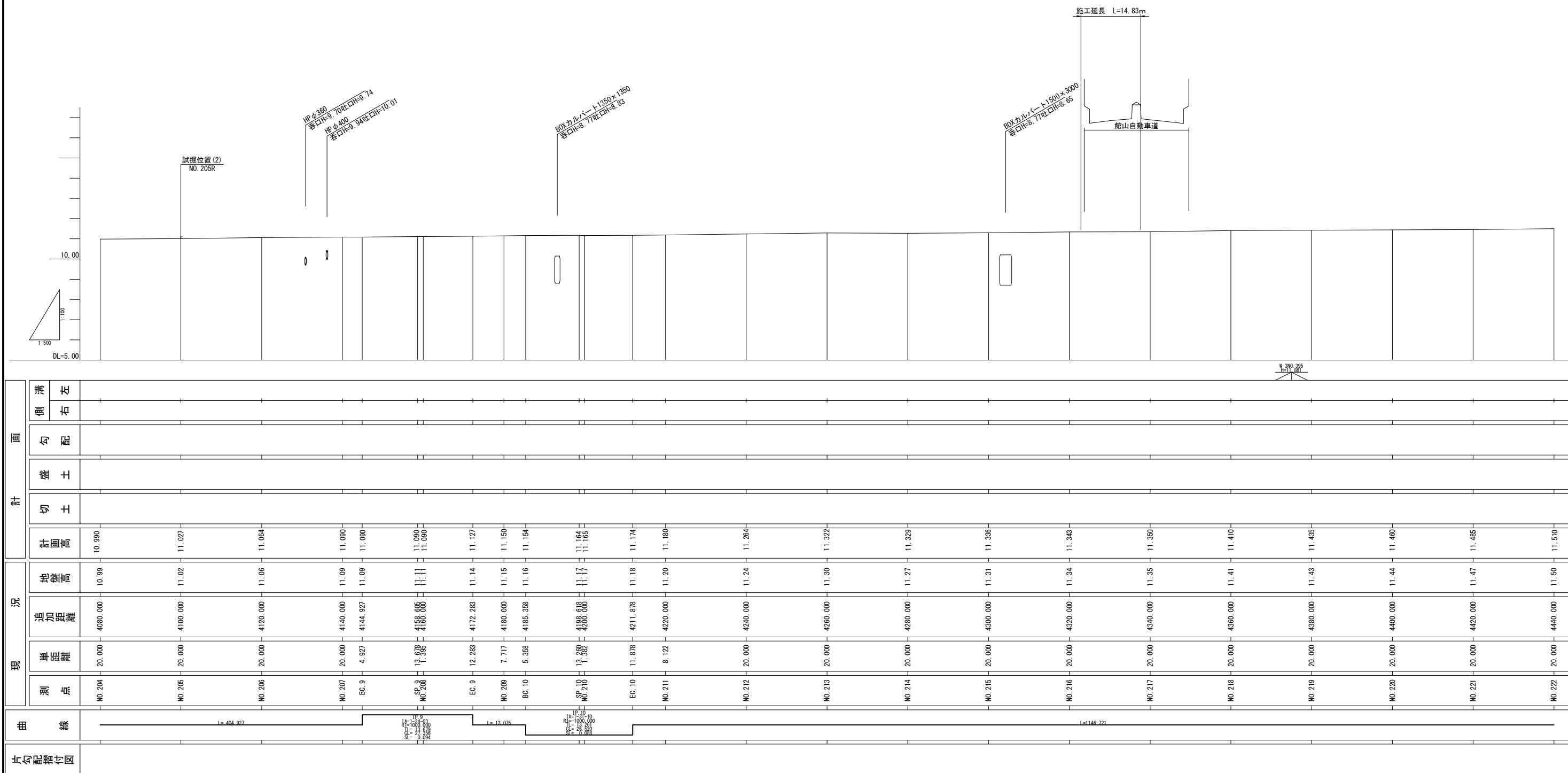


復旧工数量表

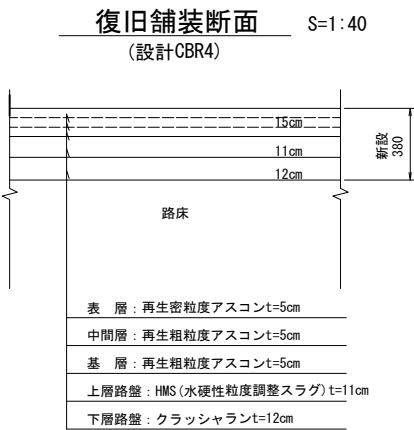
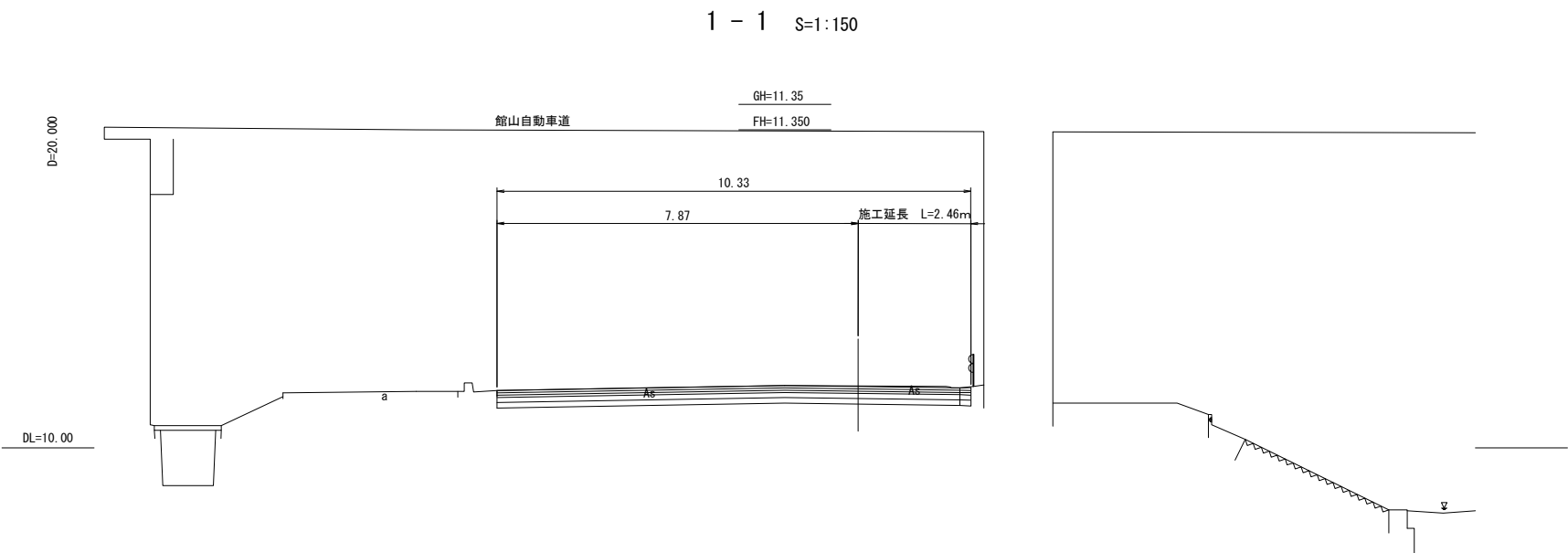
項目	規格	単位	数量	備考
舗装復旧工	設計CBR4	m2	36.49	復旧(t=38cm)
カッター切断	TypeA	m	19.7	(t=15cm)
As舗装板取壊し	TypeA	m2	9.37	(t=15cm)
掘削	TypeA	m3	2.16	(t=23cm)
路面標示工	溶融型	m	14.8	

館山自動車道 大鳥居高架橋耐震補強工事			
図面の種類	浮戸川橋(上り線) 付帯構造物復旧工図(その2)		
縮尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 市原管理事務所		

縦断面図

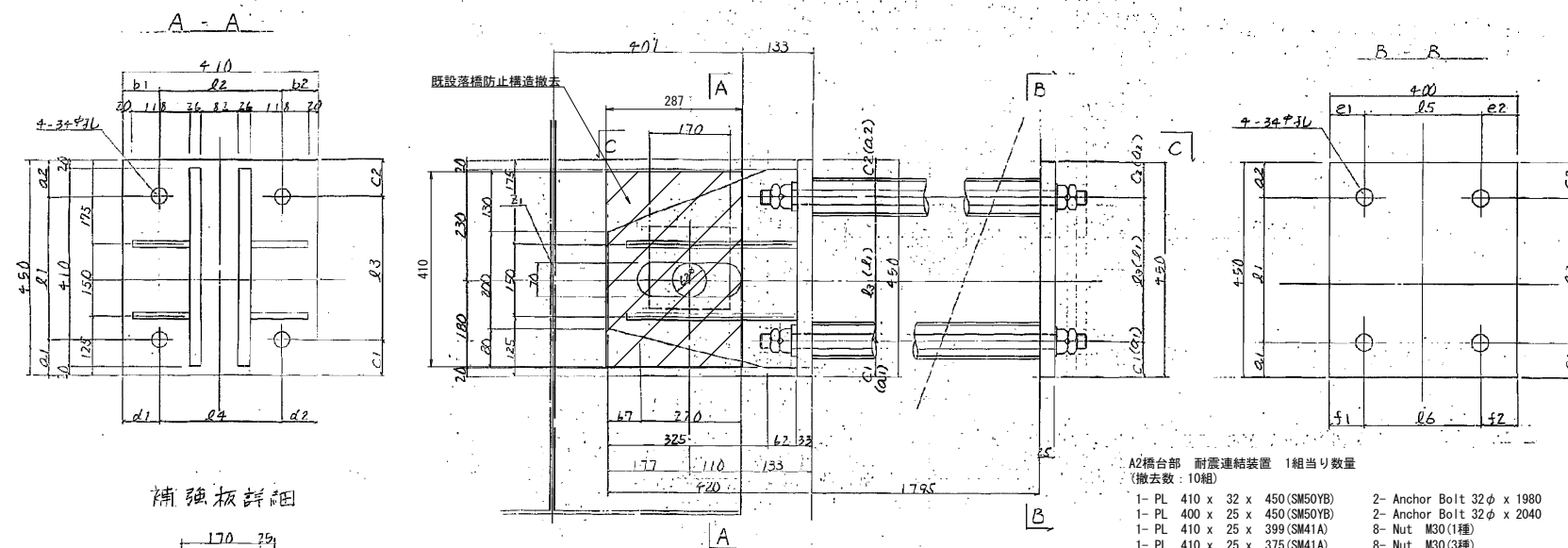


館山自動車道 大鳥居高架橋耐震補強工事			
図面の種類		浮戸川橋(上り線) 付帯構造物復旧工図(その3)	
縮 尺	図 示	図面番号	/
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 市 原 管 理 事 務 所		

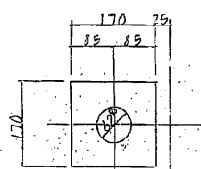


館山自動車道 大鳥居高架橋耐震補強工事			
図面の種類	浮戸川橋(上り線)		
	付帯構造物復旧工図(その4)		
縮 尺	図 示	図面番号	/
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 市 原 管 理 事 務 所		

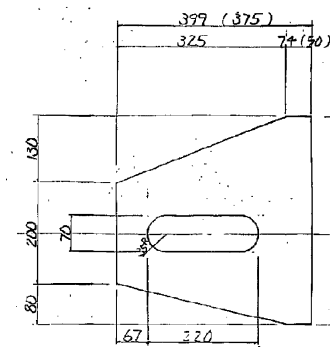
耐震連結裝置



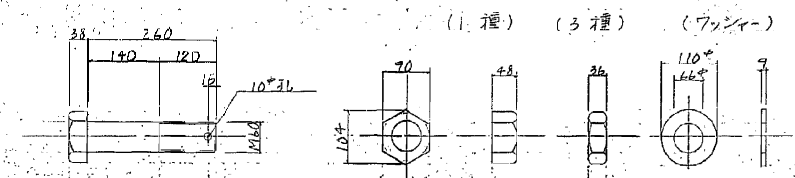
補強板詳細



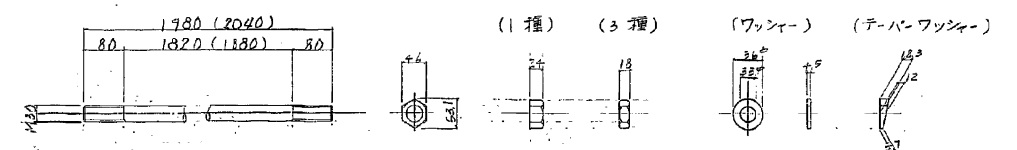
連結板詳細



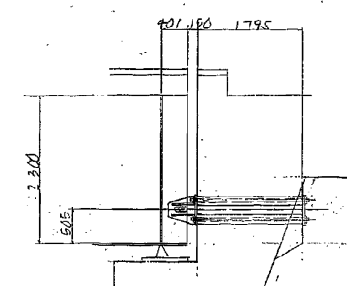
ヒン詳細



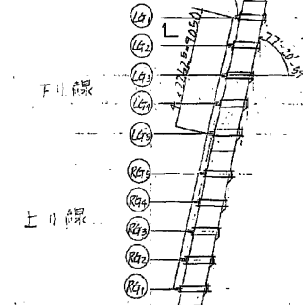
アンカーボルト詳細



配置図



面震連結裝置 (A2)



- 注)
1. 析取材料算はずしてSS+1とする。
 2. ※印は本体注釈と同一としその他はすべて溶融亜鉛メッキとする。
- 付着量 1735.8g+1440g=3175.8gとする。
3. 本図は現地計測と反映した寸法を示す。

- 注記)
1. 既設構造物の形状は、現地にて既設構造物の寸法を計測し、必要に応じて施工内容を精査すること。
 2. 既設構造物撤去時の既存塗膜除去範囲、再塗装範囲については塗装区分図を参照のこと。

館山自動車道 大鳥居高架橋耐震補強工事				
図面の種類		小幡川大橋(上下線) 既設落橋防止構造撤去図		
縮	尺	図 示	図面番号	/
設計会社名		株式会社 建設技術研究所		
施工会社名				
事務所名		東日本高速道路株式会社 関東支社 市 原 管 理 事 務 所		

・ A2橋台部 耐震連結装置 1組当り数量
(撤去数: 10組)

- | | |
|------------------------------|---------------------------------|
| 1- PL 400 x 32 x 450(SM50YB) | 2- Anchor Bolt 32 φ x 1980 |
| 1- PL 410 x 25 x 450(CN50) | 2- Anchor Bolt 32 φ x 2040 |
| 1- PL 410 x 25 x 399(SM41A) | 8- Nut M30(1種) |
| 1- PL 410 x 25 x 375(SM41A) | 8- Nut M30(3種) |
| 2- PL 120 x 14 x 388 | 4- Washer 56 φ x 4.5 |
| 2- PL 115 x 14 x 332 | 4- Washer 56 φ x 19 |
| 2- PL 170 x 25 x 170(SM41A) | 2- Pipe 76 φ x 4.1 x 1776(VP65) |
| 1- Bolt M60 x 260(S35C) | (下部工で計上) |
| 1- Nut M60(1種) | 2- Pipe 76 φ x 4.1 x 1832(VP65) |
| 1- Nut M60(3種) | (下部工で計上) |
| 2- Washer 110 φ x 9 | |
| 1- 割ピン 10 φ x 125 (SWRM10) | |

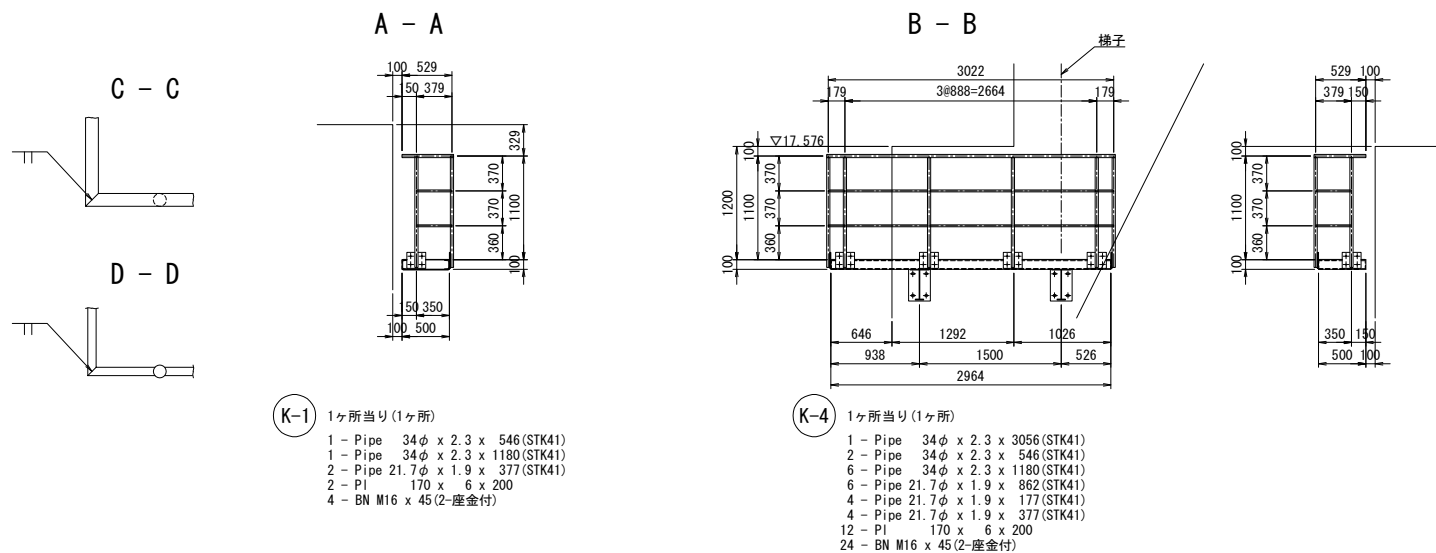
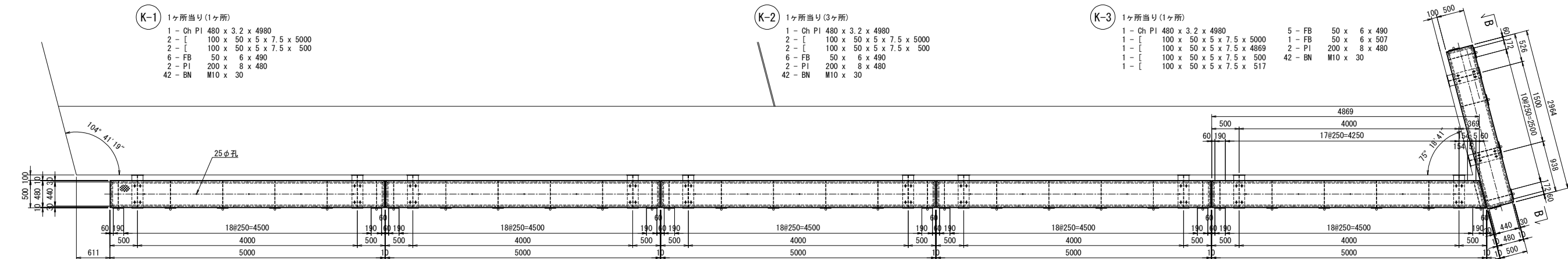
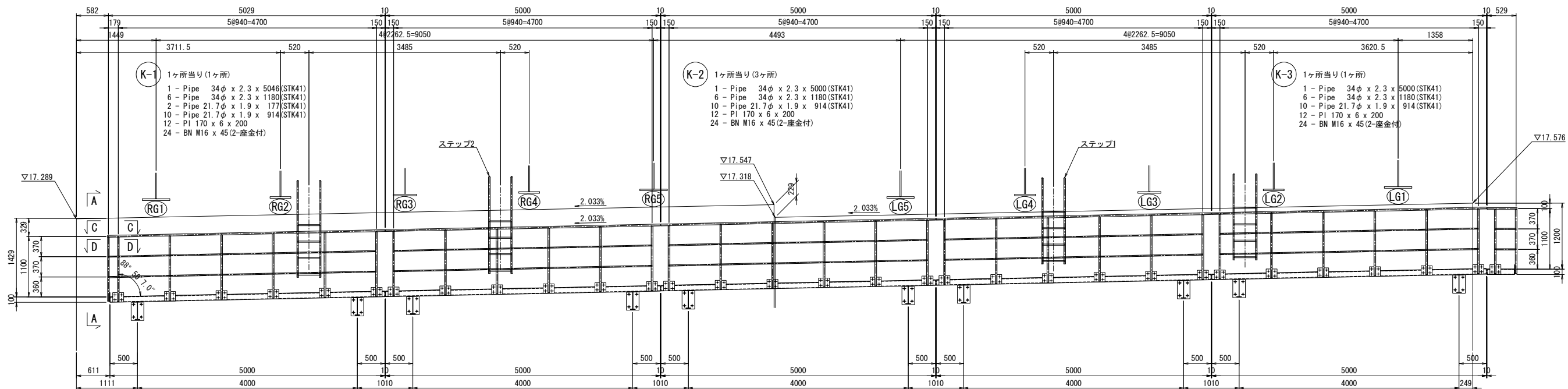
小計 = 213(k g)

項 目	單位	撤去
A2	k g	213

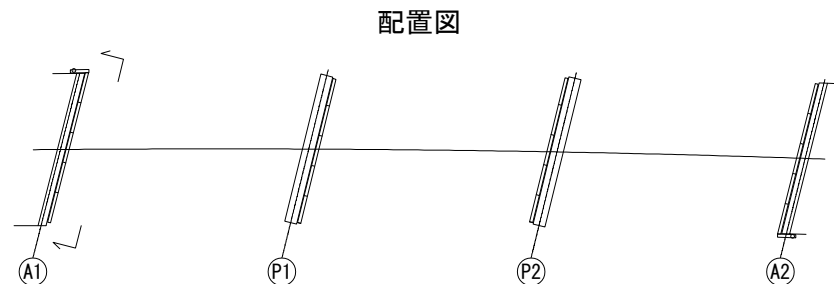
- 1-Fl. 410 x 32 x 450 (SM50YB) 2-Anchor. Bolt. 32[#] x 1780
 1-Fl 400 x 25 x 450. () 2- " " 32[#] x 2040
 1-Fl 410 x 25 x 399 (SM41A) 3-Nut M30 (1個)
 1-Fl. 410 x 76 x 375. () 3- Nut. M30 (3個)
 2-Fl. 120 x 14 x 388 4-Washer. 56[#] x 45
 2-Fl. 115 x 14 x 332 4-Washer 56[#] x 19
 ※ 2-Fl 170 x 25 x 170 (SM41A) 2-Pipe. 76[#] x 41 x 1776 (VPL65) (下部工で計上)
 1-Bolt M60 x 260 (S35CN) 2-Pipe. 76[#] x 41 x 1832 () ()
 1-Nut M60 (1個)
 1-Nut M60 (3個)
 2-Washer. 110[#] x 7
 1-割寸 10[#] x 125 (SWRM10)

	L1	L2	L3	L4	L5	L6	L7	L8	L9	L10	L11	L12	L13	L14	L15	L16	L17	L18	L19	L20	L21	L22	L23	L24	L25	L26	L27	L28	L29	L30	L31	L32	L33	L34	L35	L36	L37	L38	L39	L40	L41	L42	L43	L44	L45	L46	L47	L48	L49	L50	L51	L52	L53	L54	L55	L56	L57	L58	L59	L60	L61	L62	L63	L64	L65	L66	L67	L68	L69	L70	L71	L72	L73	L74	L75	L76	L77	L78	L79	L80	L81	L82	L83	L84	L85	L86	L87	L88	L89	L90	L91	L92	L93	L94	L95	L96	L97	L98	L99	L100																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
① LG1	300	256	300	256	250	250	75	75	77	77	75	75	92	62	75	75	90	60	1767	1767	1823	1823	245	215	285	27																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												

(上下線) A1橋台

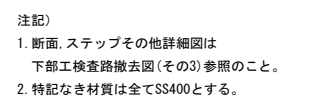
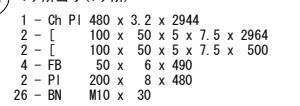


下り線
上り線



注記
1. 断面、ステップその他詳細図は
下部工検査路撤去図(その3)参照のこと。
2. 特記なき材質は全てSS400とする。

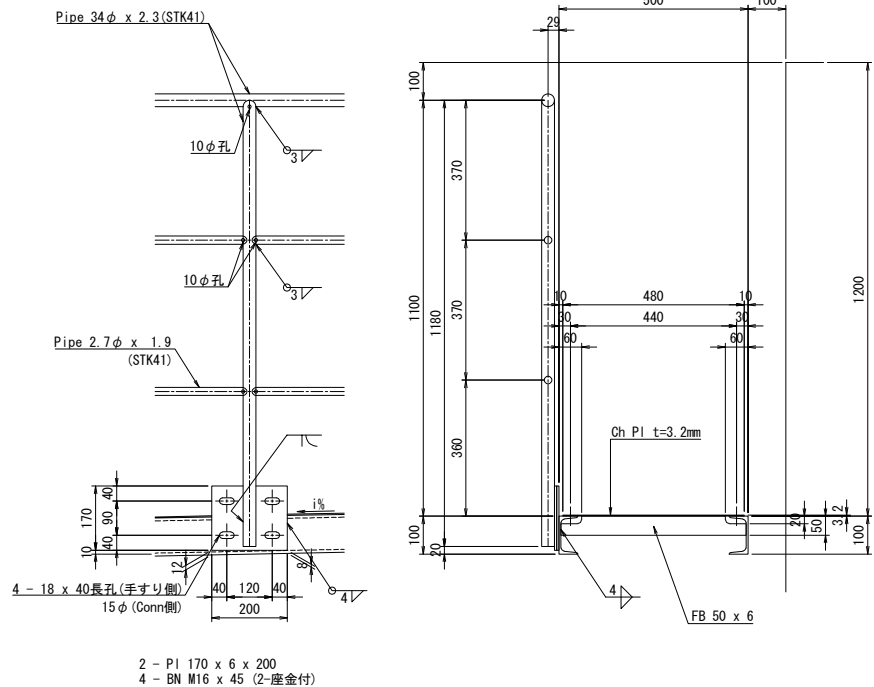
館山自動車道 大鳥居高架橋耐震補強工事			
図面の種類	小櫃川大橋(上下線)		
	下部工検査路撤去図(その1)		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 市 原 管 理 事 務 所		



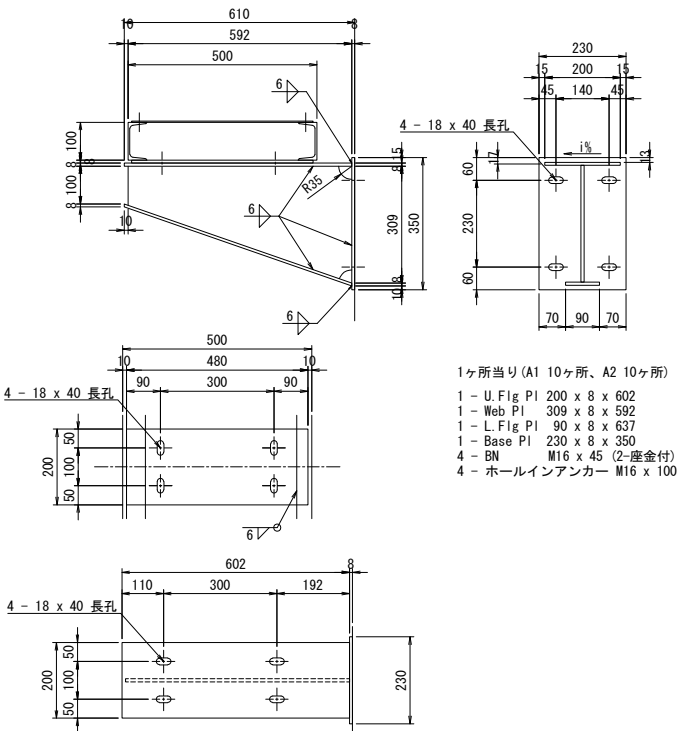
館山自動車道 大鳥居高架橋耐震補強工事			
図面の種類		小櫃川大橋(上下線) 下部工検査路撤去図(その2)	
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 市 原 管 理 事 務 所		関東支社

小櫃川大橋(上下線) 下部工検査路撤去図(その3) S=1:40
(上下線) A1橋台, A2橋台

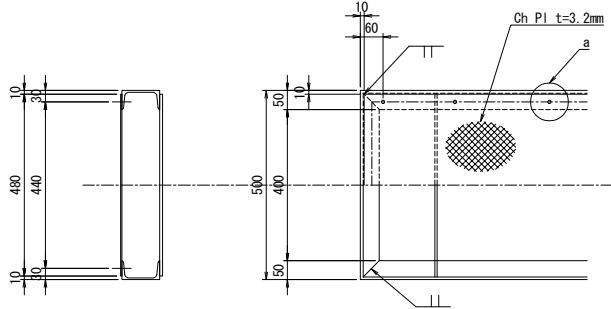
断面図 S=1:20



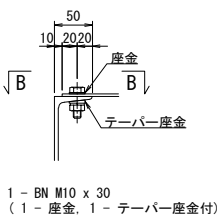
ブラケット詳細 S=1:20



検査路端部 S=1:20



a部詳細 S=1:10

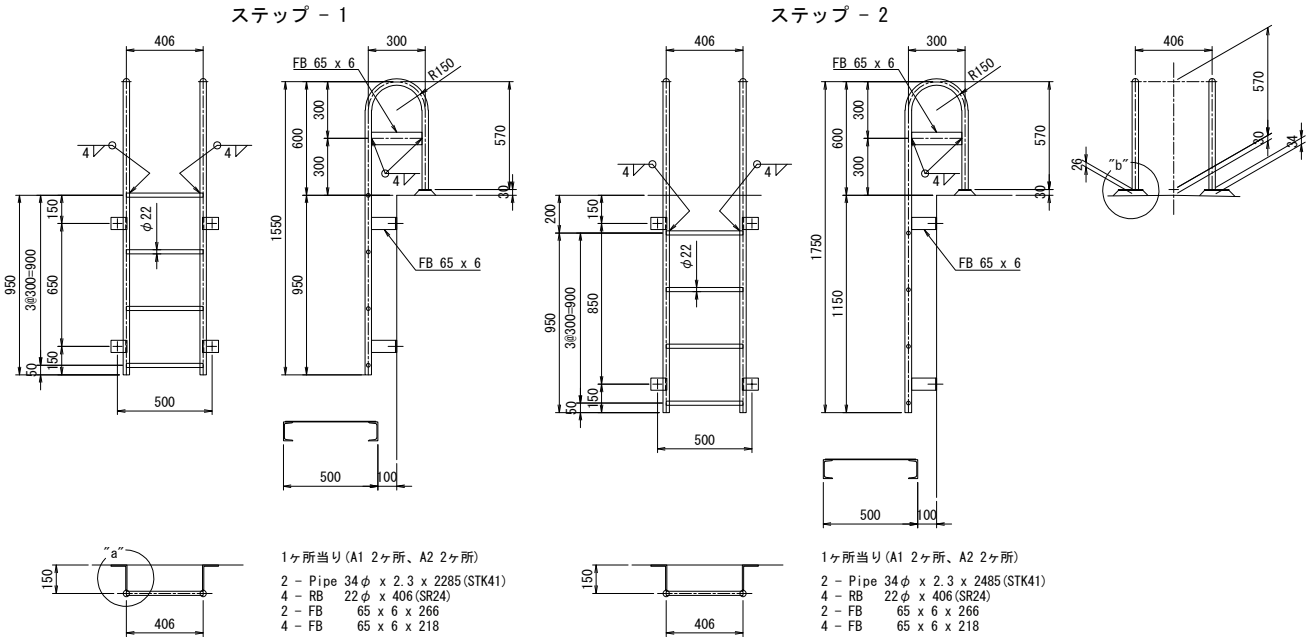


B-B

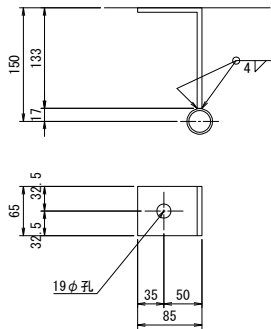
12φ孔 (I 型钢)

12 x 26長孔 (Ch PI側)

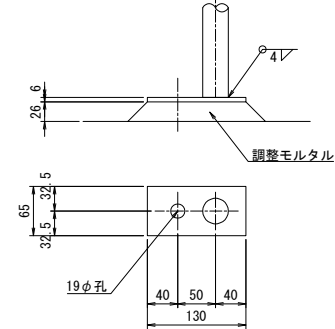
ステップ詳細 S=1:40



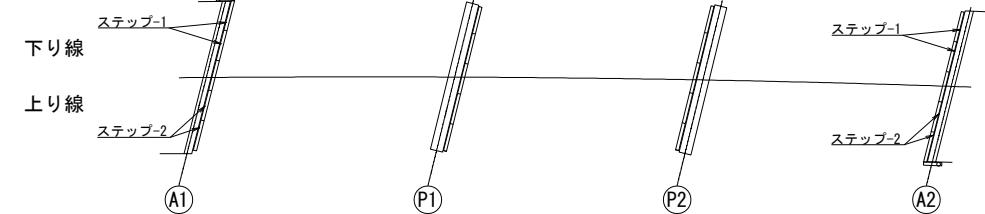
"a"部詳細 S=1:10



"b"部詳細 S=1:10



配置図

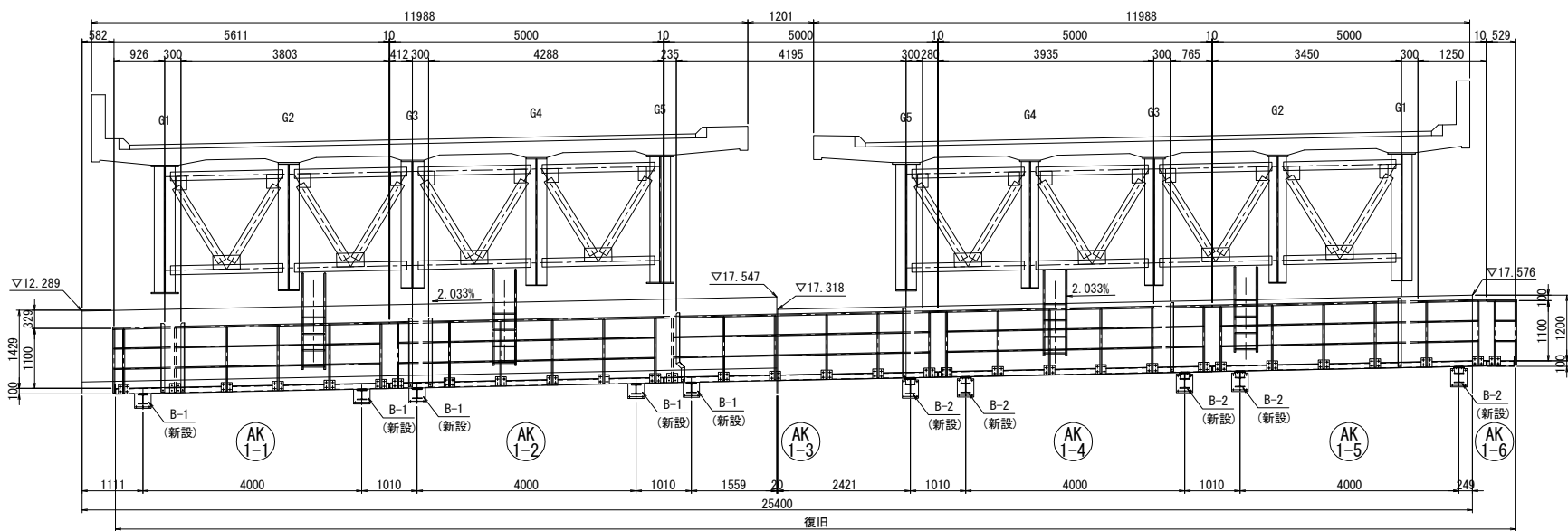


注記)

1. 特記なき材質は全てSS400とする。

館山自動車道 大鳥居高架橋耐震補強工事			
図面の種類	小櫃川大橋(上下線) 下部工検査路撤去図(その3)		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 市 原 管 理 事 務 所		

正面図



AK 1-1

1ヶ所当り(1ヶ所)
1-PIPE φ34.0×2.3×878(STK400)(加工)
1-PIPE φ34.0×2.3×3738(STK400)(加工)
5-PIPE φ34.0×2.3×1180(STK400)(復旧)
2-L65×65×6×1255(新設)
2-PIPE φ21.7×1.9×177(STK400)(復旧)
6-PIPE φ21.7×1.9×914(STK400)(復旧)
2-PIPE φ21.7×1.9×669(STK400)(加工)
2-PIPE φ21.7×1.9×755(STK400)(加工)
10-PL170×6×200(復旧)
※ 1-PL50×6×200(加工)
26-BN M16×45(新設)

※ はガス切断を行う。

1-PIPE φ34.0×2.3×546(STK400)(復旧)
1-PIPE φ34.0×2.3×1180(STK400)(復旧)
2-PIPE φ21.7×1.9×377(STK400)(復旧)
2-PL170×6×200(復旧)
4-BN M16×45(新設)

AK 1-2

1ヶ所当り(1ヶ所)
1-PIPE φ34.0×2.3×347(STK400)(加工)
1-PIPE φ34.0×2.3×4223(STK400)(加工)
6-PIPE φ34.0×2.3×1180(STK400)(復旧)
2-L65×65×6×1255(新設)
8-PIPE φ21.7×1.9×914(STK400)(復旧)
2-PIPE φ21.7×1.9×184(STK400)(加工)
2-PIPE φ21.7×1.9×300(STK400)(加工)
12-PL170×6×200(復旧)
26-BN M16×45(新設)

AK 1-3

1ヶ所当り(1ヶ所)
1-PIPE φ34.0×2.3×4065(STK400)(加工)
1-PIPE φ34.0×2.3×280(STK400)(加工)
5-PIPE φ34.0×2.3×1180(STK400)(復旧)
1-L65×65×6×1255(新設)
1-L65×65×6×968(新設)
1-L65×65×6×154(新設)
1-L65×65×6×263(新設)
6-PIPE φ21.7×1.9×914(STK400)(復旧)
2-PIPE φ21.7×1.9×787(STK400)(復旧)
2-PIPE φ21.7×1.9×432(STK400)(加工)
2-PIPE φ21.7×1.9×117(STK400)(加工)
10-PL170×6×200(復旧)
※ 1-PL50×6×200(加工)
26-BN M16×45(新設)

※ はガス切断を行う。

AK 1-4

1ヶ所当り(1ヶ所)
1-PIPE φ34.0×2.3×3935(STK400)(加工)
1-PIPE φ34.0×2.3×700(STK400)(加工)
1-L65×65×6×1255(新設)
6-PIPE φ34.0×2.3×1180(STK400)(復旧)
8-PIPE φ21.7×1.9×914(STK400)(復旧)
2-PIPE φ21.7×1.9×12(STK400)(加工)
2-PIPE φ21.7×1.9×537(STK400)(加工)
12-PL170×6×200(復旧)
25-BN M16×45(新設)

AK 1-5

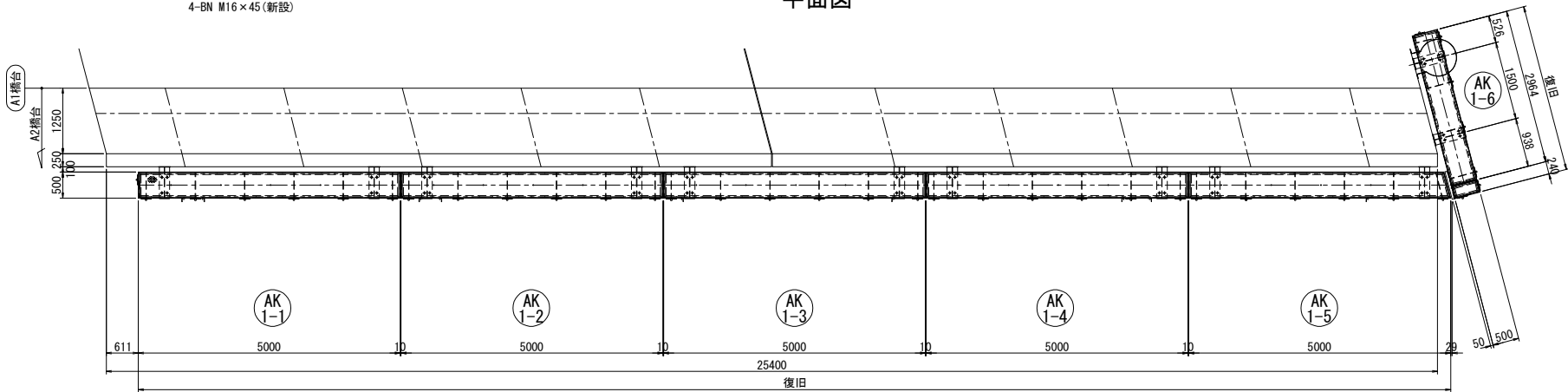
1ヶ所当り(1ヶ所)
1-PIPE φ34.0×2.3×3385(STK400)(加工)
1-PIPE φ34.0×2.3×1250(STK400)(加工)
6-PIPE φ34.0×2.3×1180(STK400)(復旧)
1-L65×65×6×1255(新設)
8-PIPE φ21.7×1.9×914(STK400)(復旧)
2-PIPE φ21.7×1.9×403(STK400)(加工)
2-PIPE φ21.7×1.9×147(STK400)(加工)
12-PL170×6×200(復旧)
25-BN M16×45(新設)

AK 1-6

1ヶ所当り(1ヶ所)
1-PIPE φ34.0×2.3×3000(STK400)(加工)
1-PIPE φ34.0×2.3×546(STK400)(復旧)
5-PIPE φ34.0×2.3×1180(STK400)(復旧)
6-PIPE φ21.7×1.9×862(STK400)(復旧)
2-PIPE φ21.7×1.9×137(STK400)(加工)
2-PIPE φ21.7×1.9×177(STK400)(復旧)
2-PIPE φ21.7×1.9×377(STK400)(復旧)
10-PL170×6×200(復旧)
24-BN M16×45(新設)

1-PIPE φ34.0×2.3×546(STK400)(新設)
1-PIPE φ34.0×2.3×264(STK400)(新設)
2-PIPE φ34.0×2.3×1180(STK400)(新設)
2-PIPE φ21.7×1.9×353(STK400)(新設)
2-PIPE φ21.7×1.9×131(STK400)(新設)
4-PL170×6×200(新設)
8-BN M16×45(新設)

平面図



AK 1-1

1ヶ所当り(1ヶ所)
1-CHPL480×3.2×4980(復旧)
2-[100×50×5×7.5×5000(復旧)
2-[100×50×5×7.5×500(復旧)
6-FB50×6×490(復旧)
2-PL200×8×480(復旧)
42-BN M10×30(新設)

AK 1-2

1ヶ所当り(1ヶ所)
1-CHPL480×3.2×4980(復旧)
2-[100×50×5×7.5×5000(復旧)
2-[100×50×5×7.5×500(復旧)
6-FB50×6×490(復旧)
2-PL200×8×480(復旧)
42-BN M10×30(新設)

AK 1-3

1ヶ所当り(1ヶ所)
1-CHPL480×3.2×4980(復旧)
2-[100×50×5×7.5×5000(復旧)
2-[100×50×5×7.5×500(復旧)
6-FB50×6×490(復旧)
2-PL200×8×480(復旧)
42-BN M10×30(新設)

AK 1-4

1ヶ所当り(1ヶ所)
1-CHPL480×3.2×4980(復旧)
2-[100×50×5×7.5×5000(復旧)
2-[100×50×5×7.5×500(復旧)
6-FB50×6×490(復旧)
2-PL200×8×480(復旧)
42-BN M10×30(新設)

AK 1-5

1ヶ所当り(1ヶ所)
1-CHPL480×3.2×4980(復旧)
1-CHPL480×3.2×2944(復旧)
1-[100×50×5×7.5×5000(復旧)
1-[100×50×5×7.5×4896(復旧)
1-[100×50×5×7.5×500(復旧)
5-FB50×6×490(復旧)
1-[100×50×5×7.5×517(復旧)
5-FB50×6×490(復旧)
1-FB50×6×507(復旧)
2-PL200×8×480(復旧)
42-BN M10×30(新設)

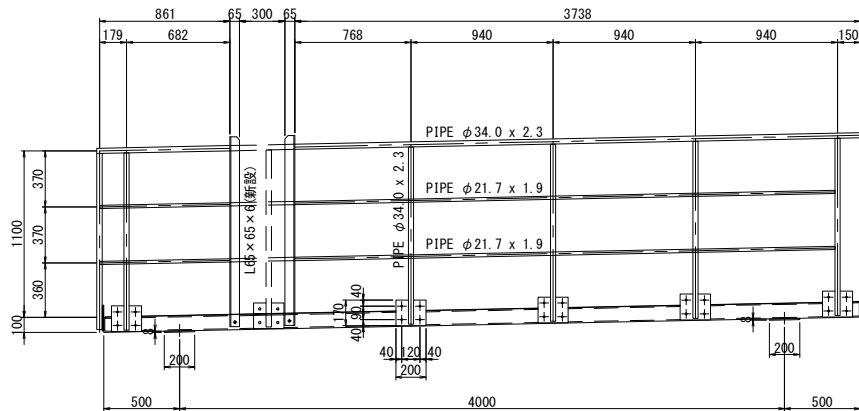
AK 1-6

1ヶ所当り(1ヶ所)
1-CHPL480×3.2×2944(復旧)
2-[100×50×5×7.5×2944(加工)
2-[100×50×5×7.5×500(加工)
4-FB50×6×490(復旧)
2-PL200×8×480(復旧)
26-BN M10×30(新設)

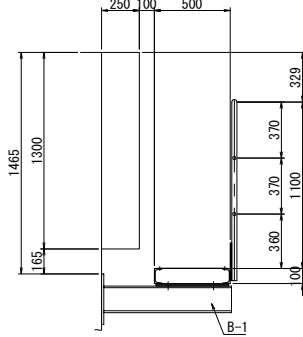
1-CHPL480×3.2×220(新設)
2-[100×50×5×7.5×240(新設)
2-[100×50×5×7.5×500(新設)
7-BN M10×30(新設)

1-L50×50×6×540(新設)
7-BN M10×30(新設)
5-BN M16×35(新設)

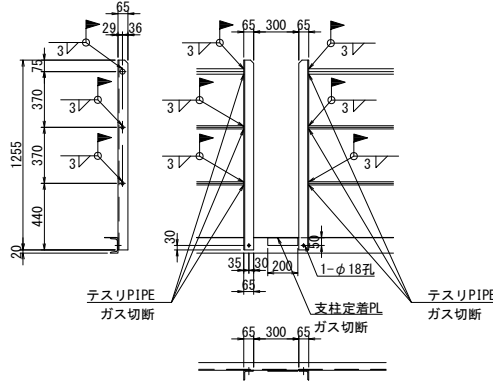
AK 1-1 詳細図 S=1:50



受け台位置断面 S=1:50



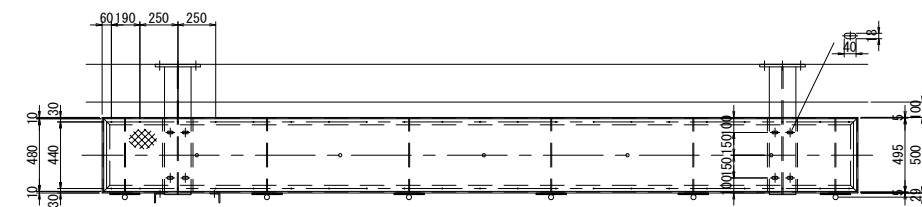
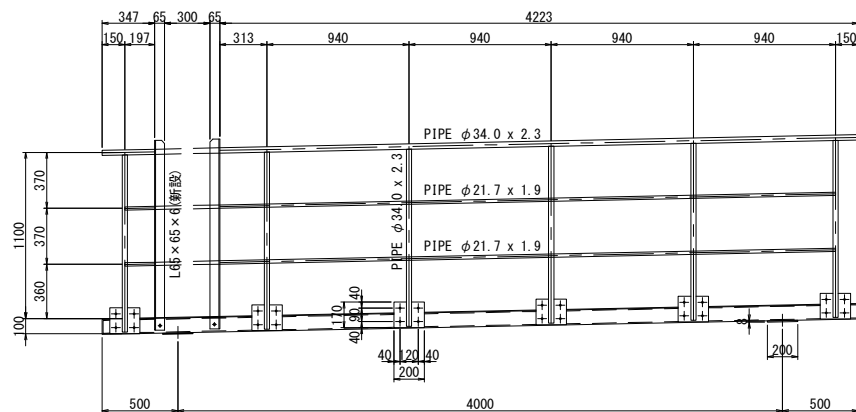
AK1-1加工詳細図 S=1:50



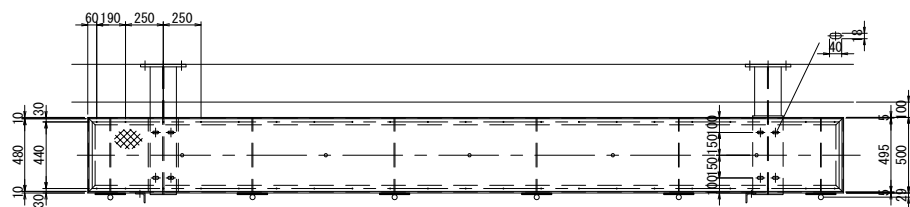
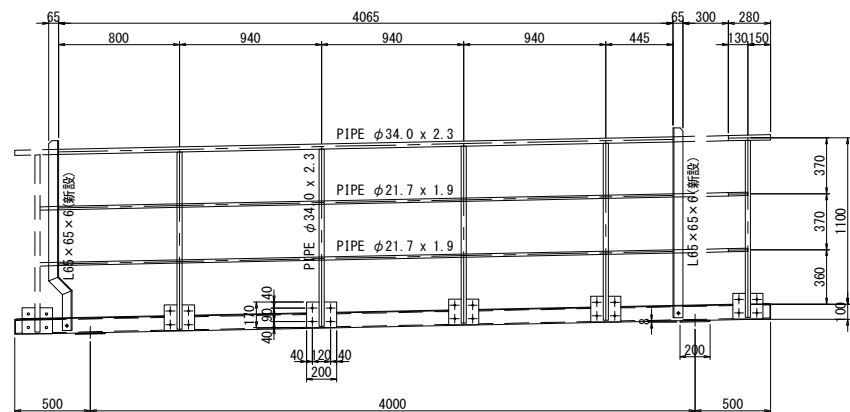
注記)
1. 特記なき材質は全てSS400とする。
2. ナットは全て緩み止めナットを使用すること。
3. 部材は全て溶融亜鉛めっきを施す。
垂鉛の塗膜は JIS H 8641 HDZT77とする。
但し、厚さ3.2mm未満の鋼材及び
ボルト・ナット類はHDZT49とする。

館山自動車道 大鳥居高架橋耐震補強工事			
図面の種類	小櫃川大橋(上下線) 下部工検査路復旧図(その1)		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 市 原 管 理 事 務 所		

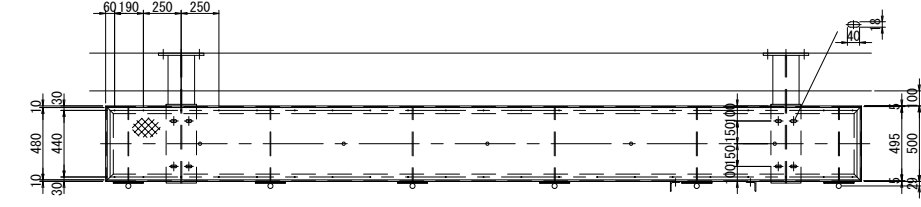
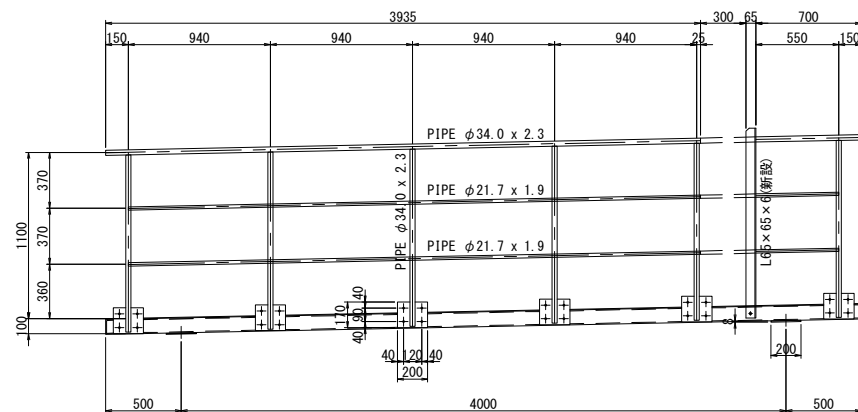
AK1-2 詳細図



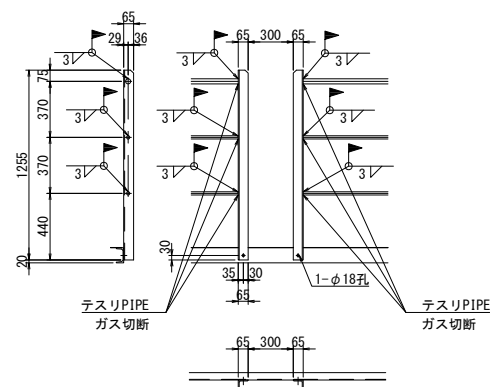
AK1-3 詳細図



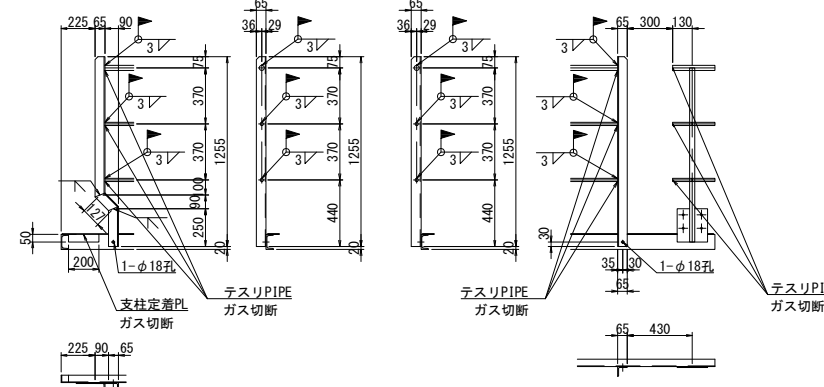
AK1-4 詳細図



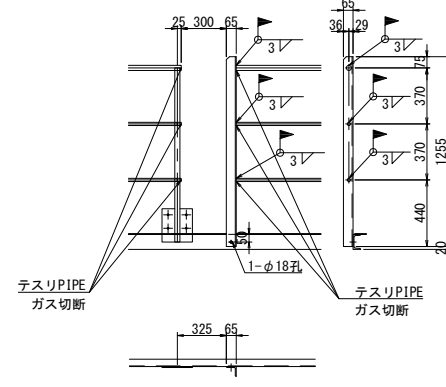
AK1-2加工詳細図



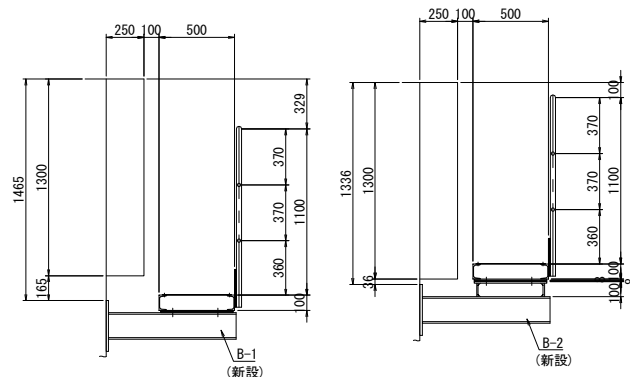
AK1-3加工詳細図



AK1-4加工詳細図



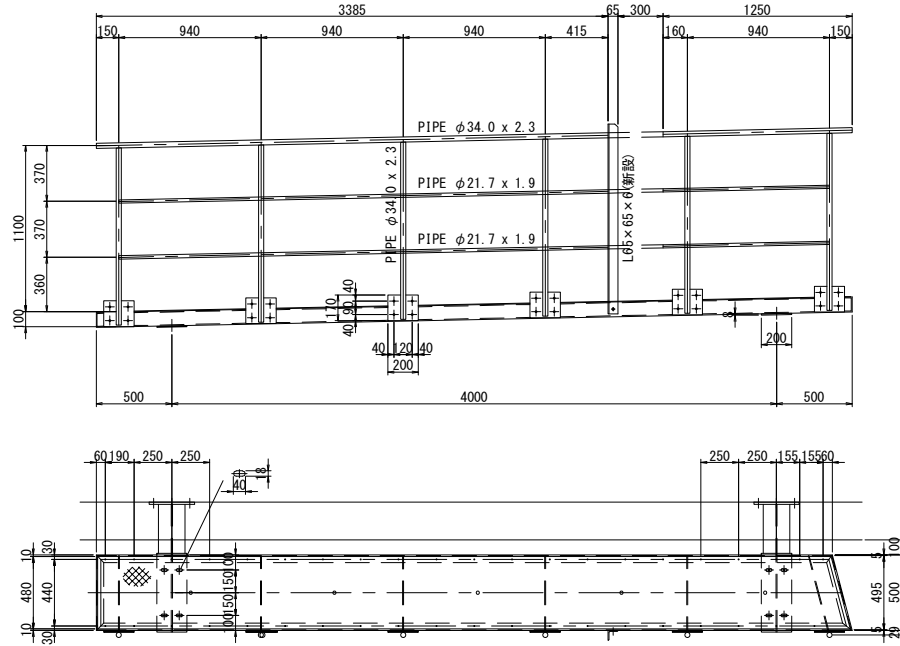
受け台位置断面



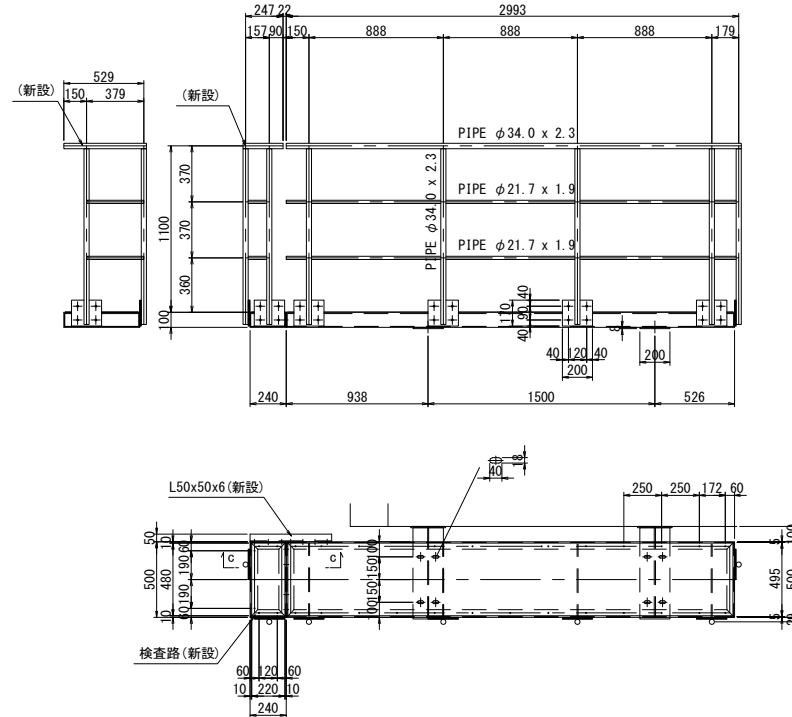
注記)
1. 特記なき材質は全てSS400とする。
2. ナットは全て緩み止めナットを使用すること。
3. 部材は全て溶融垂鉛めつきを施す。
垂鉛の塗膜は JIS H 8641 HDZT77とする。
但し、厚さ3.2mm未満の鋼材及び
ボルト・ナット類はHDZT49とする。

館山自動車道 大鳥居高架橋耐震補強工事			
図面の種類	小櫃川大橋(上下線)		
	下部工検査路復旧図(その2)		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 市 原 管 理 事 務 所		

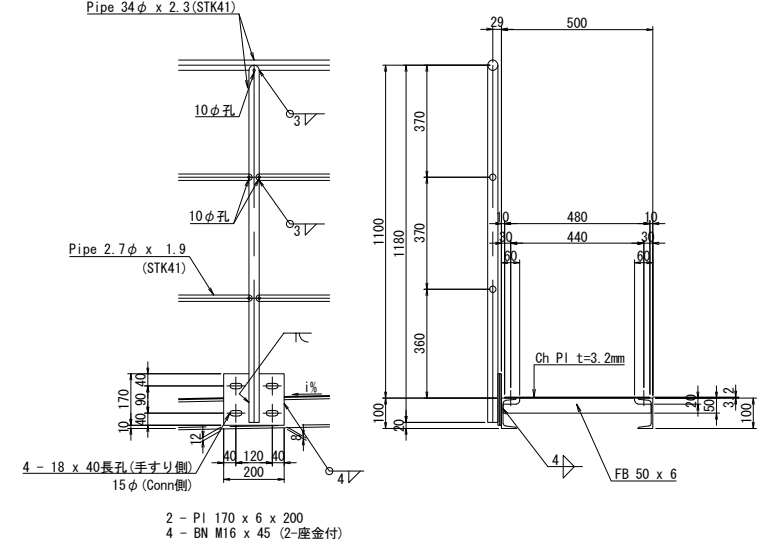
AK
1-5



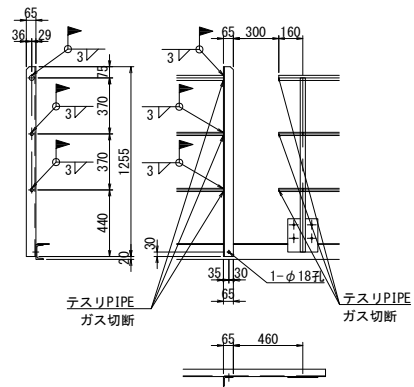
AK
1-6



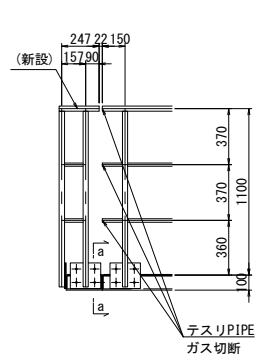
断面図 S=1:25



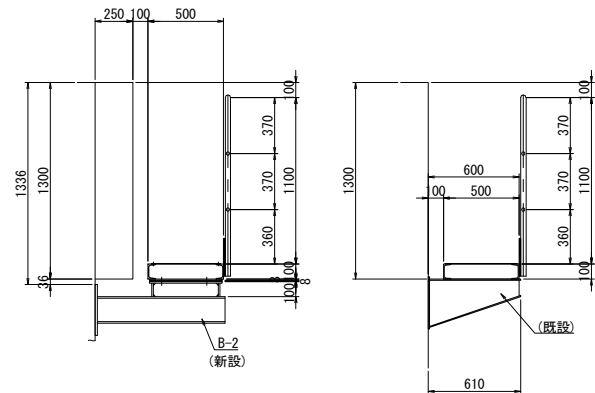
AK1-5加工詳細図



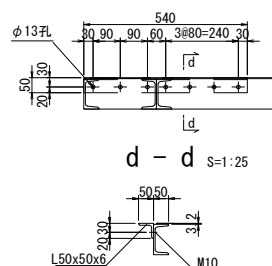
AK1-6加工詳細図



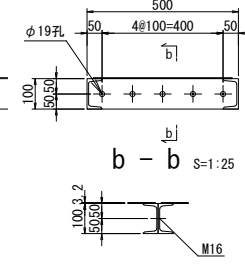
受け台位置断面



C - C S=1:25

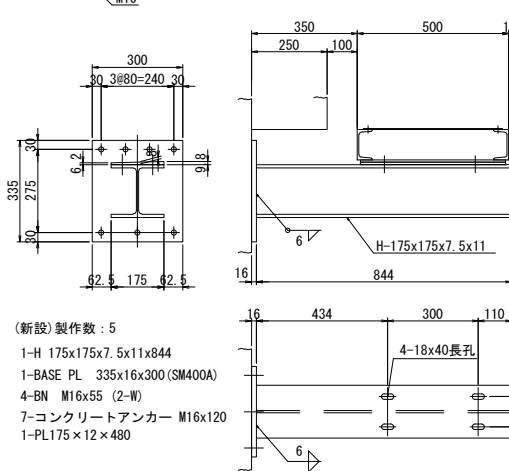


a - a s=1:25

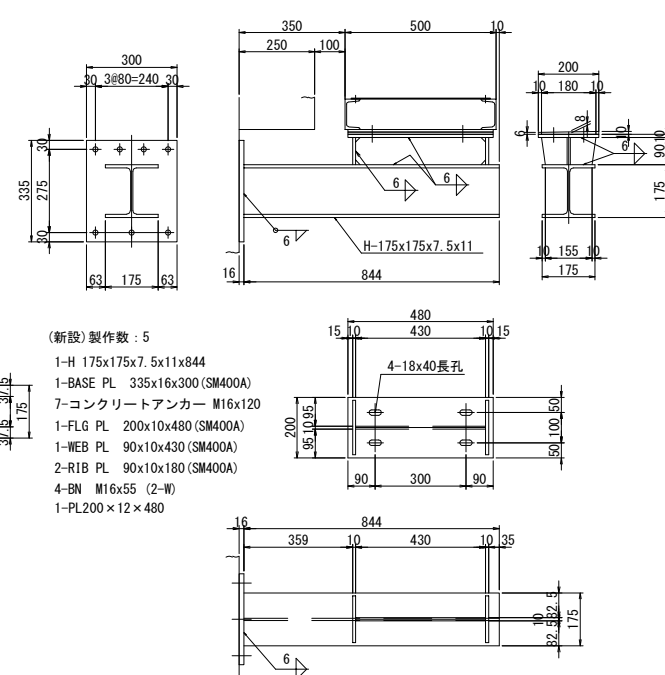


ブラケット詳細 S=1:25

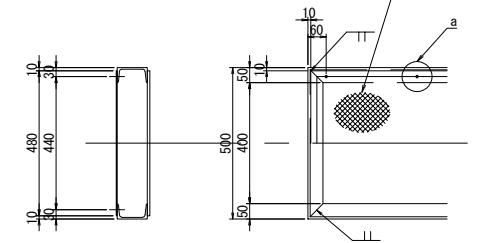
B-1 (新設)



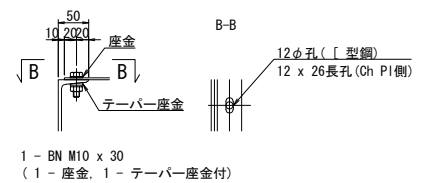
B-2 (新設)



検査路端部 S



a部詳細 S=1:12.5



注記)

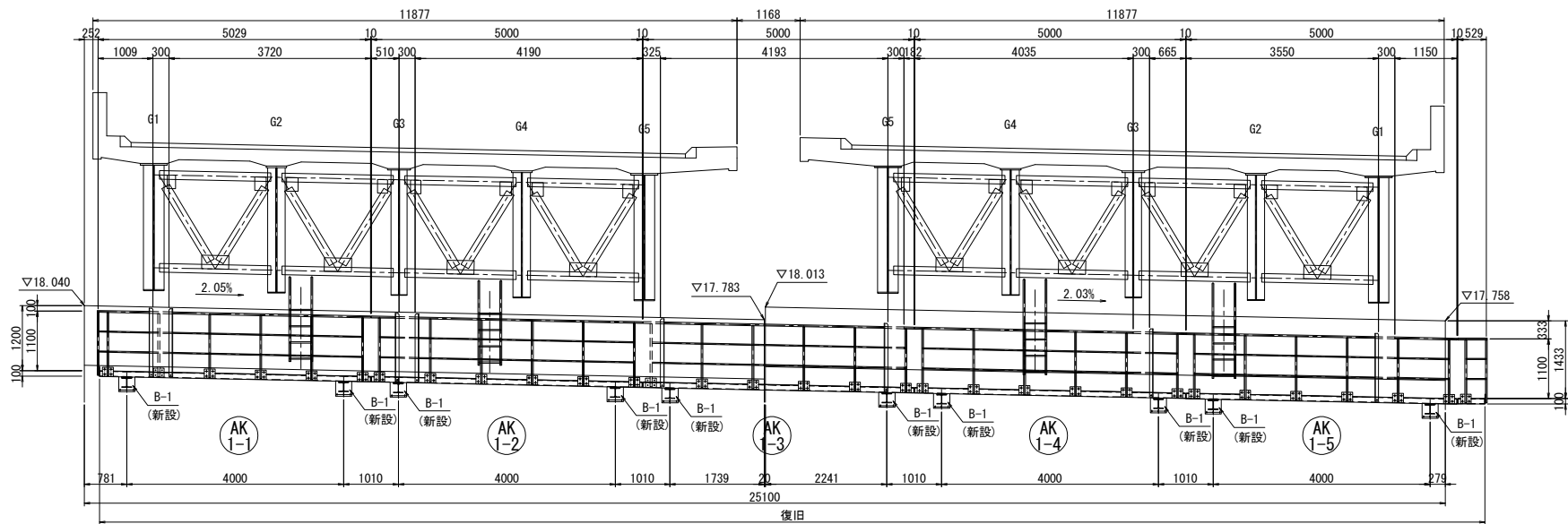
1. 特記なき材質は全てSS400とする。
2. ナットは全て緩み止めナットを使用すること。
3. 部材は全て溶融亜鉛めっきを施す。

亜鉛の塗膜は JIS H 8641 HDZT77とする。

但し、厚さ3.2mm未満の鋼材及び
ボルト・ナット類はHDZT49とする。

館山自動車道 大鳥居高架橋耐震補強工事			
図面の種類		小櫃川大橋(上下線) 下部工検査復旧図(その3)	
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 市 原 管 理 事 務 所		

正面図



AK 1-1

- 1ヶ所当り(1ヶ所)
- 1-PIPE φ34.0×2.3×961(STK400)(加工)
 - 1-PIPE φ34.0×2.3×3655(STK400)(加工)
 - 5-PIPE φ34.0×2.3×1180(STK400)(復旧)
 - 2-L65×65×6×1255(新設)
 - 2-PIPE φ21.7×1.9×177(STK400)(復旧)
 - 6-PIPE φ21.7×1.9×914(STK400)(復旧)
 - 2-PIPE φ21.7×1.9×752(STK400)(加工)
 - 2-PIPE φ21.7×1.9×672(STK400)(加工)
 - 10-PL170×6×200(復旧)
 - ※ 1-PL50×6×200(加工)
 - 26-BN M16×45(新設)

※ はガス切断を行う。

- 1-PIPE φ34.0×2.3×546(STK400)(復旧)
- 1-PIPE φ34.0×2.3×1180(STK400)(復旧)
- 2-PIPE φ21.7×1.9×377(STK400)(復旧)
- 2-PL170×6×200(復旧)
- 4-BN M16×45(新設)

AK 1-2

- 1ヶ所当り(1ヶ所)
- 1-PIPE φ34.0×2.3×445(STK400)(加工)
 - 1-PIPE φ34.0×2.3×4125(STK400)(加工)
 - 6-PIPE φ34.0×2.3×1180(STK400)(復旧)
 - 2-L65×65×6×1255(新設)
 - 8-PIPE φ21.7×1.9×914(STK400)(復旧)
 - 2-PIPE φ21.7×1.9×282(STK400)(加工)
 - 2-PIPE φ21.7×1.9×202(STK400)(加工)
 - 12-PL170×6×200(復旧)
 - 26-BN M16×45(新設)

AK 1-3

- 1ヶ所当り(1ヶ所)
- 1-PIPE φ34.0×2.3×4063(STK400)(加工)
 - 1-PIPE φ34.0×2.3×182(STK400)(加工)
 - 5-PIPE φ34.0×2.3×1180(STK400)(復旧)
 - 2-L65×65×6×1255(新設)
 - 6-PIPE φ21.7×1.9×914(STK400)(復旧)
 - 2-PIPE φ21.7×1.9×687(STK400)(復旧)
 - 2-PIPE φ21.7×1.9×530(STK400)(加工)
 - 2-PIPE φ21.7×1.9×19(STK400)(加工)
 - 10-PL170×6×200(復旧)
 - ※ 1-PL50×6×200(加工)
 - 26-BN M16×45(新設)

※ はガス切断を行う。

AK 1-4

- 1ヶ所当り(1ヶ所)
- 1-PIPE φ34.0×2.3×4035(STK400)(加工)
 - 1-PIPE φ34.0×2.3×600(STK400)(加工)
 - 1-L65×65×6×1255(新設)
 - 6-PIPE φ34.0×2.3×1180(STK400)(復旧)
 - 8-PIPE φ21.7×1.9×914(STK400)(復旧)
 - 2-PIPE φ21.7×1.9×112(STK400)(加工)
 - 2-PIPE φ21.7×1.9×437(STK400)(加工)
 - 12-PL170×6×200(復旧)
 - 25-BN M16×45(新設)

AK 1-5

- 1ヶ所当り(1ヶ所)
- 1-PIPE φ34.0×2.3×3485(STK400)(加工)
 - 1-PIPE φ34.0×2.3×1150(STK400)(加工)
 - 6-PIPE φ34.0×2.3×1180(STK400)(復旧)
 - 1-L65×65×6×1255(新設)
 - 8-PIPE φ21.7×1.9×914(STK400)(復旧)
 - 2-PIPE φ21.7×1.9×502(STK400)(加工)
 - 2-PIPE φ21.7×1.9×47(STK400)(加工)
 - 12-PL170×6×200(復旧)
 - 25-BN M16×45(新設)

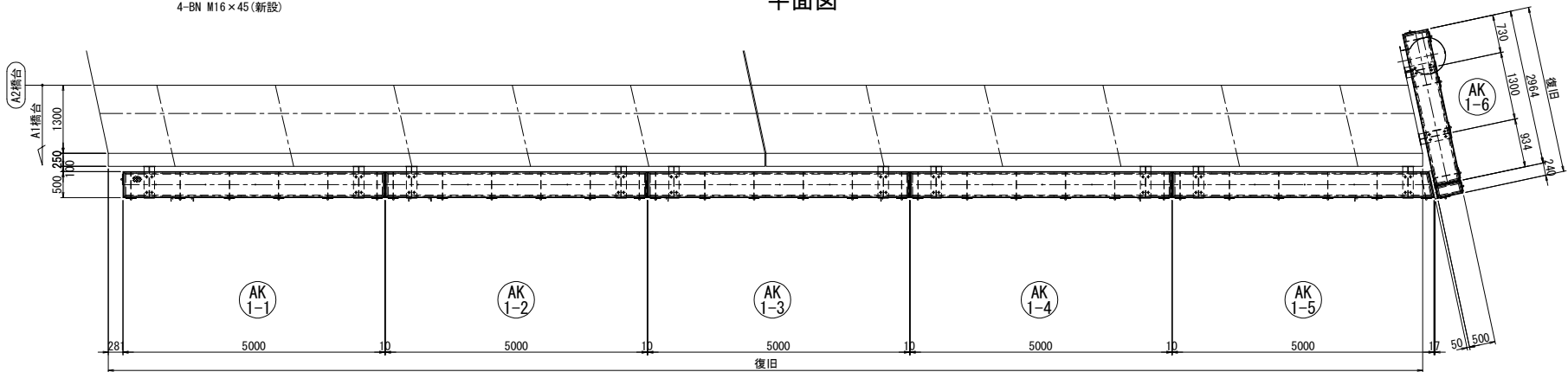
AK 1-6

- 1ヶ所当り(1ヶ所)
- 1-PIPE φ34.0×2.3×3000(STK400)(加工)
 - 1-PIPE φ34.0×2.3×546(STK400)(復旧)
 - 5-PIPE φ34.0×2.3×1180(STK400)(復旧)
 - 6-PIPE φ21.7×1.9×862(STK400)(復旧)
 - 2-PIPE φ21.7×1.9×137(STK400)(加工)
 - 2-PIPE φ21.7×1.9×177(STK400)(復旧)
 - 2-PIPE φ21.7×1.9×377(STK400)(復旧)
 - 10-PL170×6×200(復旧)
 - 24-BN M16×45(新設)

AK 1-6

- 1ヶ所当り(1ヶ所)
- 1-PIPE φ34.0×2.3×546(STK400)(新設)
 - 1-PIPE φ34.0×2.3×264(STK400)(新設)
 - 2-PIPE φ34.0×2.3×1180(STK400)(新設)
 - 2-PIPE φ21.7×1.9×353(STK400)(新設)
 - 2-PIPE φ21.7×1.9×131(STK400)(新設)
 - 4-PL170×6×200(新設)
 - 8-BN M16×45(新設)

平面図



AK 1-1

- 1ヶ所当り(1ヶ所)
- 1-CHPL480×3.2×4980(復旧)
 - 2-[100×50×5×7.5×5000(復旧)
 - 2-[100×50×5×7.5×500(復旧)
 - 6-FB50×6×490(復旧)
 - 2-PL200×8×480(復旧)
 - 42-BN M10×30(新設)

AK 1-2

- 1ヶ所当り(1ヶ所)
- 1-CHPL480×3.2×4980(復旧)
 - 2-[100×50×5×7.5×5000(復旧)
 - 2-[100×50×5×7.5×500(復旧)
 - 6-FB50×6×490(復旧)
 - 2-PL200×8×480(復旧)
 - 42-BN M10×30(新設)

AK 1-3

- 1ヶ所当り(1ヶ所)
- 1-CHPL480×3.2×4980(復旧)
 - 2-[100×50×5×7.5×5000(復旧)
 - 2-[100×50×5×7.5×500(復旧)
 - 6-FB50×6×490(復旧)
 - 2-PL200×8×480(復旧)
 - 42-BN M10×30(新設)

AK 1-4

- 1ヶ所当り(1ヶ所)
- 1-CHPL480×3.2×4980(復旧)
 - 2-[100×50×5×7.5×5000(復旧)
 - 2-[100×50×5×7.5×500(復旧)
 - 6-FB50×6×490(復旧)
 - 2-PL200×8×480(復旧)
 - 42-BN M10×30(新設)

AK 1-5

- 1ヶ所当り(1ヶ所)
- 1-CHPL480×3.2×4980(復旧)
 - 1-CHPL480×3.2×2944(復旧)
 - 1-[100×50×5×7.5×5000(復旧)
 - 1-[100×50×5×7.5×4896(復旧)
 - 1-[100×50×5×7.5×500(復旧)
 - 4-FB50×6×490(復旧)
 - 1-[100×50×5×7.5×511(復旧)
 - 5-FB50×6×490(復旧)
 - 1-FB50×6×501(復旧)
 - 2-PL200×8×480(復旧)
 - 42-BN M10×30(新設)

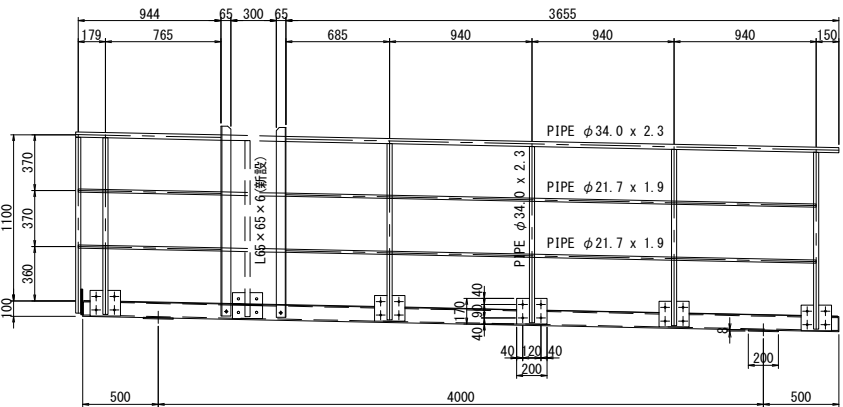
AK 1-6

- 1ヶ所当り(1ヶ所)
- 1-CHPL480×3.2×2944(復旧)
 - 1-[100×50×5×7.5×2964(加工)
 - 2-[100×50×5×7.5×500(加工)
 - 4-FB50×6×490(復旧)
 - 2-PL200×8×480(復旧)
 - 26-BN M10×30(新設)

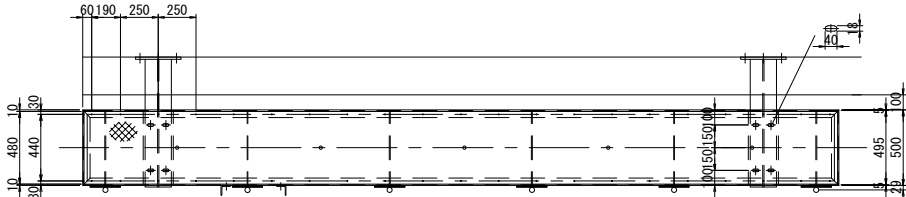
- 1-CHPL480×3.2×220(新設)
- 2-[100×50×5×7.5×240(新設)
- 2-[100×50×5×7.5×500(新設)
- 7-BN M10×30(新設)
- 1-L50×50×6×540(新設)
- 7-BN M10×30(新設)
- 5-BN M16×35(新設)

AK 1-1

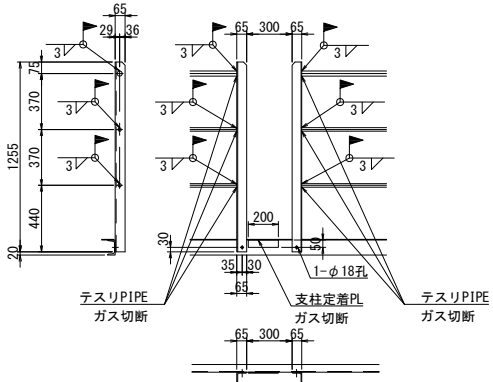
詳細図 S=1:50



受け台位置断面 S=1:50



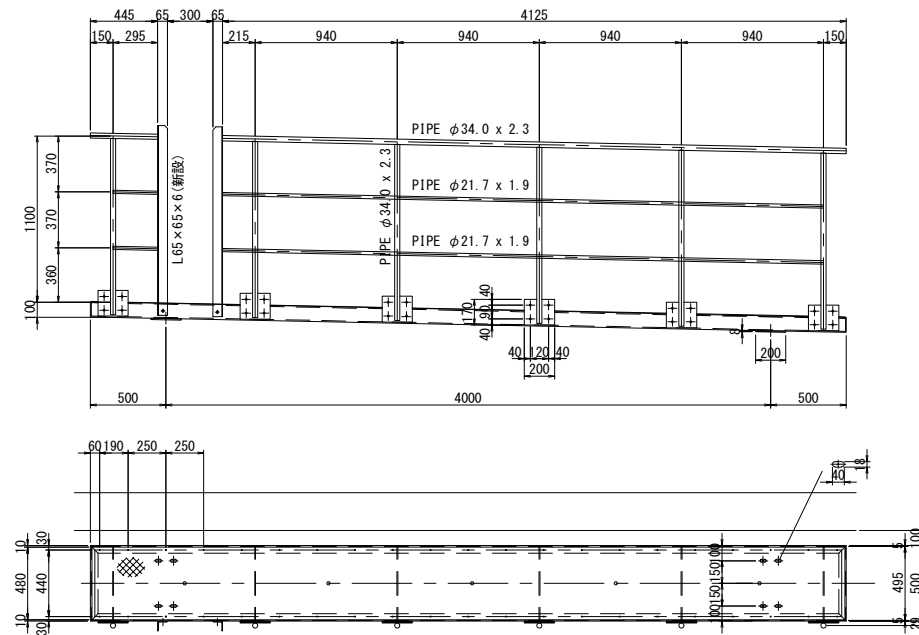
AK1-1加工詳細図 S=1:50



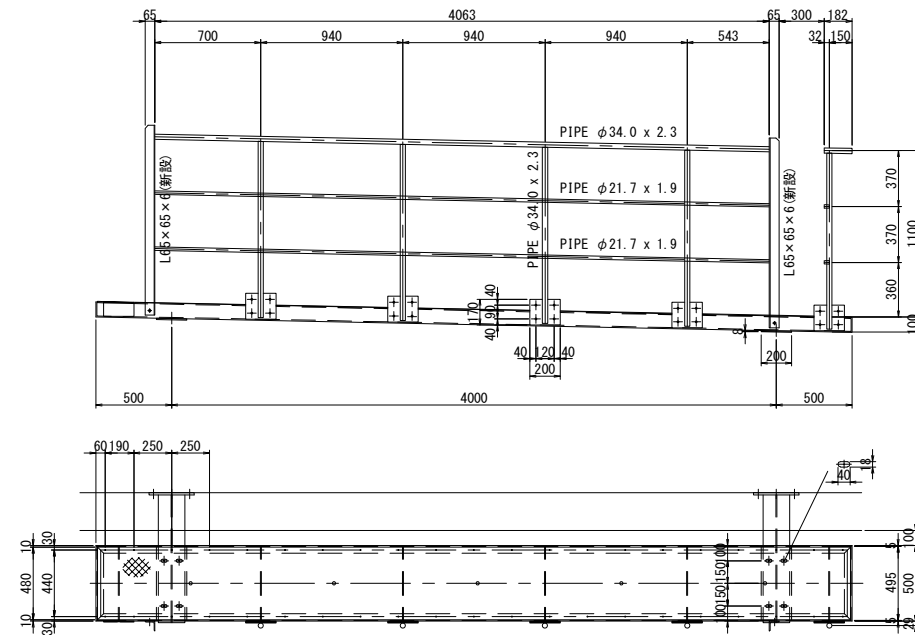
- 注記)
- 特記なき材質は全てSS400とする。
 - ナットは全て緩み止めナットを使用すること。
 - 部材は全て溶融亜鉛めっきを施す。
垂鉛の塗膜は JIS H 8641 HDZT77とする。
但し、厚さ3.2mm未満の鋼材及び
ボルト・ナット類はHDZT49とする。

館山自動車道 大鳥居高架橋耐震補強工事			
図面の種類	小櫃川大橋(上下線)		
	下部工検査路復旧図(その4)		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 市 原 管 理 事 務 所		

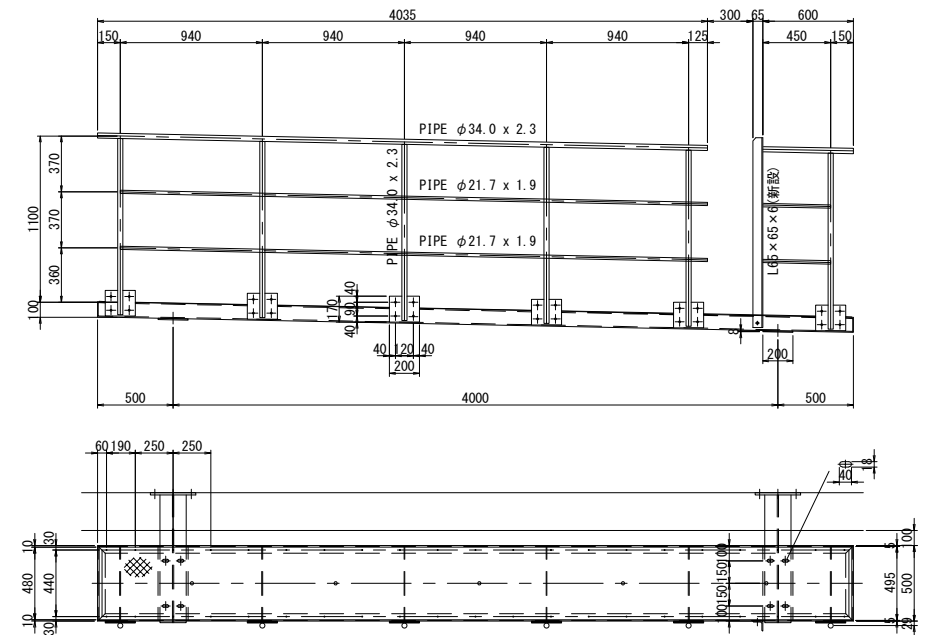
AK
1-2 詳細図



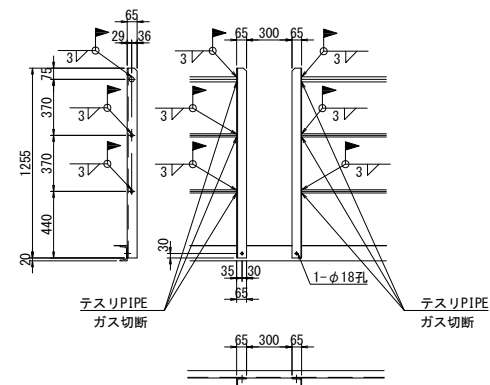
AK
1-3 詳細図



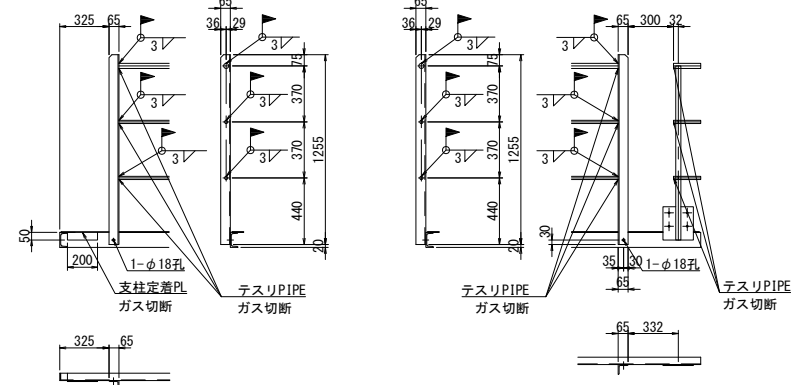
AK
1-4 詳細図



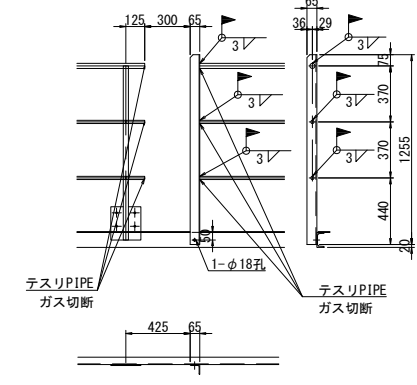
AK1-2加工詳細図



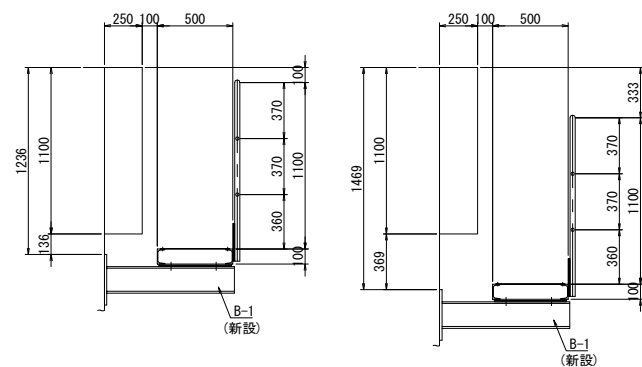
AK1-3加工詳細図



AK1-4加工詳細図



受け台位置断面



(注記)

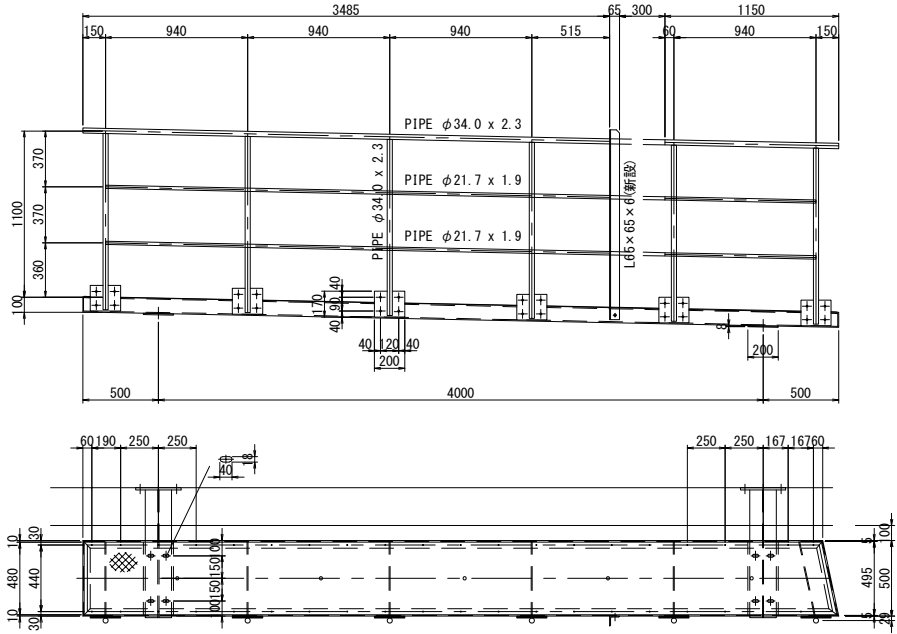
1. 特記なき材質は全てSS400とする。
2. ナットは全て緩み止めナットを使用すること。
3. 部材は全て溶融亜鉛めっきを施す。

亜鉛の塗膜は JIS H 8641 HDZT77とする。

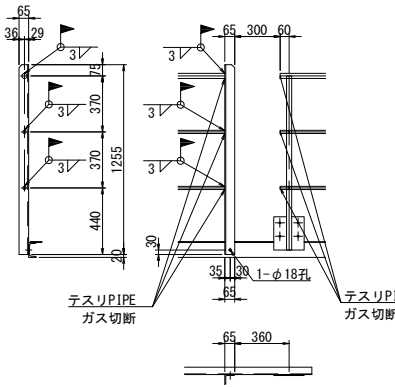
但し、厚さ3.2mm未満の鋼材及び
ボルト・ナット類はHDZT49とする。

館山自動車道 大鳥居高架橋耐震補強工事			
図面の種類		小櫃川大橋(上下線) 下部工検査路復旧図(その5)	
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 市 原 管 理 事 務 所		

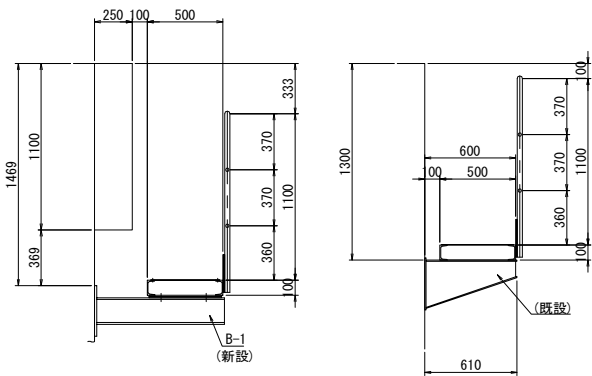
AK
1-5 詳細図



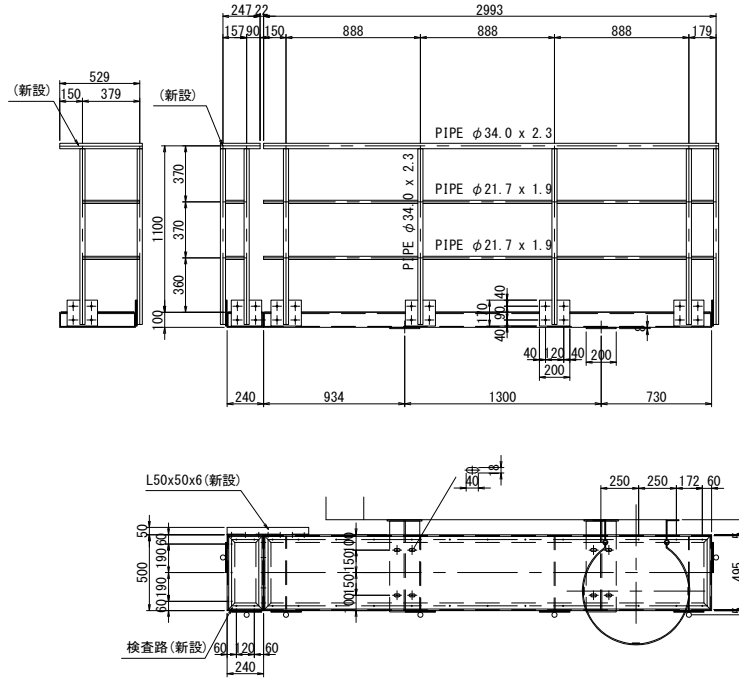
AK1-5加工詳細図



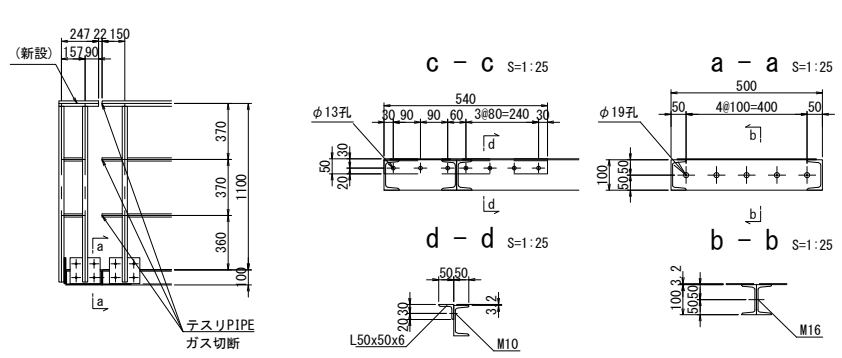
受け台位置断面



AK
1-6 詳細図

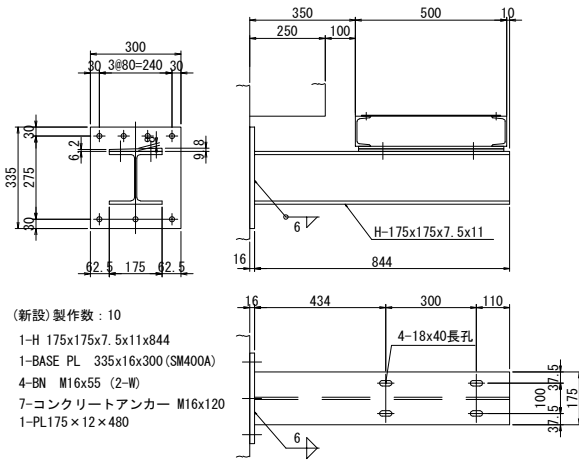


AK1-6加工詳細図

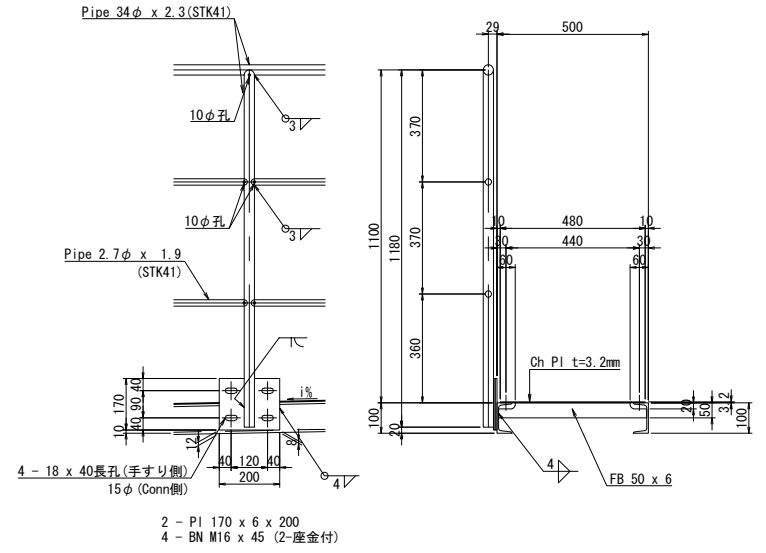


ブラケット詳細 S=1:25

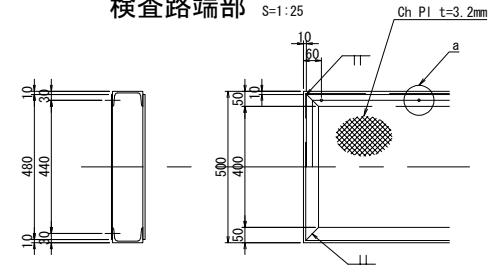
B-1 (新設)



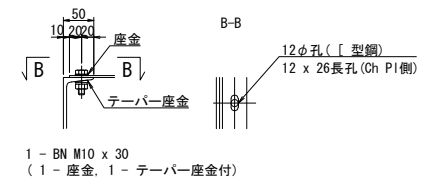
断面図 S=1:25



検査路端部



a部詳細 S=1:12.5



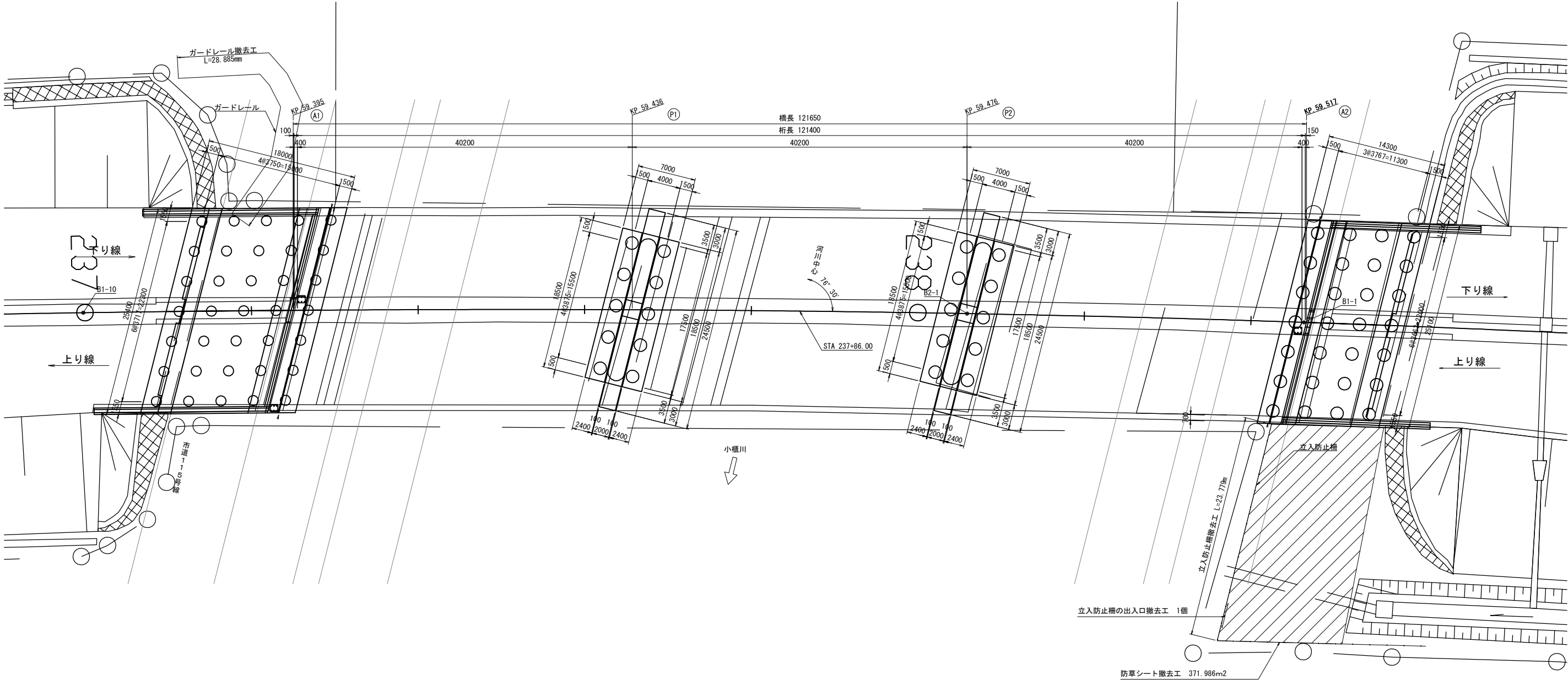
注記)

1. 特記なき材質は全てSS400とする。
2. ナットは全て緩み止めナットを使用すること。
3. 部材は全て溶融亜鉛めっきを施す。

亜鉛の塗膜は JIS H 8641 HDZT77とする。

但し、厚さ3.2mm未満の鋼材及び
ボルト・ナット類はHDZT49とする。

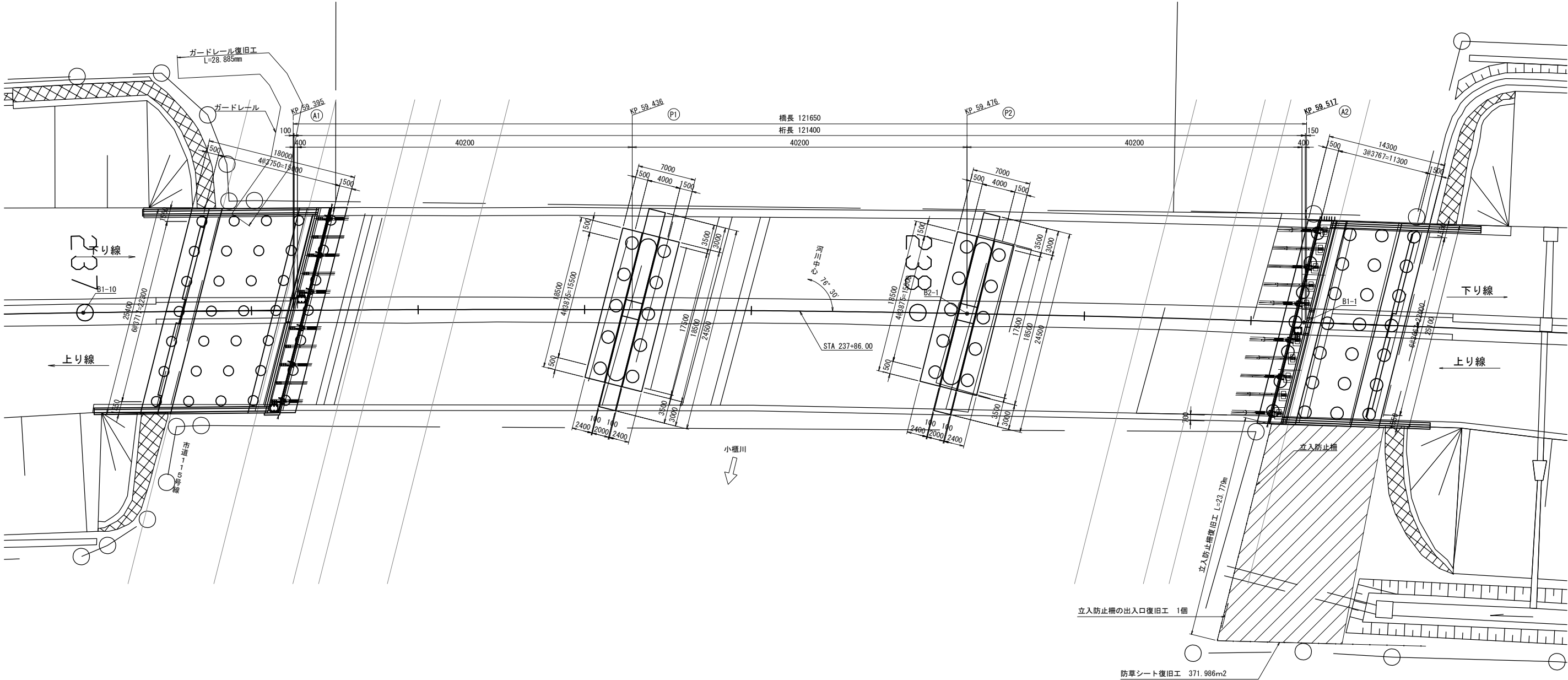
館山自動車道			
大鳥居高架橋耐震補強工事			
図面の種類		小瀬川大橋（上下線） 下部工検査修復旧図（その6）	
縮	尺	図示	図面番号 /
設計会社名		株式会社 建設技術研究所	
施工会社名			
事務所名		東日本高速道路株式会社 関東支社 市 原 管 理 事 務 所	



撤去工数量表

項 目	規 格	単 位	数 量	備 考
ガードレール	Gr-C-4E	m	28.885	撤去
立入防止柵	一般型非積雪地用	m	23.779	撤去
立入防止柵の出入口	門扉W=3.0m	箇所	1	撤去
防草シート		m2	371.986	撤去

館山自動車道 大鳥居高架橋耐震補強工事			
図面の種類	小櫃川大橋(上下線) 付帯構造物撤去工図		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 市 原 管 理 事 務 所		



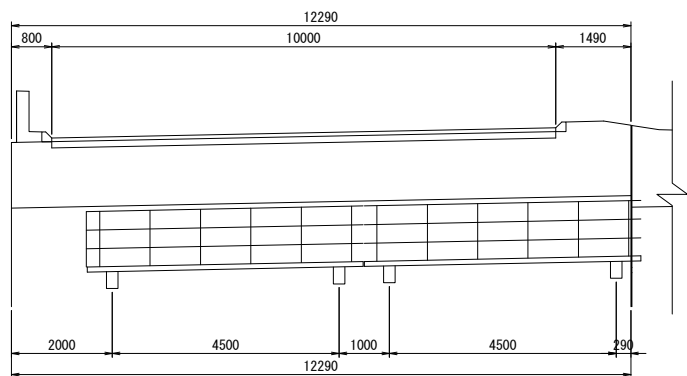
復旧工数量表

項 目	規 格	単 位	数 量	備 考
ガードレール	Gr-C-4E	m	28.885	復旧
立入防止柵	一般型非積雪地用	m	23.779	復旧
立入防止柵の出入口	門扉W=3.0m	箇所	1	復旧
防草シート		m2	371.986	復旧

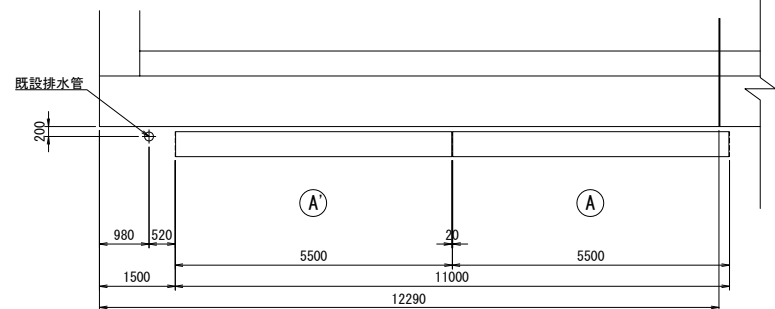
館山自動車道 大鳥居高架橋耐震補強工事			
図面の種類	小櫃川大橋(上下線) 付帯構造物復旧工図		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 市 原 管 理 事 務 所		

大鳥居高架橋(上下線) 下部工検査路撤去図(その1) S=1:150
(上り線) A1橋台

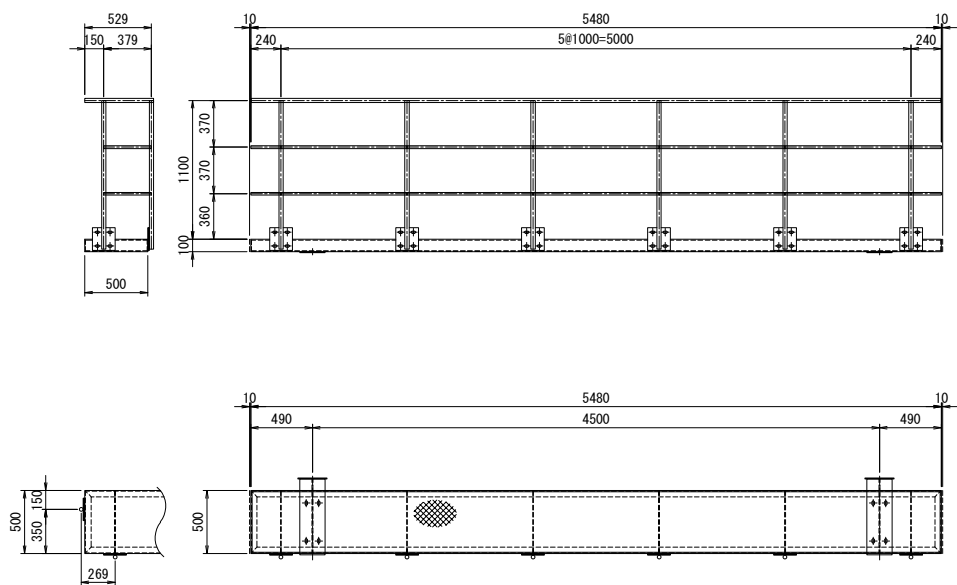
正面図 S=1:150



平面図 S=1:150



Ⓐ (Ⓐ') S=1:60

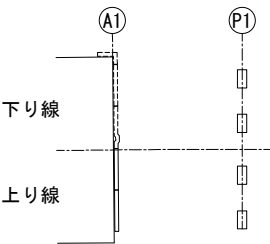


- Ⓐ 1ヶ所当り (1ヶ所)
- 1 - Pipe $\phi 34$ x 2.3 x 5474 (STK41)
 - 6 - Pipe $\phi 34$ x 2.3 x 1180 (STK41)
 - 10 - Pipe $\phi 21.7$ x 2.0 x 1000 (STK41)
 - 4 - Pipe $\phi 21.7$ x 2.0 x 240 (STK41)
 - 2 - Cap $\phi 34$ x 3.2
 - 12 - Pl 180 x 6 x 180
 - 24 - BN M16 x 40 (2座金付)

- Ⓐ' 1ヶ所当り (1ヶ所)
- 1 - Pipe $\phi 34$ x 2.3 x 5474 (STK41)
 - 7 - Pipe $\phi 34$ x 2.3 x 1180 (STK41)
 - 1 - Pipe $\phi 34$ x 2.3 x 526 (STK41)
 - 10 - Pipe $\phi 21.7$ x 2.0 x 1000 (STK41)
 - 2 - Pipe $\phi 21.7$ x 2.0 x 240 (STK41)
 - 2 - Pipe $\phi 21.7$ x 2.0 x 648 (STK41)
 - 2 - Cap $\phi 34$ x 3.2
 - 14 - Pl 180 x 6 x 180
 - 28 - BN M16 x 40 (2座金付)

- Ⓐ Ⓐ' 1ヶ所当り (2ヶ所)
- 2 - [100 x 50 x 5 x 7.5 x 5480
 - 2 - [100 x 50 x 5 x 7.5 x 500
 - 6 - FB 50 x 6 x 490
 - 2 - Pl 200 x 8 x 520
 - 1 - Ch Pl 480 x 3.2 x 5460
 - 54 - BN M10 x 30 (S.W付)

位置図

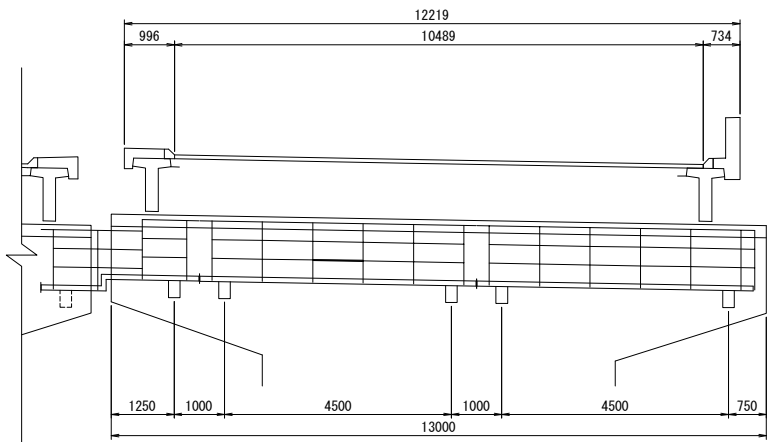


注記)
特記なき材質はすべてSS41とする。

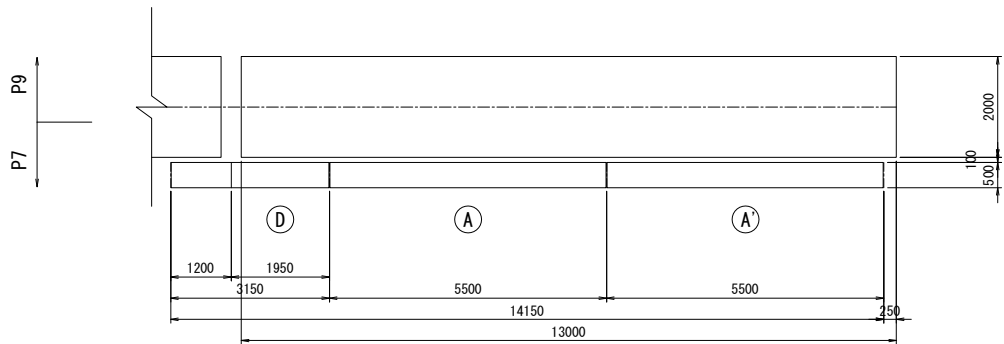
館山自動車道 大鳥居高架橋耐震補強工事			
図面の種類	大鳥居高架橋(上下線) 下部工検査路撤去図(その1)		
	縮尺	図示	図面番号 /
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 市原管理事務所		

大鳥居高架橋(上下線) 下部工検査路撤去図(その2) S=1:150
(上り線) P8橋脚

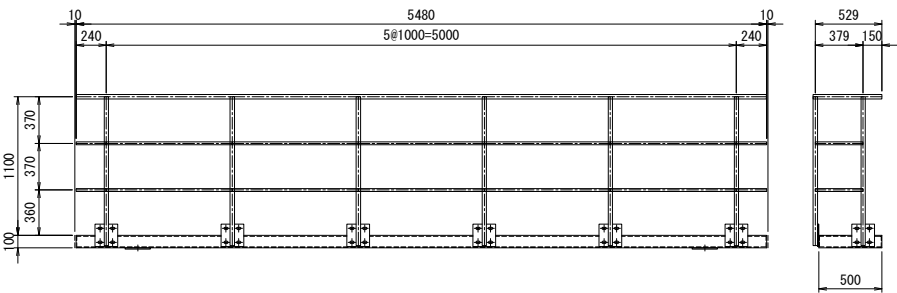
正面図 S=1:150



平面図 S=1:150



Ⓐ (Ⓐ') S=1:60



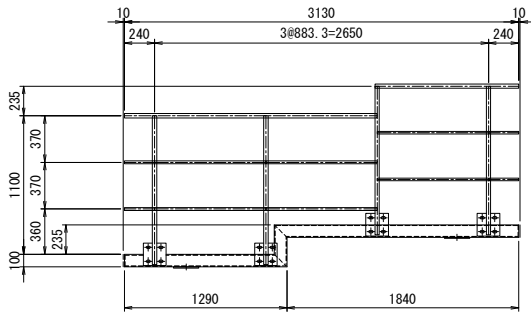
Ⓐ 1ヶ所当り (1ヶ所)

- 1 - Pipe $\phi 34$ x 2.3 x 5474 (STK41)
- 6 - Pipe $\phi 34$ x 2.3 x 1180 (STK41)
- 10 - Pipe $\phi 21.7$ x 2.0 x 1000 (STK41)
- 4 - Pipe $\phi 21.7$ x 2.0 x 240 (STK41)
- 2 - Cap $\phi 34$ x 3.2
- 12 - PI 180 x 6 x 180
- 24 - BN M16 x 40 (2座金付)

Ⓐ 1ヶ所当り (1ヶ所)

- 1 - Pipe $\phi 34$ x 2.3 x 5474 (STK41)
- 7 - Pipe $\phi 34$ x 2.3 x 1180 (STK41)
- 1 - Pipe $\phi 34$ x 2.3 x 526 (STK41)
- 10 - Pipe $\phi 21.7$ x 2.0 x 1000 (STK41)
- 2 - Pipe $\phi 21.7$ x 2.0 x 240 (STK41)
- 2 - Pipe $\phi 21.7$ x 2.0 x 648 (STK41)
- 2 - Cap $\phi 34$ x 3.2
- 14 - PI 180 x 6 x 180
- 28 - BN M16 x 40 (2座金付)

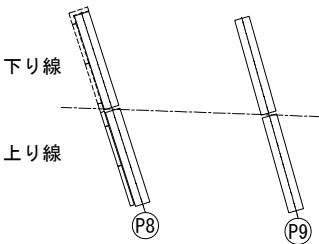
Ⓓ S=1:60



Ⓓ 1ヶ所当り (1ヶ所)

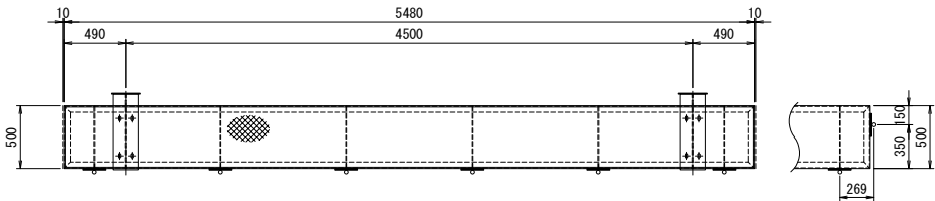
- 1 - Pipe $\phi 34$ x 2.3 x 2004 (STK41)
- 1 - Pipe $\phi 34$ x 2.3 x 1120 (STK41)
- 4 - Pipe $\phi 34$ x 2.3 x 1180 (STK41)
- 6 - Pipe $\phi 21.7$ x 2.0 x 884 (STK41)
- 4 - Pipe $\phi 21.7$ x 2.0 x 240 (STK41)
- 2 - Cap $\phi 34$ x 3.2
- 8 - PI 180 x 6 x 180
- 16 - BN M16 x 40 (2座金付)

位置図



Ⓐ Ⓐ 1ヶ所当り (2ヶ所)

- 2 - [100 x 50 x 5 x 7.5 x 5480
- 2 - [100 x 50 x 5 x 7.5 x 500
- 6 - FB 50 x 6 x 490
- 2 - PI 200 x 8 x 520
- 1 - Ch PI 480 x 3.2 x 5460
- 54 - BN M10 x 30 (S.W付)



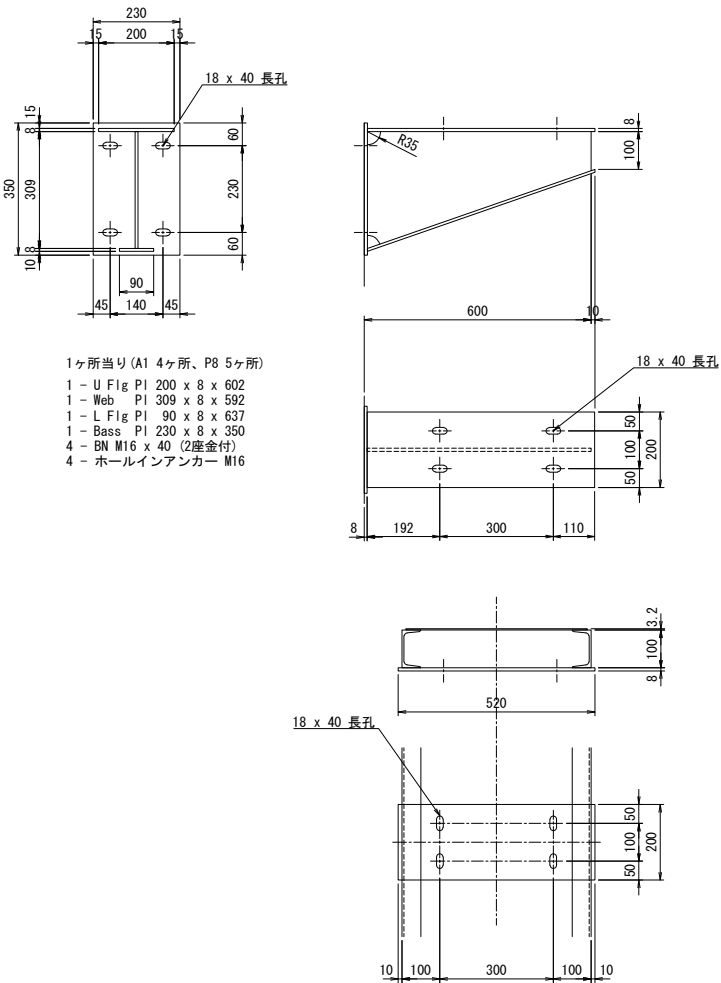
Ⓓ 1ヶ所当り (1ヶ所)

- 2 - [100 x 50 x 5 x 7.5 x 1940
- 2 - [100 x 50 x 5 x 7.5 x 1290
- 2 - [100 x 50 x 5 x 7.5 x 500
- 2 - [100 x 50 x 5 x 7.5 x 335
- 4 - FB 50 x 6 x 490
- 2 - PI 200 x 8 x 520
- 1 - Ch PI 480 x 3.2 x 1930
- 1 - Ch PI 480 x 3.2 x 1180
- 1 - Ch PI 480 x 3.2 x 230
- 26 - BN M10 x 30 (S.W付)

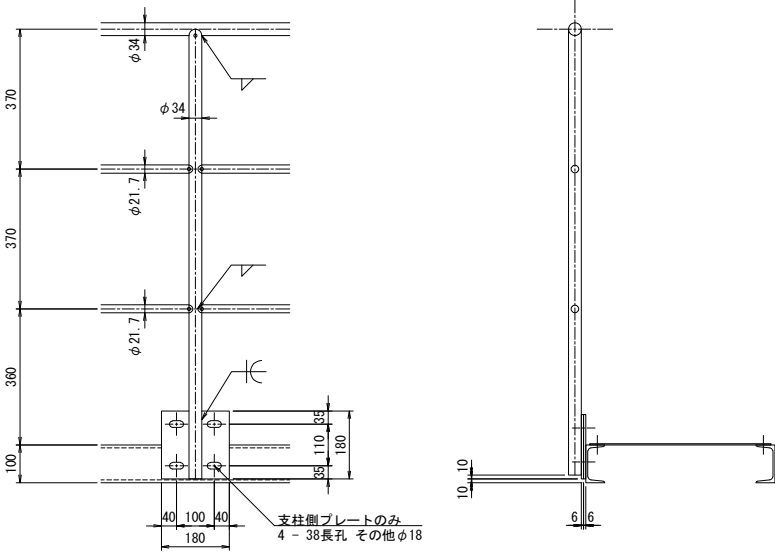
注記)
特記なき材質はすべてSS41とする。

館山自動車道			
大鳥居高架橋耐震補強工事			
図面の種類	大鳥居高架橋(上下線) 下部工検査路撤去図(その2)		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 市 原 管 理 事 務 所		

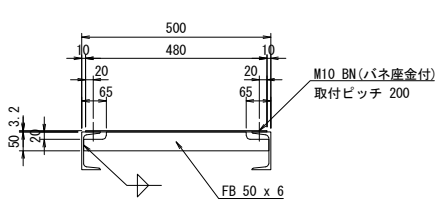
ブラケット詳細 S=1:20



支柱部詳細 S=1:20



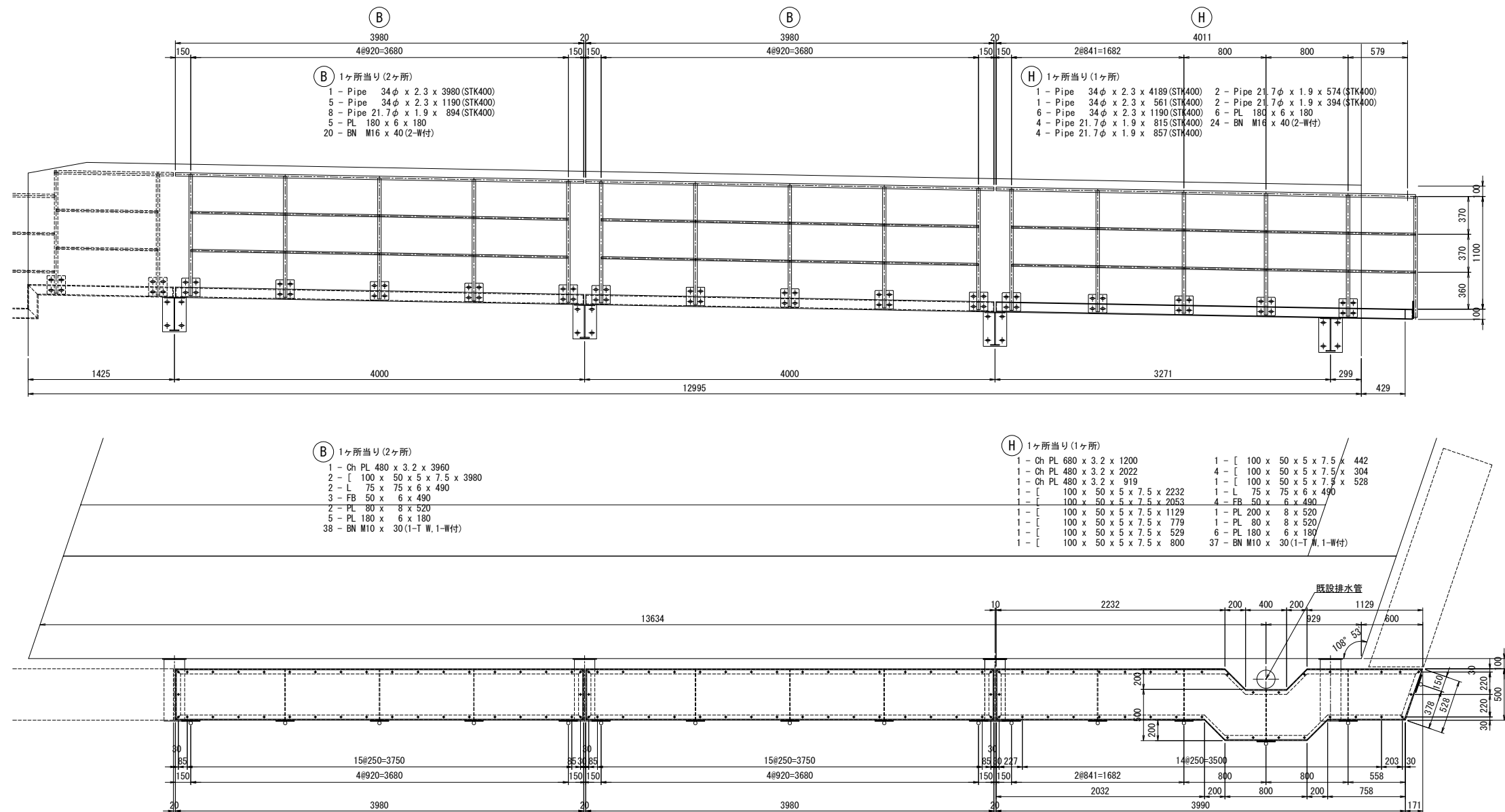
歩廊標準断面 S=1:20



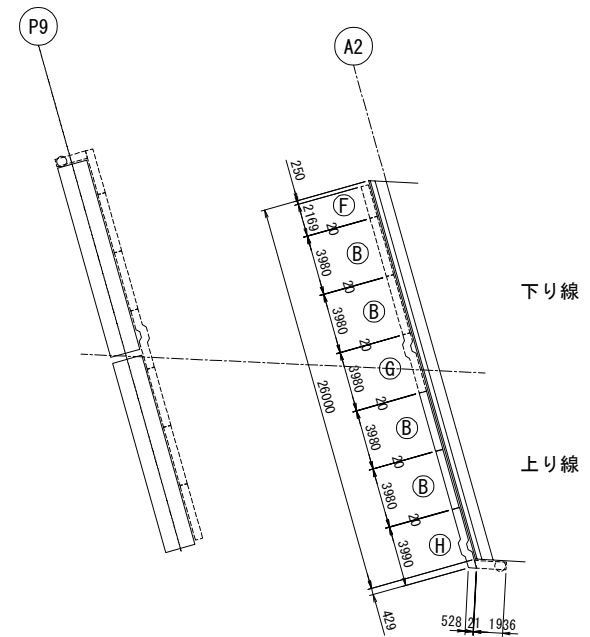
注記)
特記なき材質はすべてSS41とする。

館山自動車道 大鳥居高架橋耐震補強工事			
図面の種類	大鳥居高架橋(上下線)		
	下部工検査路撤去図(その3)		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 市 原 管 理 事 務 所		

大鳥居高架橋(上下線) 下部工検査路撤去図(その4) S=1:50
(上り線) A2橋台



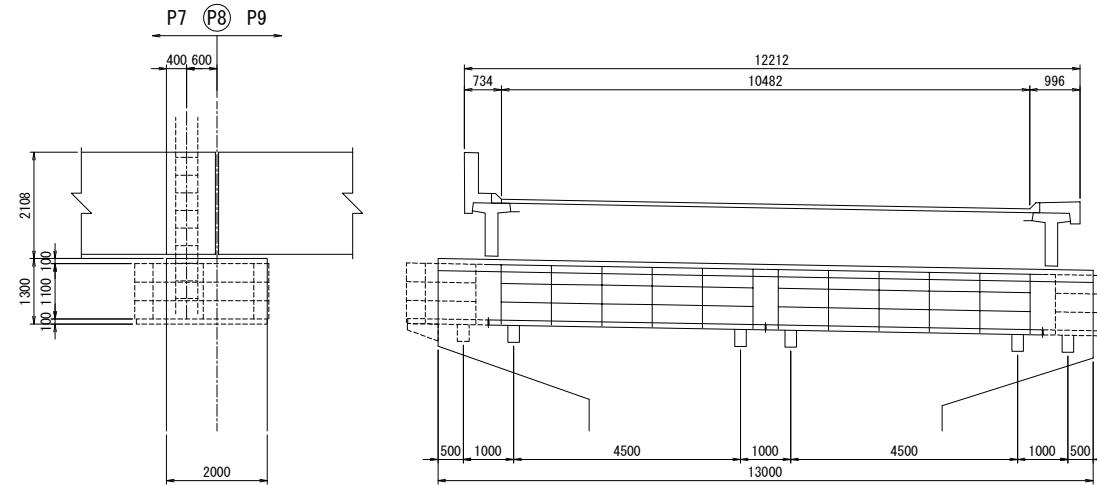
位置図



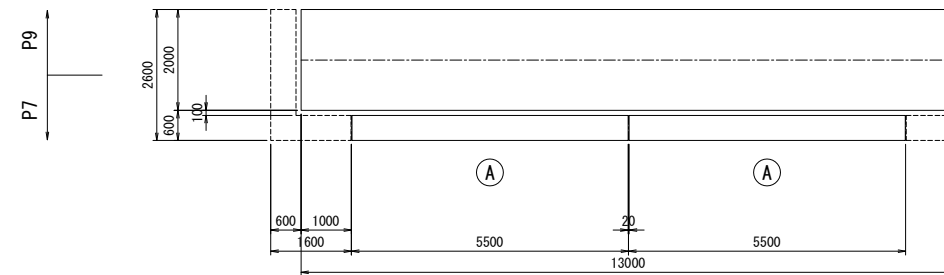
注記)
特記なき材質はすべてSS41とする。

館山自動車道 大鳥居高架橋耐震補強工事			
図面の種類	大鳥居高架橋(上下線)		
	下部工検査路撤去図(その4)		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 市 原 管 理 事 務 所		

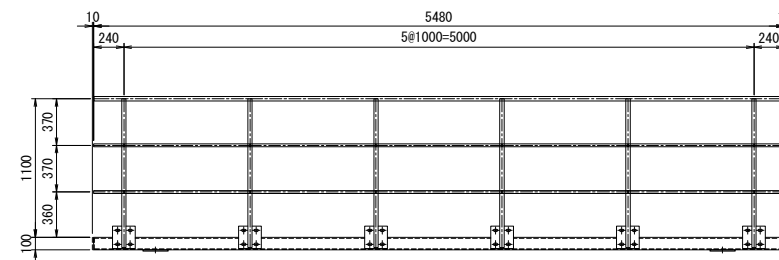
正面图 S=1:150



平面图 S=1:150



A S=1:60

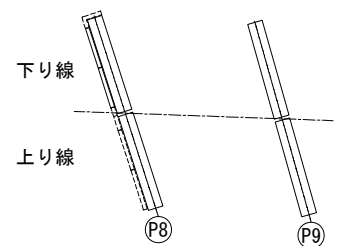


- (A)** 1ヶ所当り(2ヶ所)
- | | | | | | | | | |
|----|---|------|-------|---|-----|--------|------|---------|
| 1 | - | Pipe | φ34 | x | 2.3 | x | 5474 | (STK41) |
| 6 | - | Pipe | φ34 | x | 2.3 | x | 1180 | (STK41) |
| 10 | - | Pipe | φ21.7 | x | 2.0 | x | 1000 | (STK41) |
| 4 | - | Pipe | φ21.7 | x | 2.0 | x | 240 | (STK41) |
| 2 | - | Cap | φ34 | x | 3.2 | | | |
| 12 | - | PI | 180 | x | 6 | x | 180 | |
| 24 | - | BN | M16 | x | 40 | (2座金付) | | |

Ⓐ 1ヶ所当り(2ヶ所)

- | | | | | | |
|-----------|-------|------------|------|-------|------|
| 2 - [| 100 x | 50 x | 5 x | 7.5 x | 5480 |
| 2 - [| 100 x | 50 x | 5 x | 7.5 x | 500 |
| 6 - FB | 50 x | 6 x | 490 | | |
| 2 - PI | 200 x | 8 x | 520 | | |
| 1 - Ch PI | 480 x | 3.2 x | 5460 | | |
| 54 - BN | M10 x | 30 (S. W付) | | | |

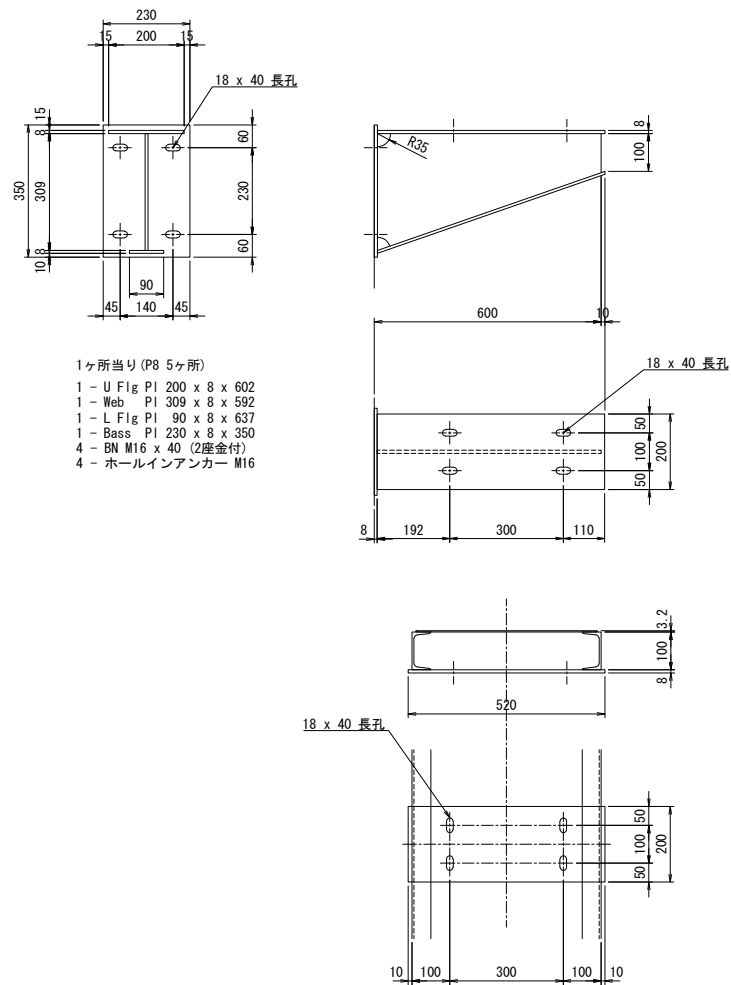
位置図



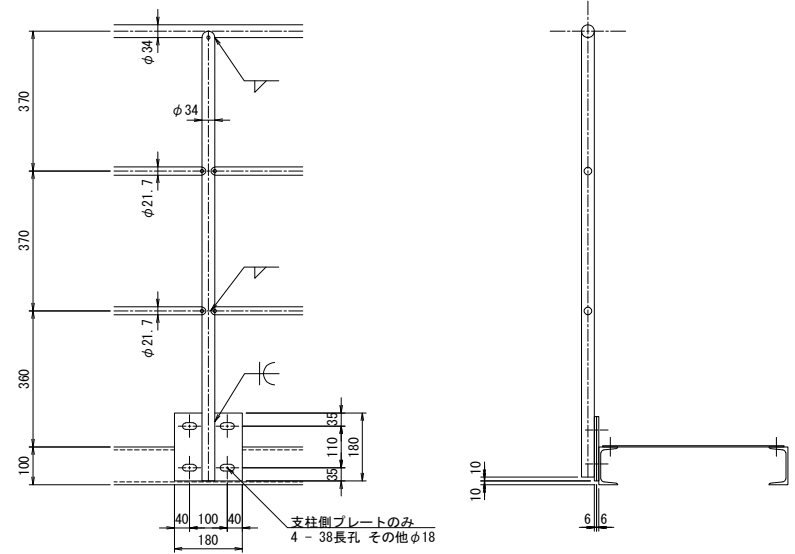
注記)
特記なき材質はすべてSS41とする。

館山自動車道 大島居高架橋耐震補強工事			
図面の種類		大島居高架橋(上下線) 下部工検査路撤去図(その6)	
縮	尺	図示	図面番号 /
設計会社名		株式会社 建設技術研究所	
施工会社名			
事務所名		東日本高速道路株式会社 関東支社 市 原 管 理 事 務 所	

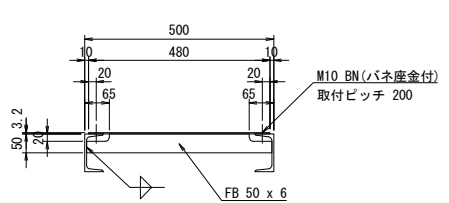
ブラケット詳細 S=1:20



支柱部詳細 S=1:20



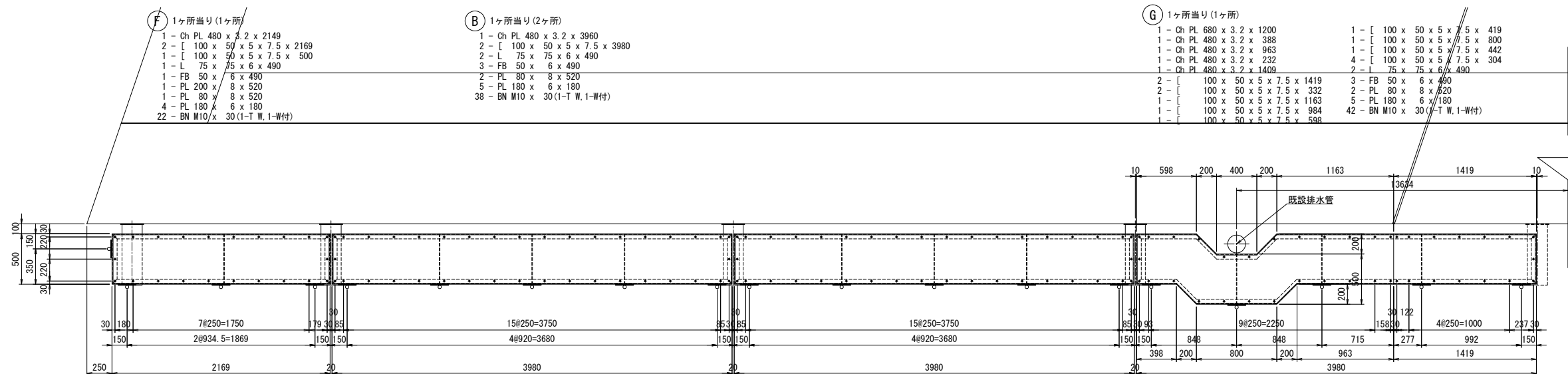
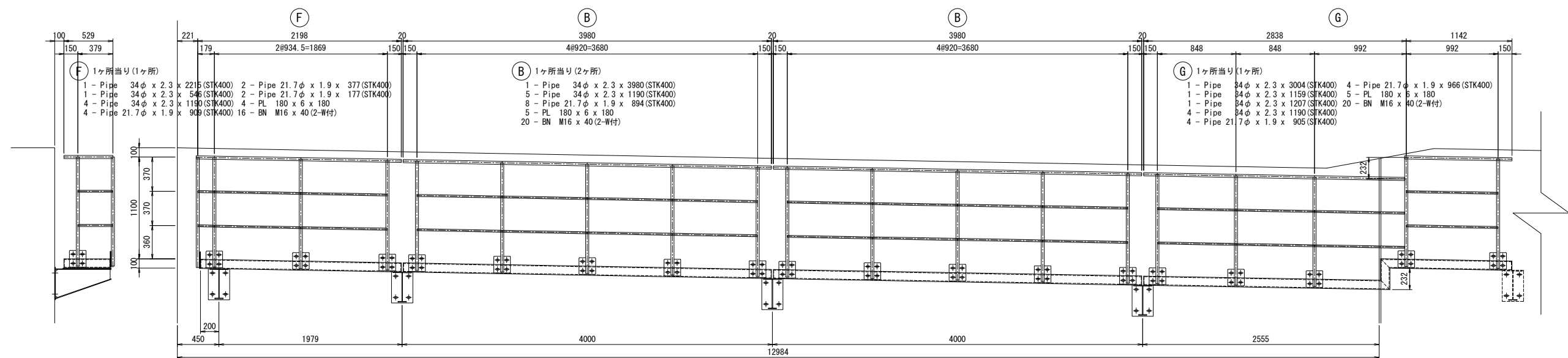
歩廊標準断面 S=1:20



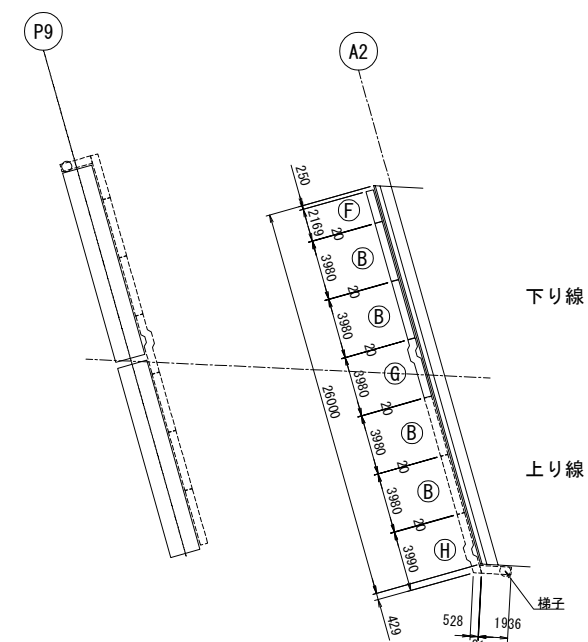
注記)
特記なき材質はすべてSS41とする。

館山自動車道 大鳥居高架橋耐震補強工事			
図面の種類	大鳥居高架橋(上下線)		
	下部工検査路撤去図(その7)		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 市 原 管 理 事 務 所		

大鳥居高架橋(上下線) 下部工検査路撤去図(その8) S=1:50
(下り線) A2橋台



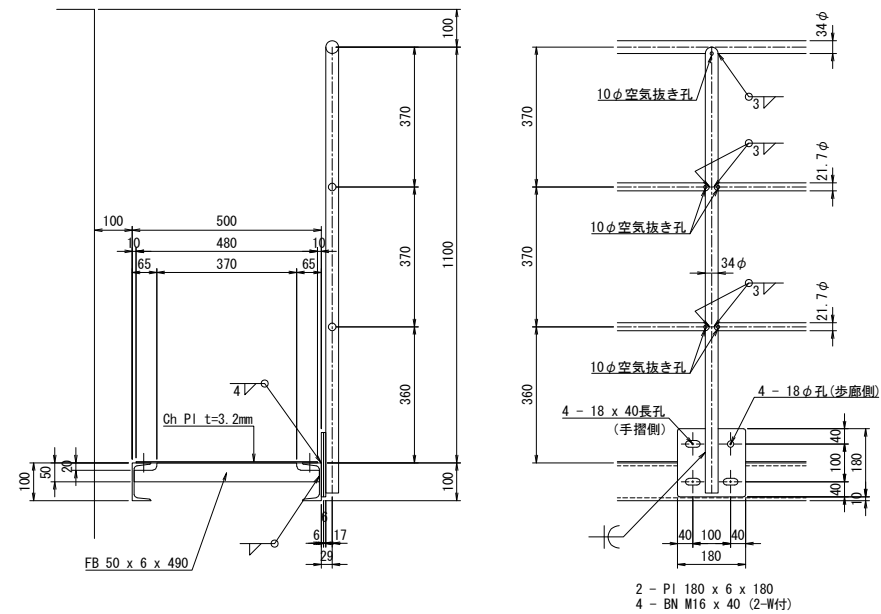
位置図



注記)
特記なき材質はすべてSS41とする。

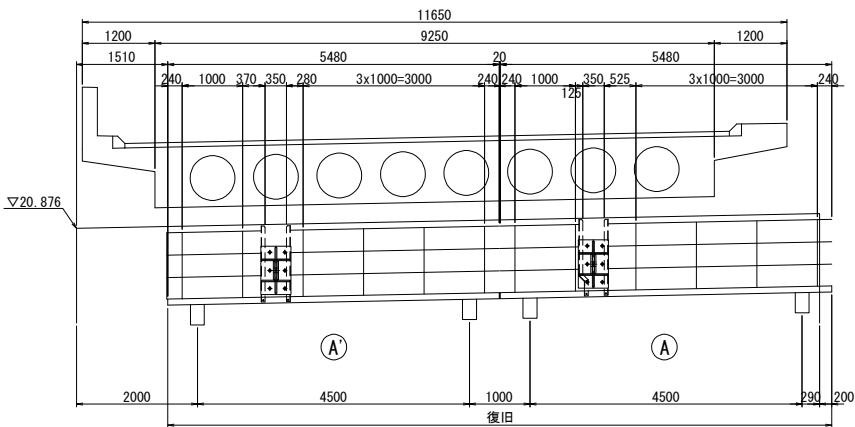
館山自動車道			
大鳥居高架橋耐震補強工事			
図面の種類	大鳥居高架橋(上下線)		
	下部工検査路撤去図(その8)		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社		
	市 原 管 理 事 務 所		

手摺及び歩廊詳細図



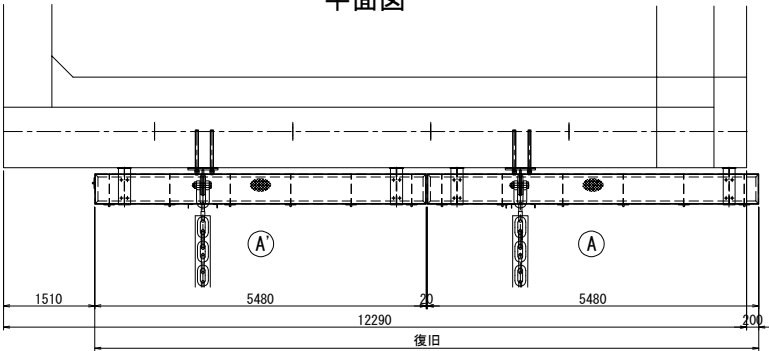
大鳥居高架橋(上下線) 下部工検査路復旧図(その1) S=1:125
(上り線) A1橋台

正面図



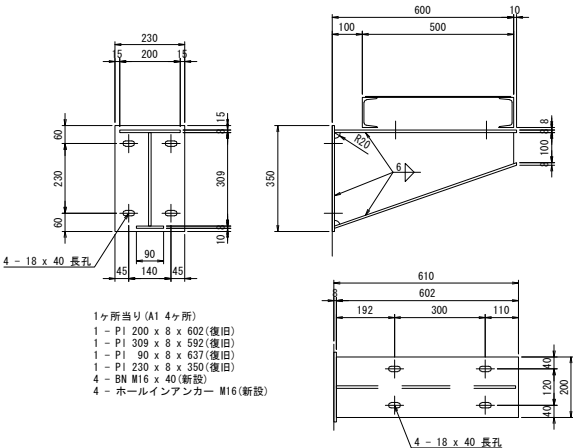
- ① 1ヶ所当り (1ヶ所)
- 1-PIPE φ34.0×2.3×1542 (加工)
 - 1-PIPE φ34.0×2.3×3452 (加工)
 - 7-PIPE φ34.0×2.3×1180 (復旧)
 - 1-PIPE φ34.0×2.3×526 (復旧)
 - 2-L65×65×6×1255 (新設)
 - 8-PIPE φ21.7×2.0×1000 (復旧)
 - 2-PIPE φ21.7×2.0×305 (加工)
 - 2-PIPE φ21.7×2.0×215 (加工)
 - 2-PIPE φ21.7×2.0×240 (復旧)
 - 2-PIPE φ21.7×2.0×648 (復旧)
 - 2-CAP φ34×3.2 (復旧)
 - 14-PL180×6×180 (復旧)
 - 28-BN M16×40 (新設)
 - 2-BN M16×40 (新設)
- ② 1ヶ所当り (1ヶ所)
- 1-PIPE φ34.0×2.3×1297 (加工)
 - 1-PIPE φ34.0×2.3×3697 (加工)
 - 6-PIPE φ34.0×2.3×1180 (復旧)
 - 1-L65×65×6×1255 (新設)
 - 1-L65×65×6×928 (新設)
 - 1-L65×65×6×154 (新設)
 - 1-L65×65×6×263 (新設)
 - 8-PIPE φ21.7×2.0×1000 (復旧)
 - 2-PIPE φ21.7×2.0×60 (加工)
 - 2-PIPE φ21.7×2.0×460 (加工)
 - 4-PIPE φ21.7×2.0×240 (復旧)
 - 2-CAP φ34×3.2 (復旧)
 - 12-PL180×6×180 (復旧)
 - 24-BN M16×40 (新設)
 - 2-BN M16×40 (新設)

平面図

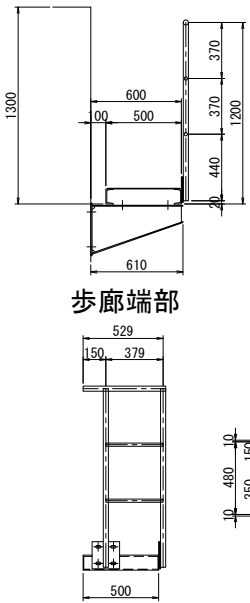


- ① 1ヶ所当り (1ヶ所)
- 2-[100×50×5×7.5×5480 (復旧)
 - 2-[100×50×5×7.5×500 (復旧)
 - 6-FB50×6×490 (復旧)
 - 2-PL200×8×520 (復旧)
 - 1-CHPL480×3.2×5460 (復旧)
 - 54-BN M10×30 (新設)
- ② 1ヶ所当り (1ヶ所)
- 2-[100×50×5×7.5×5480 (復旧)
 - 2-[100×50×5×7.5×500 (復旧)
 - 6-FB50×6×490 (復旧)
 - 2-PL200×8×520 (復旧)
 - 1-CHPL480×3.2×5460 (復旧)
 - 54-BN M10×30 (新設)

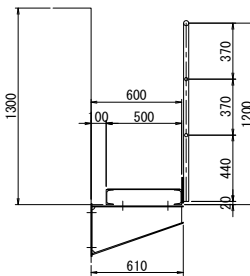
ブラケット詳細 S=1:50



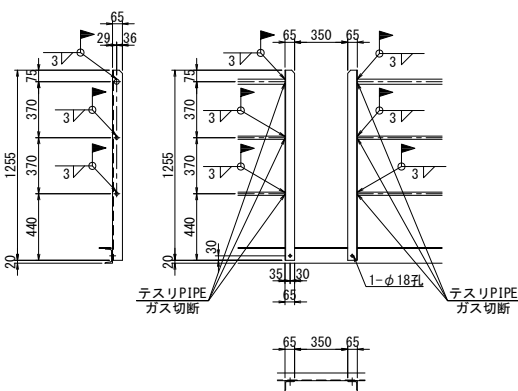
受け台位置断面



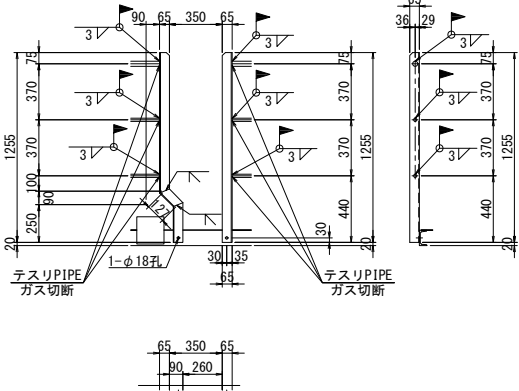
受け台位置断面



A' 加工詳細図 S=1:50



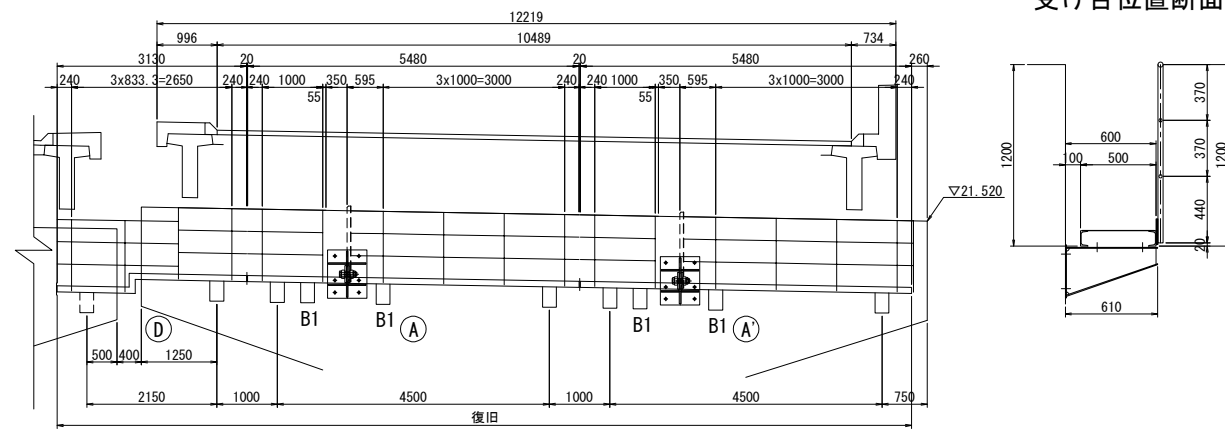
A加工詳細図 S=1:50



- 注記)
1. 特記なき材質は全てSS400とする。
 2. 特記なきスカーラップはR35とする。
 3. ナットは全て緩み止めナットを使用すること。
 4. 部材は全て溶融亜鉛めっきを施す。
垂鉛の塗膜は JIS H 8641 HDZT77とする。
但し、厚さ3.2mm未満の鋼材及び
ボルト・ナット類はHDZT49とする。

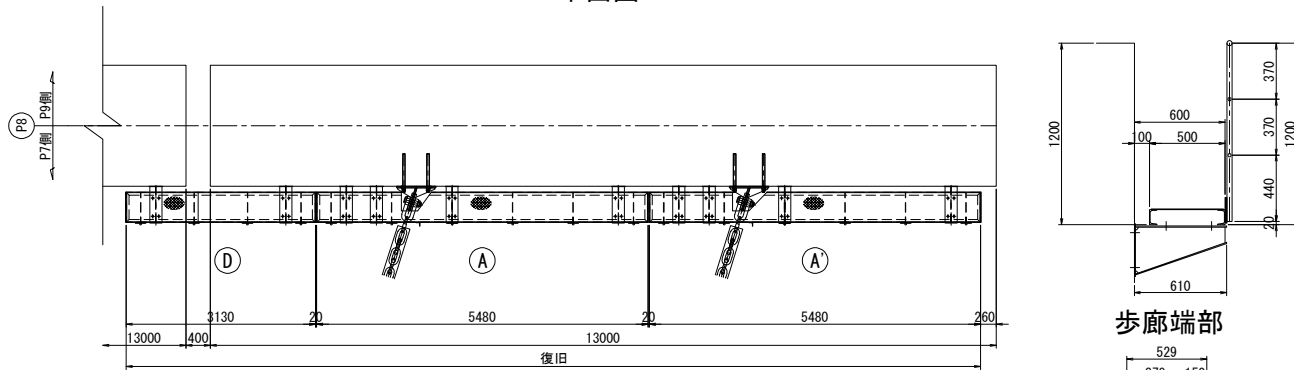
館山自動車道 大鳥居高架橋耐震補強工事			
図面の種類	大鳥居高架橋(上下線) 下部工検査路復旧図(その1)		
	縮 尺	図示	図面番号 /
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名	東日本高速道路株式会社 関東支社		
事務所名	市 原 管 理 事 務 所		

正面図



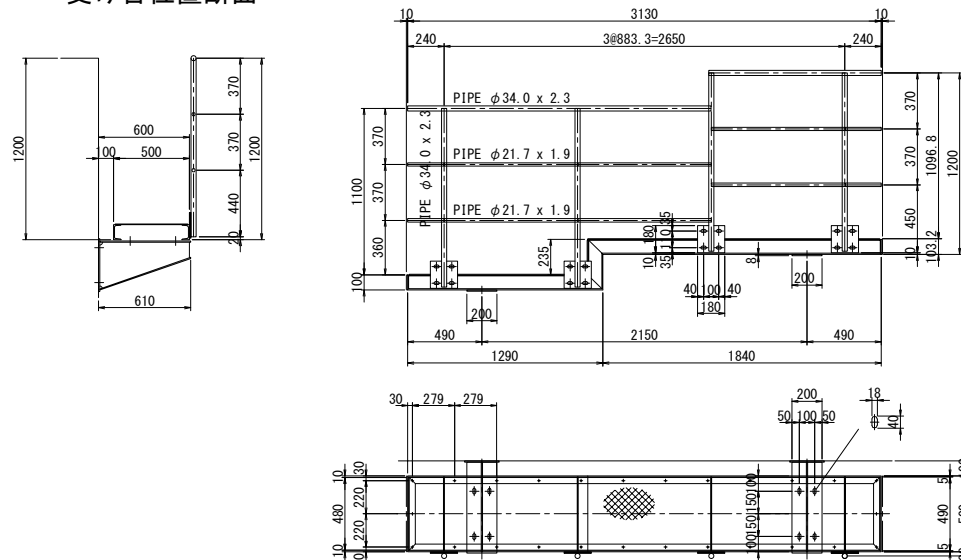
- | D 1ヶ所当り(1ヶ所) | A 1ヶ所当り(1ヶ所) | A' 1ヶ所当り(1ヶ所) |
|---------------------------|---------------------------|---------------------------|
| 1-PIPE φ34.0×2.3×2004(復旧) | 1-PIPE φ34.0×2.3×1292(加工) | 1-PIPE φ34.0×2.3×1292(加工) |
| 1-PIPE φ34.0×2.3×1120(復旧) | 1-PIPE φ34.0×2.3×3767(加工) | 1-PIPE φ34.0×2.3×3767(加工) |
| 4-PIPE φ34.0×2.3×1180(復旧) | 6-PIPE φ34.0×2.3×1180(復旧) | 7-PIPE φ34.0×2.3×1180(復旧) |
| 6-PIPE φ21.7×2.0×884(復旧) | L-65×65×6×1255(新設) | 1-PIPE φ34.0×2.3×526(復旧) |
| 4-PIPE φ21.7×2.0×240(復旧) | 8-PIPE φ21.7×2.0×1000(復旧) | L-65×65×6×355(新設) |
| 2-CAP φ34×3.2(復旧) | 2-PIPE φ21.7×2.0×530(加工) | 8-PIPE φ21.7×2.0×1000(復旧) |
| 8-CLP 180×6×180(復旧) | 2-PIPE φ21.7×2.0×240(復旧) | 2-PIPE φ21.7×2.0×530(加工) |
| 16-BN M16×40(新設) | 2-CAP φ34×3.2(復旧) | 2-PIPE φ21.7×2.0×240(復旧) |
| | 12-CLP 180×6×180(復旧) | 2-PIPE φ21.7×2.0×648(復旧) |
| | 24-BN M16×40(新設) | 2-CAP φ34×3.2(復旧) |
| | 1-BN M16×40(新設) | 14-CLP 180×6×180(復旧) |
| | | 28-BN M16×40(新設) |
| | | 1-BN M16×40(新設) |

平面图

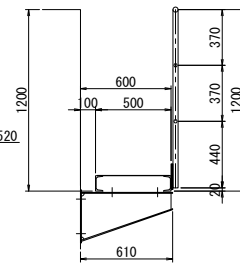


- | D 1ヶ所当り(1ヶ所) | A 1ヶ所当り(1ヶ所) | A' 1ヶ所当り(1ヶ所) |
|-----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|
| 2- [100×50×5×7.5×1940 (復旧)] | 1- [100×50×5×7.5×5480 (復旧)] | 1- [100×50×5×7.5×5480 (復旧)] |
| 2- [100×50×5×7.5×1290 (復旧)] | 1- [100×50×5×7.5×1400 (加工)] | 1- [100×50×5×7.5×1380 (加工)] |
| 2- [100×50×5×7.5×500 (復旧)] | 1- [100×50×5×7.5×3617 (加工)] | 1- [100×50×5×7.5×3578 (加工)] |
| 2- [100×50×5×7.5×335 (復旧)] | 2- [100×50×5×7.5×500 (復旧)] | 2- [100×50×5×7.5×500 (復旧)] |
| 4-FB50×6×6×490 (復旧) | 6-FB50×6×6×490 (復旧) | 6-FB50×6×6×490 (復旧) |
| 2-PL200×8×8×520 (復旧) | 2-PL200×8×8×520 (復旧) | 2-PL200×8×8×520 (復旧) |
| 1-CHPL480×3.2×1930 (復旧) | 2-PL200×8×8×520 (新設) | 2-PL200×8×8×520 (新設) |
| 1-CHPL480×3.2×1190 (復旧) | 1-CHPL480×3.2×5450 (復旧) | 1-CHPL480×3.2×5450 (復旧) |
| 1-CHPL480×3.2×230 (復旧) | 52-BN M10×30 (新設) | 52-BN M10×30 (新設) |
| 26-BN M10×30 (新設) | | |

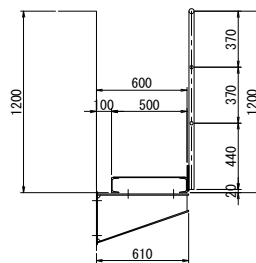
受け台位置断面



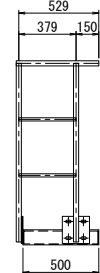
受台位置断面



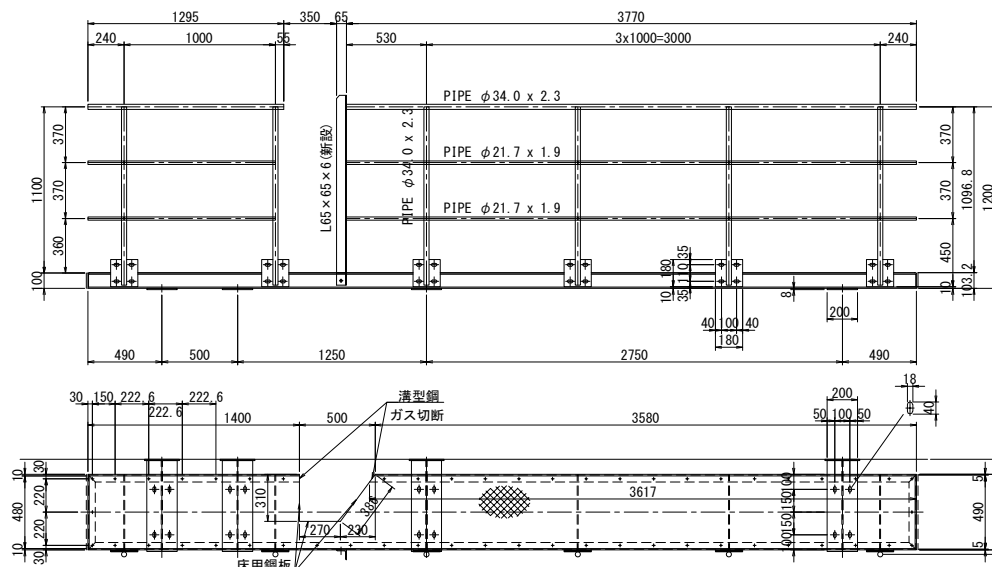
受け台位置断面



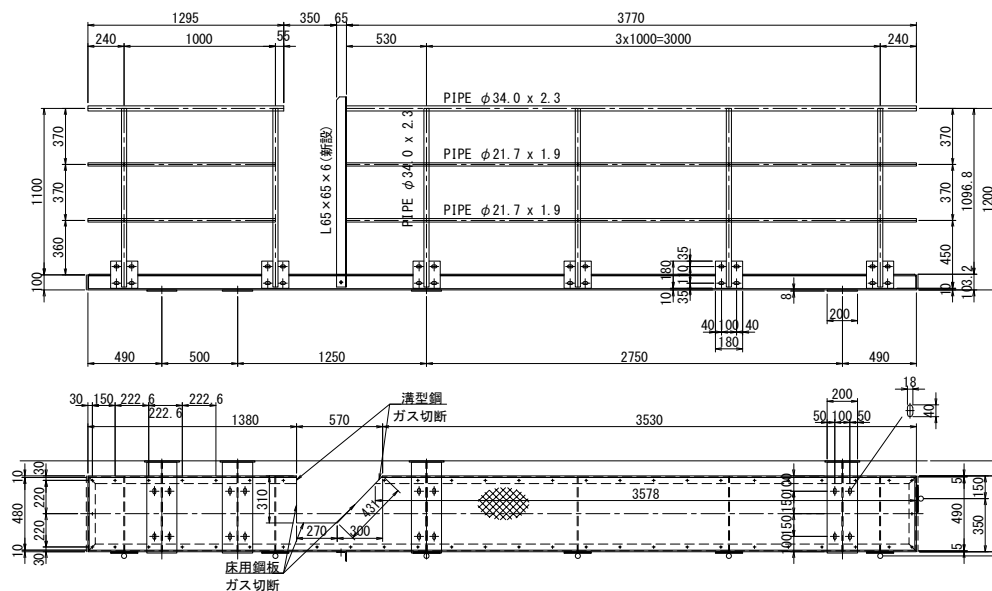
歩廊端部



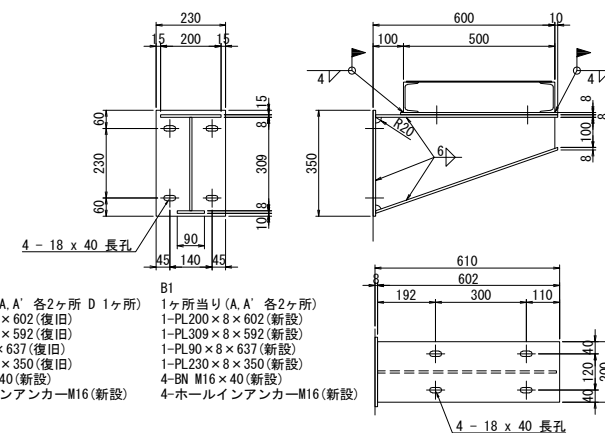
④ 詳細図 S=1:50



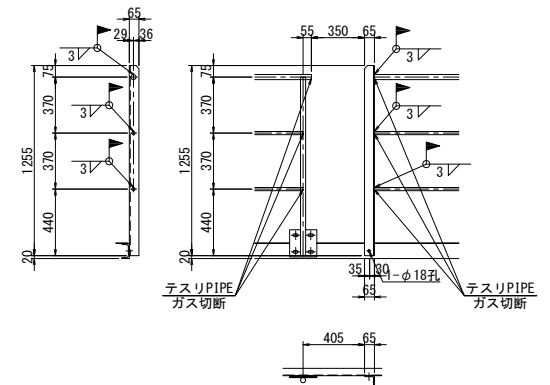
④A' 詳細図 S=1:50



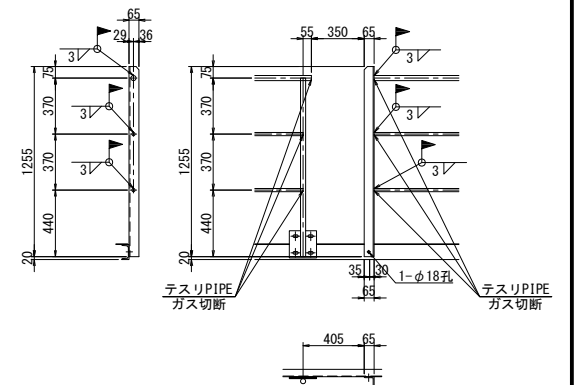
ブラケット詳細図 S=1:25



A加工詳細図 S=1:50



A' 加工詳細図 S=1:50

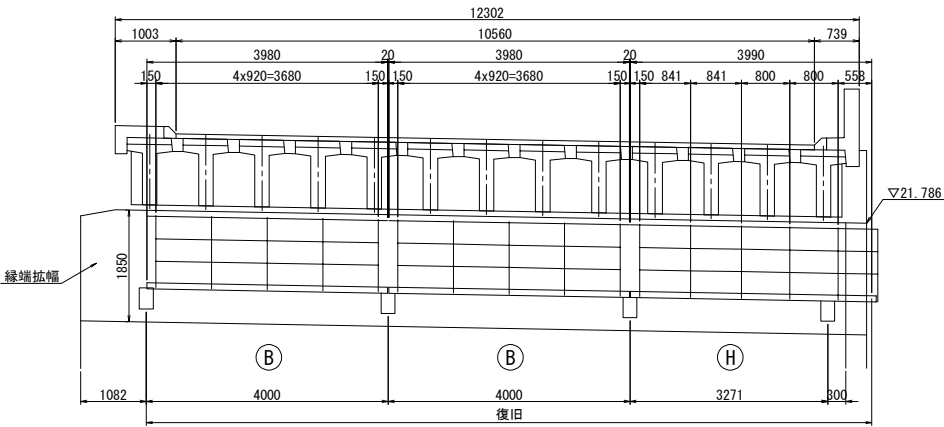


注記)

1. 特記なき材質は全てSS400とする。
2. 特記なきスカーラップはR35とする。
3. ナットは全て緩み止めナットを使用すること。
4. 部材は全て溶融亜鉛めっきを施す。
亜鉛の塗膜は JIS H 8641 HDZT77とする。
但し、厚さ3.2mm未満の鋼材及び
ボルト・ナット類はHDZT49とする。

館山自動車道 大島居高架橋耐震補強工事			
図面の種類	大島居高架橋(上下線) 下部工検査路復旧図(その2)		
	縮 尺	図示	図面番号 /
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 市 原 管 理 事 務 所		

正面図



① 1ヶ所当り (2ヶ所)

1-PIPE φ34.0×2.3×3980(復旧)
5-PIPE φ34.0×2.3×1190(復旧)
8-PIPE φ21.7×1.9×894(復旧)
5-PL180×6×180(復旧)
20-BN M16×40(新設)

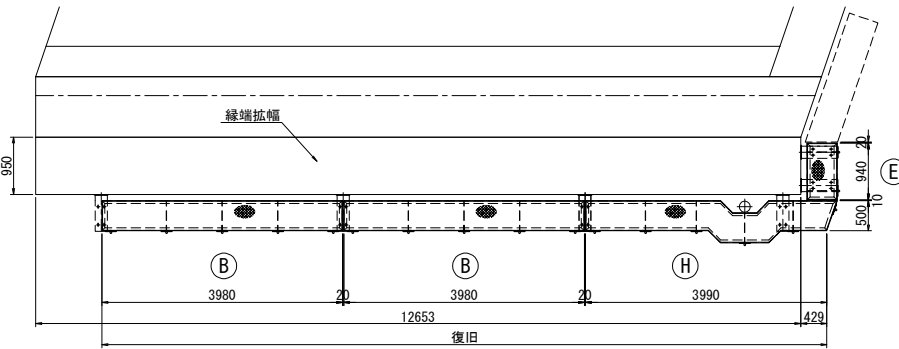
② 1ヶ所当り (1ヶ所)

1-PIPE φ34.0×2.3×4189(復旧)
1-PIPE φ34.0×2.3×561(復旧)
6-PIPE φ34.0×2.3×1190(復旧)
4-PIPE φ21.7×1.9×815(復旧)
4-PIPE φ21.7×1.9×857(復旧)
2-PIPE φ21.7×1.9×574(復旧)
2-PIPE φ21.7×1.9×394(復旧)
6-PL180×6×180(復旧)
24-BN M16×40(新設)

③ 1ヶ所当り (1ヶ所)

1-PIPE φ34.0×2.3×940(新設)
2-PIPE φ34.0×2.3×1190(新設)
2-PIPE φ21.7×1.9×640(新設)
2-PL180×6×180(新設)
8-BN M16×40(新設)

平面図



④ 1ヶ所当り (2ヶ所)

1-CHPL480×3.2×3960(復旧)
2-[100×50×5×7.5×3980(復旧)
2-L75×75×6×490(復旧)
3-FB50×6×490(復旧)
2-PL80×8×520(復旧)
5-PL180×6×180(復旧)
38-BN M10×30(新設)

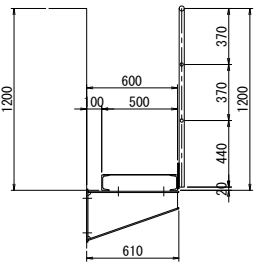
⑤ 1ヶ所当り (1ヶ所)

1-CHPL480×3.2×1200(復旧)
1-CHPL480×3.2×2022(復旧)
1-CHPL480×3.2×919(復旧)
1-[100×50×5×7.5×2232(復旧)
1-[100×50×5×7.5×2053(復旧)
1-[100×50×5×7.5×1129(復旧)
1-[100×50×5×7.5×779(復旧)
1-[100×50×5×7.5×529(復旧)
1-[100×50×5×7.5×800(復旧)
1-[100×50×5×7.5×442(復旧)
4-[100×50×5×7.5×304(復旧)
1-[100×50×5×7.5×528(復旧)
1-L75×75×6×490(復旧)
4-FB50×6×490(復旧)
1-PL200×8×520(復旧)
1-PL80×8×520(復旧)
6-PL180×6×180(復旧)
37-BN M10×30(新設)

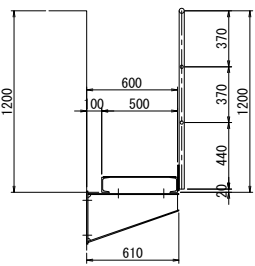
⑥ 1ヶ所当り (1ヶ所)

1-CHPL480×3.2×920(新設)
2-[100×50×5×7.5×500(新設)
2-[100×50×5×7.5×940(新設)
2-FB50×6×490(新設)
2-PL200×8×520(新設)
2-PL180×6×180(新設)
12-BN M10×30(新設)

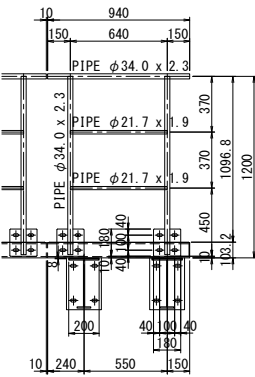
受け台位置断面



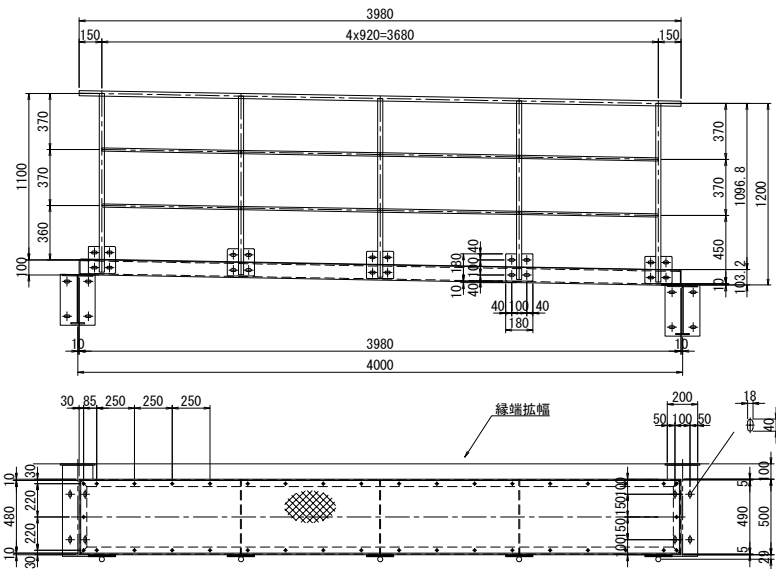
受け台位置断面



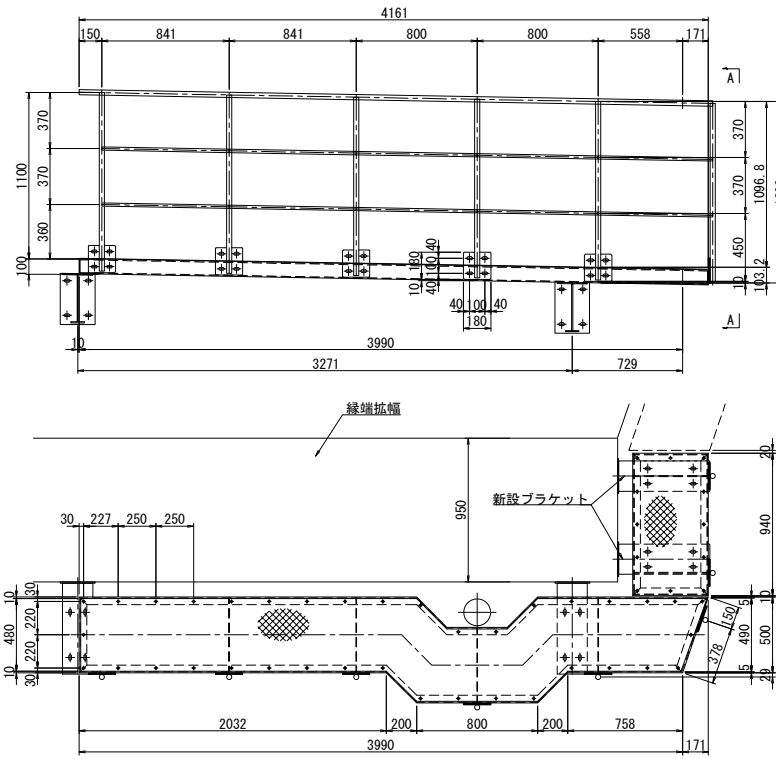
A-A S=1:50



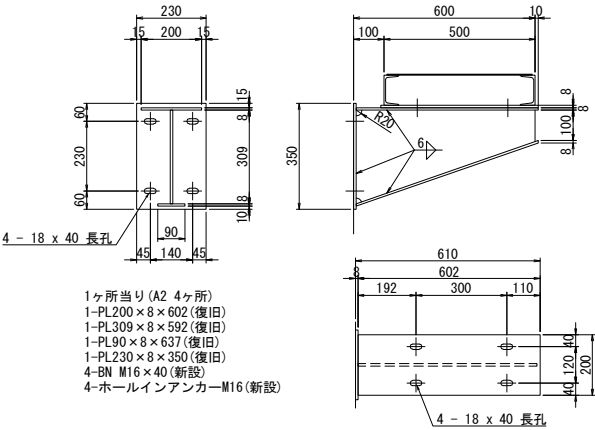
⑦ 詳細図 S=1:50



⑧ 詳細図 S=1:50



ブラケット詳細図 S=1:25



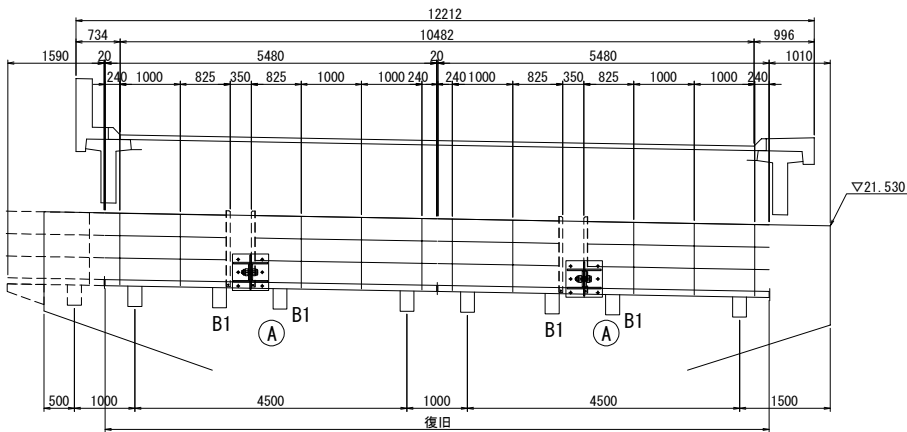
1ヶ所当り (A2 4ヶ所)
1-PL200×8×602(復旧)
1-PL309×8×592(復旧)
1-PL90×8×637(復旧)
1-PL230×8×350(復旧)
4-BN M16×40(新設)
4-ホールインアンカー-M16(新設)

1ヶ所当り (A2 2ヶ所)
1-PL200×8×602(新設)
1-PL309×8×592(新設)
1-PL90×8×637(新設)
1-PL230×8×350(新設)
4-BN M16×40(新設)
4-ホールインアンカー-M16(新設)

注記)
1. 特記なき材質は全てSS400とする。
2. 特記なきスカーラップはR35とする。
3. ナットは全て緩み止めナットを使用すること。
4. 部材は全て溶融亜鉛めっきを施す。
垂鉛の塗膜は JIS H 8641 HDZT77とする。
但し、厚さ3.2mm未満の鋼材及び
ボルト・ナット類はHDZT49とする。

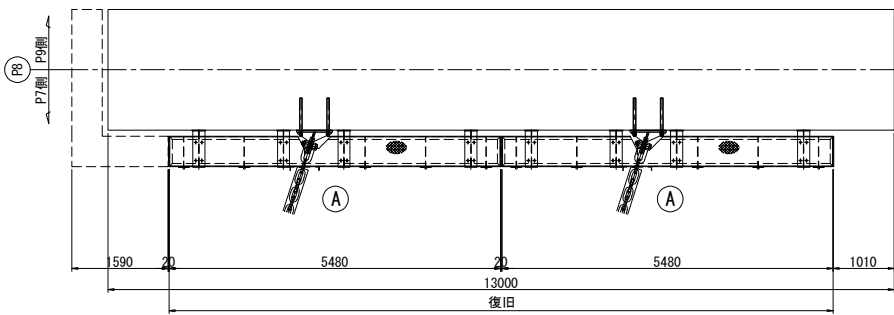
館山自動車道 大鳥居高架橋耐震補強工事			
図面の種類	大鳥居高架橋(上下線) 下部工検査路復旧図(その3)		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 市 原 管 理 事 務 所		

正面図



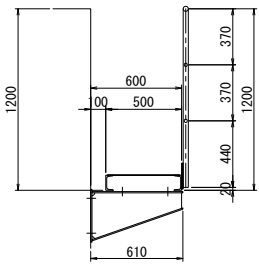
- ① 1ヶ所当り(2ヶ所)
- 1-PIPE φ34.0×2.3×1997(加工)
 - 1-PIPE φ34.0×2.3×2997(加工)
 - 5-PIPE φ34.0×2.3×1180(復旧)
 - 2-L65×65×6×1255(新設)
 - 6-PIPE φ21.7×2.0×1000(復旧)
 - 4-PIPE φ21.7×2.0×760(加工)
 - 4-PIPE φ21.7×2.0×240(復旧)
 - 2-CAP φ34×3.2(復旧)
 - 10-PL180×6×180(復旧)
 - ※ 1-PL90×6×180(加工)
 - 20-BN M16×40(新設)
 - 2-BN M16×40(新設)
- ※ はガス切断を行う。

平面図

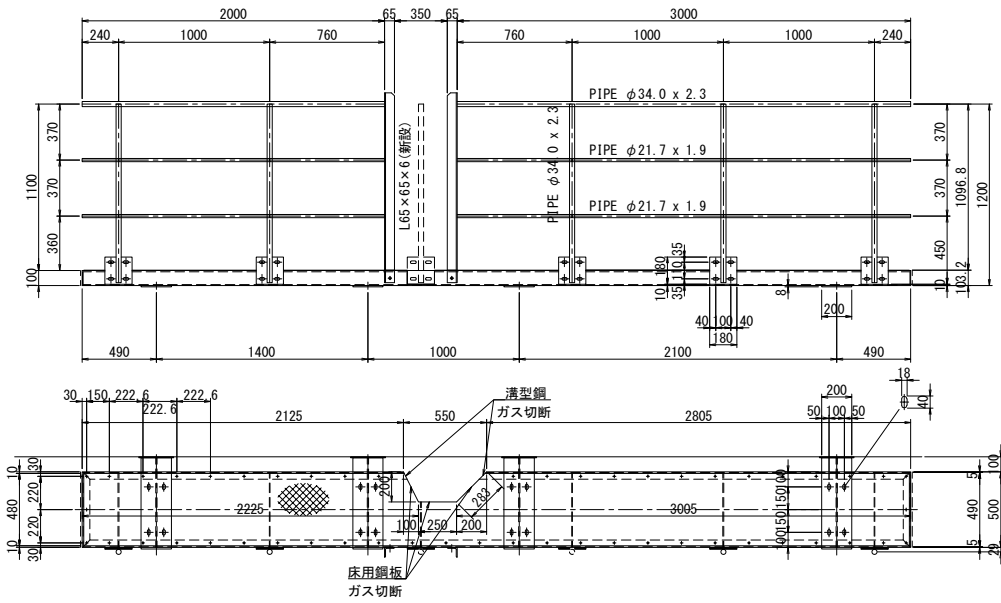


- ① 1ヶ所当り(2ヶ所)
- 1-[100×50×5×7.5×5480(復旧)
 - 1-[100×50×5×7.5×2225(加工)
 - 1-[100×50×5×7.5×3005(加工)
 - 2-[100×50×5×7.5×500(復旧)
 - 6-FB50×6×490(復旧)
 - 2-PL200×8×520(復旧)
 - 2-PL200×8×520(新設)
 - 1-CHPL480×3.2×5460(復旧)
 - 51-BN M10×30(新設)

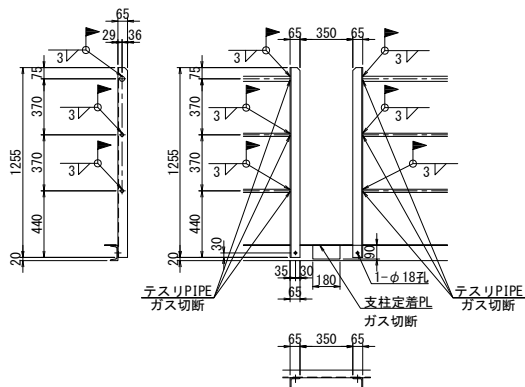
受け台位置断面



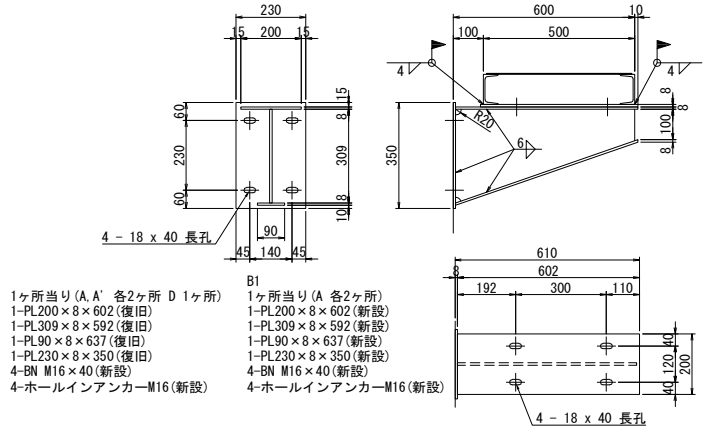
① 詳細図 S=1:50



A加工詳細図 S=1:50



ブラケット詳細図 S=1:25

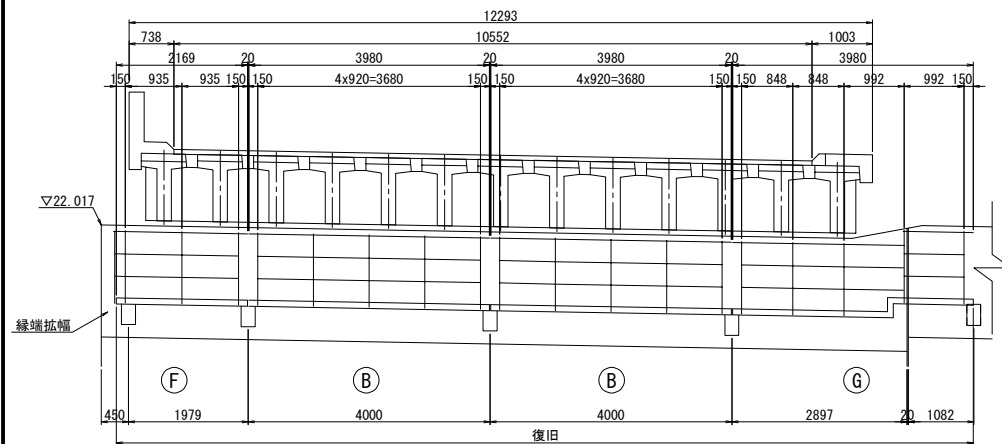


注記)
1. 特記なき材質は全てSS400とする。
2. 特記なきスカーラップはR35とする。
3. ナットは全て緩み止めナットを使用すること。
4. 部材は全て溶融亜鉛めっきを施す。
垂鉛の塗膜は JIS H 8641 HDZT77とする。
但し、厚さ3.2mm未満の鋼材及び
ボルト・ナット類はHDZT49とする。

館山自動車道 大鳥居高架橋耐震補強工事			
図面の種類	大鳥居高架橋(上下線)		
	下部工検査路復旧図(その4)		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 市 原 管 理 事 務 所		

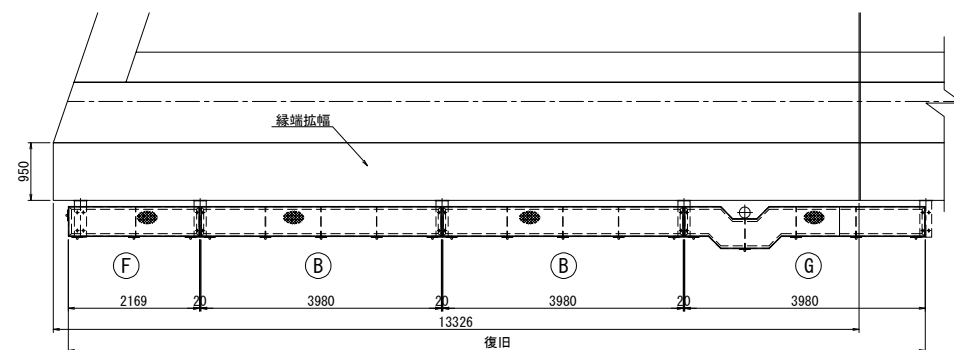
(下り線) A2橋台

正面図



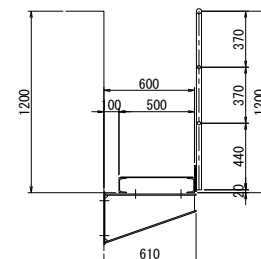
- | F 1ヶ所所当り(1ヶ所) | B 1ヶ所所当り(2ヶ所) | G 1ヶ所所当り(1ヶ所) |
|---------------------------|---------------------------|---------------------------|
| 1-PIPE φ34.0×2.3×215(復旧) | 1-PIPE φ34.0×2.3×3080(復旧) | 1-PIPE φ34.0×2.3×3004(復旧) |
| 2-PIPE φ34.0×2.3×540(復旧) | 5-PIPE φ34.0×2.3×1190(復旧) | 1-PIPE φ34.0×2.3×1207(復旧) |
| 4-PIPE φ34.0×2.3×1190(復旧) | 8-PIPE φ21.7×1.9×894(復旧) | 1-PIPE φ34.0×2.3×1509(復旧) |
| 4-PIPE φ21.7×1.9×909(復旧) | 5-PL180 φ6×180(復旧) | 4-PIPE φ34.0×2.3×1190(復旧) |
| 2-PIPE φ21.7×1.9×377(復旧) | 20-BN M16×40(新設) | 2-PIPE φ21.7×1.9×905(復旧) |
| 2-PIPE φ21.7×1.9×177(復旧) | | 4-PIPE φ21.7×1.9×956(復旧) |
| 4-PL180 φ6×180(復旧) | | 5-PL180 φ6×180(復旧) |
| 16-BN M16×40(新設) | | 20-BN M16×40(新設) |

平面図

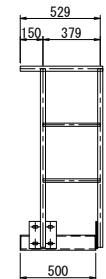


- | ① 1ヶ所当り (1ヶ所) | ② 1ヶ所当り (2ヶ所) | ③ 1ヶ所当り (1ヶ所) |
|---------------------------|---------------------------|---------------------------|
| 1-CHPL480×3.2×2149 (復旧) | 1-CHPL480×3.2×3960 (復旧) | 1-CHPL680×3.2×1200 (復旧) |
| 2-[100×50×5×7.5×2169 (復旧) | 2-[100×50×5×7.5×3980 (復旧) | 1-CHPL480×3.2×388 (復旧) |
| 1-[100×50×5×7.5×500 (復旧) | 2-L75×75×6×490 (復旧) | 1-CHPL480×3.2×963 (復旧) |
| 1-L75×75×6×490 (復旧) | 3-FB50×6×490 (復旧) | 1-CHPL480×3.2×232 (復旧) |
| 1-FB50×6×490 (復旧) | 2-PL80×8×520 (復旧) | 1-CHPL480×3.2×1409 (復旧) |
| 1-PL200×8×520 (復旧) | 5-PL180×6×180 (復旧) | 2-[100×50×5×7.5×1419 (復旧) |
| 1-PL80×8×520 (復旧) | 38-BN M10×30 (新設) | 2-[100×50×5×7.5×332 (復旧) |
| 4-PL180×6×180 (復旧) | | 1-[100×50×5×7.5×1163 (復旧) |
| 22-BN M10×30 (新設) | | 1-[100×50×5×7.5×984 (復旧) |
| | | 1-[100×50×5×7.5×598 (復旧) |
| | | 1-[100×50×5×7.5×419 (復旧) |
| | | 1-[100×50×5×7.5×800 (復旧) |
| | | 1-[100×50×5×7.5×442 (復旧) |
| | | 4-[100×50×5×7.5×304 (復旧) |
| | | 2-L75×75×6×490 (復旧) |
| | | 3-FB50×6×490 (復旧) |
| | | 2-PL80×8×520 (復旧) |
| | | 5-PL180×6×180 (復旧) |
| | | 42-BN M10×30 (新設) |

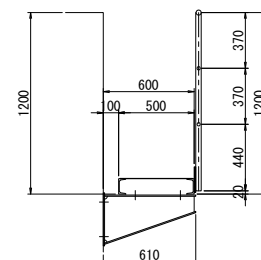
受け台位置断面



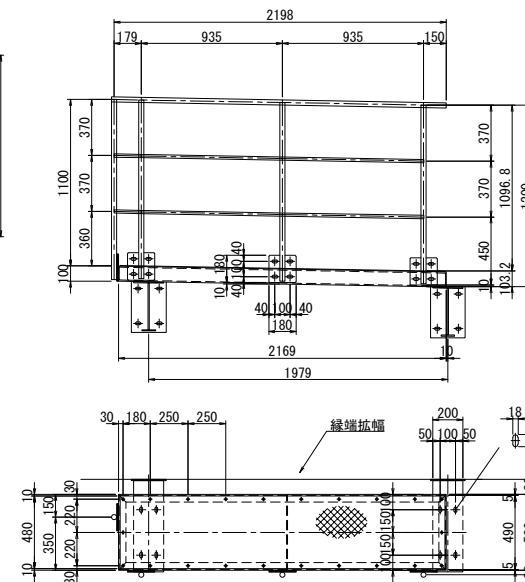
歩廊端部



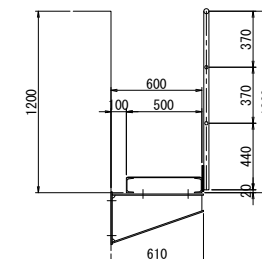
受け台位置断面



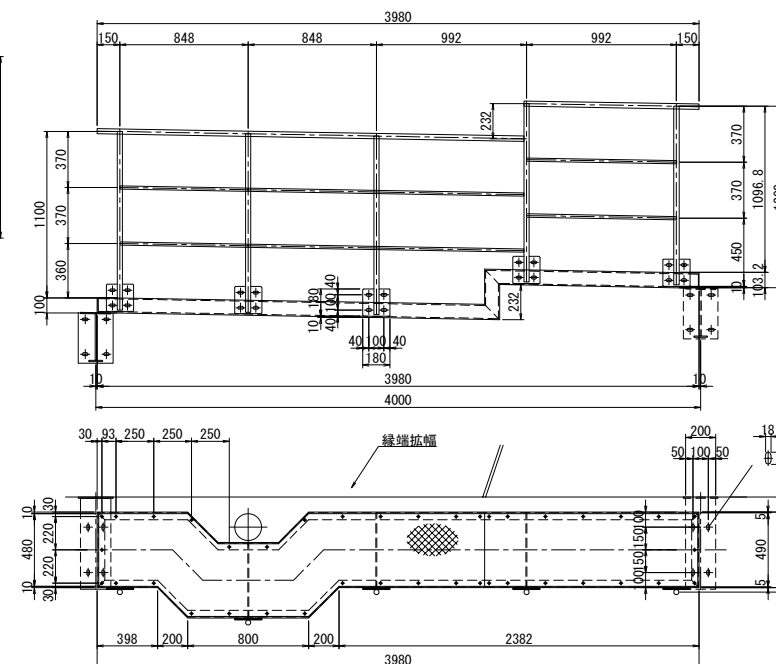
④ 詳細図 S=1:50



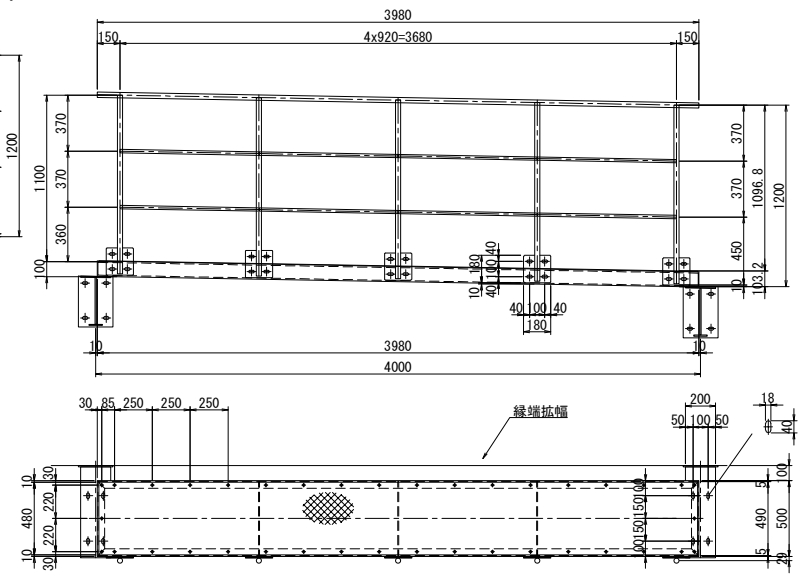
受け台位置断面



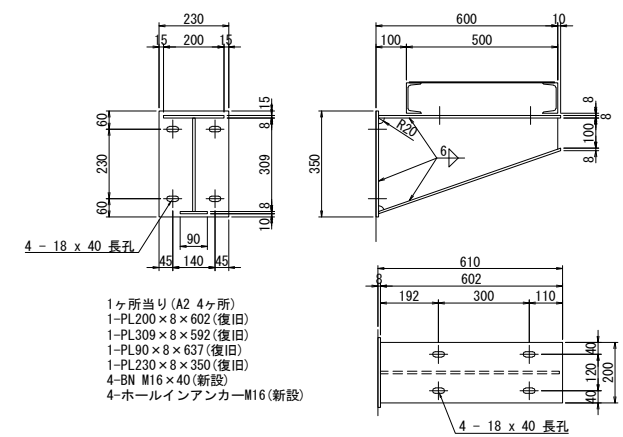
① 詳細図 S=1:50



④ 詳細図 S=1:50



ブラケット詳細図 S=1:25



注記)

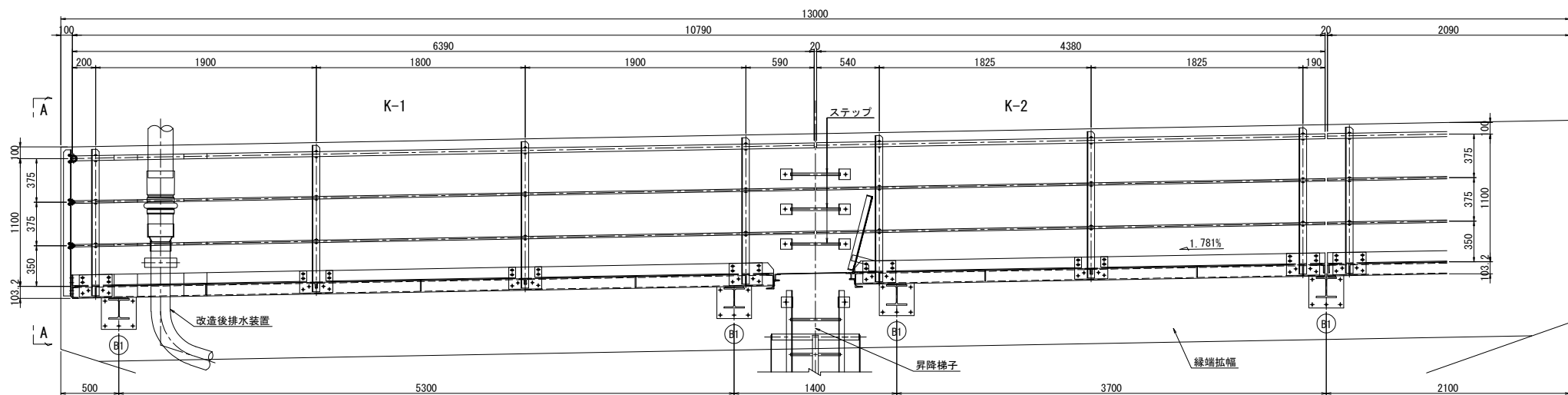
1. 特記なき材質は全てSS400とする。
2. 特記なきスカーラップはR35とする。
3. ナットは全て緩み止めナットを使用すること。
4. 部材は全て溶融亜鉛めっきを施す。
亜鉛の塗膜は JIS H 8641 HDZT77とする。
但し、厚さ3.2mm未満の鋼材及び
ボルト・ナット類はHDZT49とする。

館山自動車道 大島高架橋耐震補強工事			
図面の種類	大島高架橋(上下線) 下部工検査履歴復旧図(その5)		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 市 原 管 理 事 務 所		

大鳥居高架橋(上下線) 下部工検査路詳細図(その1) S=1:50
(上り線) P8橋脚(終点側)

85 / 111

正面図

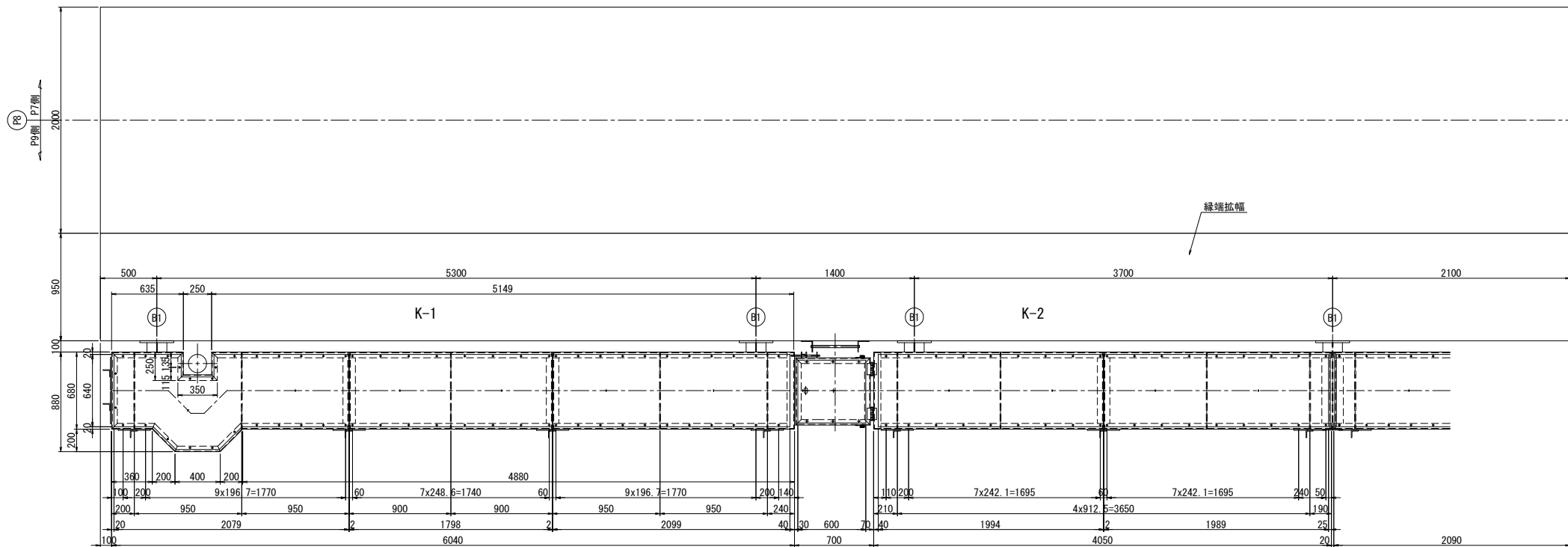


K-1 (製作数: 1)
1-PIPE φ42. 7x2. 3x373 (STK400)
2-PIPE φ42. 7x2. 3x301 (STK400)
1-PIPE φ42. 7x2. 3x410 (STK400)
1-PIPE φ42. 7x2. 3x5243 (STK400)
2-PIPE φ21. 7x1. 9x364 (STK400)
4-PIPE φ21. 7x1. 9x292 (STK400)
2-PIPE φ21. 7x1. 9x410 (STK400)
2-PIPE φ21. 7x1. 9x5234 (STK400)
4-L 65x65x6x1258
1-PL 90x3. 2x362

2-PL 90x3. 2x283
1-PL 90x3. 2x402
1-PL 90x3. 2x859
1-PL 90x3. 2x1637
1-PL 90x3. 2x2058
4-PL 190x12x288 (SM400A)
16-BN M16x45 (2-W)
16-BN M10x35 (2-W)
4-U. BOLT 呼び 32C
8-U. BOLT 呼び 15C

K-2 (製作数: 1)
1-PIPE φ42. 7x2. 3x4381 (STK400)
2-PIPE φ21. 7x1. 9x4381 (STK400)
3-L 65x65x6x1258
1-PL 90x3. 2x1955
1-PL 90x3. 2x1934
3-PL 190x12x288 (SM400A)
12-BN M16x45 (2-W)
12-BN M10x35 (2-W)
3-U. BOLT 呼び 32C
6-U. BOLT 呼び 15C

平面図

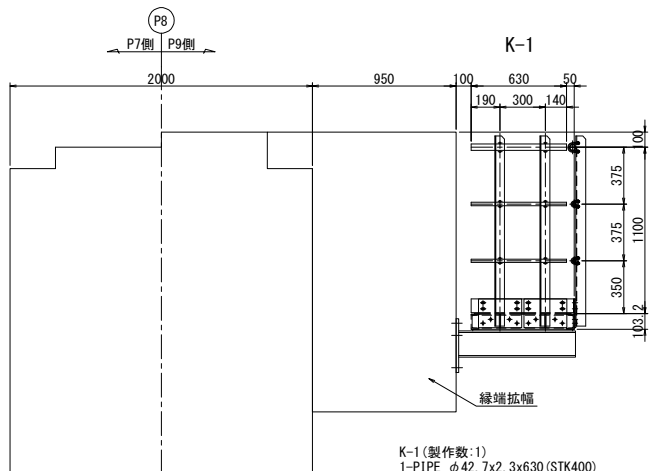


K-1 (製作数: 1)
1-Ch PL 840x3. 2x2079 (SS400相当品)
1-Ch PL 640x3. 2x1788 (SS400相当品)
1-Ch PL 640x3. 2x2089 (SS400相当品)
1-[100x50x5x7. 5x635
2-[100x50x5x7. 5x250
1-[100x50x5x7. 5x350
1-[100x50x5x7. 5x5149
1-[100x50x5x7. 5x381
2-[100x50x5x7. 5x304

1-[100x50x5x7. 5x400
1-[100x50x5x7. 5x4895
1-[100x50x5x7. 5x680
4-FB 90x9x670
1-FB 90x9x682
4-L 50x50x6x670
1-[125x65x6x8x680
64-BN M10x30 (1-W, 1-TW)
2-PL 160x12x660 (SM400A)

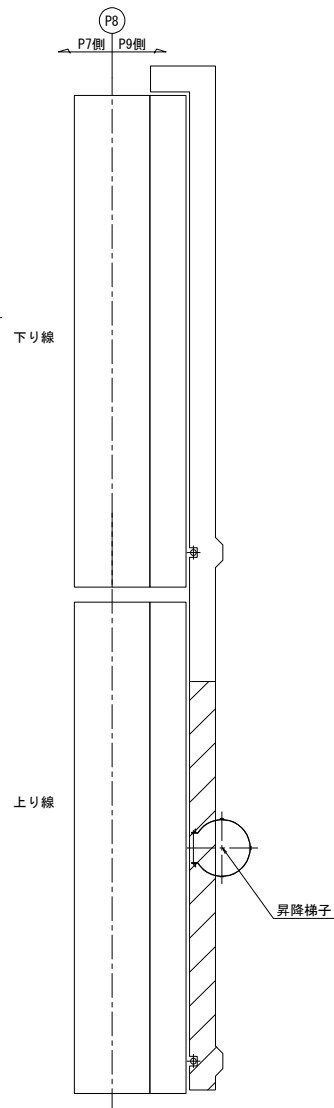
K-2 (製作数: 1)
1-Ch PL 640x3. 2x1994 (SS400相当品)
1-Ch PL 640x3. 2x1889 (SS400相当品)
2-[100x50x5x7. 5x4044
4-FB 90x9x670
2-L 50x50x6x670
1-L 75x75x6x670
1-[125x65x6x8x680
36-BN M10x30 (1-W, 1-TW)
1-PL 160x12x660 (SM400A)
1-PL 60x10x660 (SM400A)

A - A



K-1 (製作数: 1)
1-PIPE φ42. 7x2. 3x630 (STK400)
2-PIPE φ21. 7x1. 9x630 (STK400)
2-L 65x65x6x1258
1-PL 90x3. 2x680
2-PL 190x12x285 (SM400A)
8-BN M16x45 (2-W)
8-BN M10x35 (2-W)
2-U. BOLT 呼び 32C
4-U. BOLT 呼び 15C

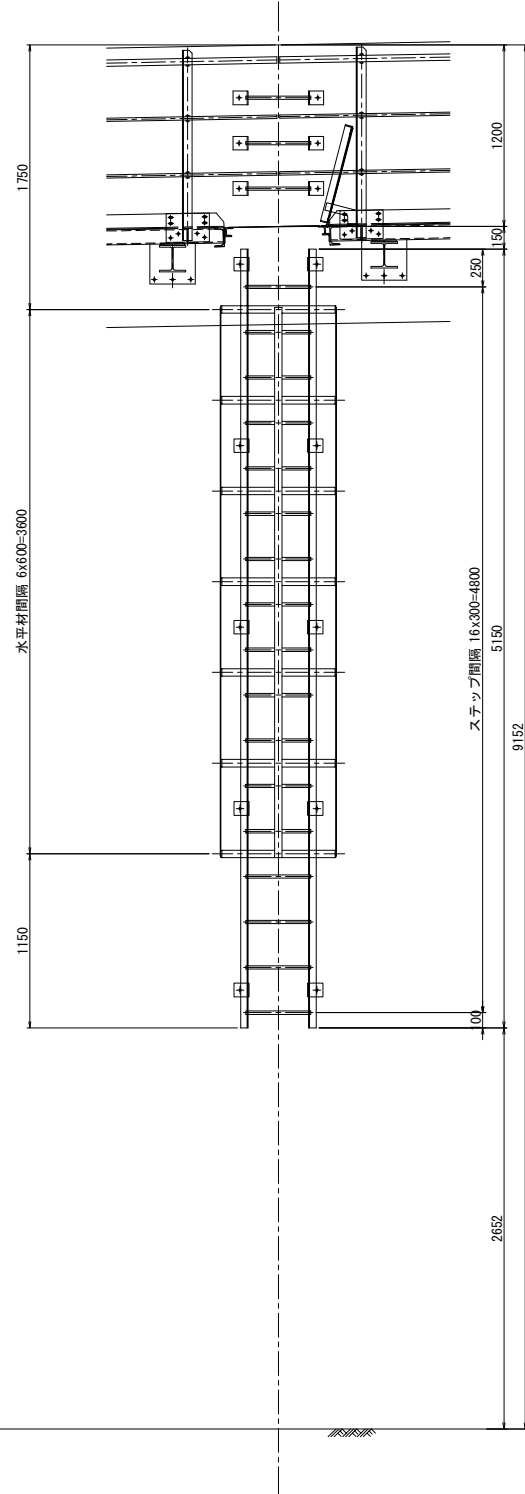
配置図 S=1:200



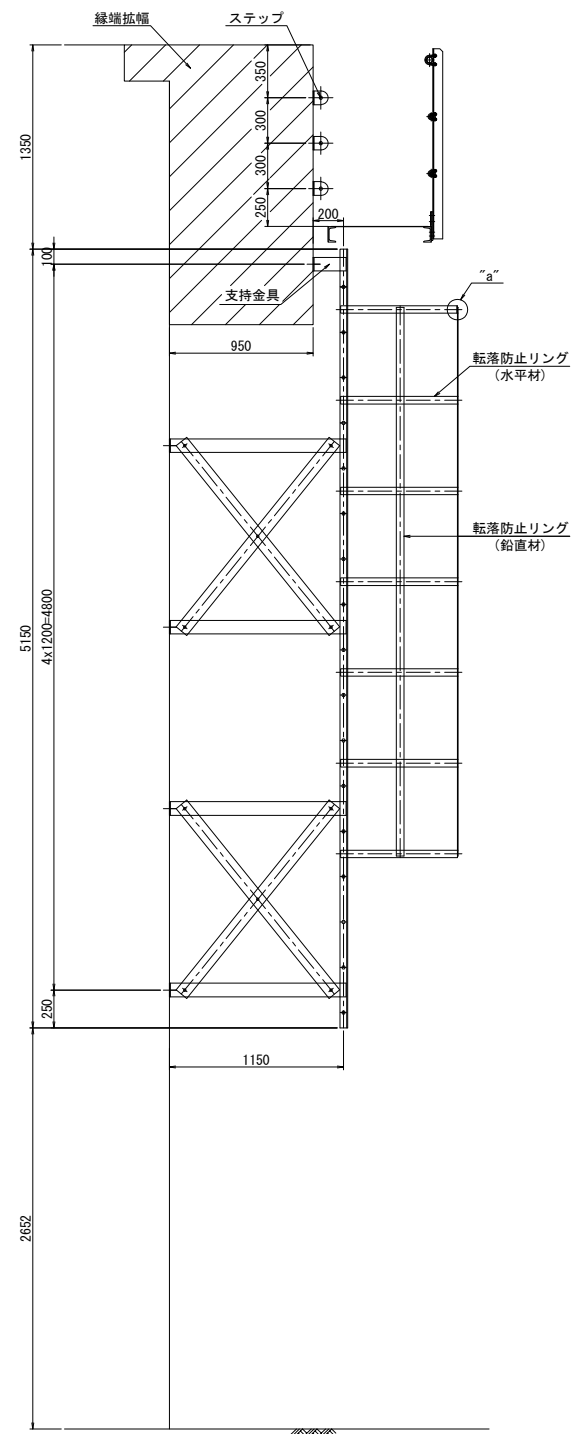
注記)
1. 特記なき材質は全てSS400とする。
2. 特記なきスカーラップはR35とする。
3. ナットは全て緩み止めナットを使用すること。
4. 部材は全て溶融亜鉛めっきを施す。
亜鉛の塗膜は JIS H 8641 HDZT77とする。
但し、厚さ3.2mm未満の鋼材及び
ボルト・ナット類はHDZT49とする。

館山自動車道 大鳥居高架橋耐震補強工事			
図面の種類	大鳥居高架橋(上下線) 下部工検査路詳細図(その1)		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 市 原 管 理 事 務 所		

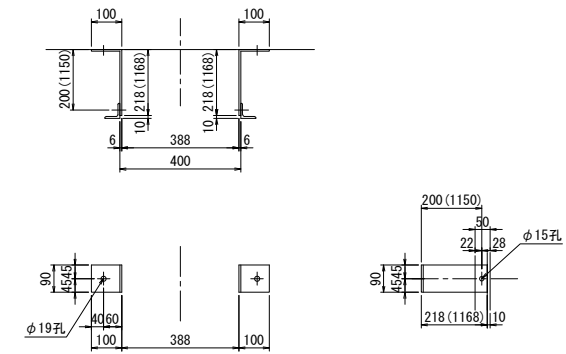
P8昇降梯子詳細



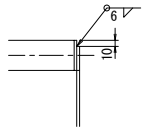
- 1箇所当り部材(製作数:1)
梯子
2-L 50x50x6x5150
17-RB φ22x430
支持金具
2-FB 90x6x3x15
8-FB 90x6x12x65
8-FB 90x6x16x12
30-BN M12x35 (2-W)
10-打ち込み式アンカー M16x125
転落防止リング
7-FB 50x4.5x2101
3-FB 50x4.5x3630
14-BN M16x40 (2-W)



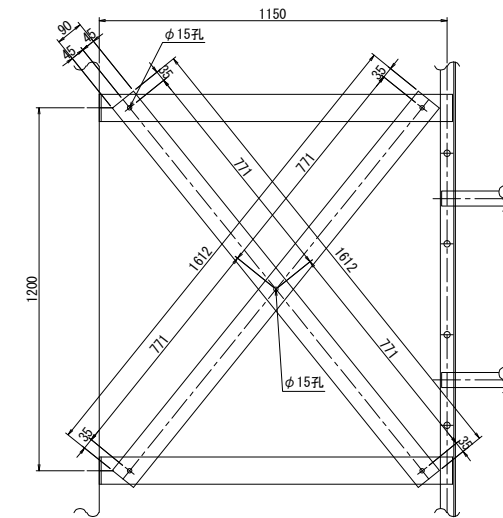
支持金具詳細 S=1:10



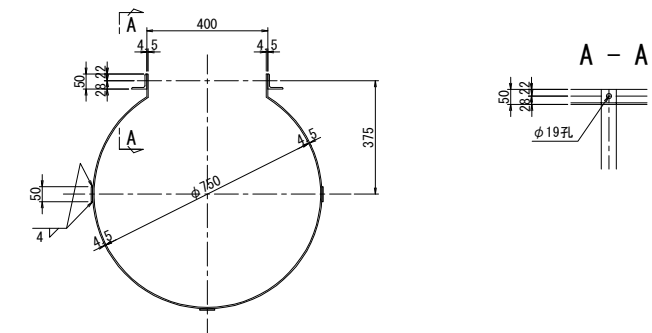
"a"部詳細 s=1:5



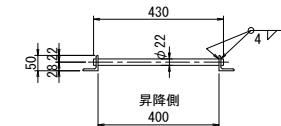
支持金具補強材詳細 S=1:10



転落防止リング詳細図 S=1:10



梯子断面図

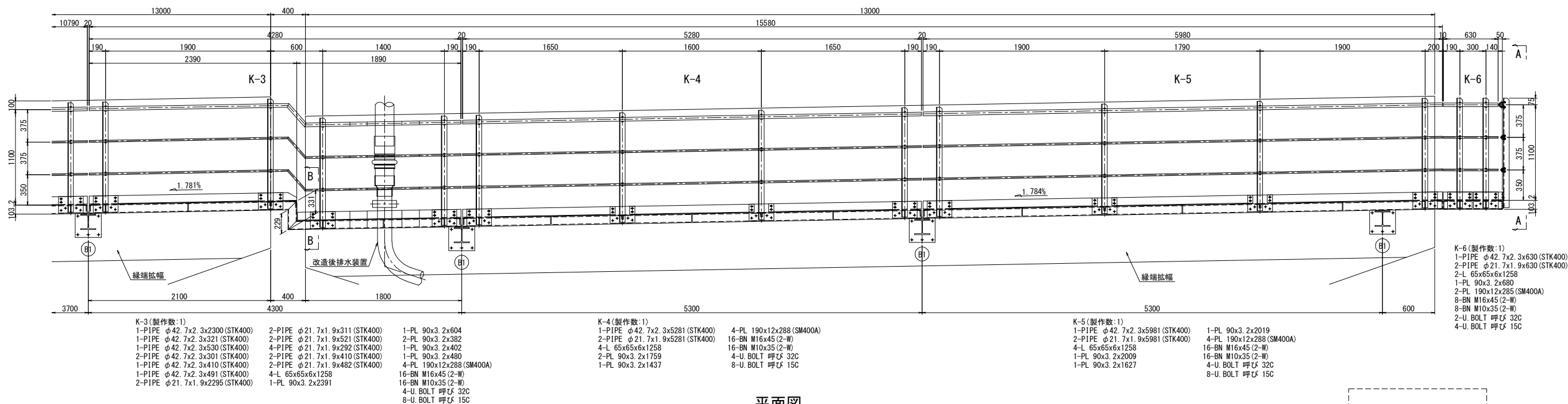


- 【注記】
1. 特記なき材質は全てSS400とする。
 2. 特記なきスカラーアップはR35とする。
 3. ナットは全て緩み止めナットを使用すること。
 4. 部材は全て溶融亜鉛めっきを施す。
亜鉛の塗膜は JIS H 8641 HDZ777とする。
但し、厚さ3.2mm未満の鋼材及び
ボルト・ナット類はHDZ49とする。

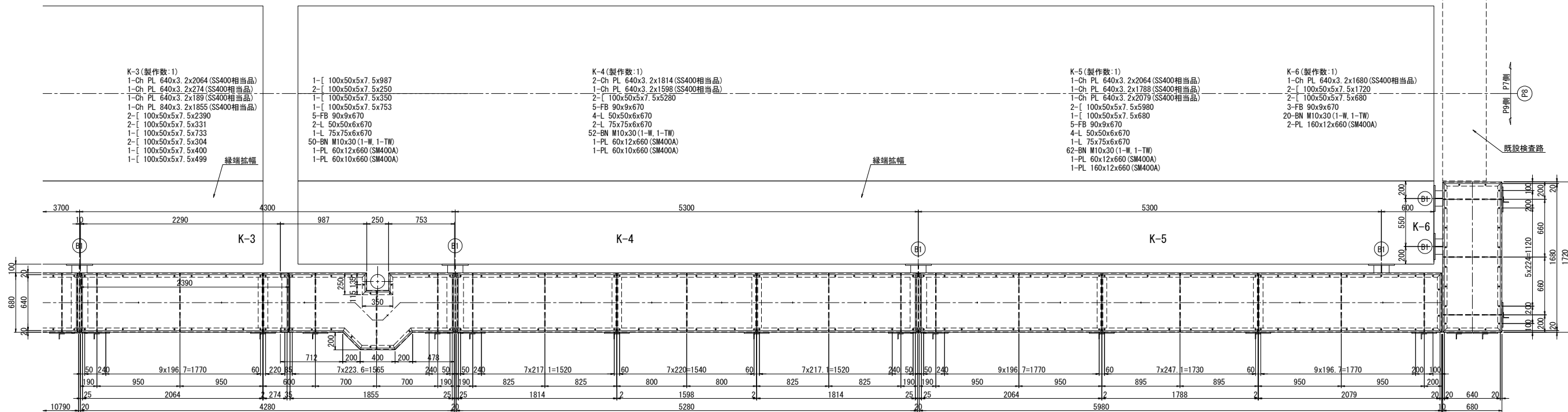
館山自動車道 大島居高架橋耐震補強工事			
図面の種類	大島居高架橋(上下線) 下部工検査路詳細(その2)		
	縮 尺	図示	図面番号 /
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 市 原 管 理 事 務 所		

(下り線) P8橋脚(終点側)

正面図

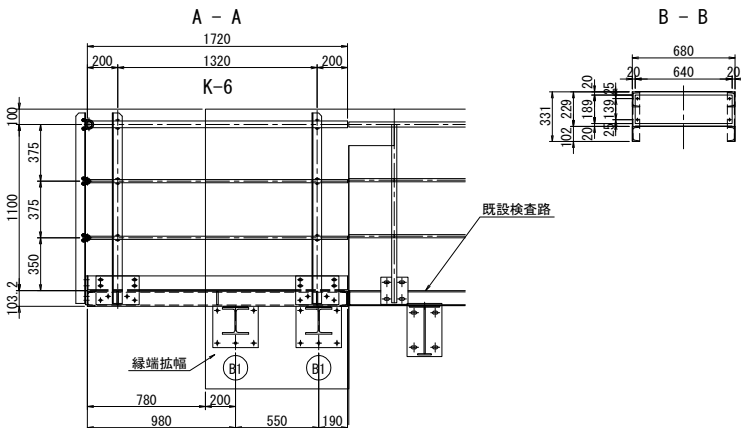


平面図



配置図 S=1:200

K-6(製作数:1)
1-PIPE φ42. 7x2. 3x1720 (STK400)
2-PIPE φ21. 7x1. 9x1720 (STK400)
2-L 65x65x6x1258
1-PL 90x3. 2x1720
2-PL 190x12x285 (SM400A)
8-BN M16x45 (2-W)
8-BN M10x35 (2-W)
2-U. BOLT 呼び 32C
4-U. BOLT 呼び 15C



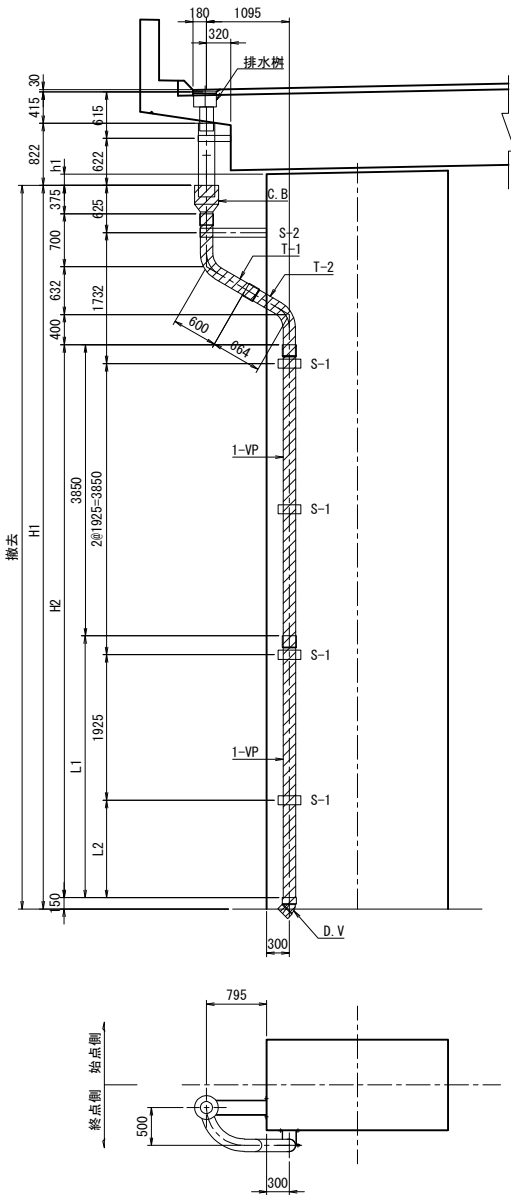
注記)
1. 特記なき材質は全てSS400とする。
2. 特記なきスカーラップはR35とする。
3. ナットは全て緩み止めナットを使用すること。
4. 部材は全て溶融亜鉛めっきを施す。
亜鉛の塗膜は JIS H 8641 HDZ177とする。
但し、厚さ3.2mm未満の鋼材及び
ボルト・ナット類はHDZ149とする。

館山自動車道 大鳥居高架橋耐震補強工事			
図面の種類	大鳥居高架橋(上下線)		
	下部工検査路詳細図(その3)		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 市 原 管 理 事 務 所		

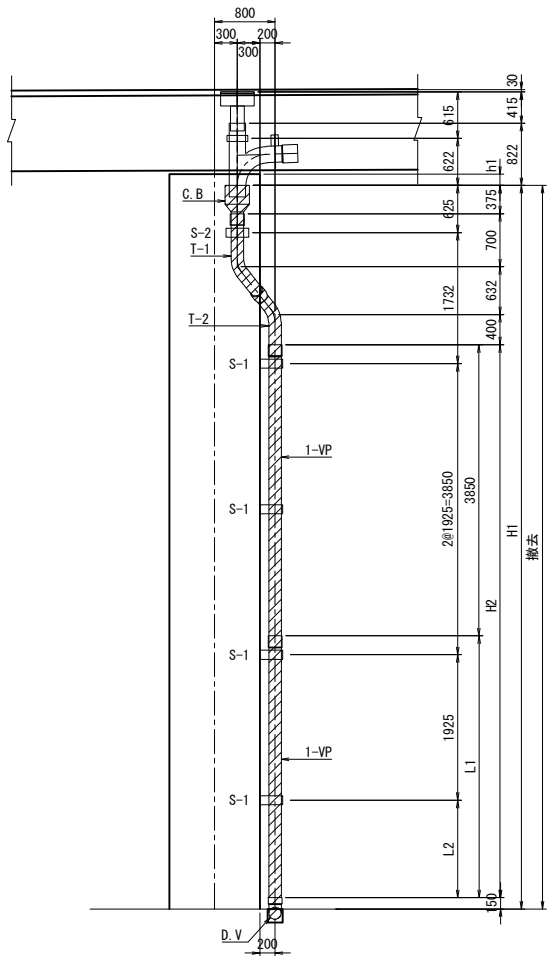
大鳥居高架橋(上下線) 排水装置撤去図(その1)

P2～P7橋脚 S=1:100
(終点側)

正面図



側面図



寸法表

橋脚	h1 (mm)	H1 (mm)	H2 (mm)	L1 (mm)	L2 (mm)	スリーブ管長 (m)	流水線延長 (m)
P2	148	9570	7313	3463	1288	7.543	10.202
P3	16	9574	7317	3467	1292	7.547	10.206
P4	158	9002	6745	2895	720	6.975	9.634
P5	158	9168	6911	3061	886	7.141	9.800
P6	158	9664	7407	3557	1382	7.637	10.296
P7	200	9547	7290	3440	1265	7.520	10.179
					合計	44.363	60.317

撤去数量

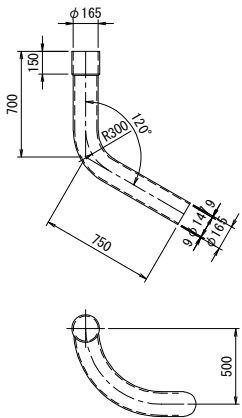
名称	形状	単位	数量							摘要
			P2	P3	P4	P5	P6	P7	合計	
受樹	C.B	個	1	1	1	1	1	1	6	
曲管	T-1 (150A)	〃	1	1	1	1	1	1	6	流水線延長 1.450m
	T-2 (150A)	〃	1	1	1	1	1	1	6	流水線延長 1.214m
スリーブ管	V.P φ150	〃	2	2	2	2	2	2	12	
取付金具	S-1 (150A)	〃	4	4	4	4	4	4	24	
	S-2 (150A)	〃	1	1	1	1	1	1	6	
45° エルボ	D.V (150A)	〃	1	1	1	1	1	1	6	

※流水線延長 (m)
・ (P2～P7) 0.375 + 1.450 - 0.150 + 1.214 - 0.150 + スリーブ管長H2 + 0.150
(受樹) (T-1長) (T-2内T-1長) (T-2長) (スリーブ管長内T-2長) (スリーブ管長H2) (B.P長)

(上り線) P2～P7橋脚

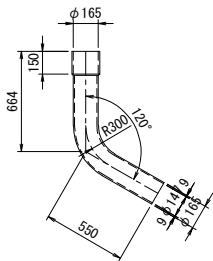
曲管 S=1:50

T-1
(VP150A)



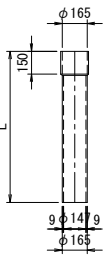
曲管 S=1:50

T-2
(VP150A)



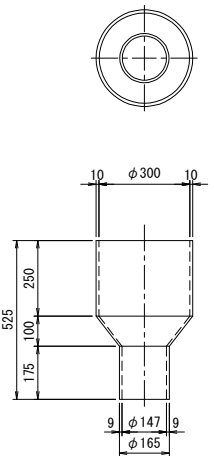
スリーブ管 S=1:50

(VP150A)



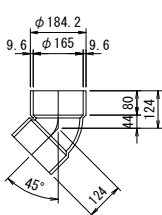
受け桧 S=1:25

C.B



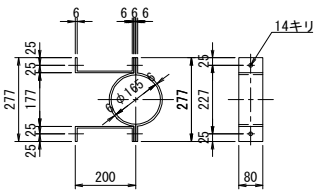
45° エルボ S=1:25

D.V



取付金具 S=1:25

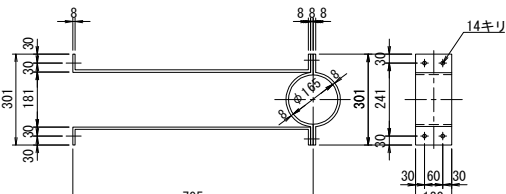
S-1



2 - PL 80 x 6 x 369
2 - PL 80 x 6 x 282
2 - B.N M12 x 40
2 - ホールインアンカー M12

取付金具 S=1:25

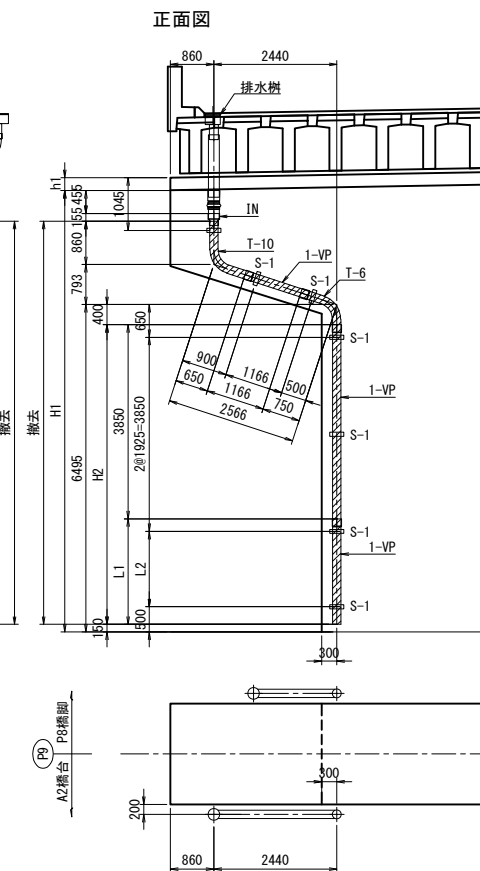
S-2



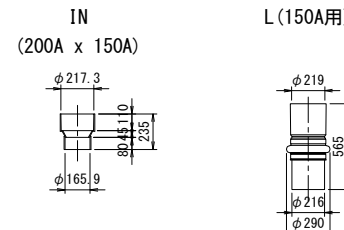
2 - PL 120 x 8 x 392
2 - PL 120 x 8 x 891
4 - B.N M12 x 40
4 - ホールインアンカー M12

館山自動車道 大鳥居高架橋耐震補強工事			
図面の種類	大鳥居高架橋(上下線) 排水装置撤去図(その1)		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 市 原 管 理 事 務 所		

P9橋脚 S=1:150



インクリーザー S=1:50 L型管 S=1:50
IN L(150A用)



取付金具 S=1:25

H2
200A 用

45.45
202.5
202.5
689~782
40
110
10
30
4.5
φ216
4.5
2-14キリ

S-1
150A 用

6
66.6
25
20
20
277
177
25
25
6
185
6
277
227
25
80
14キリ
200

2 PL 80 x 6 x 369
2 PL 80 x 6 x 282
2 B.N M12 x 40
2 ホールインアンカー M12

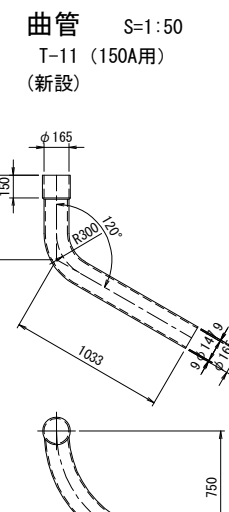
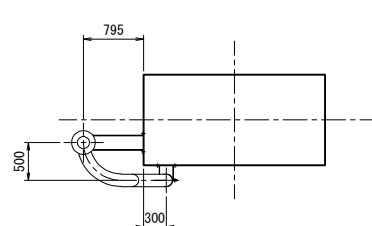
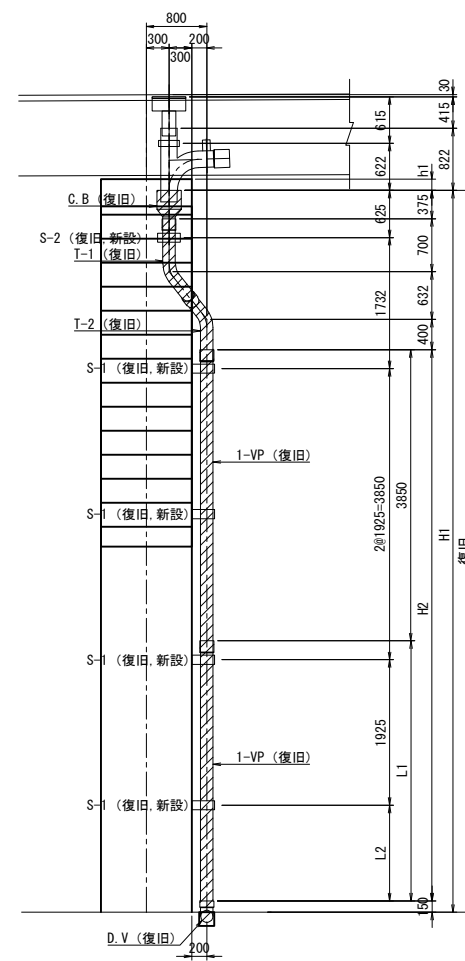
※流水線延長 (m)										取付変異		H2 (200A)		H		1		-		-		1		2	
・ (P8)		1.437	-	0.310	+	1.400	-	0.087	+	0.565	-	0.110	+	0.235											
		(V. P管長)		(T-4内V. P管長)		(T-4長)		(L型管内T-4長)		(L型管長)		(L型管内インクリーザー長)		(インクリーザー長)											
		-	0.080	-	1.690	-	0.150	+	1.316	-	0.150	+	1.300	-	0.150	+	5.973								
(スリーブ管内インクリーザー長)		(T-5長)	(スリーブ管内T-5長)		(スリーブ管長)	(T-6内スリーブ管長)	(T-6長)	(スリーブ管内T-6長)		(スリーブ管長H2)															
・ (P9起)		1.340	-	0.150	+	1.890	-	0.150	+	6.198															
		(T-7長)	(T-8内T-7長)	(T-8長)	(スリーブ管内T-8長)		(スリーブ管長H2)																		
・ (P9終)		1.660	-	0.150	+	1.316	-	0.150	+	1.300	-	0.150	+	5.945											
		(T-10長)	(スリーブ管内T-10長)	(スリーブ管長)	(T-6内スリーブ管長)	(T-6長)	(スリーブ管内T-6長)		(スリーブ管長H2)																
・ (A2)		1.930	-	0.200	+	1.400	-	0.121	+	0.565	-	0.110	+	0.235	-	0.080	+	8.530							
		(スリーブ管長)	(スリーブ管内T-4長)	(T-4長)	(L型管内T-4長)	(L型管長)	(L型管内インクリーザー長)	(インクリーザー長)	(スリーブ管内インクリーザー長)		(スリーブ管長H2)														

館山自動車道 大鳥居高架構耐震補強工事				
図面の種類		大鳥居高架構(上下線) 排水装置撤去 図(その2)		
縮	尺	図示	図面番号	/
設計会社名		株式会社 建設技術研究所		
施工会社名				
事務所名		東日本高速道路株式会社 関東支社 市 原 管 理 事 務 所		

(上り線)P2~P7橋脚

P7橋脚 S=1:100

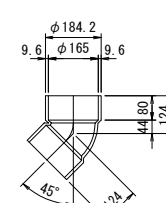
側面図



Technical drawing of a mechanical part, likely a shaft or axle, showing dimensions in millimeters and Japanese units. The drawing includes a central circular feature with a diameter of 80 mm and a cross-section of 8 mm. Dimensions include 301, 181, 30, 8, 14キリ, 241, 30, 60, and 30.

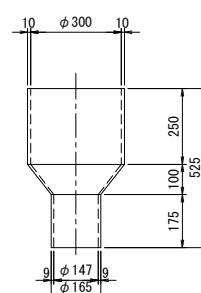
2 - PL 120 x 8 x 392 (復旧) <新設>
2 - PL 120 x 8 x 891 <641> (復旧) <新設>
4 - B. N M12 x 40 (復旧) <新設>
4 - ホールインアンカー M12 (新設) <新設>

45° エルボ S=1:25
D.V (復旧)



注記)

1. 特記なき材質は全てSS400とする。
2. 部材は全て溶接垂鉛めつきを施す。
垂鉛の塗膜は JIS H 8641 HDZT77とする。
但し、厚さ3.2mm未満の鋼材及び
ボルト・ナット類はHDZT49とする。
3. ナットはすべてゆめゆめ機能付とする。
4. 新設及び改修は現場実測をして寸法を再度確認のうえ行う。



新設数量										
名称	形状	単位	数 量						摘要	
			P2	P3	P4	P5	P6	P7		合計
曲管	T-11(150A)	個	1	1	1	1	1	－	5	流水線延長 1.59m
取付金具	S-3(150A)	〃	1	1	1	1	1	－	5	
ホールインアンカー	M12×50	〃	8	8	8	8	8	8	48	S-1 1個当り2個
	M12×50	〃	－	－	－	－	－	－	4	S-2 1個当り4個

※流水線延長(m)

・(P2~P6)	0.375	+ 1.591	-	0.150	+ 1.214	-	0.150	+ スリーブ管長H2	+ 0.150
	(受槽)	(T-11長)		(T-2内T-11長)	(T-2長)		(スリーブ管長内T-2長)	(スリーブ管長H2)	(B.P長)
・(P7)	0.375	+ 1.450	-	0.150	+ 1.214	-	0.150	+ スリーブ管長H2	+ 0.150
	(受槽)	(T-1長)		(T-2内T-1長)	(T-2長)		(スリーブ管長内T-2長)	(スリーブ管長H2)	(B.P長)

新設及び加工は現場実測を十分して寸法を再度確認のうえ行う。 館山自動車道 大鳥居高架橋耐震補強工事				
図面の種類	大鳥居高架橋(上下線)			
縮 尺	図示	図面番号	/	
設計会社名	株式会社 建設技術研究所			
施工会社名				
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 市 原 管 理 事 務 所			

大鳥居高架橋(上下線) 排水装置復旧図(その2) S=1:75

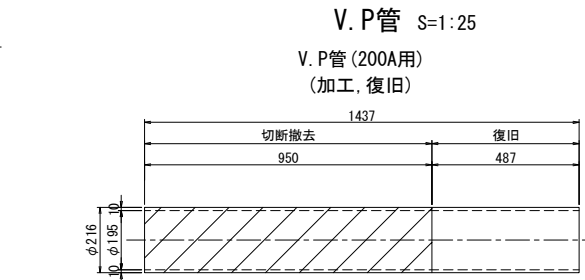
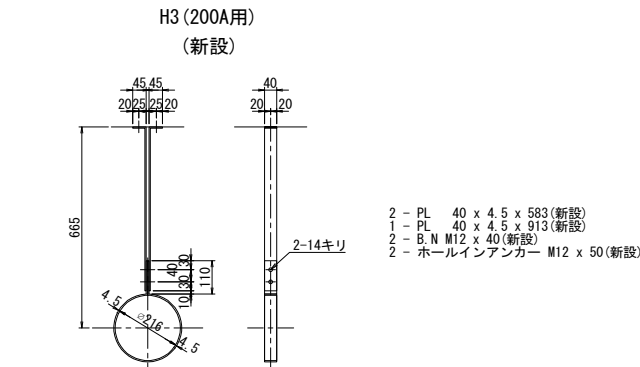
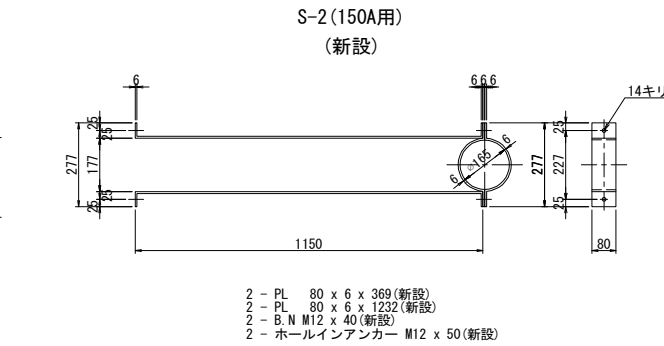
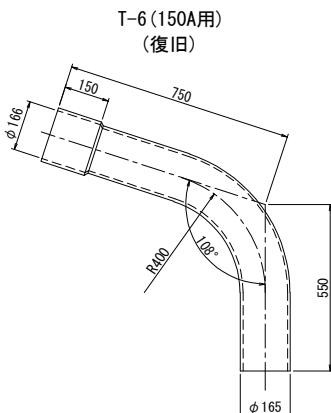
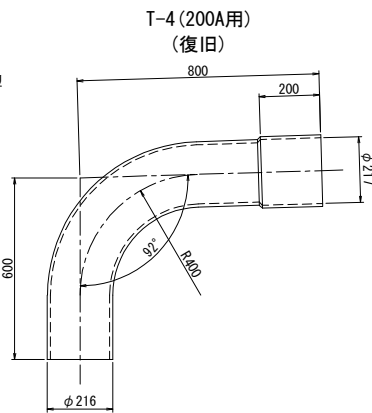
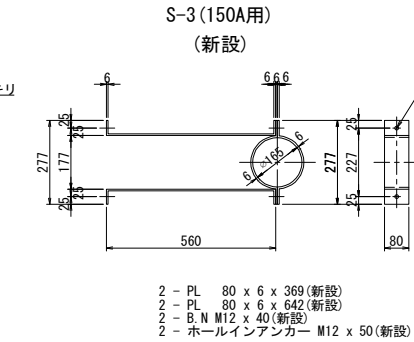
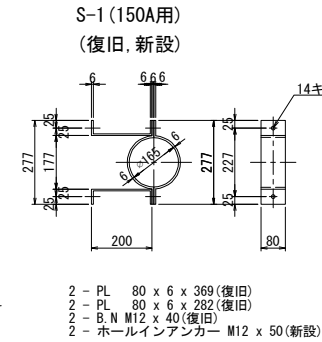
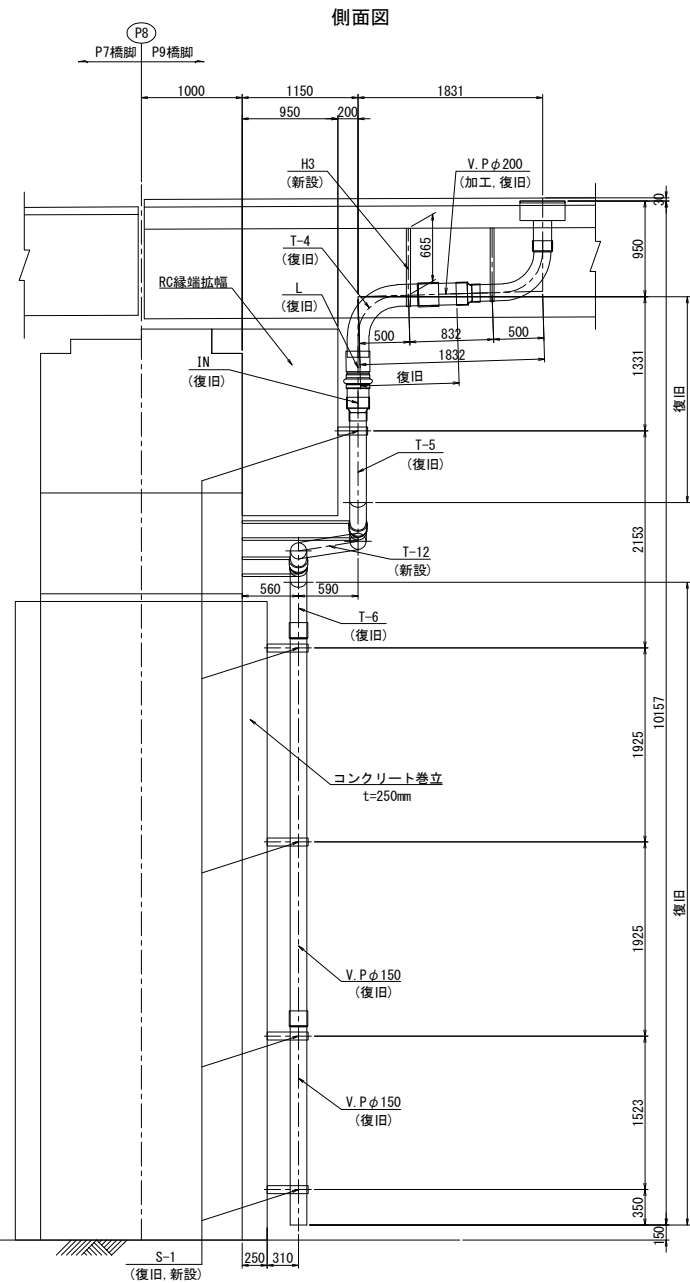
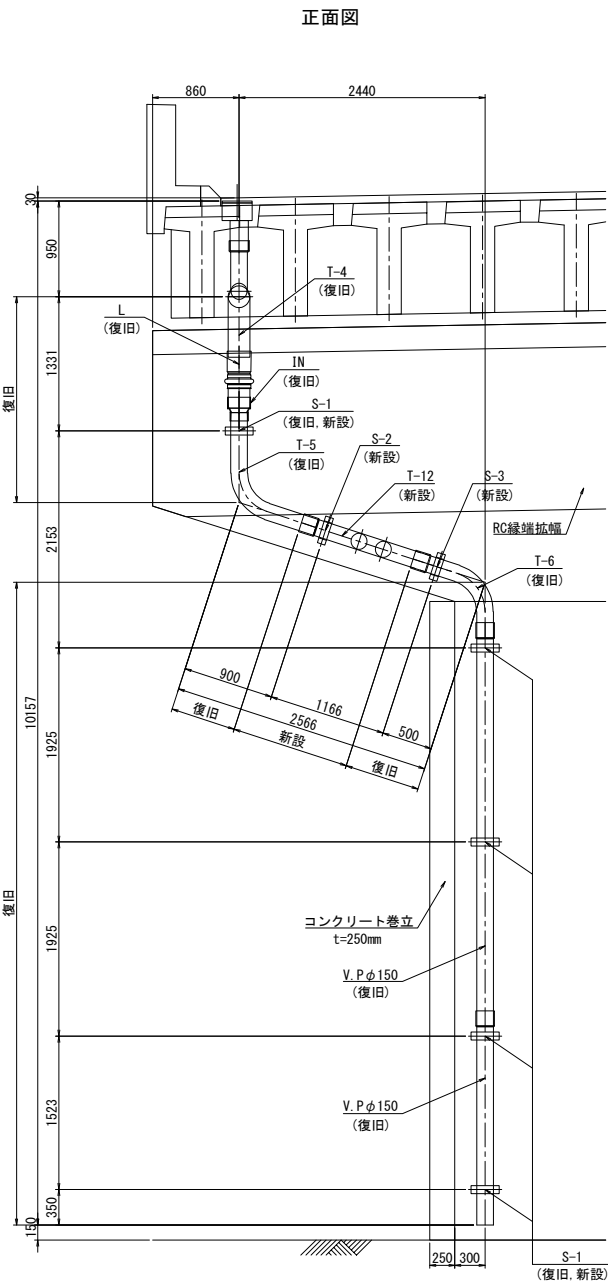
93 / 111

(上り線)P8橋脚

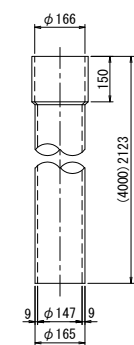
P8橋脚(終点側)

取付金具 S=1:25

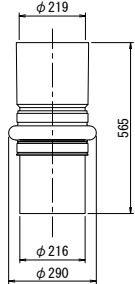
曲管 S=1:25



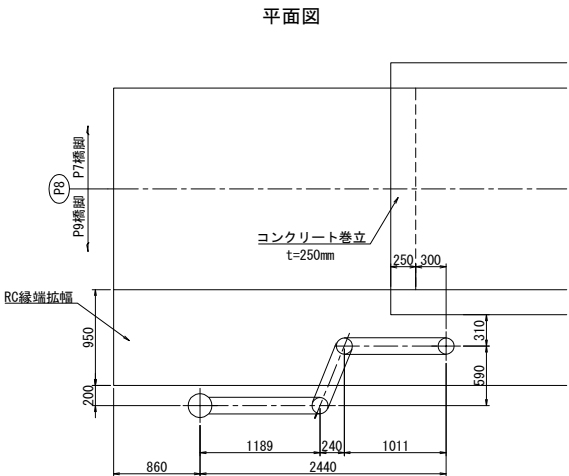
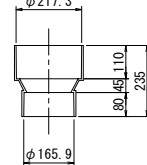
スリーブ管 S=1:25
V.P管 (150A用)
(復旧)



L型管 S=1:25
L (150A用)
(復旧)



インクリーザー S=1:25
IN (200A x 150A)
(復旧)



流水線延長表

橋脚	スリーブ管長(m)		流水線延長(m)
	加工前	加工後	
P8	6.123	(6.123)	12.319
合計	6.123	(6.123)	12.319

()は、復旧管長を示す。

※流水線延長(m)

0.487 - 0.310 + 1.400 - 0.059 + 0.565 - 0.110 + 0.235 - 0.080 + 1.690 - 0.150 + 1.678 - 0.150 + 1.300 - 0.150 + 5.973
(V.P管<200A用>) (V.P管内T-4長) (T-4長)(L型管内T-4長)(L型管長)(インクリーザー内L型管長)(インクリーザー長)(インクリーザー内T-5長)(T-5長)(T-12内T-5長)(T-12長)(T-6内T-12長)(T-6長)(スリーブ管内T-6長)(スリーブ管長)

復旧数量

名称	形状	単位	数量		摘要
			P8	合計	
L型管	L (200A)	個	1	1	
インクリーザー	IN (200A-150A)	〃	1	1	
V.P管	V.P.φ200	〃	1	1	流水線延長 0.177m
スリーブ管	V.P.φ150	〃	2	2	流水線延長 5.973m
曲管	T-4 (200A)	〃	1	1	流水線延長 1.400m
	T-5 (150A)	〃	1	1	流水線延長 1.690m
	T-6 (150A)	〃	1	1	流水線延長 1.300m
取付金具	S-1 (150A)	〃	5	5	

新設数量

名称	形状	単位	数量		摘要
			P8	合計	
曲管	T-12 (150A)	個	1	1	流水線延長 1.678m
取付金具	S-2 (150A)	〃	1	1	
	S-3 (150A)	〃	1	1	
	H3 (200A)	〃	1	1	
ホールインアンカー	M12 x 50	〃	10	10	S-1 1個当り2個

- 注記)
- 特記なき材質は全てSS400とする。
 - 部材は全て溶融亜鉛めっきを施す。
垂鉛の塗膜は JIS H 8641 HDZ777とする。
但し、厚さ3.2mm未満の鋼材及び
ボルト・ナット類はHDZ749とする。
 - ナットはすべてゆるみ止め機能付きとする。
 - 新設及び加工は現場実測をして寸法を再度確認のうえ行う。

館山自動車道			
大鳥居高架橋耐震補強工事			
図面の種類	大鳥居高架橋(上下線) 排水装置復旧図(その2)		
縮尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 市原管理事務所		

大鳥居高架橋(上下線) 排水装置復旧図(その3) S=1:75

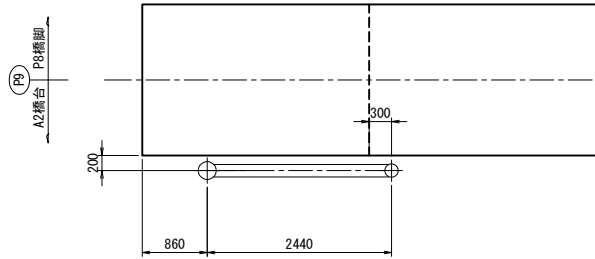
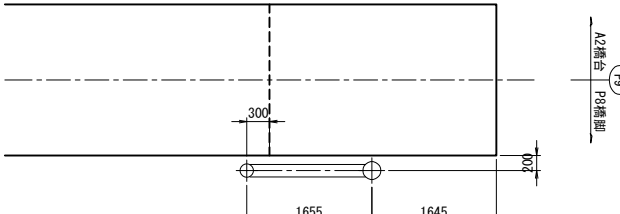
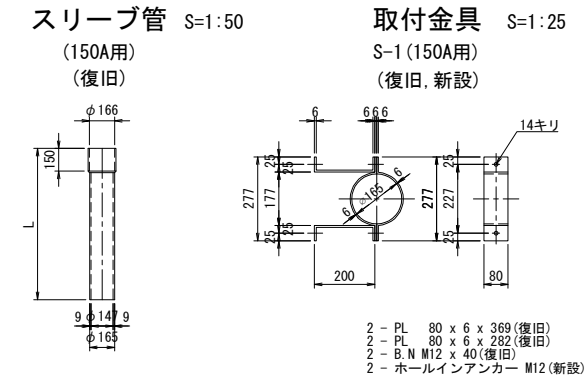
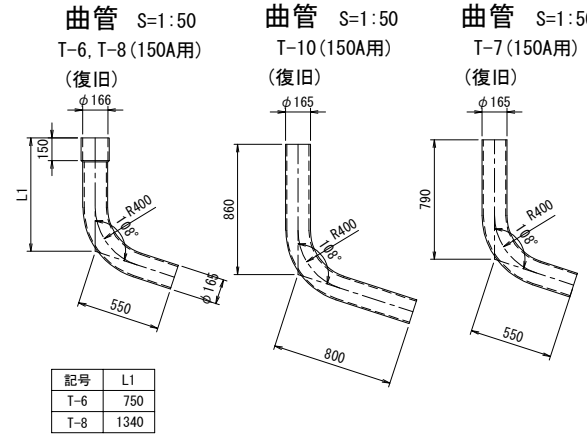
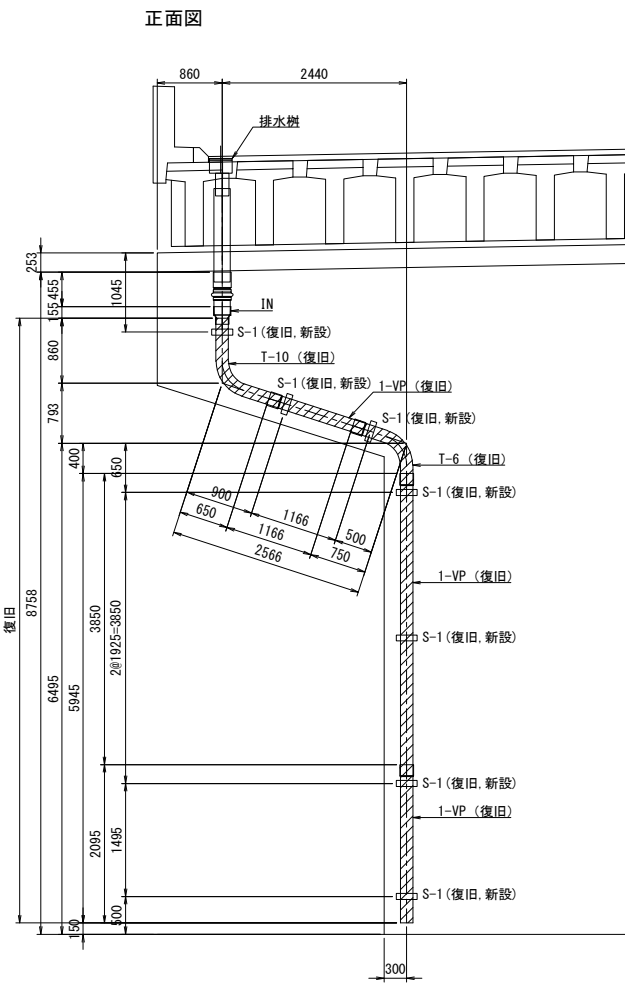
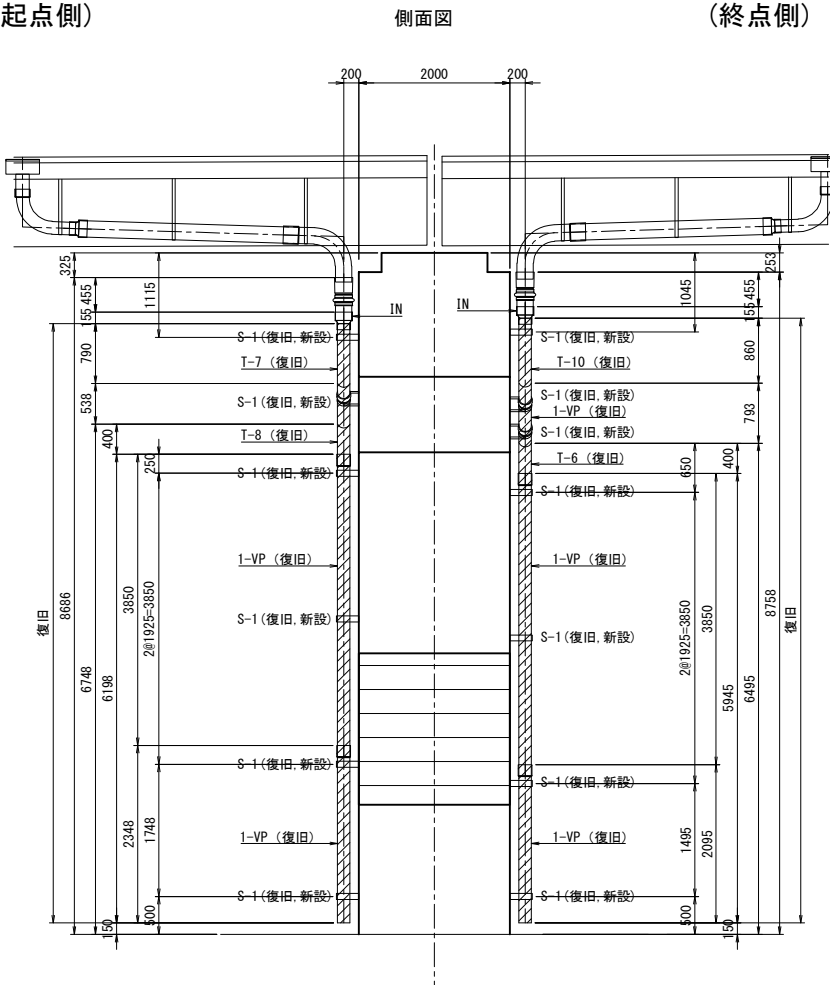
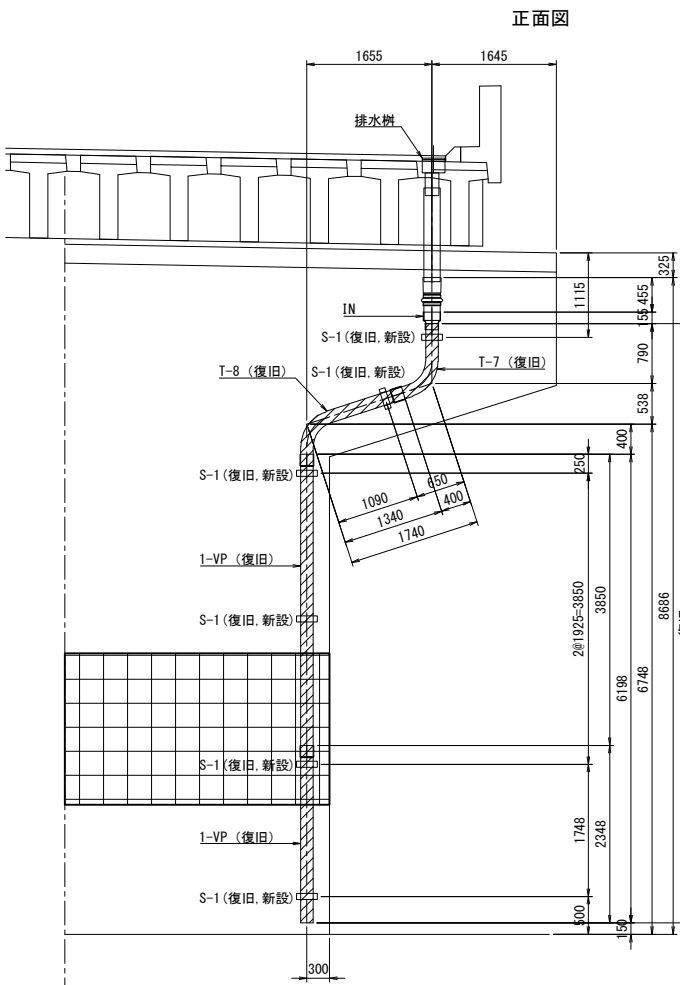
(上り線) P9橋脚

P9橋脚 S=1:100

(起点側)

P9橋脚 S=1:100

(終点側)



流水線延長表

橋脚	スリープ管長(m)		流水線延長(m)
	加工前	加工後	
P9起	6.348	(6.348)	9.128
P9終	1.316	(1.316)	9.771
	6.095	(6.095)	
合計	13.759	(13.759)	18.839

() は、復旧管長を示す。

復旧数量

名称	形状	単位	数 量		合計	摘要
			P9起	P9終		
スリーブ管	V.Pφ150	個	2	3	5	
曲管	T-6 (150A)	〃	-	1	1	流水線延長 1.300m
	T-7 (150A)	〃	1	-	1	流水線延長 1.340m
	T-8 (150A)	〃	1	-	1	流水線延長 1.890m
	T-10 (150A)	〃	-	1	1	流水線延長 1.660m
取付金具	S-1 (150A)	〃	6	7	13	

新設数量

名称	形状	単位	数 量		合計	摘要
			P9起	P9終		
ホールインアンカー	M12×50	〃	12	14	26	S-1 1個当り2個

※流水線延長(m)

・ (P9起) 1.340 - 0.150 + 1.890 - 0.150 + 6.198
(T-7長) (T-8内T-7長) (T-8長) (スリーブ管内T-8長)(スリーブ管長H)

・ (P9終) 1.660 - 0.150 + 1.316 - 0.150 + 1.300 - 0.150 + 5.945
(T-10長) (スリーブ管内T-10長) (スリーブ管長) (T-6内スリーブ管長) (T-6長) (スリーブ管内T-6長) (スリーブ管長H2)

注記

1. 特記なき材質は全てS400とする。
2. 部材は全て溶融亜鉛めっきを施す。
亜鉛の塗膜は JIS H 8641 HDZ777とする。
但し、厚さ3.2mm未満の鋼材及び
ボルト・ナット類はHDZ749とする。
3. ナットはすべてゆるみ止め機能付きとする。
4. 新設及び加工は現場実測をして寸法を再度確認のうえ行う。

館山自動車道 大鳥居高架橋耐震補強工事		
図面の種類	大鳥居高架橋(上下線) 排水装置復旧図(その3)	
縮 尺	図示	図面番号 /
設計会社名	株式会社 建設技術研究所	
施工会社名		
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 市 原 管 理 事 務 所	

A2橋台

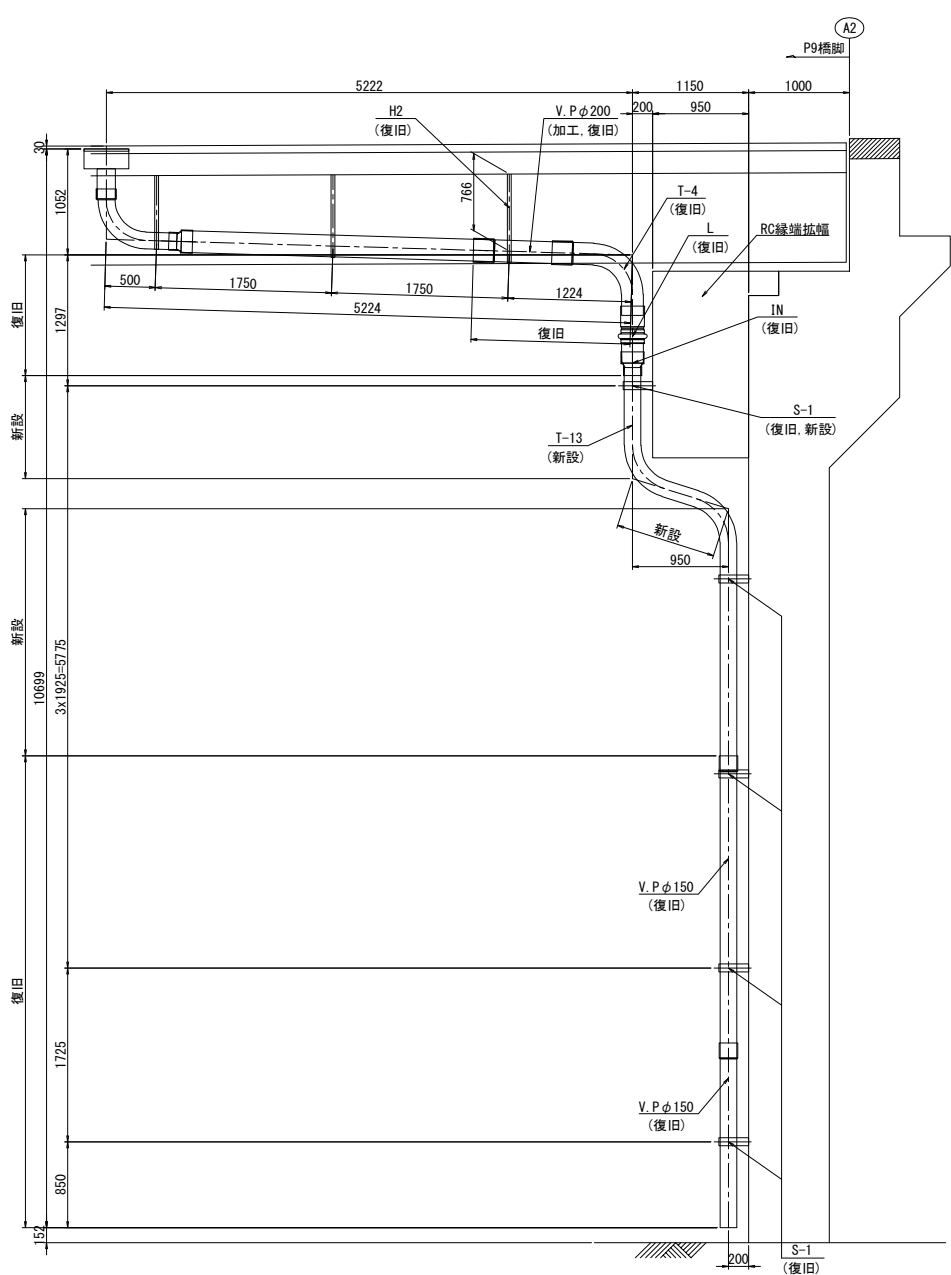
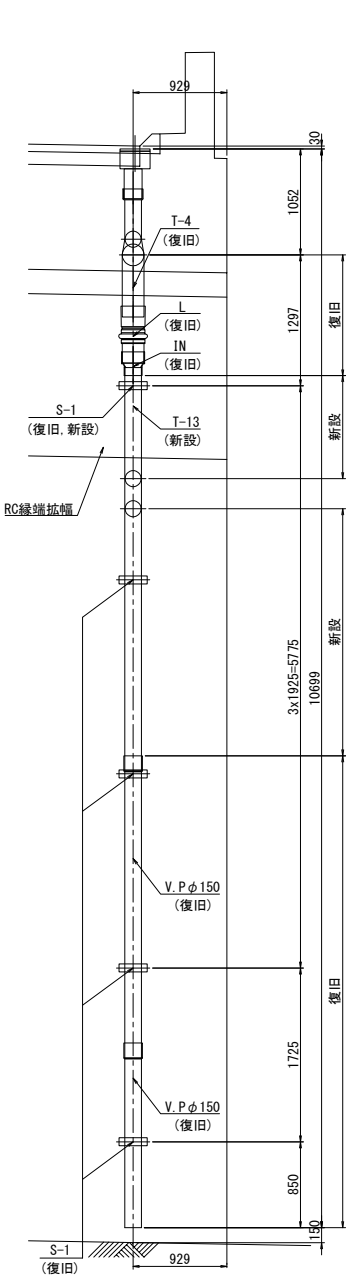
(上り線)A2橋台

取付金具 S=1:25

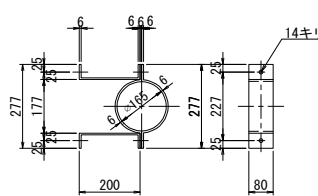
曲管 S=1:25

正面図

側面図

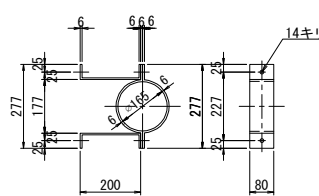


S-1 (150A用)
(復旧)



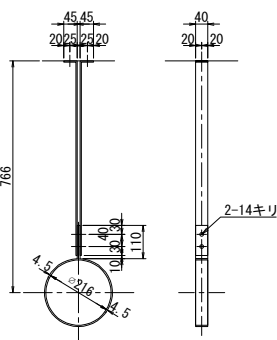
2 - PL 80 x 6 x 369 (復旧)
2 - PL 80 x 6 x 282 (復旧)
2 - B.N M12 x 40 (復旧)
2 - ホールインアンカー M12 x 50 (復旧)

S-1 (150A用)
(復旧, 新設)



2 - PL 80 x 6 x 369 (復旧)
2 - PL 80 x 6 x 282 (復旧)
2 - B.N M12 x 40 (復旧)
2 - ホールインアンカー M12 x 50 (新設)

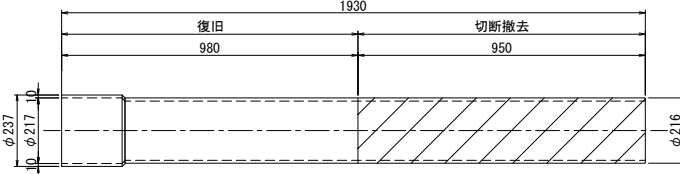
H2 (200A用)
(復旧)



2 - PL 40 x 4.5 x 684 (復旧)
1 - PL 40 x 4.5 x 913 (復旧)
2 - B.N M12 x 40 (復旧)
2 - ホールインアンカー M12 x 50 (復旧)

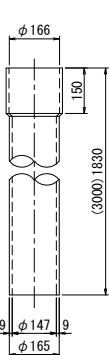
スリーブ管 S=1:25

V.P管(200A用)
(加工, 復旧)



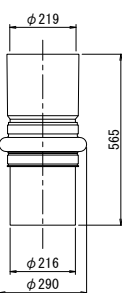
スリーブ管 S=1:25

V.P管(150A用)
(復旧)



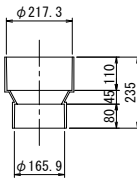
L型管 S=1:25

L (150A用)
(復旧)

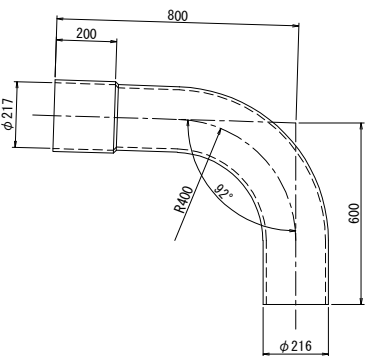


インクリーザー S=1:25

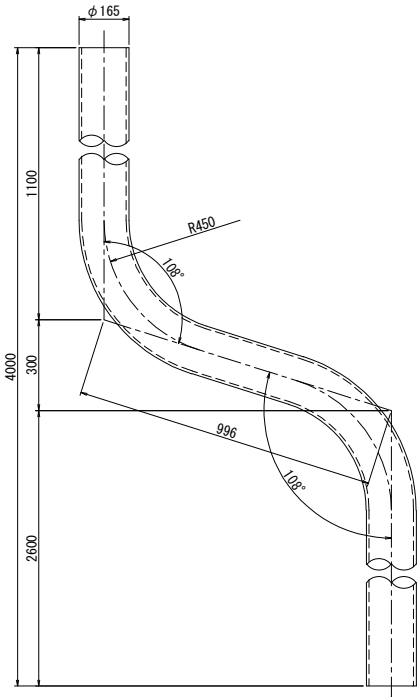
IN (200A x 150A)
(復旧)



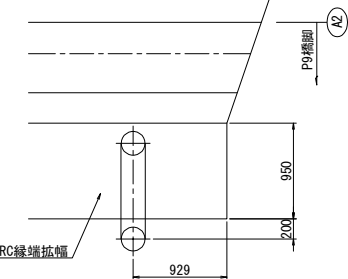
T-4 (200A用)
(復旧)



T-13 (150A用)
(新設)



平面図



流水線延長表

橋台	スリーブ管長(m)		流水線延長(m)
	加工前	加工後	
A2	4.830	(4.830)	11.923
合計	4.830	(4.830)	11.923

※流水線延長(m)
= 0.980 + 0.200 + 1.400 + 0.093 + 0.565 + 0.110 + 0.235 + 0.080 + 4.696 + 0.150 + 4.680
(V.P管<200A用>) (V.P管内T-4長) (T-4長) (L型管内T-4長) (L型管長) (インクリーザー内L型管長) (インクリーザー長) (インクリーザー内T-5長) (T-13長) (スリーブ管内T-13長) (スリーブ管長)

() は、復旧管長を示す。

復旧数量

名称	形状	単位	数量	合計	摘要
L型管	L (200A)	個	1	1	
インクリーザー	IN (200A-150A)	〃	1	1	
V.P管	V.P φ200	〃	1	1	流水線延長 0.780m
スリーブ管	V.P φ150	〃	2	2	流水線延長 4.680m
曲管	T-4 (200A)	〃	1	1	流水線延長 1.400m
取付金具	S-1 (150A)	〃	5	5	
	H2 (200A)	〃	1	1	

新設数量

名称	形状	単位	数量	合計	摘要
曲管	T-13 (150A)	個	1	1	流水線延長 4.696m
ホールインアンカー	M12 x 50	〃	2	2	S-1 1個当り2個

- 注記)
- 特記なき材質は全てSS400とする。
 - 部材は全て溶融亜鉛めっきを施す。
亜鉛の塗膜は JIS H 8641 HDZ777とする。
但し、厚さ3.2mm未満の鋼材及び
ボルト・ナット類はHDZT49とする。
 - ナットはすべてゆるみ止め機能付きとする。
 - 新設及び加工は現場実測をして寸法を再度確認のうえ行う。

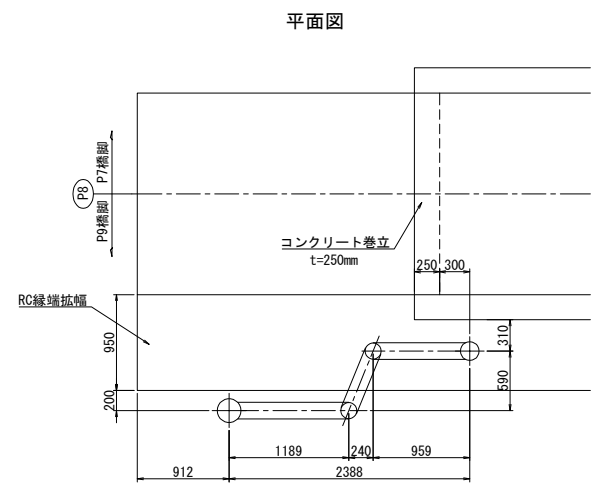
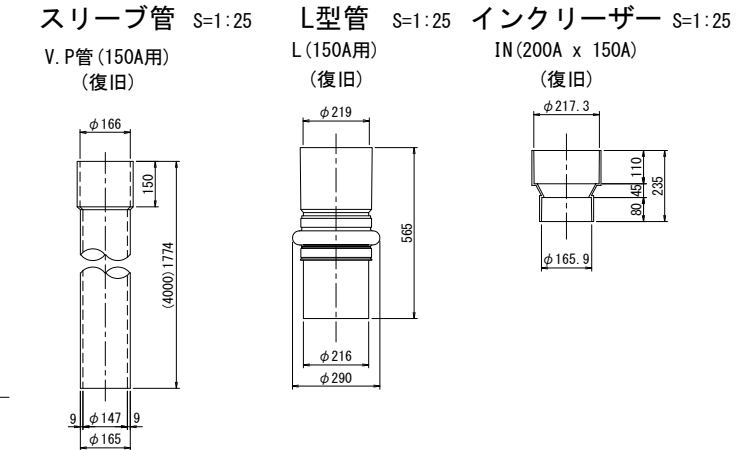
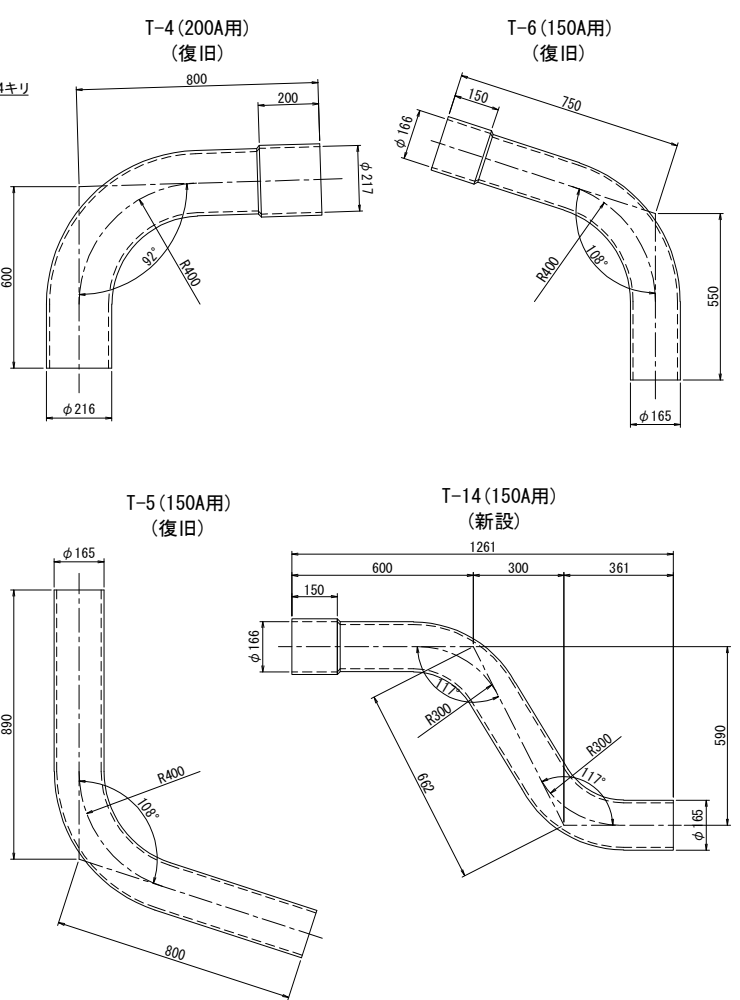
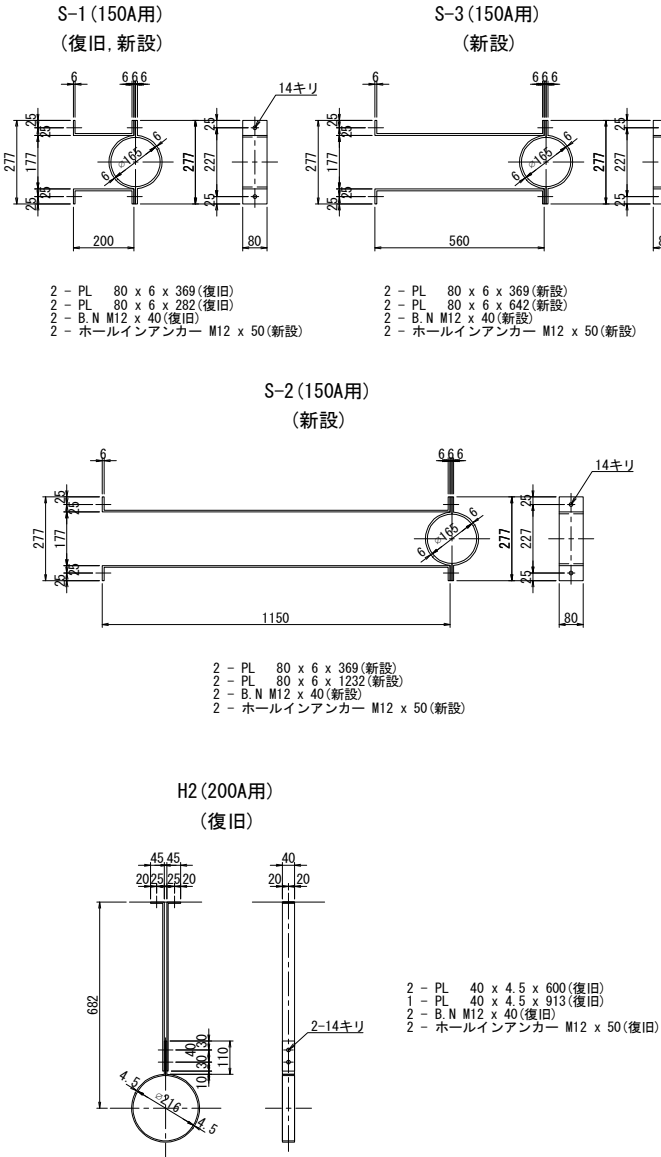
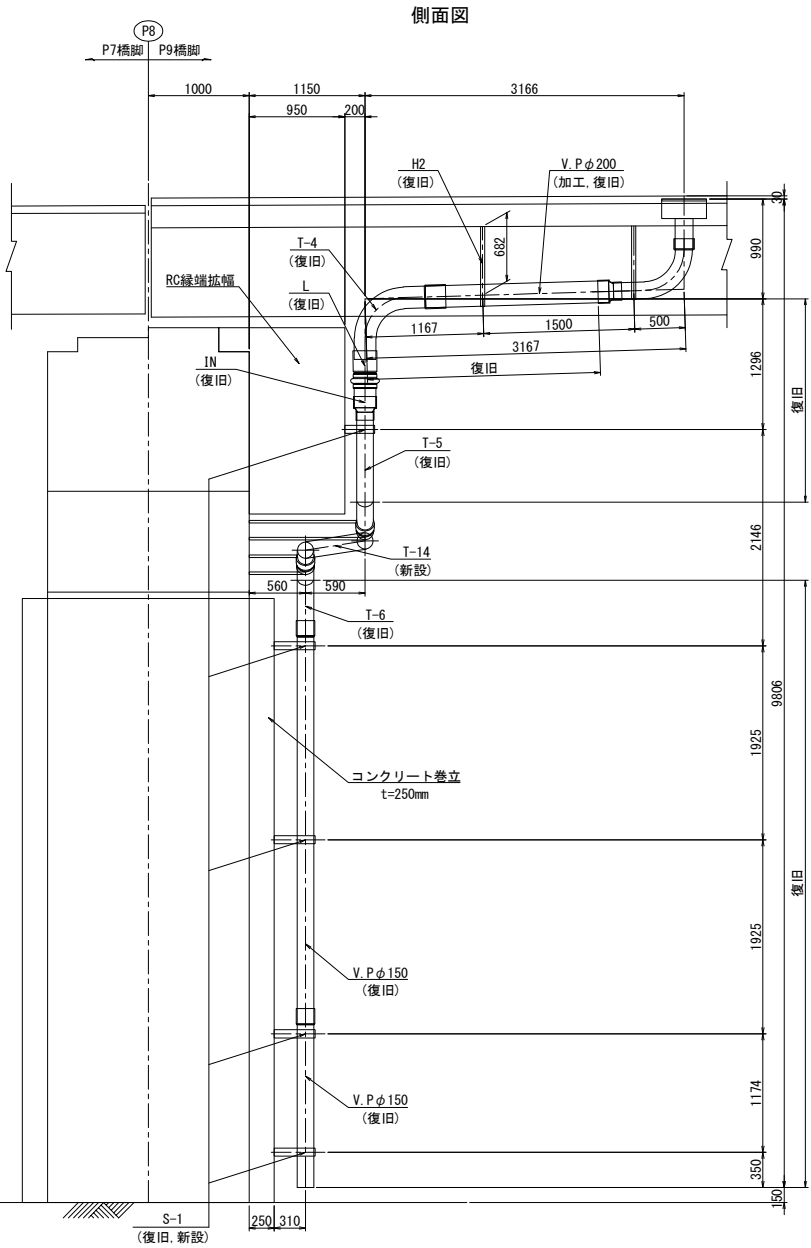
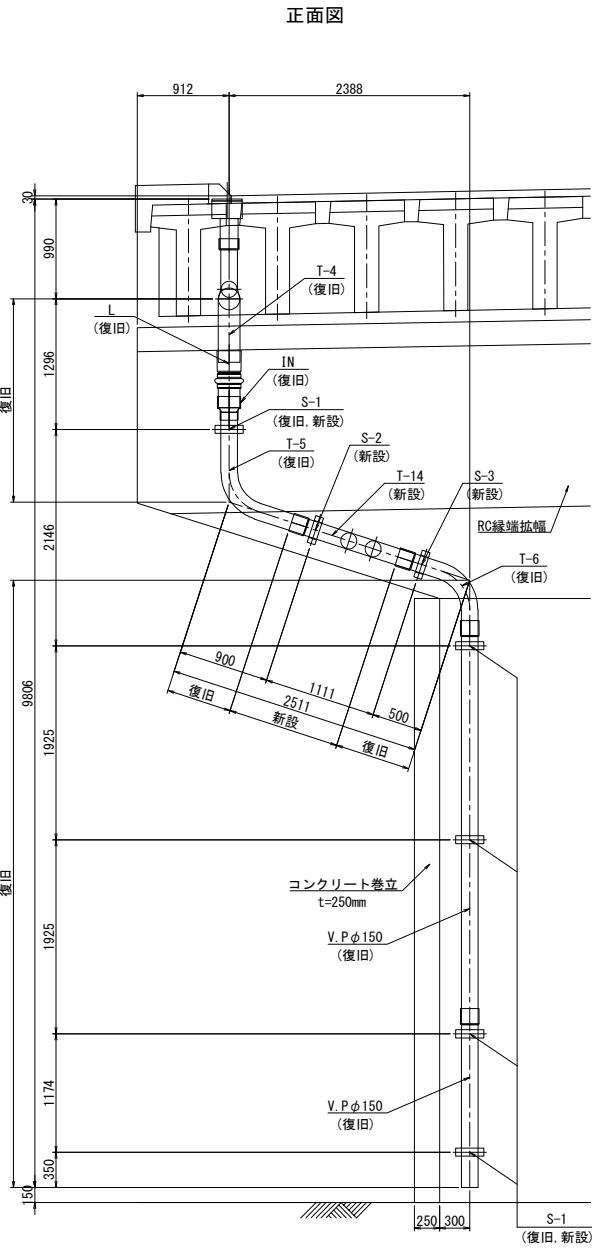
館山自動車道 大鳥居高架橋耐震補強工事			
図面の種類	大鳥居高架橋(上下線) 排水装置復旧図(その4)		
縮尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 市原管理事務所		

(下り線)P8橋脚

P8橋脚(終点側)

取付金具 S=1:25

曲管 S=1:25



流水線延長表

橋脚	スリーブ管長(m)		流水線延長(m)
	加工前	加工後	
P8	5.774	(5.774)	13.226
合計	5.774	(5.774)	13.226

()は、復旧管長を示す。

※流水線延長(m)

1.823 - 0.310 + 1.400 - 0.084 + 0.565 - 0.110 + 0.235 - 0.080 + 1.690 - 0.150 + 1.623 - 0.150 + 1.300 - 0.150 + 5.624
(V.P管<200A用>) (V.P管内T-4長) (T-4長) (L型管内T-4長) (L型管長) (インクリーザー内L型管長) (インクリーザー内T-4長) (インクリーザー内T-5長) (T-5長) (T-14内T-5長) (T-14長) (T-6内T-14長) (T-6長) (スリーブ管内T-6長) (スリーブ管長)

復旧数量

名称	形状	単位	数量	合計	摘要
L型管	L (200A)	個	1	1	
インクリーザー	IN (200A-150A)	個	1	1	
V.P管	V.P φ200	個	1	1	流水線延長 1.513m
スリーブ管	V.P φ150	個	2	2	流水線延長 5.624m
曲管	T-4 (200A)	個	1	1	流水線延長 1.400m
	T-5 (150A)	個	1	1	流水線延長 1.690m
	T-6 (150A)	個	1	1	流水線延長 1.300m
	S-1 (150A)	個	5	5	
取付金具	H2 (200A)	個	1	1	

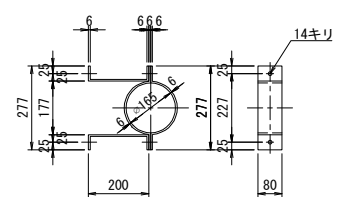
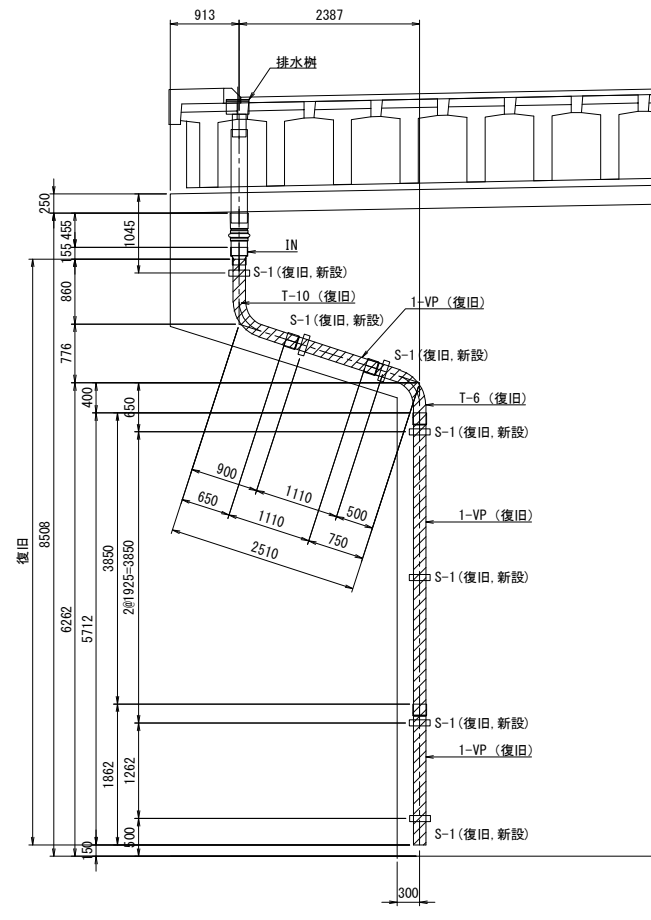
新設数量

名称	形状	単位	数量	合計	摘要
曲管	T-14 (150A)	個	1	1	流水線延長 1.623m
取付金具	S-2 (150A)	個	1	1	
	S-3 (150A)	個	1	1	
ホールインアンカー	M12 x 50	個	10	10	S-1 1個当り2個

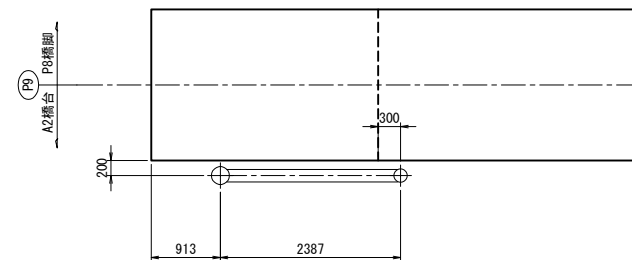
注記)
1. 特記なき材質は全てSS400とする。
2. 部材は全て溶融亜鉛めっきを施す。
垂鉛の塗膜は JIS H 8641 HDZ177とする。
但し、厚さ3.2mm未満の鋼材及び
ボルト・ナット類はHDZ149とする。
3. ナットはすべてゆるみ止め機能付きとする。
4. 新設及び加工は現場実測をして寸法を再度確認のうえ行う。

館山自動車道 大鳥居高架橋耐震補強工事			
図面の種類	大鳥居高架橋(上下線) 排水装置復旧図(その5)		
縮尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 市原管理事務所		

T-7 (150A用)



- 2 - PL 80 x 6 x 369 (復旧)
2 - PL 80 x 6 x 282 (復旧)
2 - B.N M12 x 40 (復旧)
2 - ホールインアンカー M12 (新設)



・(P9起) 1.340 - 0.150 + 1.835 - 0.150 + 5.972
(T-7長) (T-8内T-7長) (T-9長) (スリープ管内T-9長)(スリープ管長H2)

・(P9終) 1.660 - 0.150 + 1.260 - 0.150 + 1.300 - 0.150 + 5.712
(T-10長) (スリープ管内T-10長) (スリープ管長) (T-6内スリープ管長) (T-6長) (スリープ管内T-6長)(スリープ管長H2)

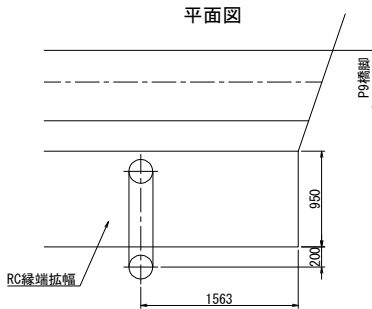
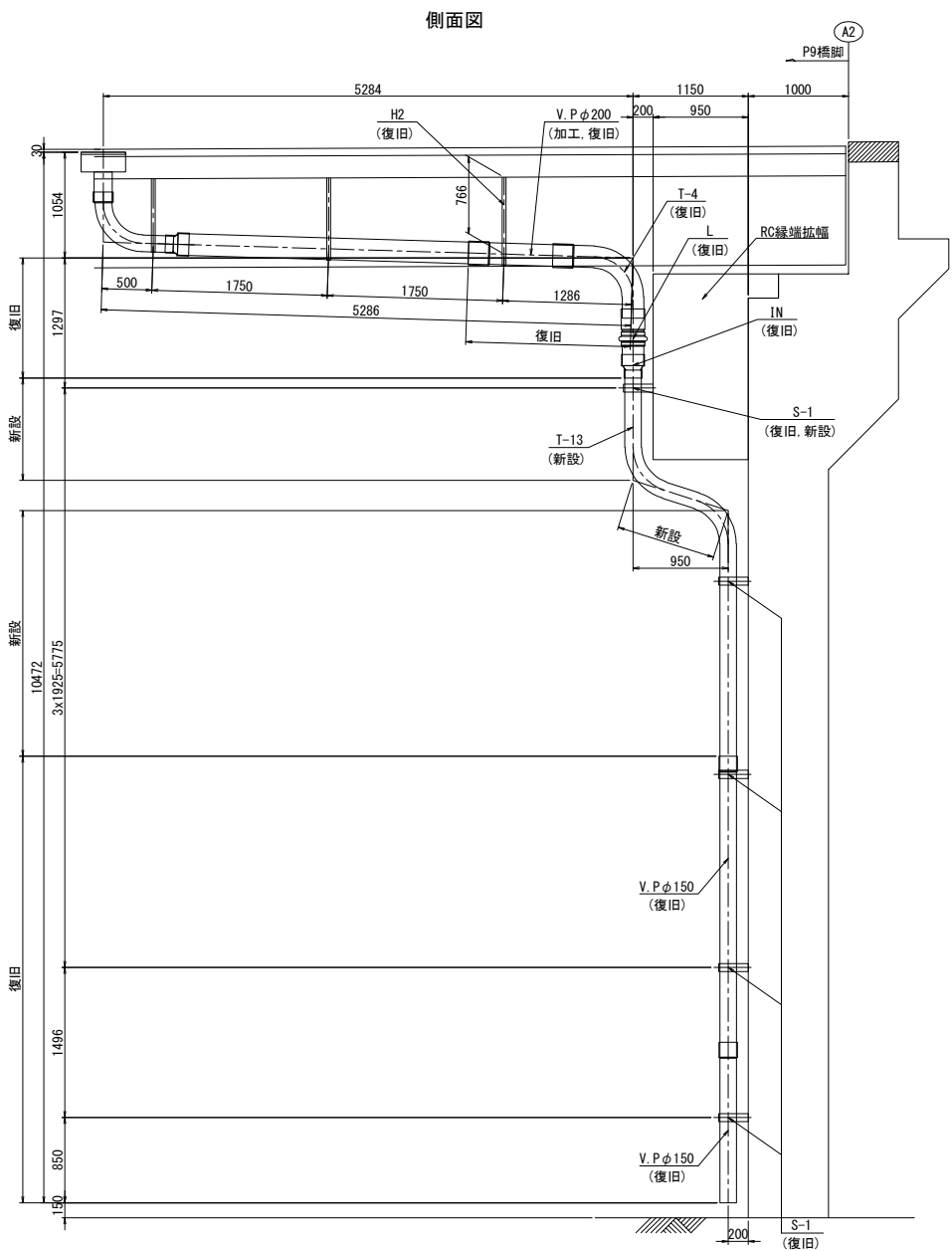
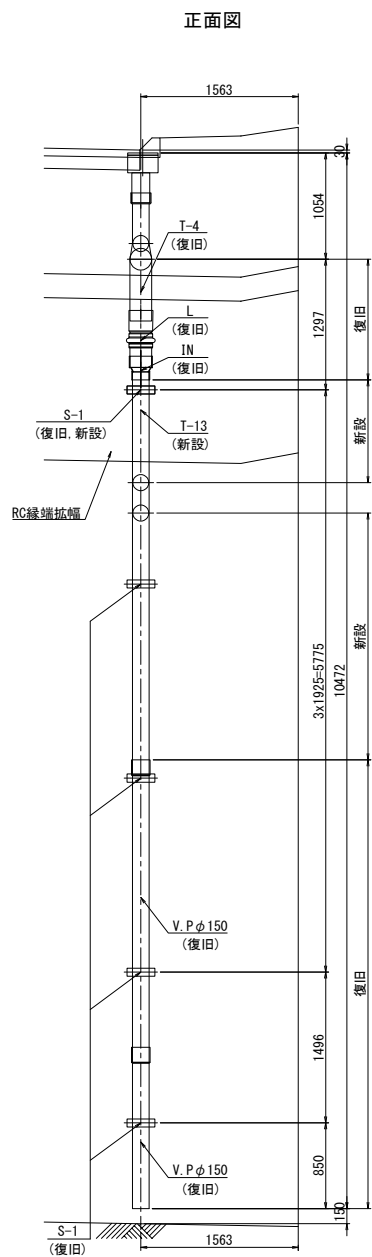
注記)

1. 特記なき材質は全てSS400とする。
2. 部材は全て溶融亜鉛めっきを施す。
亜鉛の塗膜は JIS H 8641 HDZT77とする。
但し、厚さ3.2mm未満の鋼材及び
ボルト・ナット類はHDZT49とする。
3. ナットはすべてゆるみ止め機能付きとする。
4. 新設及び加工は現場実測して寸法を再度確認のうえ行う。

館山自動車道 大鳥居高架橋耐震補強工事			
図面の種類	大鳥居高架橋(上下線) 排水装置復旧図(その6)		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 市 原 管 理 事 務 所		

A2橋台

(下り線)A2橋台



流水線延長表

橋台	スリーブ管長(m)		流水線延長(m)
	加工前	加工後	
A2	4.601	(4.601)	11.756
合計	4.601	(4.601)	11.756

※流水線延長(m)
= 1.042 + 0.200 + 1.400 + 0.093 + 0.565 + 0.110 + 0.235 + 0.080 + 4.696 + 0.150 + 4.451
(V.P管<200A用>) (V.P管内T-4長) (T-4長)(L型管内T-4長)(L型管長)(インクリーザー内L型管長)(インクリーザー)(インクリーザー内T-5長)(T-13長)(スリーブ管内T-13長)(スリーブ管長)

復旧数量

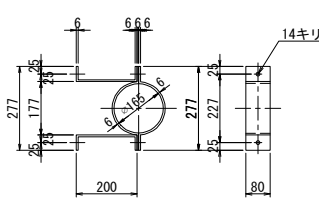
名称	形状	単位	数量	合計	摘要
L型管	L (200A)	個	1	1	
インクリーザー	IN (200A-150A)	〃	1	1	
V.P管	V.P φ200	〃	1	1	流水線延長 0.842m
スリーブ管	V.P φ150	〃	2	2	流水線延長 4.451m
曲管	T-4 (200A)	〃	1	1	流水線延長 1.400m
取付金具	S-1 (150A)	〃	5	5	
	H2 (200A)	〃	1	1	

新設数量

名称	形状	単位	数量	合計	摘要
曲管	T-13 (150A)	個	1	1	流水線延長 4.696m
ホールインアンカー	M12×50	〃	2	2	S-1 1個当り2個

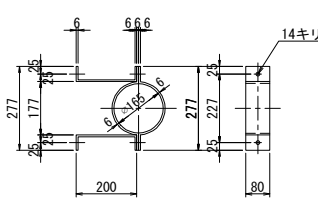
取付金具 S=1:25

S-1 (150A用)
(復旧)



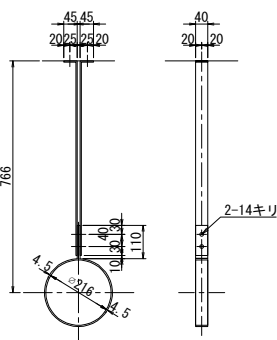
2 - PL 80 x 6 x 369 (復旧)
2 - PL 80 x 6 x 282 (復旧)
2 - B.N M12 x 40 (復旧)
2 - ホールインアンカー M12 x 50 (復旧)

S-1 (150A用)
(復旧, 新設)



2 - PL 80 x 6 x 369 (復旧)
2 - PL 80 x 6 x 282 (復旧)
2 - B.N M12 x 40 (復旧)
2 - ホールインアンカー M12 x 50 (新設)

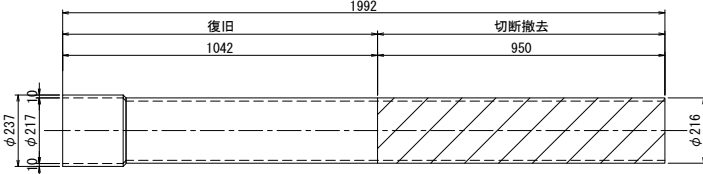
H2 (200A用)
(復旧)



2 - PL 40 x 4.5 x 684 (復旧)
1 - PL 40 x 4.5 x 913 (復旧)
2 - B.N M12 x 40 (復旧)
2 - ホールインアンカー M12 x 50 (復旧)

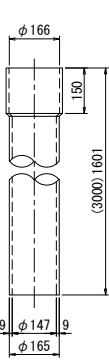
V.P管 S=1:25

V.P管 (200A用)
(加工, 復旧)



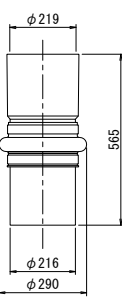
スリーブ管 S=1:25

V.P管 (150A用)
(復旧)



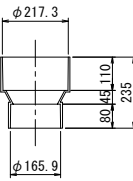
L型管 S=1:25

L (150A用)
(復旧)



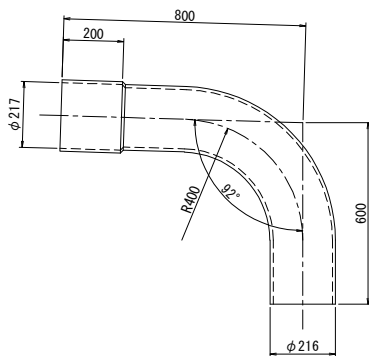
インクリーザー S=1:25

IN (200A x 150A)
(復旧)

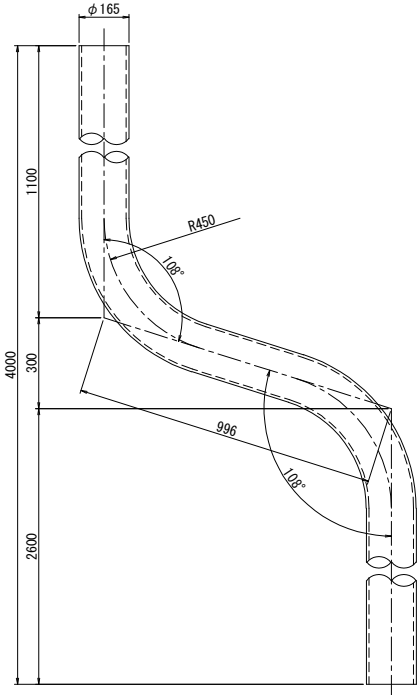


曲管 S=1:25

T-4 (200A用)
(復旧)



T-13 (150A用)
(新設)

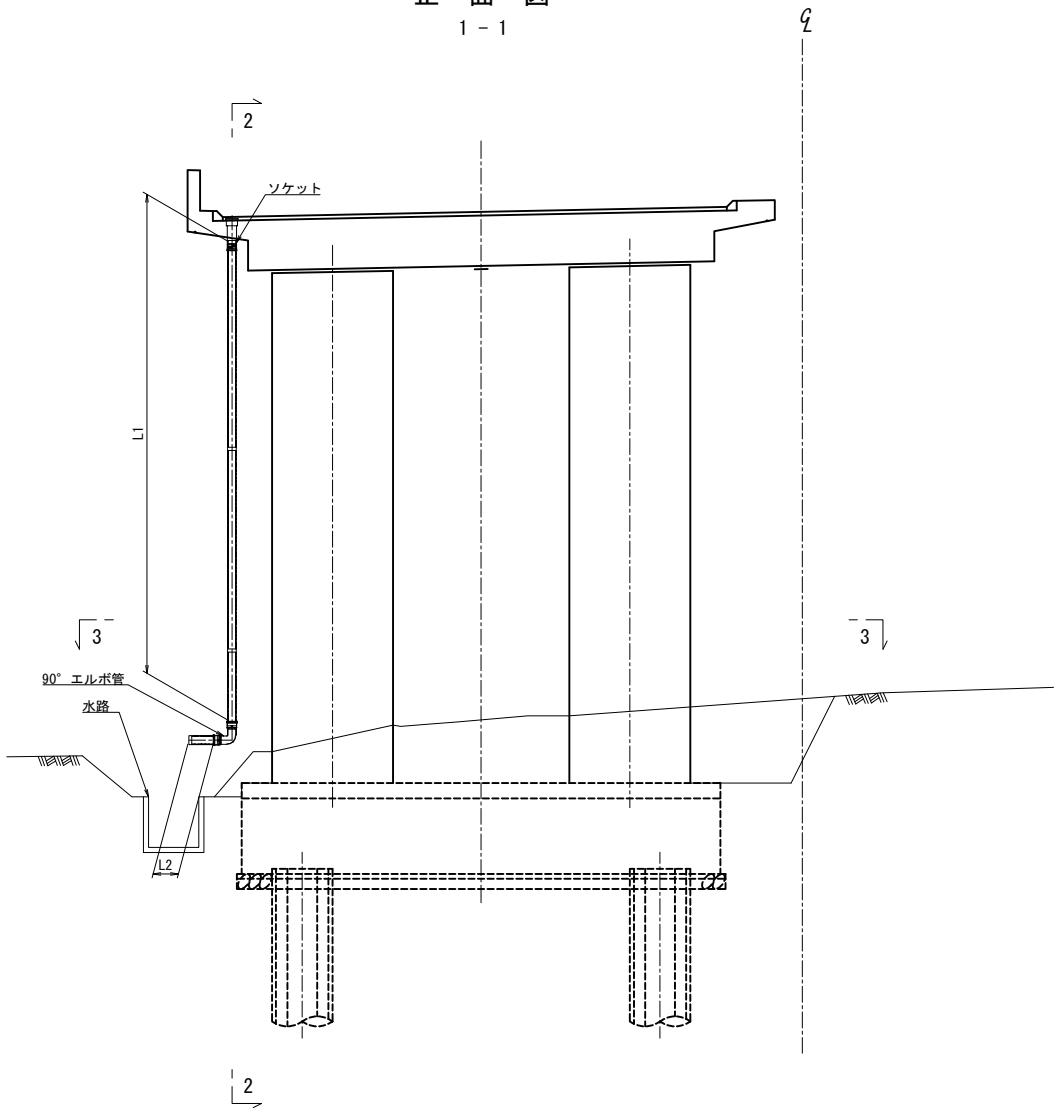


- 注記)
- 特記なき材質は全てSS400とする。
 - 部材は全て溶融亜鉛めっきを施す。
垂鉛の塗膜は JIS H 8641 HDZ777とする。
但し、厚さ3.2mm未満の鋼材及び
ボルト・ナット類はHDZ49とする。
 - ナットはすべてゆるみ止め機能付きとする。
 - 新設及び加工は現場実測をして寸法を再度確認のうえ行う。

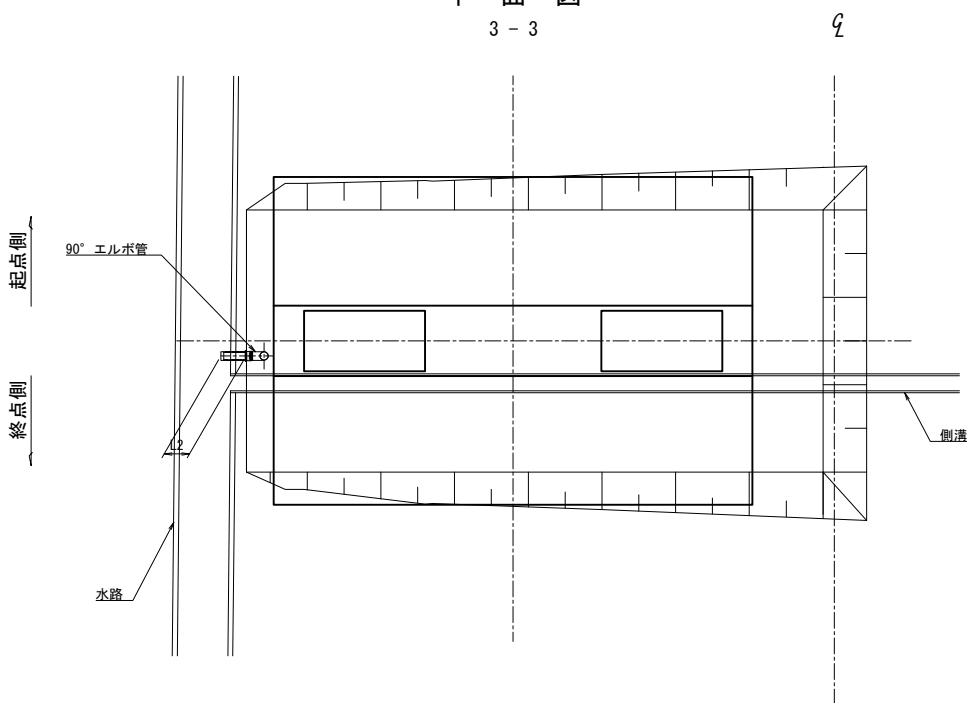
館山自動車道			
大鳥居高架橋耐震補強工事			
図面の種類	大鳥居高架橋(上下線) 排水装置復旧図(その7)		
縮尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 市原管理事務所		

大鳥居高架橋(上下線) 仮排水管設置図 (参考図) (その1)
(上り線)P2~P3、P5~P7橋脚

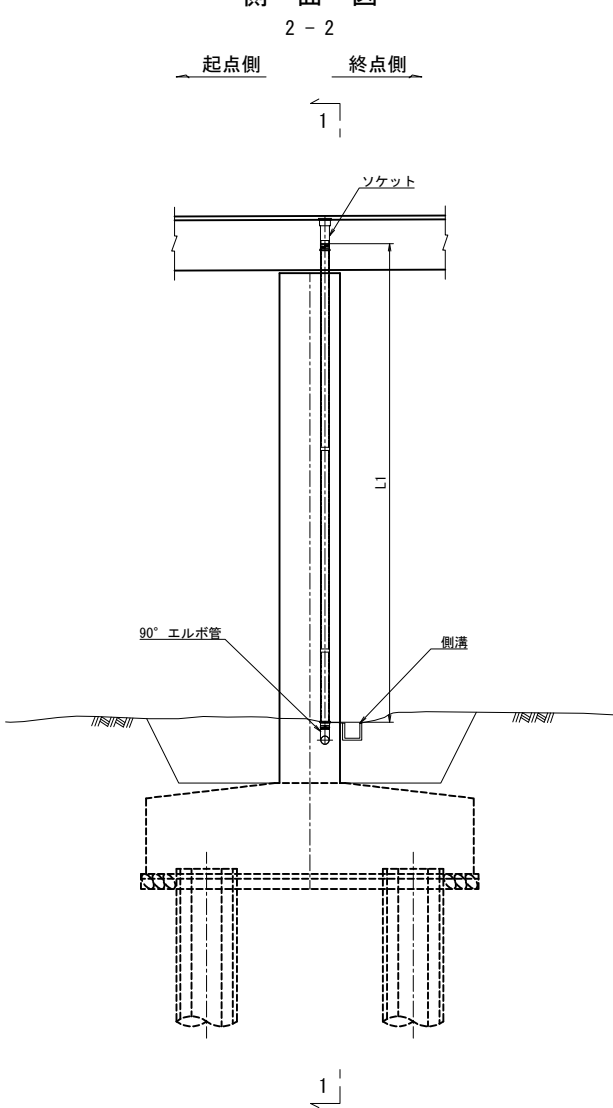
正面図
1 - 1



平面図
3 - 3



側面図
2 - 2

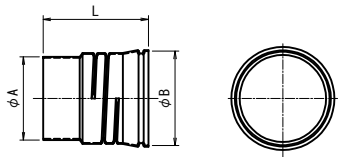


仮排水管数量表

	L1 (m)	L2 (m)	ΣL (m)	90° エルボ管 (個)	ソケット (個)
P2	9.5	0.5	10.0	1	1
P3	9.5	0.6	10.1	1	1
P5	9.5	0.8	10.3	1	1
P6	9.5	0.9	10.4	1	1
P7	9.5	0.8	10.3	1	1

仮排水管詳細図

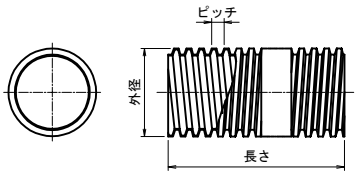
DV用ソケット



規格	φA	φB	L
φ200	165	182	183

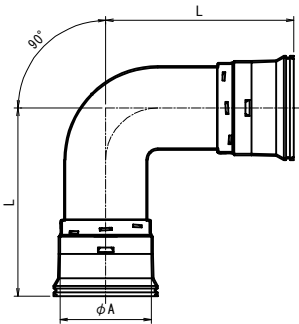
(mm)

高密度ポリエチレン管



規格	外径 (mm)	呼び径 (mm)	ピッチ (mm)	長さ (m)
φ150	175	150	25	4

90° エルボ管



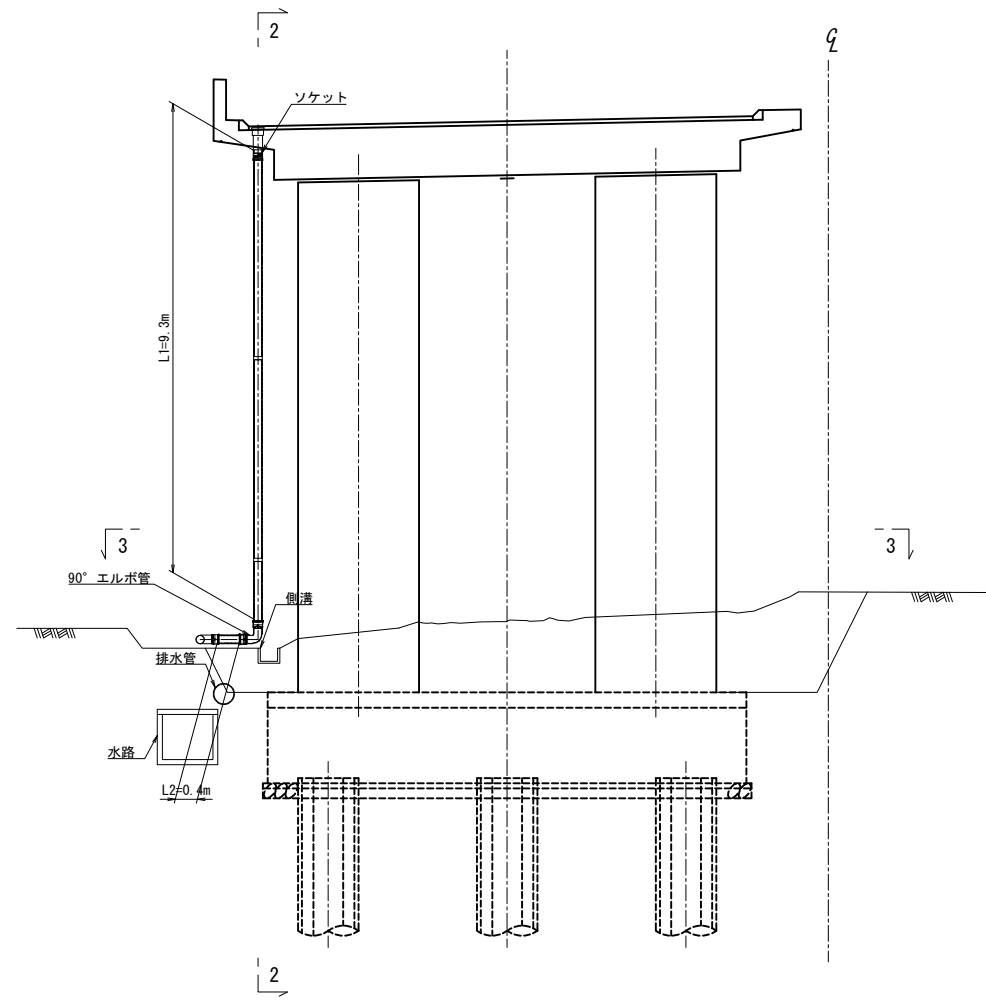
規格	φA	L
φ150	181	373

(mm)

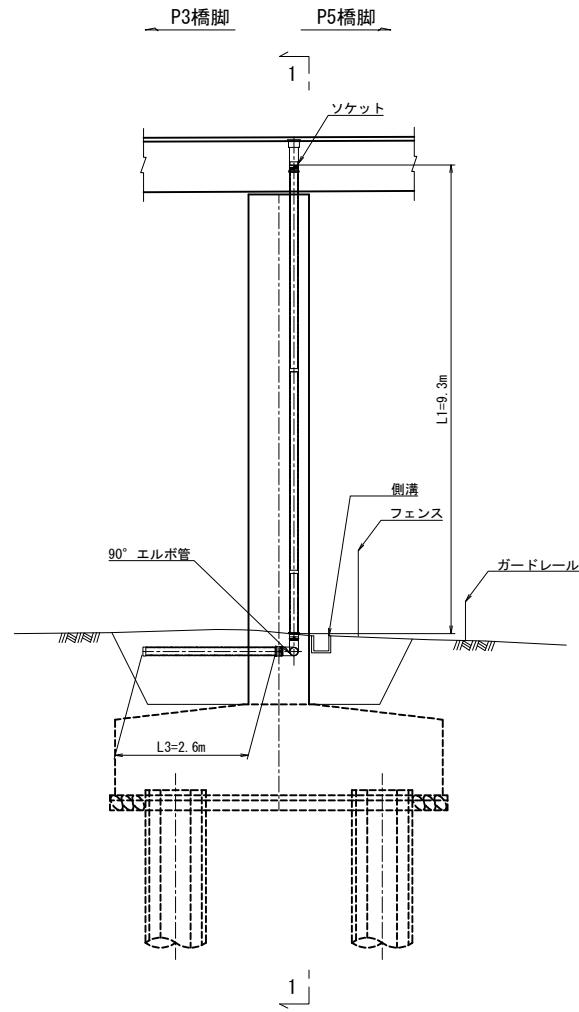
館山自動車道 大鳥居高架橋耐震補強工事			
図面の種類	大鳥居高架橋(上下線) 仮排水管設置図 (参考図) (その1)		
	縮尺	図示	図面番号 /
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 市原管理事務所		

大鳥居高架橋(上下線) 仮排水管設置図(参考図)(その2)
(上り線)P4橋脚

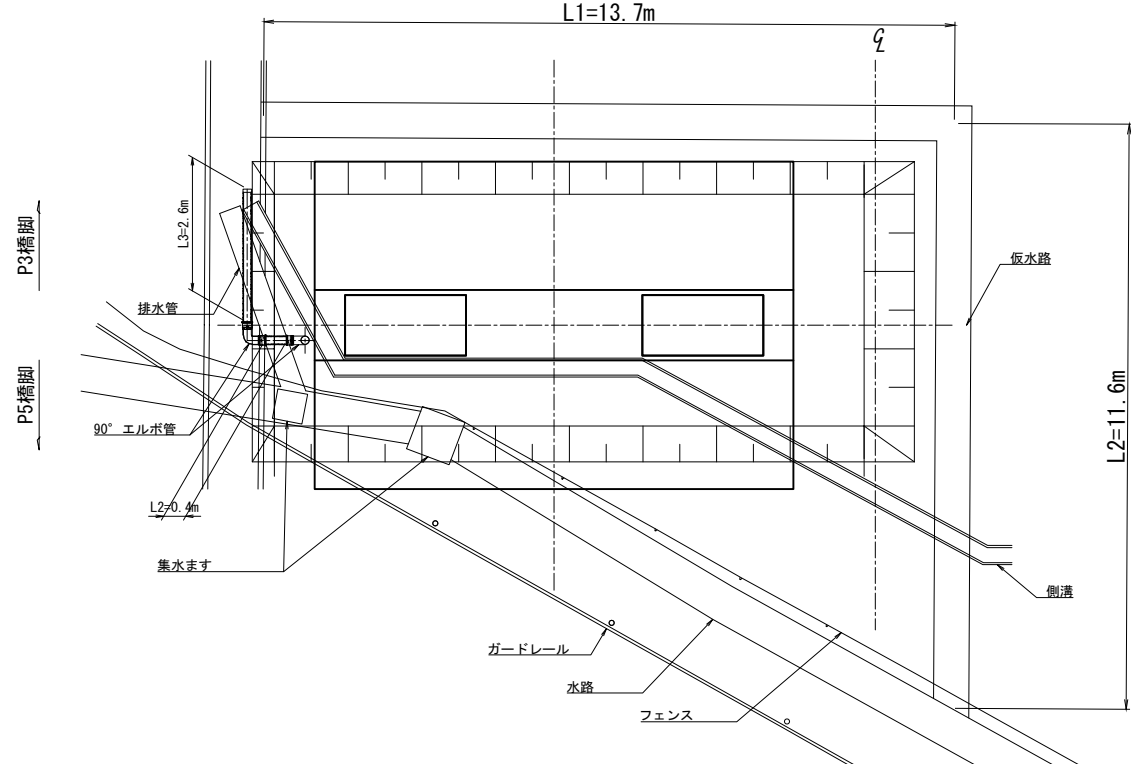
正面図
1-1



側面図
2-2

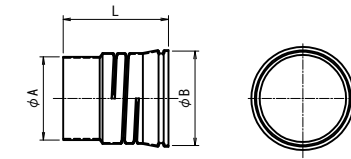


平面図
3-3



仮排水管詳細図

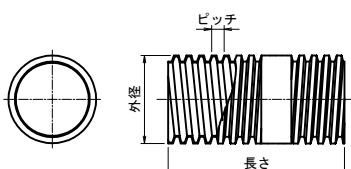
DV用ソケット



規格	φA	φB	L
φ200	165	182	183

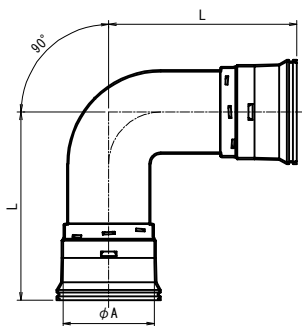
(mm)

高密度ポリエチレン管



規格	外径 (mm)	呼称径 (mm)	ピッチ (mm)	長さ (m)
φ150	175	150	25	4

90°エルボ管



規格	φA	L
φ150	181	373

(mm)

仮排水管数量表

	L1 (m)	L2 (m)	L3 (m)	ΣL (m)	90°エルボ管 (個)	ソケット (個)
P4	9.3	0.4	2.6	12.3	2	1

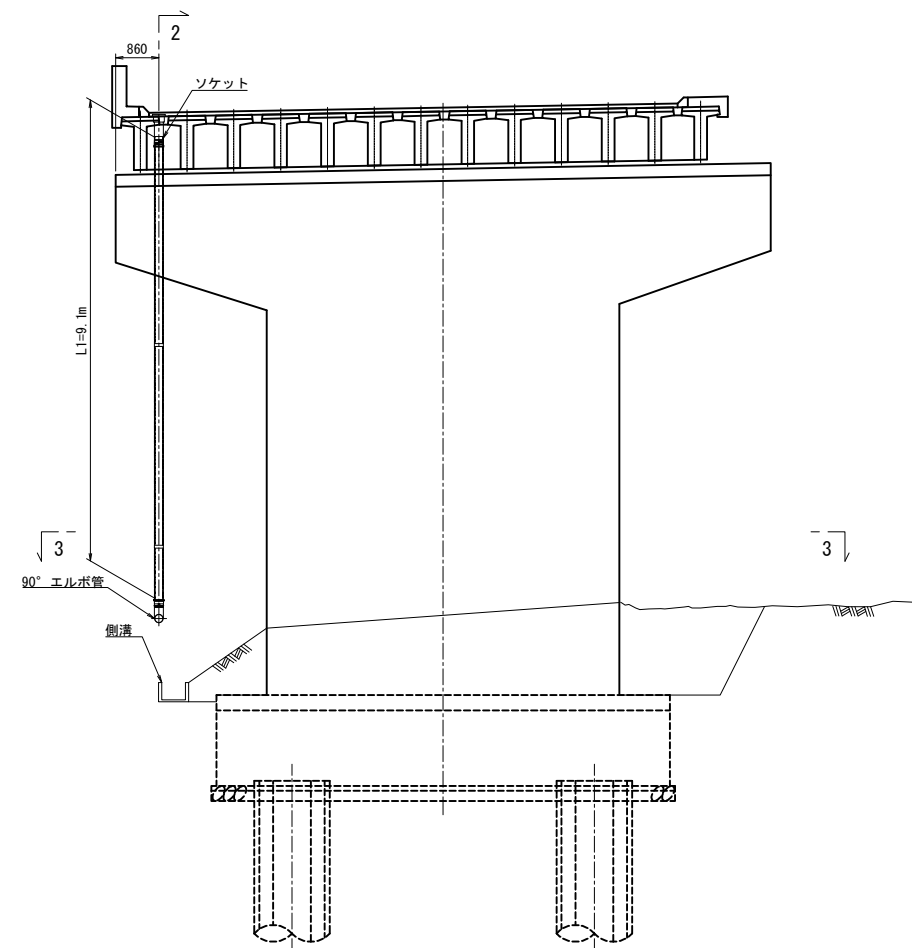
仮水路数量表

	L1 (m)	L2 (m)	ΣL (m)
P4	13.7	11.6	25.3

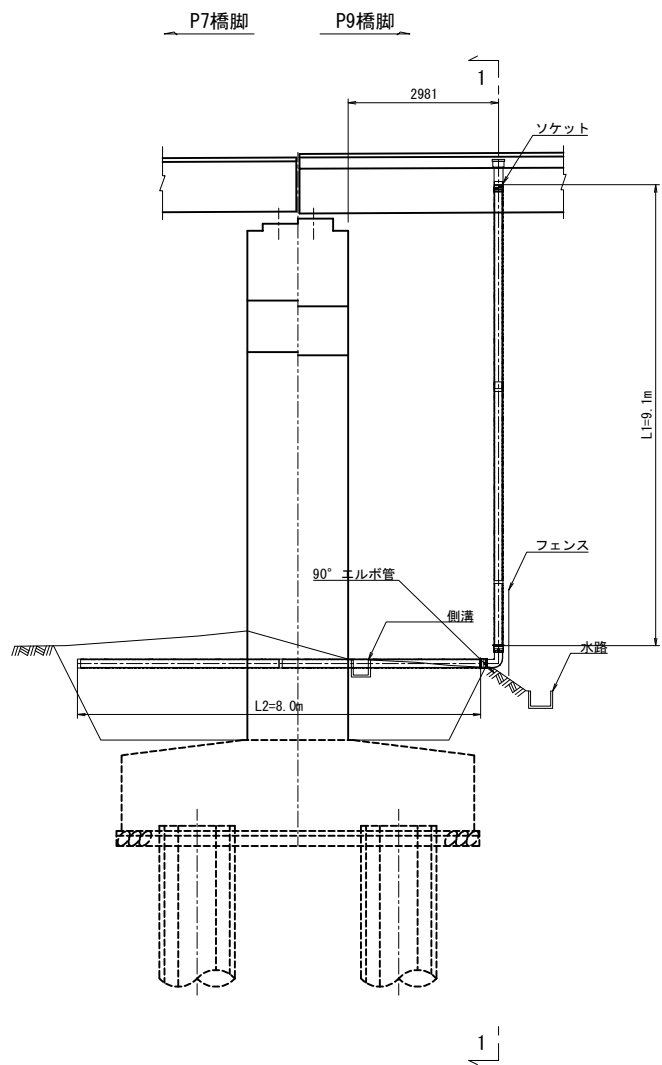
館山自動車道 大鳥居高架橋耐震補強工事			
図面の種類	大鳥居高架橋(上下線) 仮排水管設置図(参考図)(その2)		
	縮尺	図示	図面番号 /
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 市原管理事務所		

大鳥居高架橋(上下線) 仮排水管設置図(参考図)(その3)
(上り線)P8橋脚

正面図
1 - 1

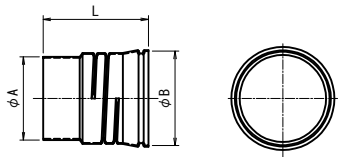


側面図
2 - 2



仮排水管詳細図

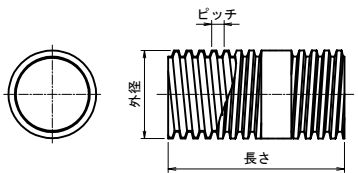
DV用ソケット



規格	φA	φB	L
φ200	165	182	183

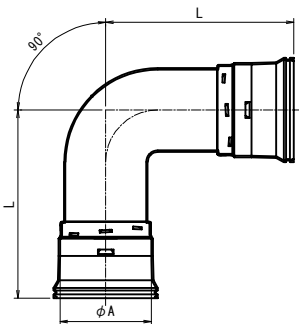
(mm)

高密度ポリエチレン管



規格	外径 (mm)	呼称径 (mm)	ピッチ (mm)	長さ (m)
φ150	175	150	25	4

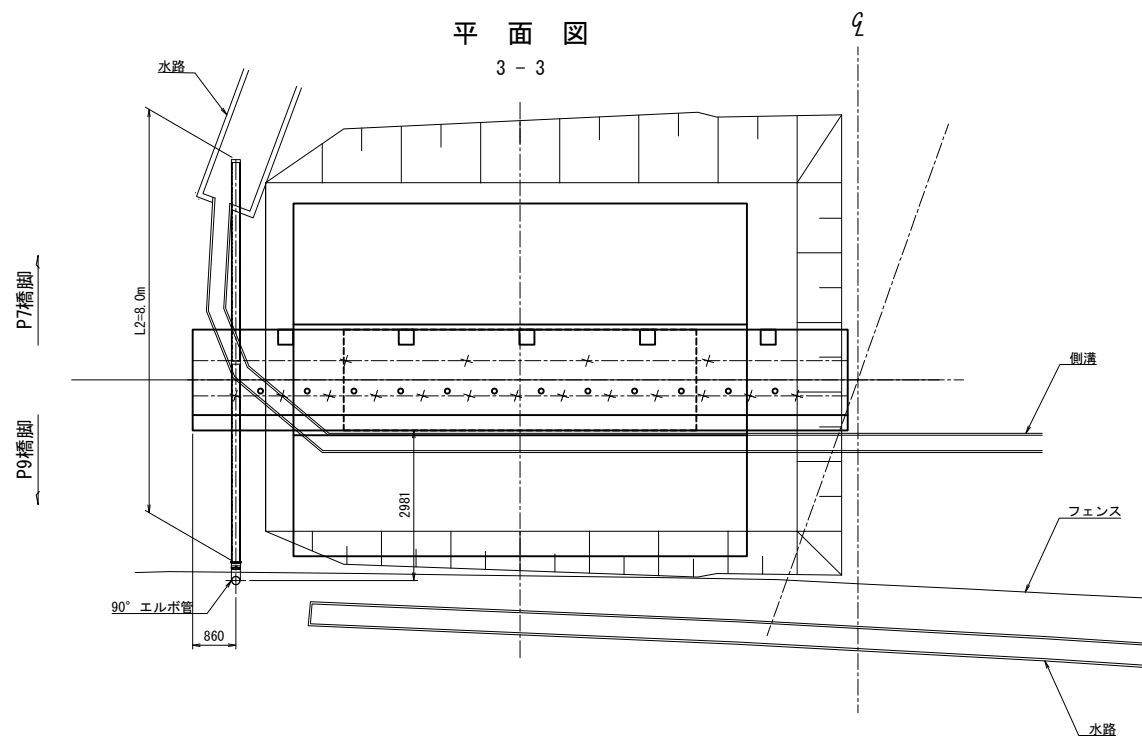
90° エルボ管



規格	φA	L
φ150	181	373

(mm)

平面図
3 - 3

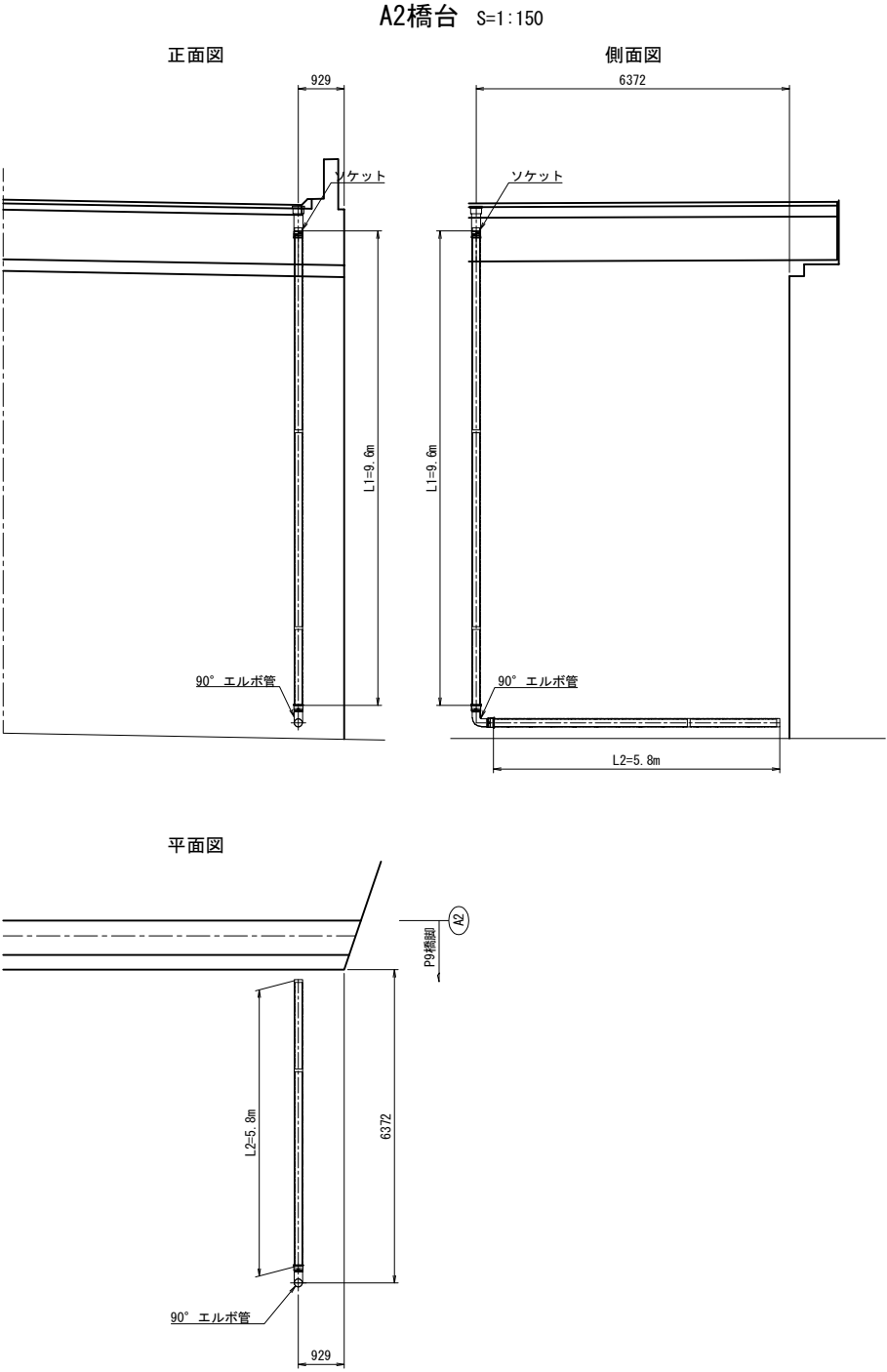
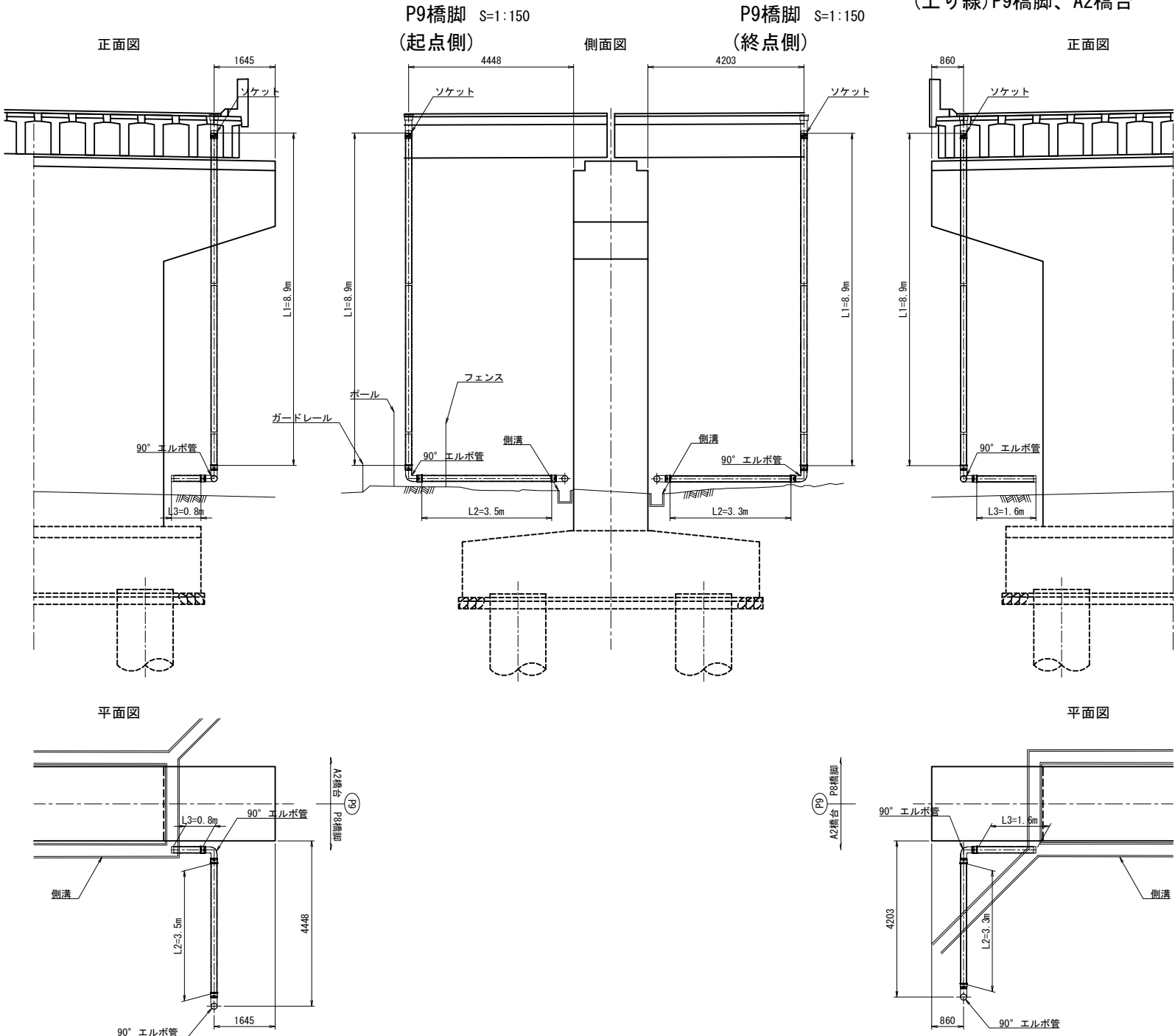


仮排水管数量表

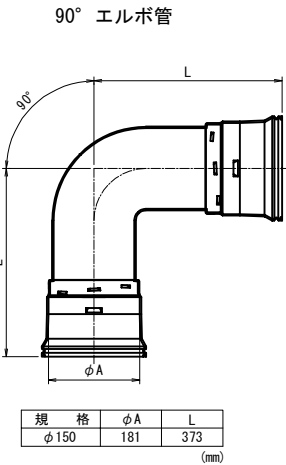
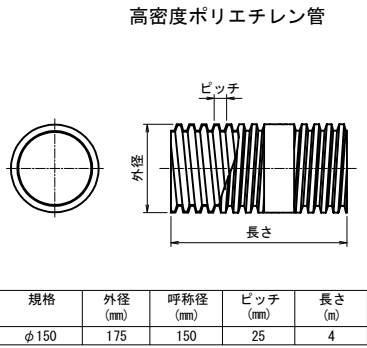
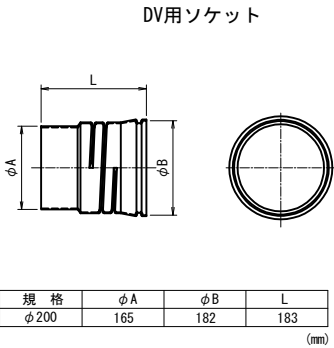
	L1 (m)	L2 (m)	ΣL (m)	90° エルボ管 (個)	ソケット (個)
P8	9.1	8.0	17.1	1	1

館山自動車道 大鳥居高架橋耐震補強工事			
図面の種類	大鳥居高架橋(上下線) 仮排水管設置図(参考図)(その3)		
	縮尺	図示	図面番号 /
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 市原管理事務所		

(上り線)P9橋脚、A2橋台



仮排水管詳細図

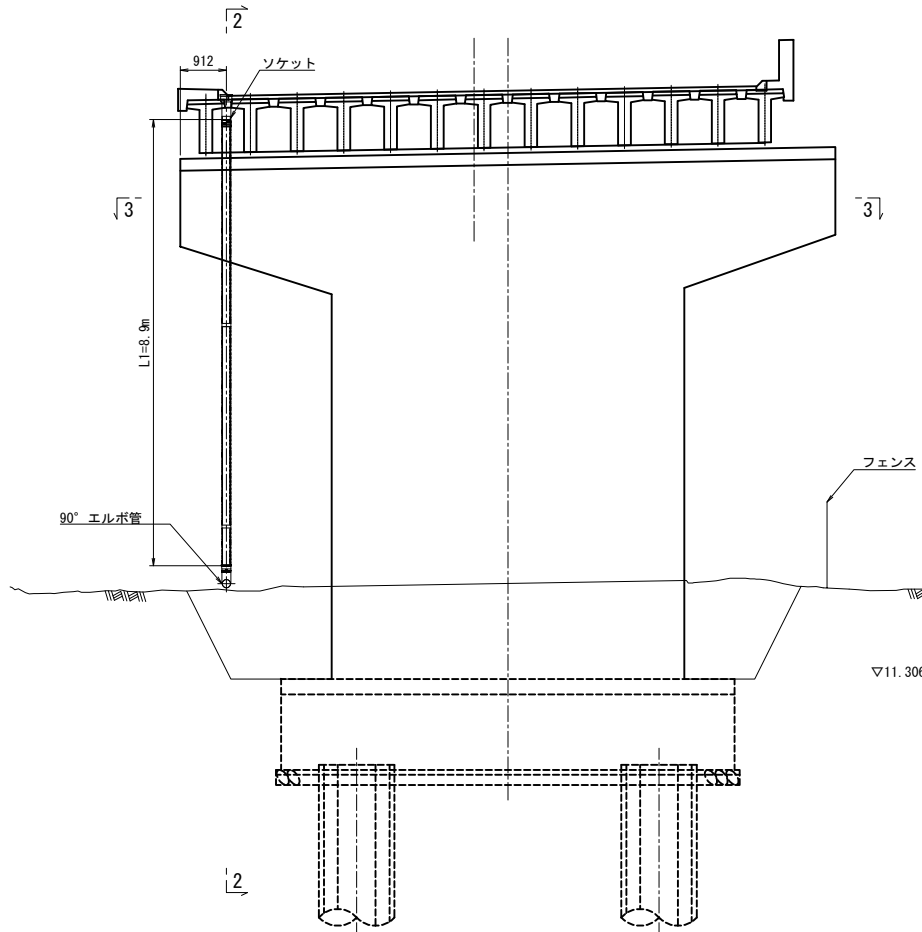


仮排水管数量表

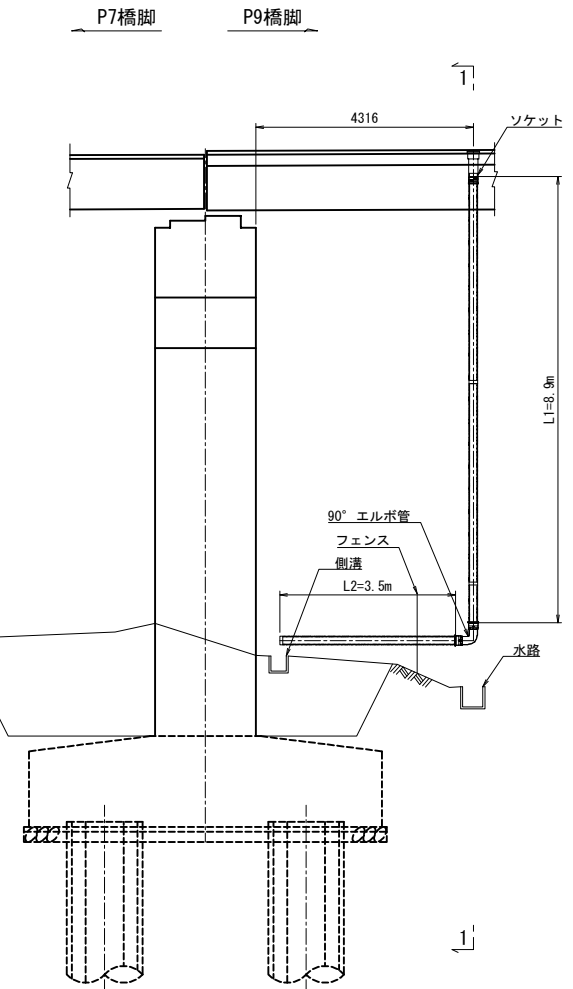
	L1	L2	L3	ΣL	90° エルボ管	ソケット
	(m)	(m)	(m)	(m)	(個)	(個)
P9 (起点側)	8.9	3.5	0.8	13.2	2	1
P9 (終点側)	8.9	3.3	1.6	13.8	2	1
A2	9.6	5.8	-	15.4	1	1

館山自動車道 大鳥居高架橋耐震補強工事			
図面の種類	大鳥居高架橋(上下線) 仮排水管設置図(参考図)(その4)		
	縮尺	図示	図面番号 /
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 市原管理事務所		

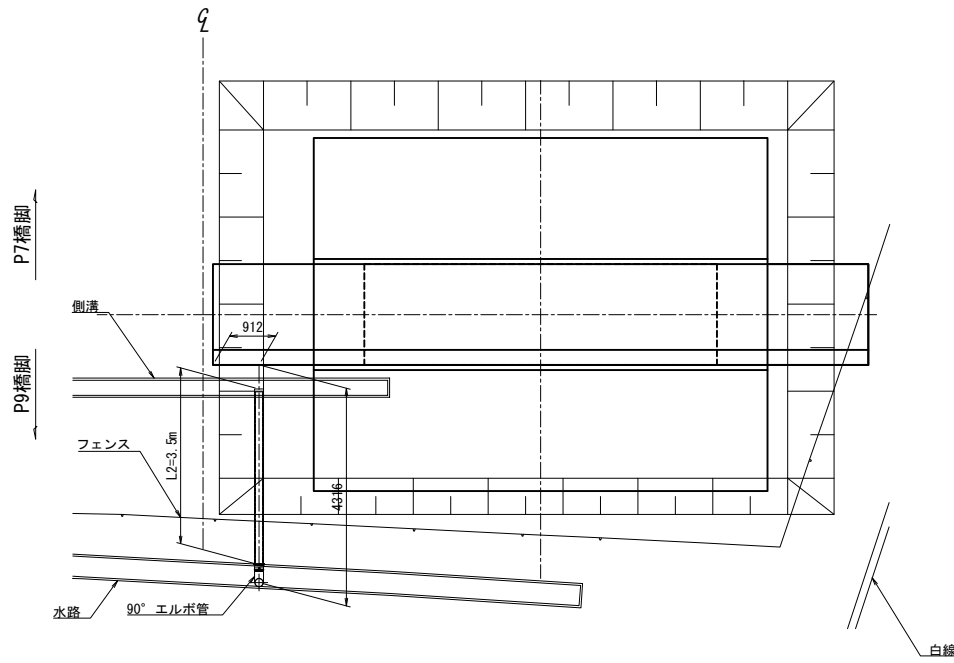
正面図
1 - 1



側面図
2 - 2

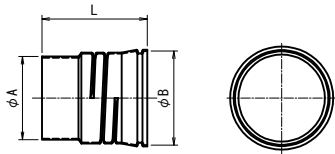


平面図
3 - 3



仮排水管詳細図

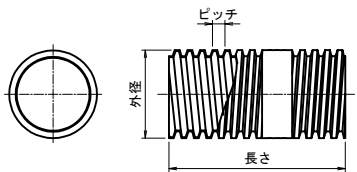
DV用ソケット



規格	φA	φB	L
φ200	165	182	183

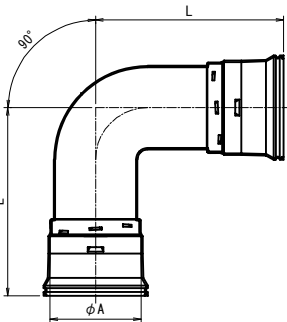
(mm)

高密度ポリエチレン管



規格	外径 (mm)	呼称径 (mm)	ピッチ (mm)	長さ (m)
φ150	175	150	25	4

90° エルボ管



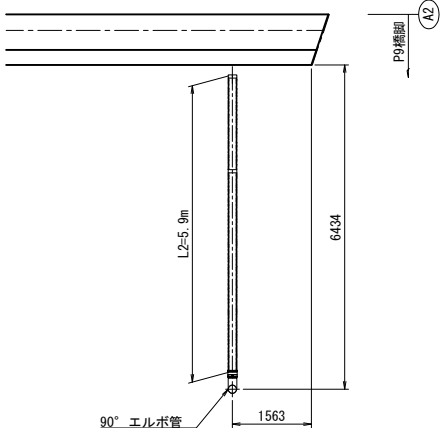
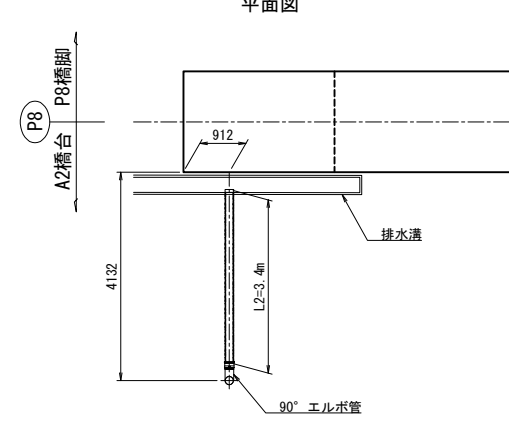
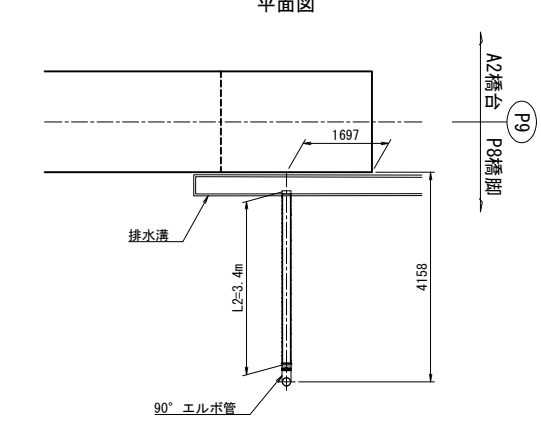
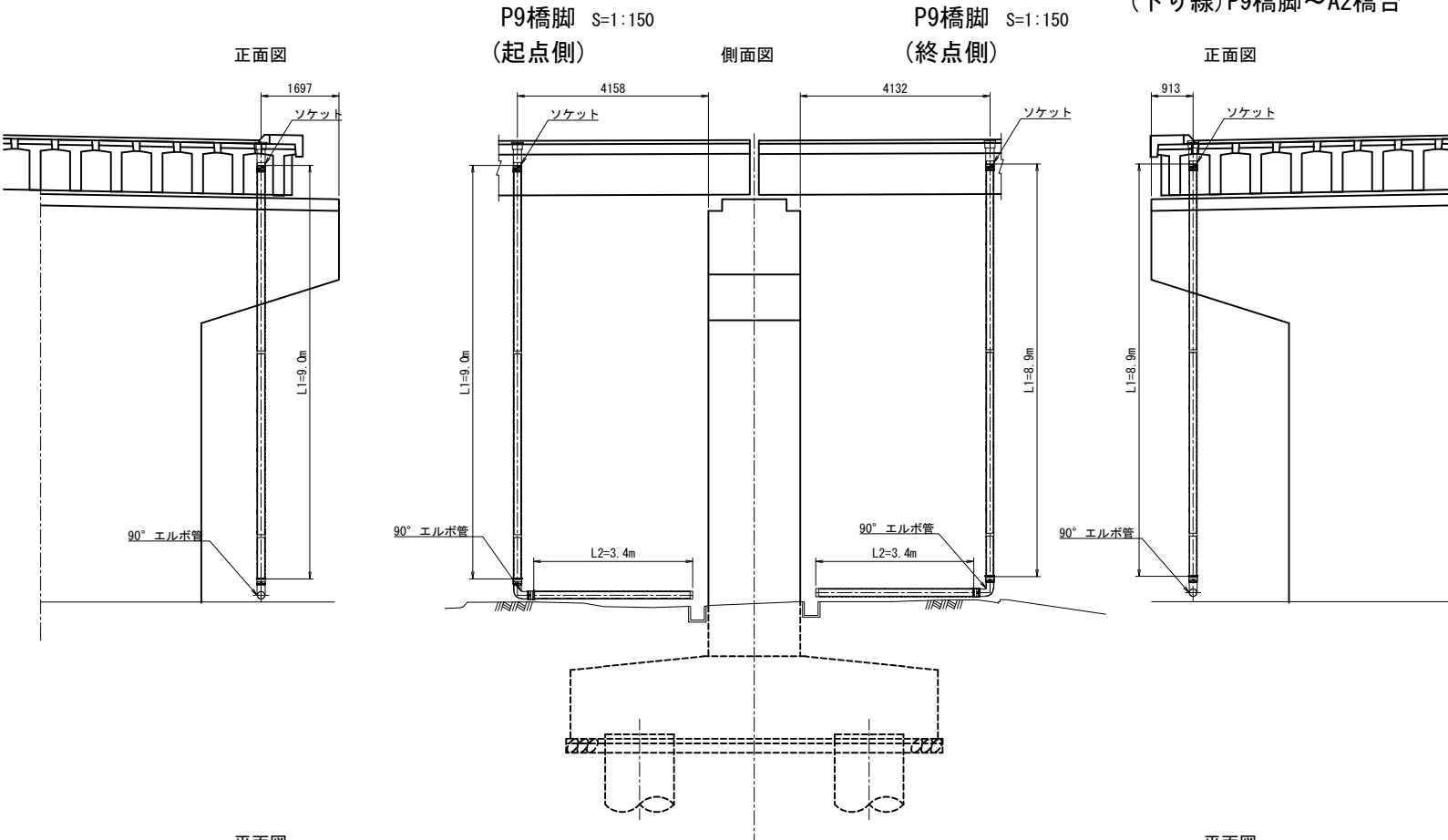
規格	φA	L
φ150	181	373

(mm)

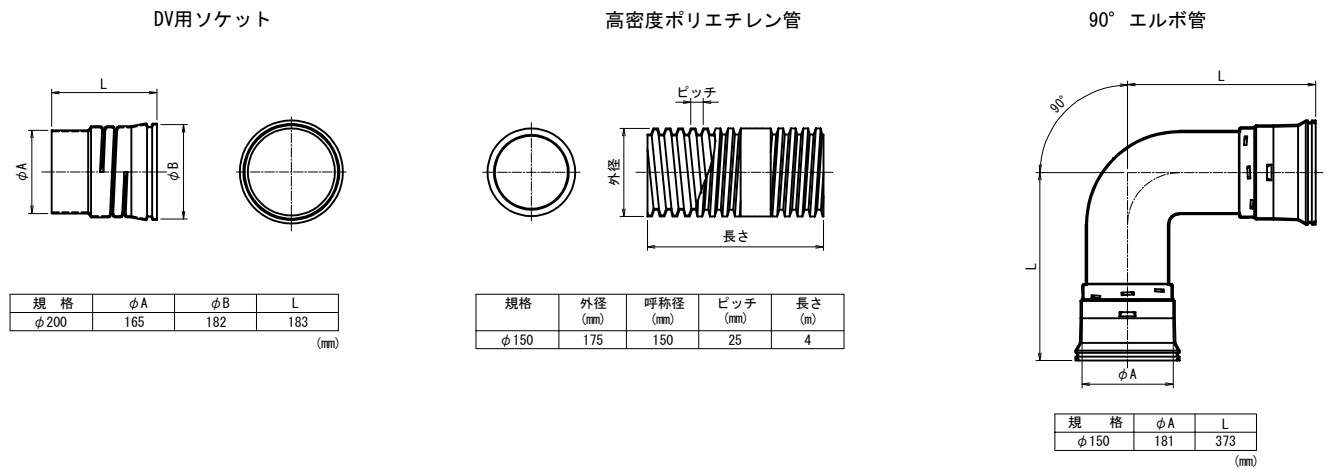
仮排水管数量表

	L1 (m)	L2 (m)	ΣL (m)	90° エルボ管 (個)	ソケット (個)
P8	8.9	3.5	12.4	1	1

館山自動車道 大鳥居高架橋耐震補強工事			
図面の種類	大鳥居高架橋(上下線) 仮排水管設置図(参考図)(その5)		
	縮尺	図示	図面番号 /
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 市原管理事務所		



仮排水管詳細図

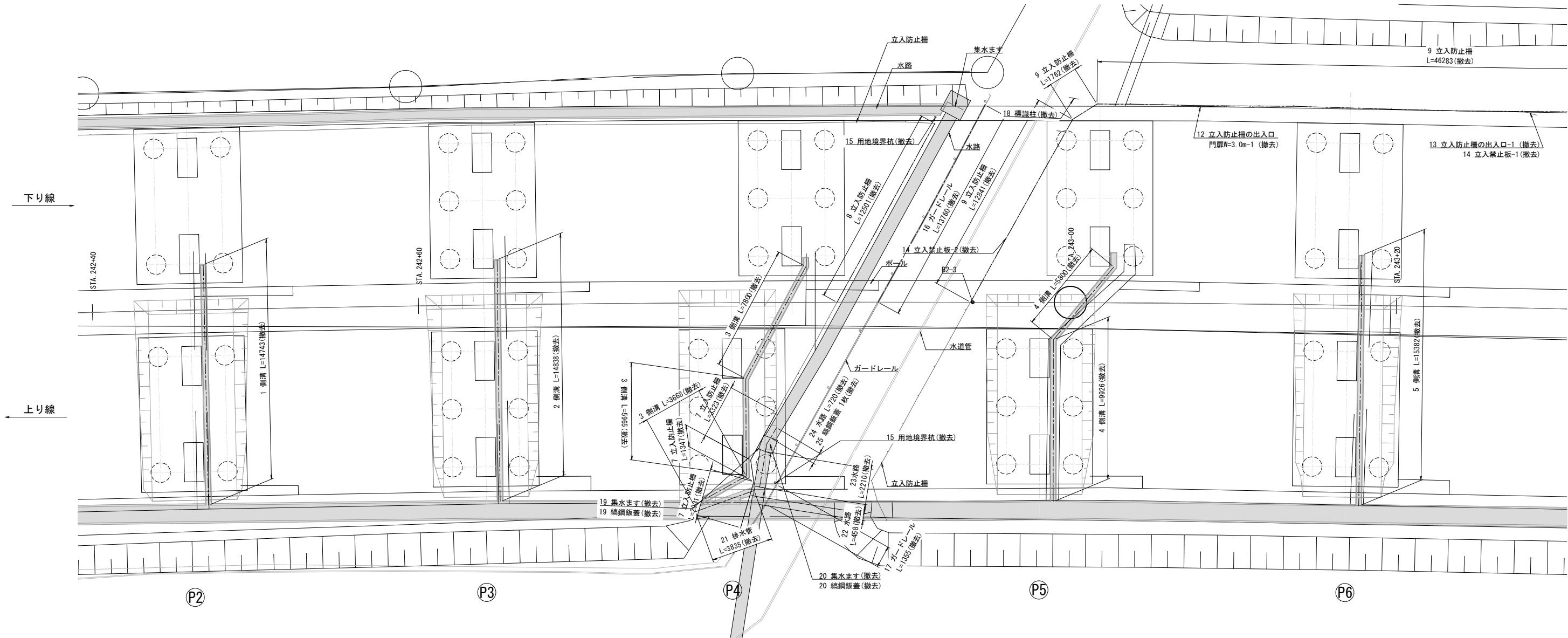


仮排水管数量表

	L1	L2	ΣL	90°エルボ管	ソケット
	(m)	(m)	(m)	(個)	(個)
P9(起点側)	9.0	3.4	12.4	1	1
P9(終点側)	8.9	3.4	12.3	1	1
A2	9.5	5.9	15.4	1	1

館山自動車道 大鳥居高架橋耐震補強工事			
図面の種類	大鳥居高架橋(上下線) 仮排水管設置図(参考図)(その6)		
	縮尺	図示	図面番号 /
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 市原管理事務所		

平面図



撤去数量表

No.	名称	規格	単位	数量	備考
1	側溝 (P2橋脚)	Ds-PuL・0.3・0.3	m	14.7	撤去
2	側溝 (P3橋脚)	Ds-PuL・0.3・0.3	m	14.8	撤去
3	側溝 (P4橋脚)	Ds-PuL・0.3・0.3	m	17.4	撤去
4	側溝 (P5橋脚)	Ds-PuL・0.3・0.3	m	15.7	撤去
5	側溝 (P6橋脚)	Ds-PuL・0.3・0.3	m	15.4	撤去
6	側溝 (P8橋脚)	Ds-PuL・0.3・0.3	m	16.5	撤去
7	立入防止柵 (P4橋脚)	一般型非積雪地用	m	7.6	撤去
8	立入防止柵 (P4橋脚)	一般型非積雪地用	m	12.5	撤去
9	立入防止柵 (P5橋脚)	一般型非積雪地用	m	60.9	撤去
10	立入防止柵 (P8橋脚)	一般型非積雪地用	m	26.9	撤去
11	立入防止柵 (P9橋脚)	一般型非積雪地用	m	30.0	撤去

撤去数量表

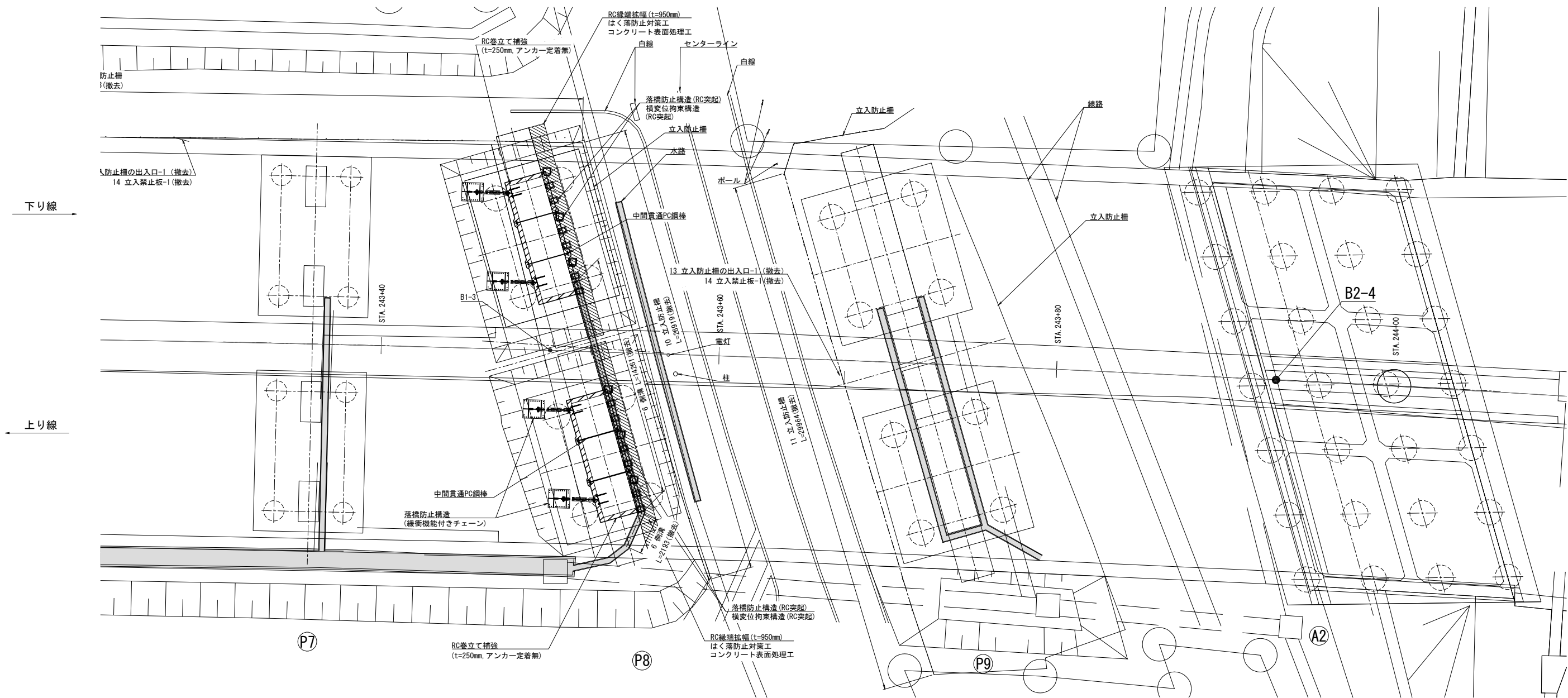
No.	名称	規格	単位	数量	備考
12	立入防止柵の出入口	門扉W=3.0m	箇所	1	撤去
13	立入防止柵の出入口	一般型非積雪地用	箇所	2	撤去
14	立入禁止板		枚	4	撤去
15	用地境界杭	コンクリート杭	本	2	撤去
16	ガードレール	Gr-C-4E	m	13.8	撤去
17	ガードレール	Gr-C-4E	m	1.4	撤去
18	標識柱 (P5橋脚)	単柱	基	1	撤去
19	集水ます (P4橋脚)	Dc ⁺ (SP)・0.60・0.60・1.20	箇所	1	撤去
20	集水ます (P4橋脚)	1.0・1.0	枚	1	撤去
21	集水ます (P4橋脚)	Dc ⁺ (SP)・0.90・0.90・1.00	箇所	1	撤去
22	集水ます (P4橋脚)	1.3・1.3	枚	1	撤去

撤去数量表

No.	名称	規格	単位	数量	備考
21	排水管 (P4橋脚)	Vp-φ0.45	m	3.8	撤去
22	水路 (P4橋脚)	P-Bx-0.60・0.60	m	0.5	撤去
23	水路 (P4橋脚)	P-Bx-0.60・0.60	m	2.2	撤去
24	水路 (P4橋脚)	Ww-Ui-0.60・1.00(F)	m	0.7	撤去
25	鋼鋼板蓋 (P4橋脚)	0.9・0.9	枚	1	撤去

館山自動車道 大鳥居高架橋耐震補強工事			
図面の種類	大鳥居高架橋(上下線) 付帯構造物撤去工図(その1)		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 市 原 管 理 事 務 所		

平面図



撤去数量表

No.	名称	規格	単位	数量	備考
1	側溝 (P2橋脚)	Ds-PuL・0.3・0.3	m	14.7	撤去
2	側溝 (P3橋脚)	Ds-PuL・0.3・0.3	m	14.8	撤去
3	側溝 (P4橋脚)	Ds-PuL・0.3・0.3	m	17.4	撤去
4	側溝 (P5橋脚)	Ds-PuL・0.3・0.3	m	15.7	撤去
5	側溝 (P6橋脚)	Ds-PuL・0.3・0.3	m	15.4	撤去
6	側溝 (P8橋脚)	Ds-PuL・0.3・0.3	m	16.5	撤去
7	立入防止柵 (P4橋脚)	一般型非積雪地用	m	7.6	撤去
8	立入防止柵 (P5橋脚)	一般型非積雪地用	m	12.5	撤去
9	立入防止柵 (P5橋脚)	一般型非積雪地用	m	60.9	撤去
10	立入防止柵 (P8橋脚)	一般型非積雪地用	m	26.9	撤去
11	立入防止柵 (P9橋脚)	一般型非積雪地用	m	30.0	撤去

撤去数量表

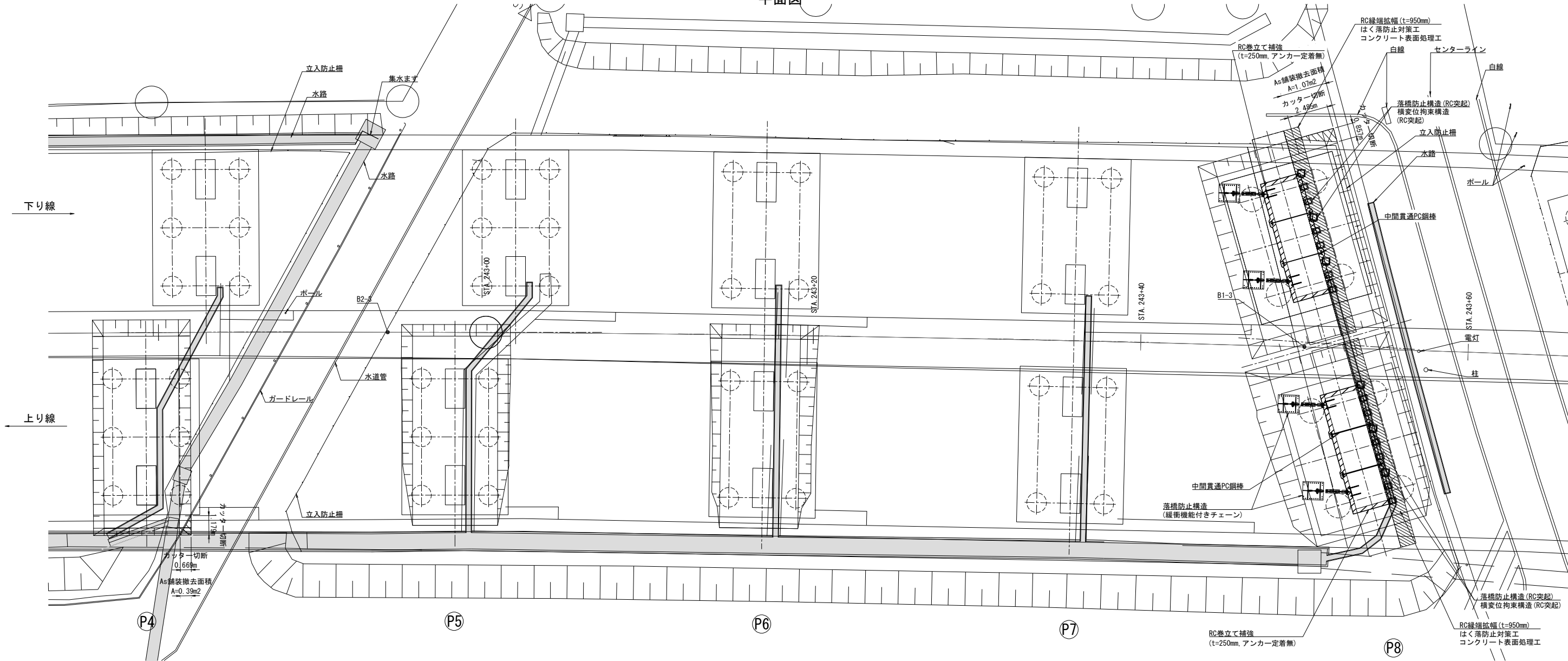
No.	名称	規格	単位	数量	備考
12	立入防止柵の出入口	門扉W=3.0m	箇所	1	撤去
13	立入防止柵の出入口	一般型非積雪地用	箇所	2	撤去
14	立入禁止板		枚	4	撤去
15	用地境界杭	コンクリート杭	本	2	撤去
16	ガードレール	Gr-C-4E	m	13.8	撤去
17	ガードレール	Gr-C-4E	m	1.4	撤去
18	標識柱 (P5橋脚)	単柱	基	1	撤去
19	集水ます (P4橋脚)	Dc ⁺ (SP)・0.60・0.60・1.20	箇所	1	撤去
19	縦鋼板蓋 (P4橋脚)	1.0・1.0	枚	1	撤去
20	集水ます (P4橋脚)	Dc ⁺ (SP)・0.90・0.90・1.00	箇所	1	撤去
20	縦鋼板蓋 (P4橋脚)	1.3・1.3	枚	1	撤去

撤去数量表

No.	名称	規格	単位	数量	備考
21	排水管 (P4橋脚)	Vp-φ0.45	m	3.8	撤去
22	水路 (P4橋脚)	P-Bx-0.60・0.60	m	0.5	撤去
23	水路 (P4橋脚)	P-Bx-0.60・0.60	m	2.2	撤去
24	水路 (P4橋脚)	Ww-Ui・0.60・1.00(F)	m	0.7	撤去
25	縦鋼板蓋 (P4橋脚)	0.9・0.9	枚	1	撤去

館山自動車道 大鳥居高架橋耐震補強工事			
図面の種類	大鳥居高架橋(上下線) 付帯構造物撤去工図(その2)		
	縮尺	図示	図面番号 /
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 市原管理事務所		

平面図

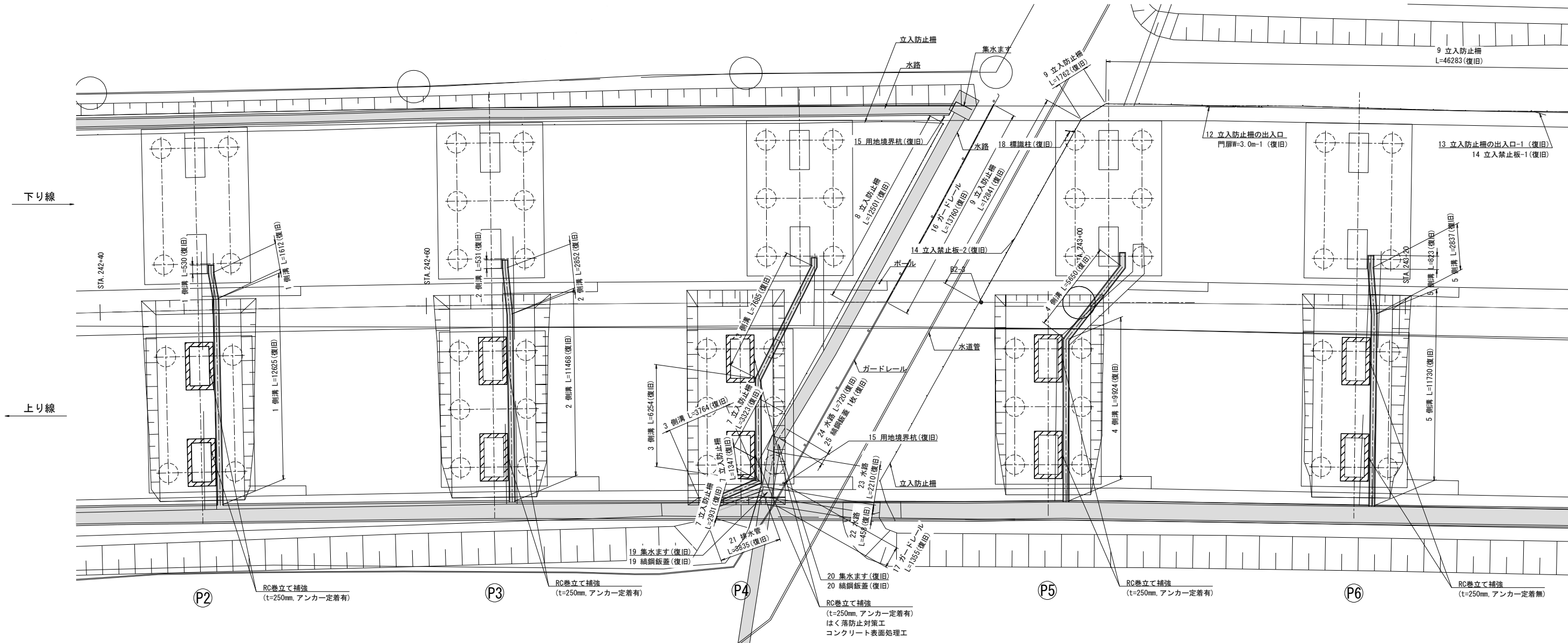


撤去工数量表

	項 目	単位	数量	備 考
P4橋脚	As舗装	m2	0.39	撤去
	カッター切断	m	1.85	撤去
P8橋脚	As舗装	m2	1.07	撤去
	カッター切断	m	3.34	撤去

館山自動車道 大鳥居高架橋耐震補強工事			
図面の種類	大鳥居高架橋(上下線) 付帯構造物撤去工図(その3)		
	縮 尺	図示	図面番号 /
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 市 原 管 理 事 務 所		

平面図



復旧数量表

No.	名称	規格	単位	数量	備考
1	側溝 (P2橋脚)	Ds-PuL・0.3・0.3	m	14.8	復旧
2	側溝 (P3橋脚)	Ds-PuL・0.3・0.3	m	14.9	復旧
3	側溝 (P4橋脚)	Ds-PuL・0.3・0.3	m	17.7	復旧
4	側溝 (P5橋脚)	Ds-PuL・0.3・0.3	m	15.6	復旧
5	側溝 (P6橋脚)	Ds-PuL・0.3・0.3	m	15.4	復旧
6	側溝 (P8橋脚)	Ds-PuL・0.3・0.3	m	16.6	復旧
7	立入防止柵 (P4橋脚)	一般型非積雪地用	m	7.6	復旧
8	立入防止柵	一般型非積雪地用	m	12.5	復旧
9	立入防止柵	一般型非積雪地用	m	60.9	復旧
10	立入防止柵 (P8橋脚)	一般型非積雪地用	m	26.9	復旧
11	立入防止柵 (P9橋脚)	一般型非積雪地用	m	30.0	復旧

復旧数量表

No.	名称	規格	単位	数量	備考
12	立入防止柵の出入口	門扉W=3.0m	箇所	1	復旧
13	立入防止柵の出入口	一般型非積雪地用	箇所	2	復旧
14	立入禁止板		枚	4	復旧
15	用地境界杭	コンクリート杭	本	2	復旧
16	ガードレール	Gr-G-4E	m	13.8	復旧
17	ガードレール	Gr-G-4E	m	1.4	復旧
18	橋脚柱 (P5橋脚)	単柱	基	1	復旧
19	集水ます (P4橋脚)	Dc ⁺ (SP)・0.60・0.60・1.20	箇所	1	復旧
	綑鋼飯蓋 (P4橋脚)	1.0・1.0	枚	1	復旧
20	集水ます (P4橋脚)	Dc ⁺ (SP)・0.90・0.90・1.00	箇所	1	復旧
	綑鋼飯蓋 (P4橋脚)	1.3・1.3	枚	1	復旧

復旧数量表

No.	名称	規格	単位	数量	備考
21	排水管 (P4橋脚)	Vp-φ0.45	m	3.8	復旧
22	水路 (P4橋脚)	P-Bx-0.60・0.60	m	0.5	復旧
23	水路 (P4橋脚)	P-Bx-0.60・0.60	m	2.2	復旧
24	水路 (P4橋脚)	Ww-Ui・0.60・1.00(F)	m	0.7	復旧
25	綑鋼飯蓋 (P4橋脚)	0.9・0.9	枚	1	復旧

館山自動車道 大鳥居高架橋耐震補強工事			
図面の種類	大鳥居高架橋(上下線) 付帯構造物復旧工図(その1)		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 市 原 管 理 事 務 所		

20020

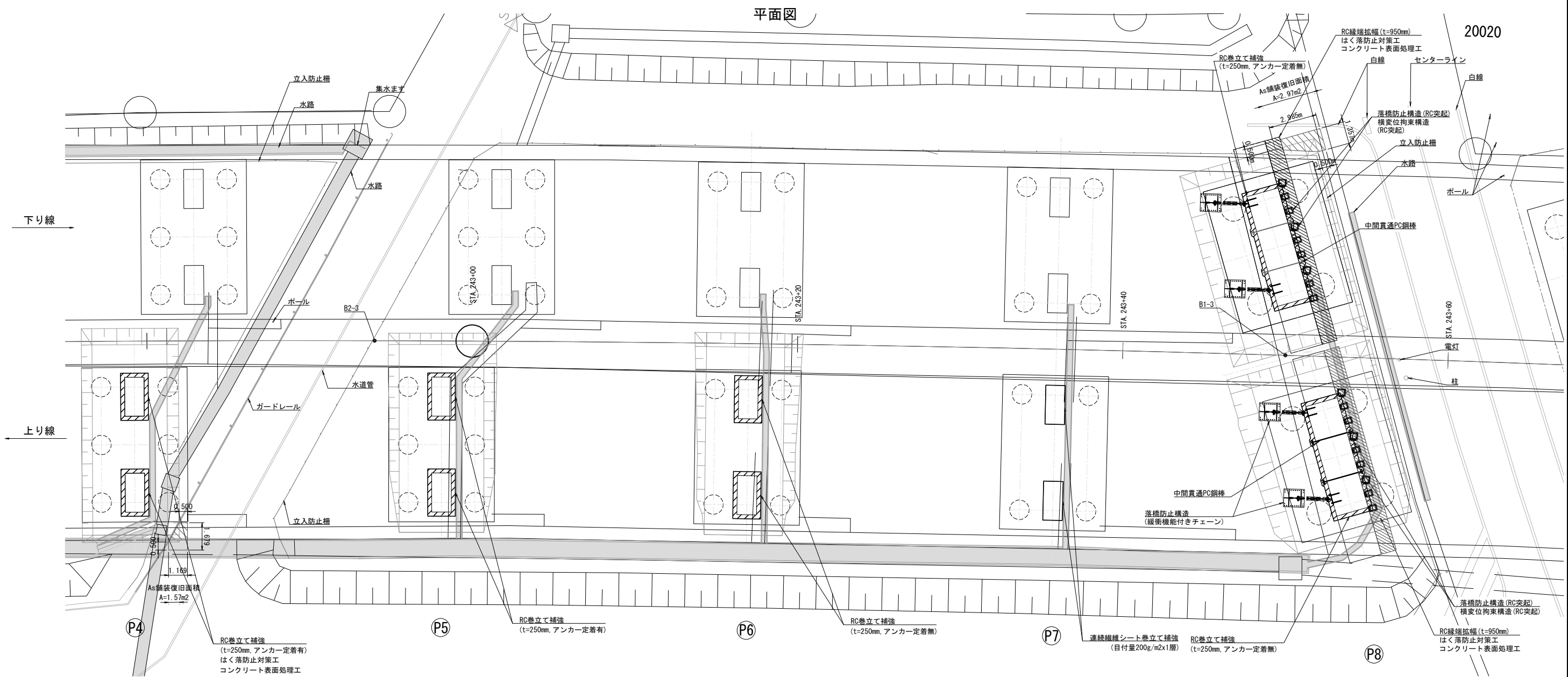


No.	名称	规格	单位	数量	備考
1	側溝 (P2橋脚)	Ds-PuL・0.3・0.3	m	14.8	復旧
2	側溝 (P3橋脚)	Ds-PuL・0.3・0.3	m	14.9	復旧
3	側溝 (P4橋脚)	Ds-PuL・0.3・0.3	m	17.7	復旧
4	側溝 (P5橋脚)	Ds-PuL・0.3・0.3	m	15.6	復旧
5	側溝 (P6橋脚)	Ds-PuL・0.3・0.3	m	15.4	復旧
6	側溝 (P8橋脚)	Ds-PuL・0.3・0.3	m	16.6	復旧
7	立入防止柵 (P4橋脚)	一般型非積雪地用	m	7.6	復旧
8	立入防止柵	一般型非積雪地用	m	12.5	復旧
9	立入防止柵	一般型非積雪地用	m	60.9	復旧
10	立入防止柵 (P8橋脚)	一般型非積雪地用	m	26.9	復旧
11	立入防止柵 (P9橋脚)	一般型非積雪地用	m	30.0	復旧

No.	名称	規格	単位	数量	備考
12	立入防止柵の出入口	門扉W=3.0m	箇所	1	復旧
13	立入防止柵の出入口	一般型非積雪用地	箇所	2	復旧
14	立入禁止板		枚	4	復旧
15	用地境界杭	コンクリート杭	本	2	復旧
16	ガードレール	Gr-C-4E	m	13.8	復旧
17	ガードレール	Gr-C-4E	m	1.4	復旧
18	標識柱 (P5橋脚)	単柱	基	1	復旧
19	集水ます (P4橋脚)	Dc ⁺ (SP)・0.60・0.60・1.20	箇所	1	復旧
	鉄鋼飯蓋 (P4橋脚)	1.0・1.0	枚	1	復旧
	集水ます (P4橋脚)	Dc ⁺ (SP)・0.90・0.90・1.00	箇所	1	復旧
20	鉄鋼飯蓋 (P4橋脚)	1.3・1.3	枚	1	復旧

No.	名稱	規格	單位	數量	備考
21	排水管 (P4橋腳)	Vp-φ0.45	m	3.8	復旧
22	水路 (P4橋腳)	P-Bx-0.60・0.60	m	0.5	復旧
23	水路 (P4橋腳)	P-Bx-0.60・0.60	m	2.2	復旧
24	水路 (P4橋腳)	Ww-Ui-0.60・1.00(F)	m	0.7	復旧
25	綑鋼飯蓋 (P4橋腳)	0.9・0.9	枚	1	復旧

館山自動車道 大鳥居高架構耐震補強工事			
図面の種類		大鳥居高架構(上下線) 付帯構造物復旧工図(その2)	
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 市 原 管 理 事 務 所		関東支社

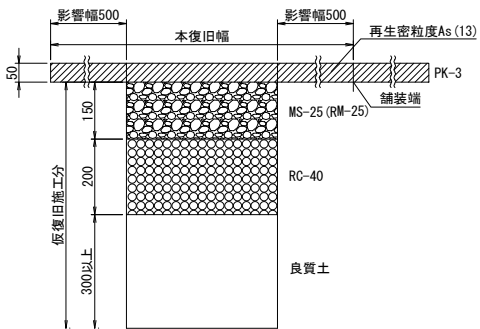


復旧工数量表

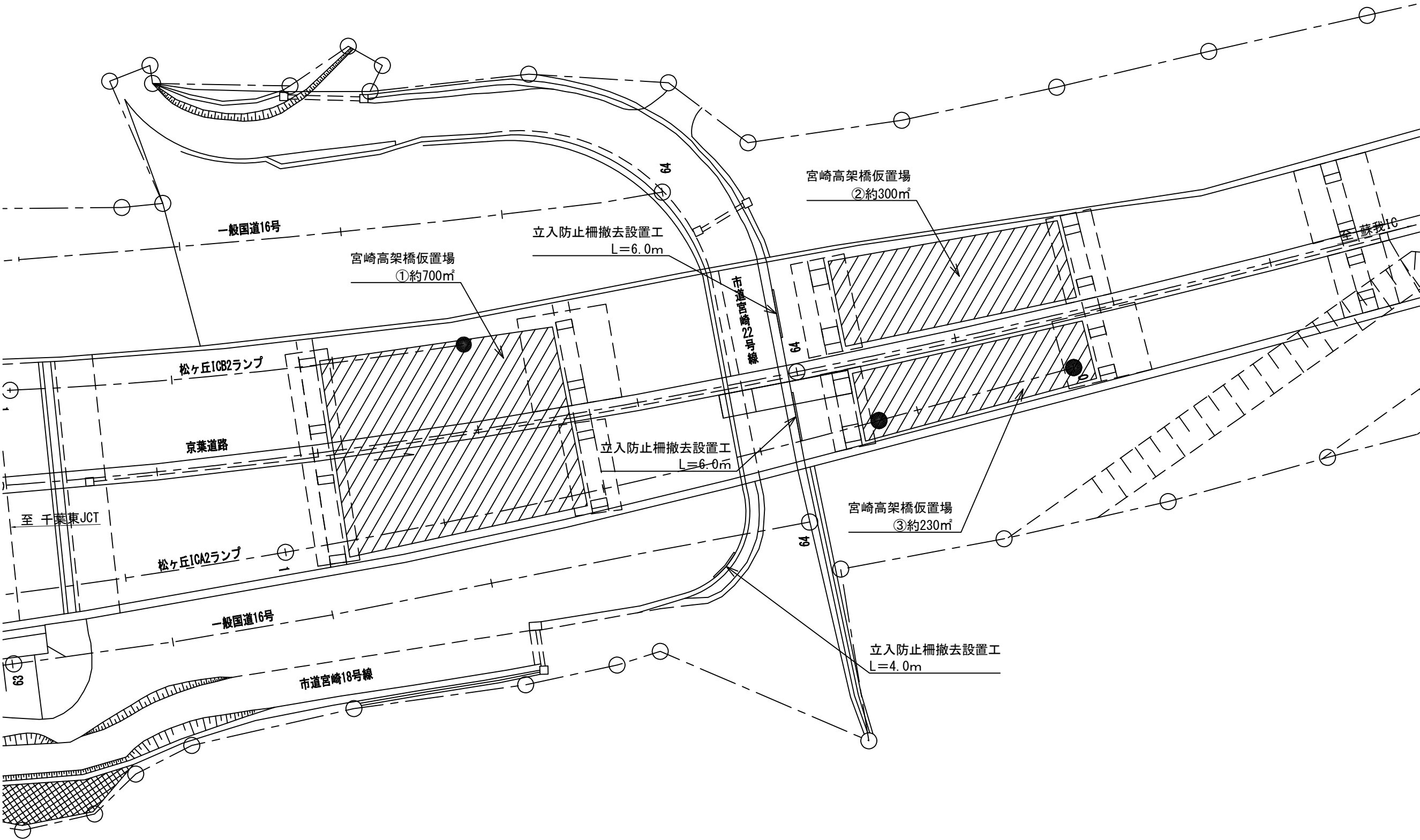
	項目	単位	数量	備考
P4橋脚	As舗装	m2	1.57	復旧
P8橋脚	As舗装	m2	2.99	復旧

舗装復旧構成標準図 S=1:20

(本復旧)
目標TA=15cm(設計CBR3%)



館山自動車道 大鳥居高架橋耐震補強工事			
図面の種類	大鳥居高架橋(上下線) 付帯構造物復旧工図(その3)		
縮尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 市原管理事務所		



宮崎高架橋仮置場敷地面積 ①700㎡+②300㎡+③230㎡=1,230㎡

館山自動車道 大鳥居高架橋耐震補強工事			
図面の種類	宮崎高架橋仮置場		
	立入防止柵撤去設置工		
縮尺	図示	図面番号	/
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 市原管理事務所		